

目 次

◇発刊に際して	1
第1章 漢字習得調査実施の概要	3
I. 漢字習得調査実施の趣旨及び目的	3
1. 漢字学習上の現状と課題 2. 漢字習得調査の目的と内容	
II. 習得調査の対象校及び児童・生徒数	4
1. 調査校の抽出 2. 調査校数、学級数、児童・生徒数	
III. 習得調査の内容	5
1. 習得調査の対象漢字 2. 調査問題の作成	
IV. 習得調査の方法	6
1. 調査用紙の構成 2. 調査の実施時期 3. 採点基準及び集計方法	
第2章 漢字習得調査結果の分析と考察	7
I. 習得調査結果の全般的な状況	7
1. 学年別配当漢字の平均習得率 2. 漢字平均習得率の算出の仕方	
II. 読むことの習得調査の結果の状況	11
1. 学年別配当漢字の読みの状況 2. 音読みと訓読みの習得状況の比較	
3. 読み替え漢字の習得の状況 4. 習得率が98.5%以上の漢字一覧	
III. 書くことの習得調査の結果の状況	26
1. 学年別配当漢字の書きの状況 2. 無答率の高かった漢字一覧	
3. 誤答率の高かった漢字一覧 4. 読むことと書くことの相関関係	
IV. 漢字習得調査のまとめ	40
1. 児童・生徒の漢字習得状況の実態 2. 習得状況からみた漢字指導法の改善	
第3章 漢字習得調査結果の内容	43
I. 第1学年配当漢字の習得状況（80字の読み・書き）	44
II. 第2学年配当漢字の習得状況（160字の読み・書き）	51
III. 第3学年配当漢字の習得状況（200字の読み・書き）	63
IV. 第4学年配当漢字の習得状況（200字の読み・書き）	75
V. 第5学年配当漢字の習得状況（185字の読み・書き）	86
VI. 第6学年配当漢字の習得状況（181字の読み・書き）	96
◇索引（学年別漢字配当表）	105
第4章 生きる力が育つ漢字指導法	110
I. 第1・2学年の学習指導例	111
II. 第3・4学年の学習指導例	115
III. 第5・6学年の学習指導例	121
付 漢字習得調査問題（読み・書き問題）	128
◇あとかき・委員名簿	183

第1章 漢字習得調査実施の概要

I. 漢字習得調査実施の趣旨及び目的

1. 漢字学習上の現状と課題

現行の学習指導要領において、小学校では1006字の学年別配当漢字が示され、それらの漢字を読み、その大体を書くことが基準になっている。教育課程審議会では、漢字習得の重要性を指摘し、その改善の内容として、小・中・高校の関連を図り、特にパソコン・ワープロ等の普及や辞書の活用等を考慮し、児童・生徒の学習負担を配慮しつつ、読みの指導は基本的に現行どおりとするが、書きの指導は上学年に移行すること及び学年別漢字配当表の漢字の取り扱いを一層弾力化することについて検討する方針が出された。

これを受けて、平成10年12月14日に告示された新しい小学校の学習指導要領では、漢字の読みと書きでは、書きの方が習得に時間がかかるという実態を考慮し、読みの指導は現行どおりとし、書きの指導は2年間をかけて、確実に書き、使えるように指導することとした。

漢字習得の上で、読み書き分離の指導が行われる背景として、新学習指導要領が平成14年度（2002）から完全実施されるに伴って授業時間の削減に伴う学習内容の厳選がある。新しく提出された漢字はその学年で読み・書きとも習得させることが必要であるが、その際に未習得であってもあせらず、書くことについては次の学年までに習得するように指導するということである。

読み書きを分離して学習するに当たって、学年別配当漢字の習得の実態が明らかになっていなければならない。児童・生徒のつまずきの状況を明らかにして、どのように系統的・段階的に学習を進めていくかは、漢字の基礎・基本の確実な定着のために欠かすことはできない。

2. 漢字習得調査の目的と内容

児童・生徒の学年別配当漢字や常用漢字の習得状況については、国立国語研究所が継続して調査研究をしている。また、全国各地の国語教育研究会や民間の研究所での様々な漢字習得に関する調査・研究がある。特に、昭和57年度及び平成9年度に「（財）総合初等教育研究所」が行った『教育漢字の読み・書きの習得に関する調査と研究』について、私どもは大きな示唆を得た。これら先行の貴重な研究資料を活用しながら、新しい学習指導要領が完全実施されるに当たり、小学校・学年別配当漢字の読むことと書くことの習得状況について、その実態を調査することにした。

今回の漢字習得調査の結果は、本財団において今後の学習用図書教材作成などの資料として生かすとともに、広く全国の先生方に国語科・漢字学習に関する基礎・基本の資料として提供し、児童・生徒が興味・関心をもって漢字学習に取り組み、これからの漢字指導の在り方に資することができるようにと願った。

今回の調査では、全国2万5千名の児童・生徒を対象とし、次の点を明らかにしようとした。

1. 小学校学年別配当漢字の、その学年の修了時での読み・書きの習得状況を調査する。各漢字の正答率、無答率、誤答率等を集計し、漢字習得の実態を明らかにする。
2. どの漢字が読み誤りやすいのか、また、書くことに抵抗があるのかを指摘するとともに、読むことと書くことの相関関係について具体的な資料を通して明らかにする。
3. 読むことと書くことの誤答傾向をもとに、その原因を具体的に明らかにする。これらの分析をもとに漢字指導上の課題を探るとともに、生きる力を育てる漢字指導法の基礎資料とする。

Ⅱ．習得調査の対象校及び児童・生徒数

1．調査校の抽出

漢字習得調査の対象者は全国の公立小・中学校の児童・生徒とし、被調査者の数を小・中学校合わせて約60校、約2万5000名を想定した。諸般の検討により、依頼する調査校の学校事情及び対象児童・生徒の学習負担の問題を考慮するとともに、調査問題用紙の作成・配付及び採点・集計の作業等を総合的に考えて、1漢字当たり約500名程度の被調査者があれば、習得調査として客観的精度が十分得られると判断した。

調査する時期として、その学年の修了時期の調査が適切であるが、3学期末は学校事情も厳しいので、その学年から1学年遅らせた翌年度の1学期に実施することにした。即ち、第1学年の配当漢字の習得調査対象は第2学年児童となり、順次繰り上がって第6学年の習得状況の調査は、中学校第1学年の生徒に実施した。

調査校の抽出に当たって、全国各地の都市部及び農村部等、また、小規模校及び中・大規模校を混在して実施することとし、『全国学校総覧・平成10年度版』（原書房）から無作為に抽出し、調査校を選定した。平成11年5月に依頼状を調査抽出校の校長先生に発送し、協力をお願いした。ここに改めてご協力・ご支援いただいた66校の校長先生はじめ教職員の皆様に深く感謝申し上げる。

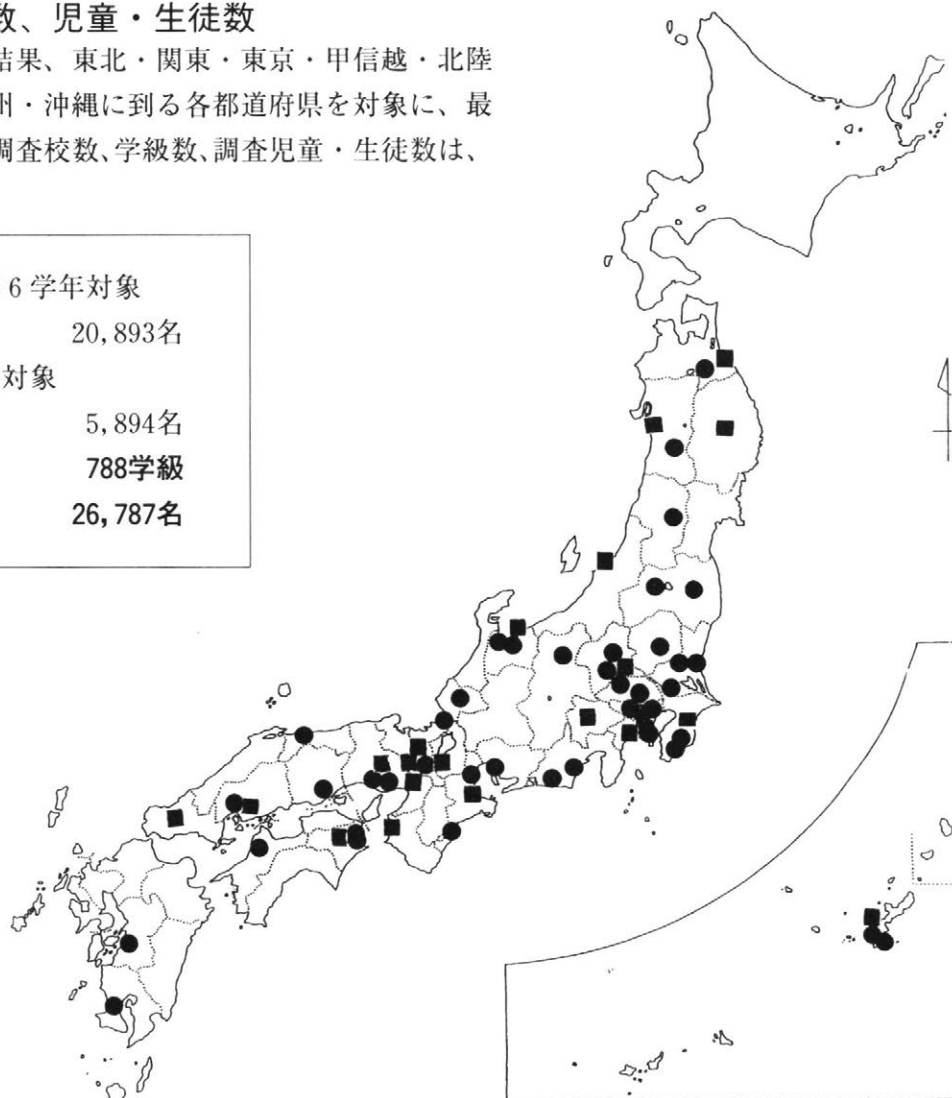
2．調査校数・学級数、児童・生徒数

各学校への調査依頼の結果、東北・関東・東京・甲信越・北陸・東海・近畿・四国・九州・沖縄に到る各都道府県を対象に、最終的に調査が実施できた調査校数、学級数、調査児童・生徒数は、次の通りである。

◇小学校	第2～第6学年対象	
44校	(627学級)	20,893名
◇中学校	第1学年対象	
22校	(161学級)	5,894名
合計	66校	788学級
	児童・生徒数	26,787名

全国の調査実施校

- 小学校
- 中学校



Ⅲ. 習得調査の内容

1. 習得調査の対象漢字

調査の種類は、小学校学習指導要領・国語科の学年別配当漢字表に示された1006字の「読み」「書き」の2種類とした。配当漢字の読み・書きは、小学校教科書に提出されている、すべての音訓読みとし、読み替え漢字を含めて調査の対象にした。

学年別配当漢字1006字は、各社の教科書にすべて提出されるが、その読み方の提出は教科書編修方針にしたがって様ではない。例えば、2年配当漢字の「明」は、「明るい（あかーるい）」という訓読みは、小学校6社の教科書ではすべて2年上巻または2年下巻に提出されている。「明」には、「メイ・ミョウ、あーかり・あかーるい・あきーらか」という5つの音訓が教科書に提出されているが、例えば「明らか」の読みは各教科書によって異なり、光村・教出・東書の各教科書は3年上巻に、日書は5年下巻、学図・阪書は6年上巻に提出されている。

このため、漢字の読むこと・書くことは、国語教科書で学習することを前提にするものであり、全国共通に習得調査を行う場合、同じ教科書を使用する児童・生徒が対象であることが望ましい。まだ授業で学習しない漢字の読み・書きが提出された場合、習得の上で同じ条件ではない。

今回の調査ではこのような観点から、光村図書出版株式会社が発行する「小学校・国語教科書」を使用している地区の児童・生徒を調査校の対象にした。

今回の習得調査の対象漢字は、学年別配当漢字1006字及びその読み替えを含む合計1759字とした。各学年の内訳は下記の通りである。

第1学年漢字	調査対象	小学校2年	配当漢字	80字	音訓等を含め	118字
第2学年漢字	調査対象	同 3年	配当漢字	160字	同	232字
第3学年漢字	調査対象	同 4年	配当漢字	200字	同	304字
第4学年漢字	調査対象	同 5年	配当漢字	200字	同	362字
第5学年漢字	調査対象	同 6年	配当漢字	185字	同	350字
第6学年漢字	調査対象	中学校1年	配当漢字	181字	同	393字

2. 調査問題の作成

漢字習得調査にとって必要な作問の条件は、第一には、児童・生徒にとって生活に身近な語として提出することである。第二には、漢字を単独で提出するのではなく、意味をもった文の形で提出することである。しかし、全ての漢字の調査の場合には問題数が多数にわたるので長文の中に出すことには無理があり、ごく短文の形式になったが、読みにおいてもできるだけ用例をつけることにした。また、教科書に提出された用例はむしろはずした形をとった。

さらに、問題文中の調査漢字以外の漢字が読めないことが抵抗となり、誤読することによって正確な習得状況が得られない場合があるので、調査以外の漢字にはふりがなを打った。

問題文の「読み」「書き」の調査は、ともに同一の内容にした。例えば、「目上の人を敬う」と書くことにし、読みにおいては若干短縮して「人を敬う」とした。

習得調査は一人の児童・生徒に全ての学年別配当漢字を調査することが理想であるが、現実には膨大な問題数と時間数に対し負担が大きすぎる。したがって、配当漢字を数枚の用紙に分け、調査は一人あて読み問題1枚・書き問題1枚の計2枚を、各学年40分程度で行うことができるようにした。

調査問題は児童・生徒の学習負担を考慮するとともに、配当漢字・読み替え漢字数により各学年の問題数が異なるので、1・2年配当漢字は1枚20問程度、3年配当漢字は30問程度、4年以上の配当漢字

は40問程度とした。その結果、読み・書き問題は1年各6枚、2年各11枚、3・4年各10枚、5・6年各9枚となり、合計各55枚、読み・書き問題を合わせて110枚を作成した。

実際の問題用紙については、巻末に付録として示したので参考にさせていただきたい。

Ⅳ. 習得調査の方法

1. 調査用紙の構成

調査問題は、B4版の上質紙にパソコンを用い、教科書体で印刷した。調査対象となる一人の児童・生徒に対し、用紙は読み・書き各1枚合わせて2枚を配布して調査を実施した。調査校にはあらかじめ学級数及び児童・生徒数を知らせていただいたので、各学年の用紙をグループ分けし、実施日時が異なってもいいように、同学年に同じ問題用紙が配布されないようにした。つまり、問題用紙をどの学級にも重なり合わないようにして送付した。特に「読み」と「書き」の問題は同一内容であるので同じ学級に配布することがないように注意した。

2. 調査の実施時期

漢字習得調査の実施時期は、その学年の修了時からあまり離れていない、次の学年の1学期当初が望ましいが、新学期は避けるとともに各学校の諸事情を考慮し、平成11年6月から7月の時期に全国一斉に実施をお願いした。

習得調査の時間のめやすとして、読み・書き両方に要する時間を説明・指示を含め1時限とした。内訳として、「読み」は約15分～20分程度とし、休憩をはさんで、「書き」は20分～30分としたが、すべての児童・生徒がおおよそ書き終わった状況を見計らって、いっせいに回収することを原則にした。各学級では、こうした条件のもとに実施し、時間が足りなくて解答できなかったという問題はなかった。

3. 採点基準及び集計方法

習得調査を実施した学校は、そのまま返送用の封筒に解答済み用紙を入れて財団事務局に送付していただいた。返送された解答用紙は、読み・書き合わせて小学校2年実施が8799枚、3年実施が8338枚、4年実施が8949枚、5年実施が7906枚、6年実施が7794枚、中学校1年が実施が11788枚となり、合計5万3574枚となった。

採点基準は、読みでは「常用漢字表」の「本表」及び「付表」によった。読みでは、子どもたちが問題として提出した漢字をどのように読んでいるのかを調査用紙に書かせることによって判断した。その結果、発音の誤ったもの、問題が要求する以外の読みをしたものは誤答とした。

「書き」では学習指導要領の「学年別漢字配当表」に示されている字体によった。また「常用漢字表」の「字体についての解説」を参考にするとともに、許容範囲をまとめた学習指導要領準拠「漢字指導の手引き」にしたがった。許容外として、字形の誤ったものや点画に過不足のあるもの、点画の位置や合わせが異様なものなどは共通理解の上、誤答とした。

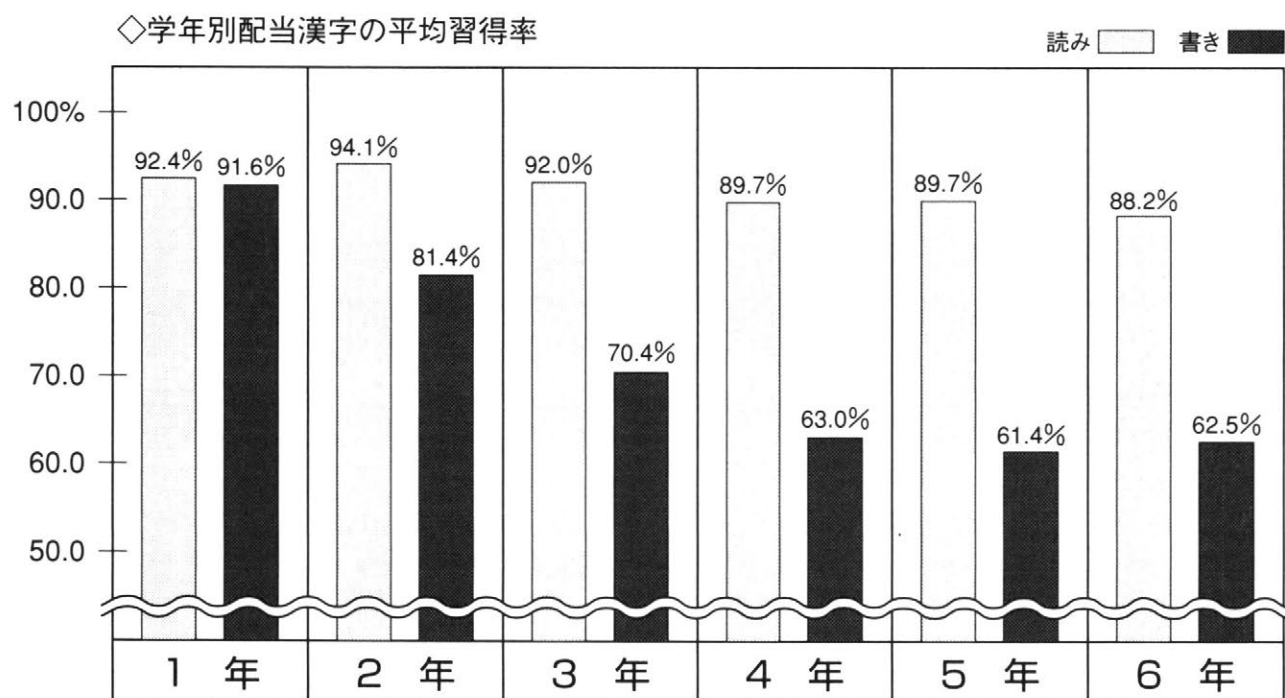
問題用紙は、正誤の採点のあと、書くことにおいては正答の他、無答及び誤答の集計をした。漢字1字に1枚のカードを用意し、必要な情報はそこに記入した。正確な集計を期するため、解答用紙の採点には習得調査研究委員会の委員を中心とした採点者の手作業によった。

第2章 漢字習得調査結果の分析と考察

I. 習得調査結果の全般的な状況

1. 学年別配当漢字の平均習得率

小学校・学年別配当漢字1006字のすべての漢字（音訓を含む）を対象に、その習得状況を調査した。漢字を正しく読んだり書いたりしたものを正答とし、習得できたものとして考え、調査した全漢字の読むことと書くことの平均習得率を算出した。



ア. どの学年も読むことより書くことのほうが習得率が低い

棒グラフから分かるように、どの学年も読むことと書くことの習得率には、かなりの差がある。

各学年の配当漢字について、小学生はどの漢字もおおよそ9割程度は読め、7割程度は書くことができることが今回の習得調査から分かった。さらに、子細にみると次のように考えられる。

- (1) 読みの平均習得率は各学年とも80%を超え、学年配当漢字の大体は読むことができる。
- (2) 書きの平均習得率は読みよりも低く、特に、1年生で読みは90%を超え、その大体を読むことができるが、書きでは2年生で80%、3年生で70%、4年生以上では60%台となり、学年が上がるにつれて漢字を書く習得率は低下していく。
- (3) 1・2年生は、漢字の読み・書きの習得率はともに80%から90%台であり、低学年においては、学年配当漢字の大体を読んだり書いたりすることができる。
- (4) 3年生以上6年生の漢字の読みの習得率は、90%前後を維持しつつ、緩やかに下降する。しかし、6年生においても88%程度の習得率であり、読みにおいては学力低下という心配は見られない。しかし、書くことにおいては4年生を境に急激に習得率が低下する。
- (5) 読みと書きの比較を学年ごとに見ると、高学年ほどその違いが大きくなる傾向にある。即ち、高学年では書きの平均習得率は、読みの平均習得率の約7割の大きさである。

イ. 読むことと書くことの習得の実態から考えられること

平成元年版の小学校学習指導要領では、各学年の配当漢字習得のめやすを、「その学年に配当されている漢字を主として、それらの漢字を読み、その大体を書くこと」と明示されている。このことは漢字を読む能力と漢字を書く能力とは別のものであるという認識である。したがって、学年ごとに配当されている漢字は原則として当該学年で指導することとするが、子どもたちの学習負担が過重にならないように、必要に応じて1学年前（振り仮名をつけて提出）または1学年後の学年において指導することもできるようにした。

この学習指導要領の指摘は極めて妥当であり、今回の調査から、特に4年生以上において、漢字を書くことの能力は当該学年に配当されている漢字の60%程度の習得率であることを直視したい。

以下、実態調査から考えられる問題について述べる。

- (1) 漢字を読む能力と書く能力は、各学年とも差がある。これは、漢字を読む能力と漢字を書く能力とは違う能力であることを示している。
- (2) 漢字を書くことは、一般的に難しい。漢字の筆写の際には、字画の長短、方向、付ける離す、止める払うなどに注意して書かなければならない。それぞれについて許容される書き方は認められているけれども、実際の指導においては、学習指導要領に示された標準字体をかたくなに守ろうとする傾向がある。
- (3) 漢字には一点一画をおろそかにしてはいけない厳しい原則と、一点一画はどうでもよいという相反した原則から成り立っている。例えば、「大・太・犬」「天・夫」「未・末」のように僅かな違いで全く意味の違った別の漢字になる。一方、「毎・海」はもと母であり、「抜・者」にはそれぞれ友の右肩、日の上に点があった。付けるか離すか、払うか止めるかに関する漢字にも許容の例が多くある。実際に書くときには、「少・歩・妙」の縦画をはねなくても許容される。こうしたことが複雑にからみ合って、漢字の学習を困難にしたり、いい加減なものにしている。
- (4) 漢字の読むことと書くことの指導は、今までは同時に行っている。教科書に新しい漢字が出てくると、まずその漢字の読みを教え、次にその意味を教える。また、ノートに書いたり作文に使ったりするために筆順を教える。同時に点画の注意を加え、字形をしっかり覚えさせる。さらに書き方を徹底するために漢字テストを行う。機械的にノートやドリル帳に書かせ、漢字テストを繰り返すことによって読み書き同時に習得させようとする。そのような努力にも関わらず、高学年にいくにしたがって、漢字を書く力は依然として習得が不十分なままである。
- (5) 今回の漢字習得の実態調査でも明らかなように、低学年の読み書きの習得率はきわめてよい。

各学年とも読みの習得率は高いが、書きの習得率は低く、両者の間にかなり開きがある。読みの習得率は学年が進んでも余り下降しないが、書きの習得率は3・4年生ごろから急激に下降し始める。漢字の指導法が機械的であり、漢字ぎらいの子どもを増やしているという指摘がある。これからの漢字指導は、児童・生徒の実態をもとに、新しい学習指導要領で明示された「当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること」を生かした読み書きの分離した適切な指導法の開発が必要である。

2. 漢字の平均習得率の算出の仕方

ア. 漢字習得調査は音訓合わせて1759字を調査した

学年別配当漢字は、小学校・学習指導要領に別表として提示されている1006字である。これは新学習指導要領でも変わらない。内訳は、第1学年80字、第2学年160字、第3学年200字、第4学年200字、第5学年185字、第6学年181字である。配当漢字の字種は1006字であるが、音・訓読みを合わせると2倍近くの1759字になる。

漢字を正確に書くためには字形や筆順、組み立て、偏や旁も正確に認知し、記憶する必要がある。作文等で漢字を使うには送り仮名や、初と始、付と着のように漢字の使い分けも考えなければならない。漢字の習得率が問題になるが、このように漢字を読む、書く、使うとなると、漢字のもつ意味も正確に理解する必要がある、漢字の学習は児童・生徒にとってかなり困難な学習になっている。

第1学年配当漢字の「下」という漢字は、各学年の教科書に提出されており、習得調査の結果、読みの正答率、書きの正答率及び誤答率・無答率、書きの誤答例は、次のようになっている。

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主 な 誤 答 例		
下	カ (4)	下級生	87.6	67.8	21.7	10.5	仮	低	化
	ゲ (5)	教科書の下巻	78.0	89.5	10.2	0.3	毛	手	外
	した	下を見る	98.5	97.5	0.9	1.6	上	才	下
	しも (3)	川下にむかう	47.0	61.7	31.4	6.9	霜	雲	島
	さーがる (3)	ねだんが下がる	93.2	83.3	13.1	3.6	差	才	才
	くだーる (3)	川を下る	84.6	74.6	21.1	4.3	実	学	下
	おーりる	かいだんを下りる	81.5	84.2	4.0	11.8	夕	小	上

イ. 教科書を特定して習得調査をした

第1学年配当漢字「下」は、1年の教科書では「した、おーりる」と読ませ提出している。その他の音訓は1年では提出していない。3年の教科書では「しも、さーがる、くだーる」と出し、4年生では「カ」、5年生では「ゲ」という音読みが提出され、「下」という漢字の7通りの音訓読みは、このように1・3・4・5年にまたがって提出されている。1年の配当漢字は、1年の教科書に必ず提出して学習することは学習指導要領で決められている。しかし、その音訓読みは教科書によって児童の発達や実態等に応じて提出されることになっている。1年生に「下級生」や「川下にむかう」の読み、「教科書の下巻を開く」という熟語や文脈では理解が難しいのは言うまでもない。

このように今回の習得調査は、光村図書の教科書を使用している児童・生徒を対象に調査した。各学年に提出した漢字の音訓は(例え下学年の配当漢字であっても)、その学年で調査した。つまり、「下」の習得調査は、1年・3年・4年・5年に、それぞれ該当する読みと書きの問題を作成して調査した。こうした調査結果が、次のページの「習得調査の対象漢字数と漢字の平均習得率」である。

例えば、第2学年では「引、羽、雲、園、遠」など160字の配当漢字の教科書に出ている音訓読みと、下学年である第1学年の19字の読み書き、合わせて232字の習得状況を調査した。学年別配当漢字1006字の習得状況の結果は、「漢字習得調査結果の概要(学年別配当漢字五十音順一覧表)」に具体的に記した。

ウ. 習得調査の対象漢字数と平均習得率

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
配当漢字数	80字	160字	200字	200字	185字	181字	1006字
調査漢字数	118字	232字	304字	362字	350字	393字	1759字
学年配当漢字の習得率	118字 92.4% 91.7%	213字 94.6% 81.5%	243字 94.0% 69.8%	248字 93.3% 63.5%	237字 91.0% 60.2%	257字 91.0% 63.1%	1316字 92.7% 71.6%
1 年配当漢字の習得率		19字 84.1% 79.2%	21字 83.8% 74.6%	21字 86.2% 71.9%	13字 92.2% 82.6%	10字 75.0% 68.1%	84字 84.3% 75.3%
2 年配当漢字の習得率			40字 84.3% 72.2%	46字 80.4% 73.3%	25字 80.3% 57.5%	18字 77.4% 66.4%	129字 80.6% 67.4%
3 年配当漢字の習得率	習得調査の対象漢字数と 平均習得率 上段 漢字の数 中段 読みの習得率 下段 書きの習得率			47字 81.9% 56.2%	39字 89.0% 65.9%	31字 86.6% 68.5%	117字 85.8% 63.5%
4 年配当漢字の習得率					36字 88.9% 59.7%	38字 85.0% 61.5%	73字 87.5% 60.6%
5 年配当漢字の習得率						39字 82.2% 51.2%	39字 82.2% 51.2%
	◇縦の学年は、下学年提出の音訓習得率を表す						

エ. 学年の配当漢字と下学年の音訓読みについて調査した

例えば、第3学年では「悪、安、暗、医、委」など200字の配当漢字の音訓合わせて243字の他に、1年配当漢字21字、2年配当漢字40字の音訓読みを学習しているので、それらの漢字について3年生で調査した。即ち、1年の「金（ゴン）、口（コウ）、小（お）」などの読みは3年生で学習するので1年生の配当漢字であるが3年生で調査した。また、2年の「家（カ、ヤ）、外（はずーれる）、元（もと）」などの読みも3年生で提出され、学習したので3年生で調査をした。

同じように、4年生では配当漢字200字の音訓合わせて362通りを調査した。その内訳は1年配当漢字21字、2年配当漢字46字、3年配当漢字47字である。

以下、6年生では配当漢字181字の読み・書きだけではなく、下学年の配当漢字を1年漢字では10字「玉（ギョク）、口（ク）」等、2年漢字では18字「夏（カ）、顔（ガン）」等、3年漢字では31字「暗（アン）、泳（エイ）」等、4年漢字では38字「位（くらい）、芽（ガ）」等、5年漢字では39字「永（ながーい）、営（エイ）」等の漢字の読み・書きの習得状況を調査した。

上記の表では、それぞれの漢字について、習得率を枠の中に読みを上段、書きを下段に記入した。それらをすべて平均して出したものが7ページに示した「学年別配当漢字の平均習得率」である。

以下、「読み」の調査における正答率の状況及び「書き」の調査による正答率・無答率・誤答率について、調査結果とその分析及び考察について述べる。

Ⅱ. 読むことの習得調査の結果の状況

1. 学年別配当漢字の読みの状況

第3学年の配当漢字について、例えば、「暗（くら－い）」について「暗い夜道を歩く」のように調査する漢字を含む問題文を提示し、その読みを書かせ、正しく読みがなを付けたものを正答として記録し、正答率を出した。その漢字が言葉や文の中で読むことができた場合は、その漢字が習得されているとみなした。このように、読みの全体的な平均習得率は、次のようになった。

◇「読み」の調査漢字数と習得率

	配当漢字	調査字数	習得率		配当漢字	調査字数	習得率
第1学年	80字	118字	92.4%	第4学年	200字	363字	89.7%
第2学年	160字	232字	94.1%	第5学年	185字	350字	89.9%
第3学年	200字	304字	92.0%	第6学年	181字	392字	88.2%

◇全学年合計の配当漢字は1006字、調査字数は1759字、平均習得率は91.1%

ア. 漢字を読む能力の習得率は全学年平均約90%である

この調査結果を見ると、読みの習得率は、1・2・3年生では92.0%から94.1%である。低学年では、漢字を読む能力は9割以上であり、その習得率はきわめて良好である。また、4・5・6年生においても低学年に比べやや低調になるが、その平均習得率は88.2%から89.9%であり、高学年も9割近くの漢字を読む能力がある。

1年生や2年生の段階では、配当漢字はまだ少なく、提出される漢字も漢数字や象形文字を中心に字画が簡単で読みやすく書きやすい漢字、学校生活や日常生活に密着した漢字が多い。また、指導時間数も余裕があり、児童の漢字学習に対する興味・関心も高い。これが高学年になると、前学年から持ち越しの負担量が重なり、さらに多くの新出漢字が加わり、熟語を中心とした音読み漢字も増えて受入れ能力を越すことになる。

しかし、読む能力に限ってはどの学年も平均習得率は90%程度あり、学習指導要領が示す学年別配当漢字1006字の読みは、現場での適切な指導と相まって、ほぼ完全習得できていると言える。

漢字を正しく読み、また、読み分ける能力は、これからの高度情報化時代を迎え、様々な情報を的確に受信・発信する際に必要な能力になるので、漢字を読むことは一層重視する必要がある。

イ. 読みやすい漢字と読みにくい漢字がある

漢字の読みの習得調査の結果、どの児童・生徒も平均して90%程度を読む能力があることが明らかになった。しかし、例えば、1年生の配当漢字80字の音訓合わせて118字数の読みにおいて、どの児童も読むことができる漢字、また、逆に、読めない、読むことが困難な漢字がある。そこで、どのような漢字が読めるのか、また、読めないかについて調査の結果を分析する。

漢字が読めない、読むことに抵抗がある漢字は、習得調査では、誤答・無答率の高い漢字である。

どの漢字が読みやすいか、また、どの漢字が読むことに抵抗があるのかについて、その学年で学習した漢字（1317字）に限って分析した。なお、2年生以上は、当該学年の配当漢字とともに、下学年の漢字の音訓も学習している。例えば、3年生では、第3学年配当漢字の音訓243字の他に、下学年である2年生の配当漢字21字、1年生の配当漢字40字の音訓を学習している。

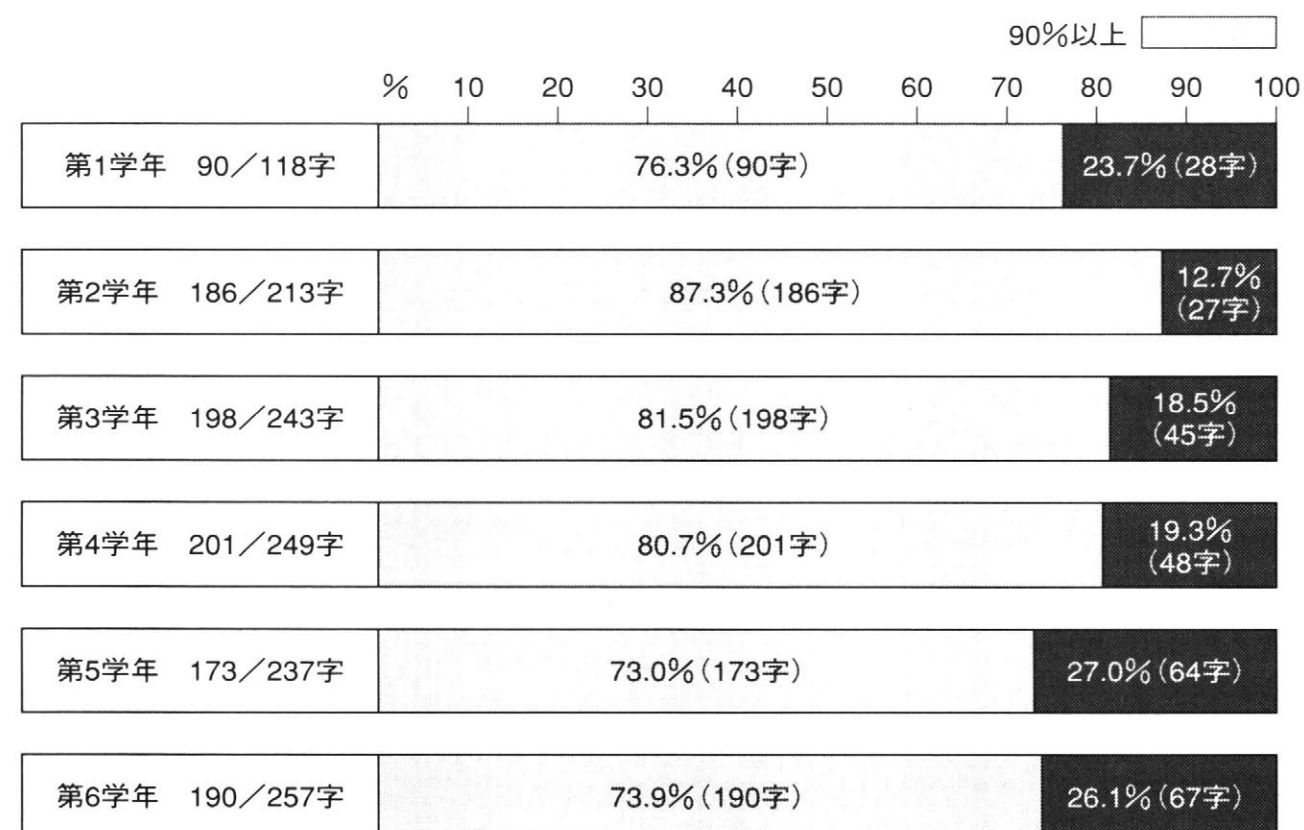
調査では、下学年の配当漢字の音訓読みについては特別に考察する必要があると考えるので、この調査結果の分析には、配当学年の読みに限ってみた。習得調査の基礎になるのは次の漢字数である。

◇読みやすい漢字とそうでない漢字の調査対象漢字

学 年	配当漢字	調査字数	音読み 訓読み	学 年	配当漢字	調査字数	音読み 訓読み
第1学年	80字	118字	(41 、 77)	第4学年	200字	249字	(162 、 87)
第2学年	160字	213字	(82 、 131)	第5学年	185字	237字	(168 、 69)
第3学年	200字	243字	(122 、 121)	第6学年	181字	257字	(169 、 88)
全学年 配当漢字1006字、調査字数1317字（音読み744字、訓読み573字）							

ウ. 各学年の90%以上の習得漢字とその他の漢字の比率

各学年の配当漢字について、その学年で学習する読みのうち、90%以上読むことができた漢字とそうでない漢字についての比較である。



エ. 各学年の読みの習得率が80%台以下の漢字一覧

各漢字の習得状況については、調査結果の一覧表を見ていただきたいが、ここでは習得率80%台以下の漢字について学年別の一覧表を作成した。

習得率の低いものは、読めない、読むことに抵抗がある漢字であると言える。第1学年配当漢字では27字（音読み8字、訓読み19字）、第2学年では27字（音読み12字、訓読み15字）、第3学年では45字（音読み16字・訓読み29字）、第4学年では47字（音読み35字、訓読み12字）、第5学年では64字（音読み35字、訓読み29字）、第6学年では67字（音読み38字、訓読み29字）、合計278字（音読み145字、訓読み133字）の漢字である。

◇第1学年（読みの習得率が80%台以下の漢字、27字）

80%台	一（イツ）、九（キュウ）、大（ダイ）、入（ニュウ）、正（ショウ）／ 下（おーりる）、九（ここのーつ）、草（くさ）、 足（あし）、日（か）、入（いーる）、入（はいーる）、七（なの）、 十（とお）、小（こ）、上（あーがる）	(17)
70%台	五（いつーつ）、三（みっーつ）、四（よっーつ）、六（むい）	(4)
60%台	四（シ）、七（シチ）／八（やっーつ）、木（こ）、六（むっーつ）	(5)
50%台	三（み）	(1)
40%台	十（ジッ）	(1)

◇第2学年（読みの習得率が80%台以下の漢字、27字）

80%台	家（ケ）、画（カク）、後（ゴ）、行（ギョウ）、矢（や）、心（シン）、 親（シン）、太（タ）、夜（ヤ）／ 間（あいだ）、間（ま）、教（おしーえる）、教（おそーわる）、 細（ほそーい）、姉（あね）、麦（むぎ）、妹（いもうと）	(17)
70%台	話（ワ）／ 弓（ゆみ）、語（かたーる）、交（まじーわる）、 市（いち）、通（かよーう）	(6)
60%台	頭（トウ）、来（ライ）、楽（ラク）／後（あと）	(4)

◇第3学年（読みの習得率が80%台以下の漢字、45字）

80%台	意（イ）、銀（ギン）、区（ク）、係（ケイ）、県（ケン）、幸（コウ）、次（ジ） 住（ジュウ）、談（ダン）、都（ト）、童（ドウ）、配（ハイ）、役（ヤク）、 流（リュウ）、／ 開（ひらーく）、岸（きし）、去（さーる）、 苦（にがーい）、湖（みずうみ）、根（ね）、写（うつーす）、者（もの）、 拾（ひろーう）、重（かさーねる）、真（ま）、全（まったーく）、送（おくーる） 待（まーつ）、短（みじかーい）、柱（はしら）、美（うつくーしい）、 表（おもて）、表（あらわーす）、品（しな）、平（たいら）、味（あじ）	(36)
------	--	------

70%台	軽（ケイ）、湯（トウ）／ 温（あたた－める）、宮（みや）、指（さ－す）、植（う－える）、 炭（すみ）、着（つ－く）	（8）
60%台	酒（さか）	（1）

◇第4学年（読みの習得率が80%台以下の漢字、47字）

80%台	衣（イ）、囲（イ）、貸（カ）、害（ガイ）、共（キョウ）、芸（ゲイ）、欠（ケツ） 航（コウ）、刷（サツ）、臣（ジン）、省（ショウ）、折（セツ）、達（タツ）、 腸（チョウ）、徒（ト）、夫（フウ）、付（フ）、府（フ）、民（ミン）、 要（ヨウ）、養（ヨウ）、令（レイ）／ 祝（いわ－う）、省（はぶ－く）、働（はたら－く）、望（のぞ－む）、 勇（いさ－ましい）	（27）
70%台	改（カイ）、拳（キョ）、郡（グン）、告（コク）、昨（サク）、治（チ）、 象（ショウ）、熱（ネツ）、敗（ハイ）、無（ブ）、良（リョウ）／ 型（かた）、末（すえ）、例（たと－える）	（14）
60%台	覚（カク）、借（シャク）／ 関（せき）、説（と－く）、得（え－る）	（5）
40%台	改（あらた－める）	（1）

◇第5学年（読みの習得率が80%台以下の漢字、64字）

80%台	圧（アツ）、益（エキ）、価（カ）、河（ガ）、快（カイ）、幹（みき）、 久（キユウ）、旧（キユウ）、境（キョウ）、潔（ケツ）、限（ゲン）、 耕（コウ）興（キョウ）、雑（ゾウ）、修（シュウ）、証（ショウ）、 情（ジョウ）、織（シキ）、測（ソク）、独（ドク）、破（ハ）、版（ハン）、 布（フ）、富（フ）、領（リョウ）／ 移（うつ－る）、仮（かり）、居（い－る）、群（むら－がる）耕（たがや－す）、 混（ま－じる）、示（しめ－す）、測（はか－る）、率（ひき－いる）、 築（きず－く）、導（みちび－く）、破（やぶ－れる）、俵（たわら）、 布（ぬの）、編（あ－む）、綿（わた）	（41）
70%台	過（カ）、承（ショウ）、銭（セン）、退（タイ）／ 採（と－る）、在（あ－る） 絶（た－える）、断（ことわ－る）、務（つと－める）	（9）
60%台	居（キョ）、属（ゾク）／ 営（いとな－む）、快（こころよ－い）、志（こころざし）、 志（こころざ－す）、設（もう－ける）、退（しりぞ－く）	（8）
50%台	武（ム）、預（ヨ）／ 境（さかい）	（3）
40%台	豊（ホウ）／ 肥（こ－やす）	（2）
30%台	易（イ）	（1）

◇第6学年（読みの習得率が80%台以下の漢字、67字）

80%台	異（イ）、延（エン）、沿（エン）、揮（キ）、供（キョウ）、勤（キン）、 后（コウ）、皇（コウ）、鋼（コウ）、穀（コク）、至（シ）、私（シ）、 縦（ジュウ）、署（ショ）、傷（ショウ）、創（ソウ）、討（トウ）、党（トウ） 派（ハ）、拝（ハイ）、批（ヒ）、訳（ヤク） / 我（われ）、疑（うたがーう）、激（はげーしい）、絹（きぬ）、誤（あやまーる） 刻（きざーむ）、裁（さばーく）、蚕（かいこ）、至（いたーる）、 従（したがーう）、垂（たーれる）、善（よーい）、頂（いただーく）、 難（むずかーしい）、納（おさーめる）、並（なみ）、補（おぎなーう） 乱（みだーれる） (40)
70%台	革（カク）、卷（カン）、胸（キョウ）、厳（ゲン）、尺（シャク）、誠（セイ）、 潮（チョウ）、賃（チン） / 降（ふーる）、済（すーます）、 収（おさーまる）、尊（とうとーい）、拝（おがーむ） (13)
60%台	善（ゼン）、模（ボ） / 供（そなーえる）、敬（うやまーう）、射（いーる） (5)
50%台	窓（ソウ）、著（チョ） / 沿（そーう） (3)
40%台	干（カン）、納（ノウ） (2)
30%台	奮（ふるーう） (1)
20%台	蚕（サン）、従（ジュウ） / 私（わたくし） (3)

オ. 読みにくい漢字、読むことに抵抗があるのはどんな漢字か

（１）１年生は漢数字が読めない

１年生が読みにくい漢字は、ほとんどが漢数字である。１年の国語教科書では、一般的に漢数字をはじめ字形が分かりやすく、画数が少ない象形文字や、学校生活に関係のある使用頻度が高い漢字、また、漢字構成上へんやつくりになる基本的な漢字、早く漢字として教えておく方がよいものなどを一応の基準として提出している。その中で、漢数字の読み方がいちばん難しいという結果が出た。

光村図書の教科書にも「かずとかんじ」として、１年上巻に次のように提出してある。

一	いち	(いっ)	ひとつ	六	ろく	(ろっ)	むっつ
二	に		ふたつ	七	しち	なな	ななつ
三	さん		みっつ	八	はち	(はっ)	やっつ
四	し	よん	(よ) よっつ	九	きゅう	く	このつ
五	ご		いっつ	十	じゅう	じっ	とお

漢数字ひとつの読み方が、このように音訓合わせて3、4通りもあるわけであるから、習得に時間がかかるのは当然である。例えば、「三」は（サン、み、みっつ）の読みを１年生で調査したが、「三日月」の（み）の読みが52%の習得率で、読みにくい漢字であった。

「十」の読みについて、習得調査では「十かいはいした」という文脈で提出したが、「ジッ」が、「ジュウ」と読む誤りがいちばん多かった。１年生の学習において、「ジュウ」と「ジッ」の発音の区別は、実際の学習の場で多く経験させなければ定着しない。「ジッ」は「ジュウ」の入音声Pの変化したもので、例えば、「十回、十本、十銭、十中八九」などは「ジッ」と読むことに対し、「十五夜、九十、十

月、十文字、十人十色」等は「ジュウ」と読むのが正しい。

一般に、「ジツ」と「ジュウ」の発音は互いに許容されるところがあり、両方通用していると言える。三省堂「新明解」でも、「十戒」は「ジツカイ」が正しいが、「ジュツカイ」でも通用するとしている。いずれにしても、本調査で最も習得率が低かった「十」の読み方を、具体的な場を通して指導する必要がある。

「七」は、「七五三のちとせあめ」と出題して（シチ）と読ませたが、（ヒ）と（シ）の発音の区別が十分でない一年生の実態があり、また、六（むっ-つ）、八（やっ-つ）などは声に出して読むことはできるが、促音の表記が難しいところに原因があったと考えられる。

一般的に、漢数字の読み方は高学年になっても読み誤りやすいものであるから、1年生の段階では学習を繰り返すことによって読みに慣れる指導が大切である。読みにくい字や読み誤りやすい字は、書くことの指導と同じように2学年を通して時間をかけて指導したい。

（2）2・3年生は訓読みが難しく、読めない

2年生の漢字で習得率が比較的低かったのは、訓読みの漢字が多かった。例えば、「後（あと）」「楽（たの）」「語る」「交わる」「通う」など幾通りかの読み方がある漢字である。しかし、2年生では読みの習得率が50%以下の漢字がなく、比較的安定した習得状況である。

3年生でも2年生と同様に、音読みよりも訓読みの漢字が読み誤りやすい。訓読みは意味を表すわけであるから教科書では低学年に多く提出されている。これが4年生以上になると音読みの提出が多くなるので、当然音読みの漢字が読み誤りやすくなる。

訓読みの漢字で読み誤りやすい漢字は、3年生では、「温める」「指す」「植える」「着く」などであり、また「宮（みや）」「炭（すみ）」など子どもたちの生活と余り結びつかない漢字は目につかないだけに読むことが難しい。

3年生で最も習得率が低かったのは「酒屋（さかや）」の読みであった。誤答の多くは（さけや）と読んでいる。また、4年生の訓読みで最も習得率が低かったのは、「改める」（46、4%）の読みである。こうした読みは誤答の種類も多く、この場合も送りがなの「める」から推測し、（き-める、もと-める、やす-める）などと不確かな読みをしている。

習得率の低い漢字の読みは、実態調査で明らかになったので、これらの読み誤りやすい漢字を中心に指導することが大切である。

（3）高学年では生活から離れた漢字、抽象語などが読めない

4年生では、熟語として出される漢字のうち、日常生活から離れた社会的な語いを多く学習する。その中でも、「改良」「選挙」「広告」「気象」「敗北」「感覚」「借金」などは読むことに抵抗がある漢字である。「郡」については、「県と郡」として出題したが、地域の単位としての「郡」は、現在は少なくなっており、日常的に読み書きすることが少ないためであろう。

5年・6年生の読みでは、ほとんど読むことができる90%以上習得率のある漢字が、4年生以下に比べて20%程度低くなっている。一覧表に見られるように、習得率の幅も他学年と比べて下位は20～30%まであり、全体的に習得率のバラツキが大きい。

音読みで習得率が低かったのは、5年生では「居（住居）」「属（金属製）」「武（武者修行）」「預（預金）」「豊（豊作）」「容（容易）」等であり、6年生では「窓（車窓）」「著（著者）」「干（干満）」「納（納入）」「蚕（養蚕）」「従（従事）」等であった。このように、音読みの漢字では画数が多い漢字などとともに、学校生活や日常生活から離れた、普段に読んだり書いたりすることが少ない漢字が目立つ。

(4) 6年生では、「従」「蚕」の漢字が読めない

6年生で最も習得率が低かったのは、「従(ジュウ)」の読みである。正答が21、0%で、無答が3割近く、誤答も5割近かった。教科書では、「従業員、従来」として提出されているが、習得調査では、「仕事に従事する」の文脈で出題した。従事するとは、その仕事を行うという意味であり、分かりやすい表現であると考えたが、「仕事に従事する」は、「仕事をする」と今では平易な表現が一般的に行われており、6年生の実態としては読むことに抵抗があったと考えられる。

一方、「従う」という訓読みは、81、8%の高い習得率であり、「従事する」という意味の取り方が難しかったと察せられる。

次いで6年生で習得率が低かった「蚕(サン)」の音読みは、「蚕(かいこ)」の訓読みが習得率85、3%あったにも関わらず、出題した「養蚕農家」の意味は、今の子どもたちにとって余り見たことも経験したこともない、馴染みのない言葉であると言っていいかもしれない。

高学年でも、訓読みの漢字は相変わらず読み間違いが多かった。読みの習得率60%以下の漢字で5年生では、「営む」「快い」「志す」「設ける」「退く」「肥やす」、6年生では「供える」「敬う」「射る」「沿う」「奮う」などが特に読み誤りやすい漢字である。

(5) 「私」は正しくは、「わたくし」と読む

6年生で最も読み間違えたのは、「私(わたくし)」の読みである。書くことは易しい漢字であるが、読みの習得率は20%であった。正答は「わたくし」であり、圧倒的な誤答は「わたし」であった。漢字として日常的によく使われ、理解されている漢字であるが、多くの児童が読んでいたのは、「わたし」という読みである。

世間で一般的に使われている「わたし」は、正しい読みの「わたくし」の音変化したものであり、「わたくし」よりもややくだけた言い方である。現代では、自分のことを指す最も一般的な語であり、男女とも同じように用いている。したがって、漢字の「私」は、「わたくし」「わたし」と読んでも一向差し支えない状況になっている。

このように、「私」は「わたし」と読むことができるということは、「私」の漢字を半ば理解しているわけで、正しい読み方に至る学習の過程があるとすれば、無答には点が一切与えられないが、「わたし」の場合、半分程度点を与えてもいいと思われる。まさに学習は過程である。

カ. 漢字の訓読みのほうが音読みよりも読むことが難しい

配当漢字のなかで音読みと訓読みの漢字の数を比べてみると、1・2年生では訓読みの方が音読みよりもかなり多い。3年生になると音読み・訓読み漢字が同数程度となり、4年生以上になると音読みの漢字が訓読みの漢字の倍以上に増える。これは高学年になると、言語生活が広がり、抽象的な内容の熟語が急激に増えてくるためである。

漢字が伝来した当時の日本人は、おそらく漢字をすべて音読していたものと思われる。その音読みに対し、漢字が我が国に伝えられる以前から使っていた日本人の言葉は、やがて意味の合致するものは訓読みにされ、今日のように音訓合わせて読まれている。いずれにしても音訓のそれぞれの機能を生かしながら漢字を読み、書き、適切に使っていく必要がある。

2. 音読みと訓読みの習得状況の比較

漢字の音読みと訓読みの習得率を比較検討して、どちらが習得に問題があるか分析した。ここでは各学年の訓読みで習得率が低かった漢字を取り上げ、音読みの漢字の習得率と比較した。

◇読むことの音読みと訓読みの習得率の比較

学年	漢字	訓読み	習得率	音読み	習得率
1 年	三	三（み）日月	52.2%	三（サン）さつの本	97.2%
	木	すずしい木（こ）かげ	60.9%	木（モク）よう日	92.9%
	六	みかんが六（むっ）つ	61.5%	六（ロク）さいのいもうと	94.5%
2 年	後	後（あと）につづく	61.5%	いちばんさい後（ご）	80.8%
	楽	学校に通（かよ）う	78.9%	交通（ツウ）あんぜん	96.3%
	交	線が交（まじ）わる	73.0%	交（コウ）通あんぜん	98.2%
3 年	酒	酒（さか）屋に行く	62.4%	日本酒（シュ）を飲む	90.7%
	着	学校に着（つ）く	75.1%	空港に着（チャク）陸する	94.2%
	指	ゆびで指（さ）す	79.9%	指（シ）定席	92.9%
4 年	改	心を改（あらた）める	46.4%	品種を改（カイ）良する	79.0%
	得	たしかに心得（え）た	61.6%	得（トク）意な料理	97.4%
	説	命の尊さを説（と）く	68.7%	説（セツ）明書を読む	96.2%
5 年	肥	土地を肥（こ）やす	43.5%	肥（ヒ）料をまく	98.9%
	設	委員会を設（もう）ける	64.5%	設（セツ）計図をかく	95.7%
	快	快（こころよ）い風	65.2%	快（カイ）晴の空	86.6%
6 年	奮	勇気を奮（ふる）う	36.0%	思わず興奮（フン）する	94.2%
	沿	線路に沿（そ）った道	53.0%	日本海沿（エン）岸	80.3%
	敬	目上の人を敬（うやま）う	60.8%	父を尊敬（ケイ）する	97.3%

ア. 明らかに訓読みのほうが読むことが難しい

この表では各学年とも訓読みでは最も習得率が低かった漢字を挙げたが、いずれも音読みでは80%以上（改良だけ79%）の習得率であり、明らかに訓読みの方が読むことに抵抗があることを示している。音読みでは熟語として理解できるのに対して、訓読みでは漢字一字の読みであり、短文から類推して読むことは難しい。したがって、当てずっぽうに読んだりして誤答が多い。また、誤答の種類も多いのが実態である。

漢字は本来、音読みとして伝来したものを日本語として意味のある読みにしたものであるから、その漢字の意味を正しくとらえないと読むことが難しい。漢字の語源や成り立ちなどを児童・生徒の興味や関心を喚起させながら理解させ、確実に指導することが大切である。

3. 読み替え漢字の習得の状況

ア. 読み替え漢字はどのように提出されているか

読みの習得調査において、その学年の漢字ではなく下学年の配当漢字であるが、教科書では上学年で出す、いわゆる読み替え漢字についても、すべてを調査した。教科書では、○新出漢字、●読み替え漢字などとして提出するものである。

漢字を使用する上の複雑さは、その数が多いばかりではなく、その読み方の多様さにある。したがって、昭和48年に国語審議会の答申にもとづいて新しい「当用漢字音訓表」が告示された際、文部省は大幅に増えた音訓を学校教育でどのように指導するかについて、協力者会議を設けて審議した。その結果、全音訓について、小学校で学習するのを適当とするもの、中学校で学習するのを適当とするもの、高校で学習するのを適当とするものの3段階に分けた。この学習段階区分は、教科書協会に内示され、昭和52年度以降の教科書はこれにもとづいて編修されている。さらに、平成3年に文部省より「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」が改めて示された。

小学校段階で学習するのに適当な漢字の音訓については、教科書での提出の時期は、音訓の難易度や学年発達の程度等によって、教科書の編修方針もあり、必ずしも一致していない。

本来、漢字の読み方は、その漢字が新しく提出されたときに小学校段階のものはできるだけ児童に伝える、教えることが必要であるという考えがある。しかし、その音訓をその学年で完全習得するという考えではなく、学年を超えて繰り返し学習し、習熟を図ることが大切である。

イ. 各学年における読み替え漢字の習得状況

下学年の漢字の読みがどの程度習得されているかについて、ここでは80%台以下の音訓について一覧にした。この分析を通して、課題について考えたい。

◇第2学年の読み替え漢字の習得率の状況

〔第1学年配当漢字19字、平均習得率88.8%〕

80%台	右(ユウ)、左(サ) / 金(かな)、空(あ-く)、先(さき)、年(とし)
70%台	音(ね)、土(ト)、手(シュ)

(1) 2年生の読み替え漢字の習得率は最も安定している

2年生段階で学習した1年配当漢字の学習は、読み替え漢字は字種が14、音訓19通りの読みである。どの漢字の読みも70%以上の習得率であり、特に習得の状況について問題は見当たらない。

2年生で学習した学年配当漢字の習得率も60%以下の漢字はなかったことも考えると、2年段階の漢字の読みは最も安定していると言っていい。この学年は学校生活も安定し、学習に対する関心・意欲も旺盛になる学年であり、言語生活が広がり、言語活動は一層発達する時期でもある。

◇第3学年の読み替え漢字の習得率の状況

〔第1学年配当漢字21字、平均習得率83.8%〕

80%台	金(ゴン)、生(ショウ)、文(モン) / 下(くだ-る)、小(お)
70%台	日(ジツ)
60%台	石(シャク) / 上(かみ)、上(のぼ-る)、下(しも)

〔第2学年配当漢字40字、平均習得率84.3%〕

80%台	家（や）、近（キン）、同（ドウ）、読（ドク）、北（ホク）／ 細（こまーかい）、数（かぞーえる）、明（あきーらか）
70%台	元（ガン）、行（コウ）、市（シ）、直（ジキ）
60%台	合（ゴウ）／外（はずーれる）、魚（うお）、用（もちーいる）
60%以下	昼（チュウ）56.6%、羽（は）54.2%／作（サ）48.8%　／行（ゆ）＜28.0%

（2）「川上・川下」「じ石」「動作」「行く手」が読めない

1年配当漢字で習得率が低かったのは「上」（カミ、のぼーる）の読みである。1年では（あーがる、うえ）と読み、3年では（ジョウ、かみ、のーぼる）の読みを学習し、「上」の漢字は音訓5つを読み分ける能力が必要である。既習の読みが十分身につけていないと新しく学習する読みは正しく理解できない。同じように「川下」（しも）の読みが、1年配当漢字の中で最も習得率が低かった。

「石」は（じ石で遊ぶ）と出したが、これが読めなかった。磁石と出したいところであるが、「磁」は6年字であるため（じ石）と平がな混じりで出したが、意味がつかめないと読めない。

2年配当漢字で50%以下の習得率の漢字は、「動作」と「行く手」であった。「作文」「作る」は読めるが、「作（サ）」とは読めない。「行く手」は、「行き先」「行く末」などの読みと同じく（ゆーく）が正答であるが、誤答は「いーく」が圧倒的に多かった。（いーく）は（ゆーく）の口語形であって、こうした読みを混同しないように指導することが必要である。

◇第4学年の読み替え漢字の習得率の状況

〔第1学年配当漢字46字、平均習得率86.2%〕

80%台	下（カ）、久（キュウ）
70%台	気（ケ）、赤（セキ）
70%以下	木（ボク）64.8%　／　早（ソウ）55.0%　／　村（ソン）43.4%

〔第2学年配当漢字40字、平均習得率80.4%〕

80%台	古（コ）、弱（ジャク）、朝（チョウ）、刀（トウ）、頭（ズ）、売（バイ） 母（ボ）、毛（モウ）
70%台	帰（キ）、言（ゲン）、考（コウ）、合（カッ）、声（セイ）、父（フ）／ 角（かど）、行（おこなーう）、自（みずかーら）
50%台	引（イン）、寺（ジ）、雪（セツ）／親（したーしい）
40%台	分（ブ）
40%以下	春（シュン）39.1%、読（トウ）34.8%　／　明（ミョウ）23.1%

4年生になると、下学年の配当漢字は特別な読み方でなければ問題なく読むことができる。しかし中には読み誤りやすい漢字も目立つ。1年配当漢字「木（キ）」は、（モク、き、こ）を1年で学習するが、4年で「木刀（ぼくとう）」と読み替えて提出される。「早春」「農村」は読むことに抵抗があり、また「赤い」「元気」は読めるが、「赤道」「秋の気配」は読めない。

〔第3学年配当漢字47字、平均習得率81.9%〕

80%台	実（ジツ）、進（シン）、代（よ）、波（ハ）、皮（ヒ）、悲（ヒ）、 薬（ヤク）、落（ラク）／配（くばーる）、間（とーい）
70%台	飲（イン）、屋（オク）／有（あーる）
60%台	宮（キュウ）、苦（ク）、受（ジュ）、都（ツ）、筆（ヒツ）、羊（ヨウ） 反（そーらす）、宿（やどーる）
60%以下	宿（やど）59.9%、緑（リョク）51.2% ／ 息（ソク）45.6% ／ 負（フ）16.6%

（3）「けがで負しようする」「句読点」「一わり二分」が読めない

第4学年の読み替え漢字では、2年配当漢字が平均的に習得率が低い。50%以下では、「一わり二分」「春分」「句読点」「明朝」の正答ができていなかった。誤答が多かったのは「一わり二分」「シュウ分」「ドク点」「メイ朝」である。「一わり二分」は、「割」が6年字のため使えないので、分数の意味が分からなければ難しい。「春分」では春分と秋分の区別がつかなかったり、「はる分」や「セツ分」などの既習の読みや類推で読んでいる。「読」は（ドク、トク、トウ）の3音があり、読みの区別が4年生にとっては難しい。「明」の読みでは（メイ、ミョウ、あーかり、あかーるい、あきーらか）と5通りの読みがあり、混乱する。

3年配当漢字では、「けがで負しようする」と出題したが、読むことができたのは極めて少なかった。文の意味がとりにくいとすれば、出題が適切でなかったといえる。「傷」が6年字であり、「負傷」と使えなかった。熟語は、このように漢字とひらがなの場合には読む立場にとって誤解を生じやすいことは事実である。

◇第5学年の読み替え漢字の習得率

〔第1学年配当漢字13字、平均習得率91.0%〕

80%台	立（リツ）／白（しら）
70%台	雨（ウ）、下（ゲ）

〔第2学年配当漢字25字、平均習得率80.3%〕

80%台	後（コウ）、広（コウ）、西（セイ）、晴（セイ）／後（のち）
70%台	色（シキ）、組（ソ）／風（かざ）
60%台	型（かた）
50%台	絵（カイ）／外（ほか）、半（なかーば）
50%以下	細（サイ）45.4%／読（トク）18.9%

〔第3学年配当漢字39字、平均習得率89.0%〕

80%台	始（シ）、歯（は）、取（シュ）、重（チョウ）／助（ジョ）、笛（テキ）
70%台	打（ダ）／整（ととのーえる）、注（そそーぐ）、練（ねーる）
50%台	定（ジョウ）／幸（さいわーい）

〔第4学年配当漢字36字、平均習得率88.9%〕

80%台	旗（キ）、照（ショウ）／ 覚（さーます）、的（まと）、満（みーたす）、敗（やぶーれる）
70%台	孫（ソン）／栄（さかーえる）、清（きよーい）、努（つとーめる）
70%以下	試（こころーみる）64.7%　／　便（たよーり）49.5%

（４）「絵画」「細心」「その外」「半ば」「児童向けの読本」が読めない

5年の読み替え漢字で習得率が50%以下の漢字をみると、2年字は「絵画」「細心」「その外」「半ば」「読本」の読みである。特に「読本」の読みは18.9%の正答しかなかった。

「読本」の読みは「児童向けの読本」と提出したが、「ドク本」の誤りがほとんどだった。「文章読本、副読本」などの場合は「ドク本」と濁っても正しいが、「読本」では濁らないで「トク本」と読む。しかし、「読本」という言葉は、現在子どもたちの日常生活や学校生活では余り使われていない。このように使用されなくなった言葉の意味を理解し正しく読むためには、その成り立ちや使い方を意識して指導しなければなかなか身に付かない。

習得率が低かった「読本」や「その外（ほか）」「半（なか）ば」のような特別な読み方をするものはそう多くないので、注意して指導することが必要である。5年の漢字学習では、3・4年配当漢字の読み替えが多く出てくる。例えば「整える」「注ぐ」「練る」「幸い」「栄える」「清い」「努める」「試みる」などの訓読みも誤読されやすいので注意する必要がある。

◇第6学年の読み替え漢字の習得率

〔第1学年配当漢字10字、平均習得率91.0%〕

70%台	名（ミョウ）、力（リキ）／正（まさ）
60%台	玉（ギョク）、竹（チク）／十（と）〔十人十色〕
30%台	糸（シ）36.3%

〔第2学年配当漢字18字、平均習得率77.4%〕

80%台	買（バイ）、米（ベイ）、里（リ）
70%台	夏（カ）、丸（ガン）、秋（シュウ）、西（サイ）、冬（トウ）／ 直（ただーちに）
60%台	記（しるーす）
60%以下	社（やしろ）59.6%／雲（ウン）44.6%／戸（コ）23.6%

〔第3学年配当漢字31字、平均習得率86.6%〕

80%台	暗（アン）、暑（ショ）、追（ツイ）／主（おも）、定（さだーめる） 都（みやこ）、畑（はた）、病（やまい）
70%台	橋（キョウ）、持（ジ）
60%台	路（ジ）／仕（つかーえる）、負（おーう）、間（とん）

〔第4学年配当漢字37字、平均習得率85.0%〕

80%台	願（ガン）、喜（キ）／ 治（おさ－める）、帯（おび）、量（はか－る）、冷（さ－める）
70%台	競（ケイ）、静（セイ）／欠（か－ける）、帯（お－びる）
60%台	梅（バイ）／説（と－く）、養（やしな－う）、老（お－いる）
60%以下	管（くだ）59.8%、連（つら－なる）55.0%／節（ふし）39.9%

〔第5学年の配当漢字39字、平均習得率82.2%〕

80%台	営（エイ）、慣（カン）、寄（キ）、採（サイ）、築（チク）、墓（ボ）／ 河（かわ）、常（つね）、備（そな－える）、富（とみ）
70%台	述（ジュツ）、綿（メン）／永（なが－い）、易（やさ－しい）、 額（ひたい）、勢（いきお－い）、責（せ－める）、仏（ほとけ）
60%台	構（かま－える）、修（おさ－める）、増（ま－す）
60%以下	妻（サイ）58.3%、興（コウ）50.9%／富（と－む）38.7%

（5）6年の読み替えはすべて下学年の漢字であるが、読めない漢字は20%近くある

6年で学習する読み替え漢字は、1年から5年までの配当漢字を含んでおり、合計135字と最も多い。すべて下学年で学習し、繰り返し目にふれた漢字ではあるが、新しい音訓読みに出合って、その平均習得率は81.2%と、全学年を通じていちばん低い。読み替え漢字を含まない6年の配当漢字の読みは91.0%であるから、読み替え漢字の習得はそれよりも10%は低い。

6年で学習する読み替え漢字において、読み誤りやすい漢字を挙げてみる。まず、1年配当漢字では「糸（シ）乱れぬ」の「糸」の読みが難しかった。教科書では「綿糸」「製糸」と出ているが、「一糸乱れず」という慣用句的な言葉の意味が難しかったのであろうか。これが「製糸工場」のように出題していればまた違った習得率になったのかも知れない。

2年配当漢字の読み替えでは、「積乱雲（ウン）」「戸（コ）外」「社（やしろ）に参る」の読みが難しかった。「積乱雲」は雲の知識がないと読み誤りやすい。「戸」は音の（コ）と訓の（と）との区別が明瞭でなかった。また、「社（やしろ）」の読み方は日常的に使うことはまれであるためか。

3年の配当漢字については、全体的によく読むことができています。

4年配当漢字では、「ゴムの管（くだ）」「山々が連（つら）なる」「竹の節（ふし）」などの読みの習得率が低かった。さらに、5年配当漢字では、「夫妻」「復興」「話題に富（と）む」などが50%以下の習得率であった。

高学年になると、読み替え漢字を含めて誤答の漢字は様々な読み方をしている。これは既習の読み方を当てはめたり、文脈から推量して読んだり、送り仮名から類推して読んだりするからである。

漢字の読みの学習で困難な問題は、その読み方が複雑に多様にあるということである。また、余り日常的に読むことが少ない漢字の読みは、どうしても理解することが難しい。授業で新出漢字が出た場合、教科書では出たところで学習し、その文中の読み方しか指導しない。漢字の読みにふれるためには、辞典を利用して、言葉の使い方によって読みが違うことを多くの文例を通して知らせたり、教えたりする必要がある。特に今回の習得調査で明らかになった習得率の低い漢字は、指導のときに意識して丁寧に教え、繰り返して定着を図る必要がある。もちろん書く場合も同様である。

4. 習得率が98.5%以上の漢字

各学年の配当漢字で、習得率98.5%以上の漢字を一覧にした。これをみると学年の配当漢字数にもよるが、1・2年では22%で最も高く、4年で14%となり、4・5・6年はいずれも12.3%台でほぼ同じである。そのなかでも、読み替え漢字を読む能力に課題があることが分かった。

ア. ほとんどの子どもが読むことができた漢字（習得率98.5%以上の漢字）

◇第1学年（配当漢字80字、調査漢字118字、平均習得率92.4%）

26字 22.0%	雨（あめ）、円（エン）、下（した）、花（はな）、貝（カイ）、気（キ）、 金（キン）、見える、口（くち）、山（やま）、子（こ）、糸（いと）、耳（みみ）、 手（て）、森（もり）、石（いし）、赤い、川（かわ）、先（セン）、竹（たけ）、 虫（むし）、田（た）、白い、文（ブン）、名（な）、目（め）
------------------	---

◇第2学年（配当漢字160字、調査漢字232字、平均習得率84.1%）

51字 22.0%	園（エン）、夏（なつ）、家（いえ）、海（うみ）、外（そと）、楽（ガク）、楽しい 間（カン）、丸い、顔（かお）、記（キ）、帰る、牛（うし）、魚（さかな）、 計（ケイ）、原（はら）、語（ゴ）、公（コウ）、広い、合う、止める、時（ジ）、 春（はる）、書く、色（いろ）、食（シヨク）、食べる、数（かず）、西（にし）、 星（ほし）、切る、走る、茶（チャ）、鳥（とり）、朝（あさ）、点（テン）、 冬（ふゆ）、読む、南（みなみ）、肉（ニク）、売る、買う、風（かぜ）、聞く 北（きた）、明るい、夜（よる）、友（とも）、曜（よう）、理（リ）、大（タイ）
------------------	---

◇第3学年（配当漢字200字、調査漢字304字、平均習得率92.0%）

43字 14.1%	安（アン）、医（イ）、飲む、駅（エキ）、屋（や）、温（オン）、化ける、界（カイ） 漢（カン）、館（カン）、起きる、期（キ）、君（クン）、血（ち）、号（ゴウ）、仕 （シ）、死ぬ、菌（は）、式（シキ）、実（み）、所（シヨ）、神（かみ）、真（シン） 世（セ）、息（いき）、第（ダイ）、帳（チョウ）、調べる、度（ド）、豆（まめ）、 島（しま）、板（バン）、鼻（はな）、秒（ビョウ）、物（もの）、命（いのち）、面 （メン）遊ぶ、葉（は）、陽（ヨウ）、落とす、出（シュツ）、名（メイ）、自（ジ）
------------------	--

◇第4学年（配当漢字200字、調査漢字363字、平均習得率89.7%）

45字 12.4%	愛（アイ）、以（イ）、英（エイ）、塩（しお）、億（オク）、械（カイ）、覚える、 願う、紀（キ）、機（キ）、議（ギ）、求める、泣く、好き、産む、辞（ジ）、 借りる、初め、松（まつ）、焼く、積（セキ）、折る、然（ゼン）、争（ソウ）、 停（テイ）、典（テン）、梅（うめ）、飯（ハン）、飯（めし）、飛（ヒ）、飛ぶ、 不（フ）、副（フク）、便（ビン）、約（ヤク）、浴びる、冷たい、冷える、山（サン） 思（シ）、新（シン）、聞（ブン）、君（きみ）、消す、世（セイ）
------------------	---

◇第5学年（配当漢字185字、調査漢字350字、平均習得率89.9％）

44字	液（エキ）、桜（さくら）、賀（ガ）、解（カイ）、格（カク）、確かめる、
12.6％	件（ケン）、券（ケン）、険（ケン）、検（ケン）、故（コ）、個（コ）、効（コウ） 酸（サン）、飼う、状（ジョウ）、職（シヨク）、性（セイ）、素（ソ）、像（ゾウ） 団（ダン）、敵（テキ）、燃える、犯（ハン）、版（ハン）、肥（ヒ）、非（ヒ）、 仏（ブツ）、弁（ベン）、保（ホ）、墓（はか）、夢（ゆめ）、容（ヨウ）、 男（ダン）、本（もと）、星（セイ）、台（ダイ）、酒（さけ）、鳥（トウ）、果（カ） 街（ガイ）、結（ケツ）、粉（フン）、粉（こ）、

◇第6学年（配当漢字181字、調査漢字393字、平均習得率88.2％）

51字	字（ウ）、映（エイ）、映る、延びる、灰（はい）、簡（カン）、危（キ）、危ない、
13.0％	机（つくえ）、吸（キユウ）、胸（むね）、筋（キン）、穴（あな）、呼ぶ、 皇（オウ）、降りる、困る、姿（すがた）、誌（シ）、磁（ジ）、捨（シャ）、捨てる 若い、衆（シュウ）、傷（きず）、針（はり）、洗（セン）、窓（まど）、臓（ゾウ） 誕（タン）、段（ダン）、宙（チュウ）、展（テン）、糖（トウ）、乳（ニユウ）、 背（せ）、班（ハン）、秘（ヒ）、閉じる、暮らす、宝（たから）、忘れる、 枚（マイ）、郵（ユウ）、優（ユウ）、幼（ヨウ）、玉（たま）、裏（うら）、 泳（エイ）、曲（キョク）、浴（ヨク）

イ. 読むことにおいては、やはり読み替え漢字の習得状況がよくない

98.5％以上の正答率があった漢字は、ほとんどの子どもが抵抗なく読める漢字である。このような習得率の高い漢字は、音訓読みを含めた調査漢字1759字のうち260字であった。どの学年も平均しており、低学年のうちは22％程度であるが、高学年にいくにしたがって12％から14％程度になる。

2年以上は下学年の読み替え漢字が出てくるが、この習得率が悪く、98.5％以上の習得率に入る読みは、全学年を通して23字だけである。全学年の読み替え漢字が442字であるから5.2％しかない。あとの約95％は下学年の漢字でありながら、ほとんどの子どもがよく読むことができる漢字の範囲に入っていない。

要するに、下学年の配当漢字で一度は学習した漢字でありながら、読み替え漢字はなかなか身に付かない。その理由は、今まで学習した以外の音訓読みであり、日常的でない抽象的な漢語に使われたりして児童・生徒にとって理解が難しいわけである。

ではどのようにして読み替え漢字の習得をより向上すべきであろうか。漢字は繰り返し目にふれ、たびたび使うことによって次第に身に付いてくる。こうした反復練習がきわめて大切である。教室で行われる漢字学習は、教科書の文や文章の中に出ている読み方、使い方を中心に学習している。その場合、漢字の意味を考えて他の音訓読みも同時に教えてしまうのはどうであろう。教科書で出た読み方、使い方の外に漢字の意味を理解した上で、別の読み方もあることを情報として知らせる。書くことに比べて読むことは子どもにとっても容易に理解できる。読書経験が広がり、中学年以上になればこうした指導が必要ではないか。勿論その学年で全ての読みを習得させる意味ではない。このように、その学年で提出された漢字の読みを正確に身に付けるとともに、下学年の配当漢字の読み替え漢字を正しく習得することがきわめて大切である。

Ⅲ. 書くことの習得調査の結果の状況

1. 学年別配当漢字の書きの状況

書くことの平均習得率



ア. 全学年を通して、書くことの平均習得率は約70%である

全学年を通して書くことの平均習得率は約71.1%で、配当漢字の約7割は正しく書くことができる。しかし、上の棒グラフでも明らかなように、学年によって習得率に差がある。これは読みの習得状況と同じように、上学年にしたがって新出漢字が増え、完全に習得できていない未消化分が累積していく結果である。

新学習指導要領・国語科編では、書くことは習得に時間がかかるという実態を考慮し、次の学年までに定着を図るようにしている。「当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにする」という「漸次」とは、2学年にわたって「しだいに、だんだんに」ということを表している。

平成元年度版の学習指導要領では、配当漢字について、その「大体を書くこと」となっているが、昭和43年度版では、例えば、第1学年では、読むことができる漢字は約70字、書くことができる漢字は約40字という基準を示し、書きと読みの漢字数をはっきり明示していた。

イ. 書くことと読むことは、能力差がはっきり分かれる

要するに、読みと書きの漢字数に差があった。漢字を読むだけならそれほど困難ではない。しかし漢字を書くためには、点画、はねる・とめるなどは事細かな約束がある。1年生でも日常的に見ることができる「国語・音楽・体育・教室」などという漢字は読むことができる。しかし、書くことはできない。幼稚園児が日ごろ見慣れているTVの字幕の「終」という漢字が読める。読む生活は書くことよりも多く、広範囲である。読むのは自分のレベルよりも高いが、書くことは自分のレベルでなければならない。読み書きは、このように機能の上で違っている事実を習得調査ではっきり認識することができた。それゆえに子どもたちの実態を配慮して、学年別配当漢字の習得は同時に求めるのではなく、次第に螺旋的に、漢字習得の過程を大切にしながら学習していくことが必要である。

◇書くことの調査の漢字数と習得状況

学 年	配当漢字	調査字数	習得率	学 年	配当漢字	調査字数	習得率
第 1 学年	80字	118字	91.6%	第 4 学年	200字	362字	63.0%
第 2 学年	160字	232字	81.4%	第 5 学年	185字	350字	61.4%
第 3 学年	200字	304字	70.4%	第 6 学年	181字	393字	62.5%
全学年合計 配当漢字1006字、調査字数1759字、平均習得率 71.7%							

◇書くことができた学年別配当漢字の漢字数と結果の分布

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計(習得率)	
90%台	80	72	25	19	9	25	230	13.1
80%台	28	75	72	52	43	57	327	18.6
70%台	6	45	72	77	75	63	338	19.2
60%台	1	17	61	72	62	67	280	15.9
50%台	3	19	41	57	69	82	271	15.3
40%台	0	3	25	35	49	49	161	9.2
30%台	0	1	5	31	30	32	99	5.6
20%台	0	0	3	12	7	11	33	1.9
10%台	0	0	0	7	5	7	19	1.1
1 %台	0	0	0	0	1	0	1	0.1
調査字数	118	232	304	362	350	393	1759	100%

この表から分かるように、1年では学年配当漢字を書く力は、読むことと同じようにほぼ完全に習得できている。しかし、学年が上がることによって低下してくる。この表から各学年の80%台以上(80.0%～100%)の漢字数を比較してみると一層明確になる。6年生では、ほぼ完全に書くことができる漢字は、6年配当漢字のうち約2割程度である。

◇書くことの習得率が80%台以上の漢字の割合

1 年 字	2 年 字	3 年 字	4 年 字	5 年 字	6 年 字	合 計
108／118字 91.5%	147／232字 63.4%	97／304字 31.9%	71／362字 19.6%	52／350字 14.9%	82／393字 20.9%	557／1759字 31.7%

ウ. 各学年における書くことの習得状況

漢字の書くことについて学年ごとの習得状況を分析し、子どもたちがどのような漢字に抵抗をもつかを整理し、その考察を行った。ここでは、低・中・高学年ごとに習得率の低かった漢字の一覧表を作成し、それぞれ特徴的な問題について考えた。なお、習得率が低い漢字とは、学年によって下位から20程度以下に限定した。〔 〕内は書き誤りの例、学年の数字は読み替えの学年である。

◇第1学年（書きの習得率が70%台以下の漢字、9字）

70%台	三（み）	三日月	〔見日月〕	正（ショウ）	正月	〔玉月〕
	大（ダイ）	大こん	〔台こん〕	入（いーる）	入り口	〔人口〕
	入（はい）	る	教室に入る	〔出る〕		
60%台	入（ニュウ）	入学式	〔人学式〕			
50%台	小（こ）	小とり	〔子とり〕	日（ひ）	日の出	〔火の出〕
	木（こ）	木かげ	〔小かげ〕			

◇第2学年（書きの習得率が50%台以下の漢字、23字）

50%台	遠（エン）	遠足	〔園足〕	家（ケ）	家来	〔家来〕	
	会う	友だちに会う	〔合う〕	角（カク）	四角	〔四角〕	
	汽（キ）	汽車	〔気車〕	教わる	道を教わる	〔数わる〕	
	後（ゴ）	さい後	〔さい後〕	後（あと）	後につづく	〔後〕	
	語る	昔話を語る	〔話る〕	市（いち）	朝市	〔朝一〕	
	週（シュウ）	一週間	〔一週間〕	船（ふね）	船が出る	〔般〕	
	通う	学校に通う	〔通〕	馬（バ）	けい馬	〔場馬〕	
	半（ハン）	半ズボン	〔羊ズボン〕	夜（ヤ）	今夜	〔今夜〕	
	野（の）	野原	〔野原〕				
	金（かな）	金づち	〔全つち〕	1年	足（た）す	足し算	〔足し算〕
40%台	親（シン）	親切な人	〔新切〕	麦（むぎ）	麦茶	〔麦茶〕	
	空く	せきが空く	〔合く〕	1年			
30%台	頭（トウ）	先頭	〔先頭〕				

（1）1・2年生は音・訓の類似の誤りや書写的な不注意が多い

1年生では、漢字学習に対する興味・関心もあり、時間的なゆとりがある中で、書きの習得率は平均9割強であり、音読合わせて118字のほとんど習得できている。50%台の3字は、「小とりがとんだ」「日の出を見る」「すずしい木かげ」であるが、いずれも同訓異字を書いたものが多かった。意味を問わず、知っている音や訓の漢字を当てるのは1年生の特長的な誤りである。

2年生では、習得率が80%以上の漢字は63%と減少し、50%以下の漢字も倍増する。音・訓の類似による書き誤りの外に、字形の不注意な記憶による誤りや書写的な不注意が増えてくる。

字形の不確かな記憶や書写的な不注意による書き誤りは、例えば、2年生の習得率40%台の「親切」が「新切」、「空く」が「合く」などと書き誤るのはその典型的なものである。最も習得率が低かった「頭（トウ）」は、音読みも難しい上に字画も多く、字形の不確かな記憶による誤りである。低学年で

は、日常的に読んだり使ったりする漢字の読み書きは容易にできるが、「先頭を歩く」という余り使われていない文脈では、その意味が理解できなかったと思われる。1年生の初めによくある逆書、鏡文字の類は今回の調査ではごく少なかった。調査時期が1年修了の次の学年の1学期であったためであると考えられる。

◇第3学年（書きの習得率が40%台以下の漢字、24字）

40%台	悪い	気分が悪い	〔悪い〕	階（カイ）	階だん	〔階だん〕
	寒い	今日は寒い	〔寒い〕	岸（ガン）	海岸	〔岩岸〕
	局（キョク）	放送局	〔放送局〕	銀（ギン）	銀メダル	〔金メダル〕
	港（みなと）	港から船が出る	〔湖〕	待つ	帰りを待つ	〔持つ〕
	鉄（テツ）	鉄道	〔鉄道〕	投げる	ボールを投げる	〔役る〕
	湯（トウ）	ねっ湯	〔ねっ湯〕	等（トウ）	一等になる	〔一第〕
	配（ハイ）	配達	〔配達〕	氷（こおり）	氷がとける	〔泳〕
	放（ホウ）	校内放送	〔方送〕	合（ゴウ）	合かくする	〔号かく〕 2年
30%台	院（イン）	病院	〔病完〕	勝つ	勝利	〔勝利〕
	旅（たび）	旅をする	〔放〕			
20%台	作（サ）	動作	〔動速〕 2年	用いる	道具を用いる	〔物いる〕 2年
	軽（ケイ）	軽トラック	〔軽トラック〕	農（ノウ）	農家	〔農家〕
	上る	上り電車	〔登り〕 1年			

◇第4学年（書きの習得率が30%台以下の漢字、25字）

30%台	救う	人を救う	〔求う〕	祝う	たん生日を祝う	〔祝う〕
	省（ショウ）	省りゃくする	〔少りゃく〕	特（トク）	特別	〔待別〕
	引（イン）	引力	〔印力〕	雪（セツ）	新雪	〔新切〕 2年
20%台	改める	心を改める	〔新ためる〕	養（ヨウ）	休養する	〔休用〕
	旗（はた）	国旗	〔国期〕			
	声（セイ）	高い音声	〔音清〕 2年	読（トウ）	く読点	〔く当点〕 2年
	明（ミョウ）	明朝	〔脈朝〕 2年			
10%台	港（コウ）	空港	〔空行〕 3年	受（ジュ）	受賞する	〔愛賞〕 3年
	都（ツ）	東京都	〔東京部〕 3年	放す	手を放す	〔話す〕 3年
	羊（ヨウ）	羊毛	〔羊毛〕 3年	落（ラク）	落語を聞く	〔楽語〕 3年
	型（かた）	手の型	〔形〕	刷（サツ）	印刷	〔印札〕
	令（レイ）	年令	〔年礼〕			
	交じる	石と土が交じる	〔混じる〕 2年	分（ブ）	一割二分	〔二部〕 2年
	息（ソク）	休息する	〔休足〕 3年	負（フ）	負しょうする	〔不しょう〕 3年

(2) 3・4年生では類似字形の混同、音訓の類似などによる書き誤りが多い

3・4年生は記憶力の旺盛な時期であり、学年配当も各200字と全学年を通していちばん多い。漢字を書き誤る原因を上記の表で見ると、まず、類似字形の混同による書き誤りが見られる。3年では「氷」が「泳」、「投げる」が「役げる」などになったり、「院」の旁がとれて「完」だけになったりする。4年生でも「特」が「待」、「型」が「形」、「救う」が「求う」となる誤りがある。これらは漢字の字形がよく似ているところから記憶・認知が不確かなために起きる書き誤りである。

次に、音・訓の類似による書き誤りが多い。2年配当漢字では、「軽トラック」が「経トラック」になったり、4年では「引力」が「印力」、「国旗」が「国期」、「羊毛」が「洋毛」などと誤る。

漢字の半数以上は同じ語について音と訓の両方を理解しなければならない。今回の調査対象となった小学校学年配当漢字1006字に対し、音訓読み合わせると1759字と、およそ倍近くの読み書きが必要になる。これらを機械的に記憶するだけでは習得は難しい。それぞれ合う言葉や文を調べたり、熟語や送り仮名を確かめながら学習する必要がある。

(3) 意味の不正確な記憶のために書き誤ることも3・4年生に多い

次に見られるのは、意味に不正確な記憶による書き誤りである。これは意味の似ている言葉や漢字を連想したための誤りである。3年では、「海岸」を「岩岸」、「改める」を「新める」、4年では「交じる」と「混じる」、「二分」を「二部」などと書き誤るのはこの例である。

漢字を学習するときには「音・形・義」が大事と言われるように、「読み方」「形」「意味」を総合的に理解・認識しなければ、学習した漢字を文章の中で正しく使いこなすことはできない。そのような観点から、特に中学年に目立つ字形の不確かなために起きる誤りや書写をする時の不注意は、意味とともに漢字を作っている一つ一つの部分がどんな形かを丁寧に見ることで、何画でできているかを数えて確かめる学習が必要である。一点一画の細かい書き方を強制するのではなく、漢字を書くときの「許容」を理解するとともに、中学年では、ある程度の日常的な繰り返しの学習が、字形を習得する上での基礎・基本につながるものと考えられる。

◇第5学年（書きの習得率が30%台以下の漢字、26字）

30%台	潔（ケツ）清潔	〔清決〕	承（ショウ）	伝承する	〔伝賞〕
	織（シキ）組織	〔組式〕	制（セイ）	制服	〔製服〕
	程（テイ）程度	〔程度〕	統（トウ）	大統領	〔大頭領〕
	肥やす 土地を肥やす	〔子やす〕	豊（ホウ）	豊作	〔富作〕
	輸（ユ） 輸入する	〔輸入〕	半ば	七月半ば	〔中ば〕 2年
	湖（コ） 湖底	〔固底〕 3年	刷る	版画を刷る	〔版る〕 4年
20%台	易（イ） 容易	〔容意〕	幹（カン）	新幹線	〔新軒線〕
	再（サ） 再来年	〔去年〕	判（ハン）	判断力	〔反断力〕
	試みる 何度も試みる	〔心みる〕 4年	努める 早起きに努める		〔勢める〕 4年
10%台	在る 湖に在る島	〔有る〕	光（コウ）	美しい光景	〔色景〕 1年
	外（ほか） その外の意見	〔他〕 2年	形（かた）	形見	〔方身〕 2年
	細（サイ） 細心の注意	〔最心〕 2年	旗（キ）	旗を立てる	〔期〕
1%台	読（トク） 児童向けの読本	〔徳本〕 2年	正答率8.6%		

◇第6学年（書きの習得率が30%台以下の漢字、27字）

30%台	厳しい 厳しい表情 〔厳しい〕 収まる 気持ちが収まる〔治まる〕 仕える 王様に仕える〔任える〕 3年 量る かさを量る 〔計る〕 4年 易しい 易しい問題 〔優しい〕 5年	后（コウ） 皇后陛下 〔皇后〕 預ける 荷物を預ける〔預ける〕 5年 問（とん） 問屋で買う 〔問屋〕 3年 連なる 山々が連なる〔脈なる〕 4年
20%台	干（カン） 干満の差 〔間満〕 鋼（コウ） 鉄鋼 〔鉄鉱〕 竹（チク） 竹林を歩く〔畜林〕 1年 欠ける 茶わんが欠ける〔駆ける〕 4年 構える 店を構える 〔備える〕 5年 富む 話題に富む 〔問む〕 5年	供える 花を供える 〔備える〕 窓（ソウ） 車窓 〔車倉〕 戸（コ） 戸外で遊ぶ 〔固外〕 2年 額（ひたい） 額に汗する 〔賂〕 5年 修める 学問を修める〔収める〕 5年
10%台	私（シ） 公私の区別 〔公市〕 批（ヒ） 批評する 〔否評〕 梅（バイ） 入梅 〔入培〕 4年 興（コウ） 災害の復興〔復行〕 5年	従（ジュウ） 仕事に従事する〔重事〕 直ちに 直ちに集合 〔正に〕 2年 寄（キ） 体内に寄生する 〔奇生〕 5年

（4）4・5・6年生の書くことの習得率は約60%で、誤答傾向も複雑になる

漢字を書き誤る原因として、低学年では字形が正しく把握できないために点画その他が多かったり少なかったりしたもの、漢字の一部しか再生できないもの、類似字形の混同によるもの、同音・同訓の混同、意味がつかめないための誤りなどがあった。

中学年では、さらに書く上での誤答率が増加し、誤答の内容も低学年に見られない多さになる。高学年では、こうした傾向が多岐にわたるとともに、生活の上で書くことが必要な漢字よりも抽象的な概念をもつ漢字やその使い方が増えて、文字として読めても熟語として提出した場合、その意味の理解が十分でないと書くことが困難になってくる。

今回の調査で書くことの平均習得率は、5年生で61.4%、6年生で62.5%であり、大体6割程度である。さらに4年生では、63.0%であったから、4・5・6年は同率になっている。

（5）4年生が書くことにおいて一つの断層になっている

4年の配当漢字を見ると、字画の複雑な漢字が多くなり、字形の類似している漢字も多い。また、教科書での提出頻度の低い漢字があり、繰り返し学習されなかった場合は、3年生までに習得できなかった未習得漢字の累積も加わって、なかなか身に付かないという漢字習得上の特性がある。

こうした漢字は習得率30%台以下であり、未だ習得上定着していない漢字であると言える。この30%台以下の漢字は、4年で50字、5年で43字、6年で50字ある。

4・5・6年の書き誤りの原因は、いずれも字形の問題、同音・同訓の問題、意味の理解ができないためなど、1・2・3年に見られる書き誤りが一層広がった様子を現している。例を挙げれば、4年では「交じる」と「混じる」、5年では「在る」と「有る」の違いができていない。「光景」として出題した1年漢字の「光（コウ）」の音読みが書けない。また、2年漢字の「外（ほか）」の訓読みは、読むことができないとともに書くこともできていない。6年では「修める」「欠ける」「構える」などの下学年配当漢字の読み替えについての書き誤りが目立っている。

(6) 5年生では「読本」、6年生では「従事する」が書けない

全学年を通して最も習得率が低かったのは5年生で実施した「読本(トクホン)」の書きである。「読本」の読みの習得率も18.9%と低く、その意味が理解できないためであろう。教科書では、「読本で勉強した祖父」と提出されているが、繰り返し読みや書く機会がなく、6年間で一度だけ提出され、学習しただけでは、読本という意味が理解されず、記憶に残らないのが実態である。読本とは「国語の教科書、広く学校で講読に用いる教科書」という意味が辞書に出ているが、現在ではほとんど死語になっているようだ。このように、下学年の配当漢字であっても、熟語として学習頻度が低く、日常的に書いたり使ったりしない言葉は次第に淘汰されていくのではないかと考えられる。

これと同じように、6年生の「仕事に従事する」として出題した「従(ジュウ)」の書きについても読みは21%と低く、「従事」という熟語の意味が理解できなかったものと思われる。「従」は、「従順・服従・主従・従軍・従業員」などという熟語も考えられるが、いずれにしても6年生の段階で、意味の取り方が困難な漢字は読めないし、書けない。要するに、読めない漢字は理解できない、理解できない漢字は書くことができないということになる。その意味で、6年生の書きの習得率が10%台と低かった、「公私」「批評」「直ちに」「寄生」「復興」などは読むことも難しい漢字であった。

(7) 基礎的・基本的な漢字力を2学年を通して習熟させる

基礎的・基本的な漢字力といえば、漢字を適切に読んだり書いたりできる能力である。実際にノートや作文などの中や広く日常生活の中で漢字が使用できる能力である。さらに、漢字の組み立てや漢字の由来、特質などの知識・理解力とともに、漢字への興味・関心の態度である。

平成13年度(2002)から完全実施される新学習指導要領では、授業時数の削減による指導内容の厳選から、漢字学習も質的にも変化しなければならない。即ち、漢字の力は重要な国語の基礎・基本として重視する立場から、「読み」の指導はその学年で十分に学習し、完全習得させる。「書く」の指導については、配当漢字提出の学年で読みや筆順、書き方をしっかり学習する。また、学年に即して漢字の構成の知識、漢字の由来や特質などについても理解する。今まではその学年で出てきた漢字はその学年で読めて、書いて、使えるという指導をしていたが、書くことについては実際にその学年だけでは無理であるから次の学年において定着を図るということである。新学習指導要領では、このことを「学年ごとに配列されている漢字の書きについては、当該学年では漸次書くようにし、上の学年までに、文や文章の中で適切に使うことができるよう時間をかけて指導する」としている。

(8) 小学校で書くことは5年までの配当漢字825字を完全習得させる

小学校6年に配当の181字は、「漸次書くようにする」とし、最終的には5年までの配当漢字825字が書いて、使えるようにするということである。小学校段階の漢字学習の範囲は、6年までの配当漢字1006字の読みと5年までの配当漢字825字の書きという目安がはっきりした。

小学校6年配当漢字の「書き」は、今後は中学校で定着を図ることになった。中学校では、小学校の学年別漢字配当表に示されている1006字すべての漢字(中学校での音訓を含む)を書き、文や文章の中で使うことができるようにする。つまり、中学校の読みについては常用漢字1850字の大体を読むことができるようにするとともに、書くことの範囲は、そのうちの小学校・学年別配当漢字1006字となり、読む漢字と書く漢字が明確に分けられる。

小学校の学年別配当漢字は、きわめて重要な基本漢字であるから、これからは従来にも増して創意工夫し、発達段階に即して適切に、段階的に子どもたちの興味や関心を喚起し、「書きたい、使ってみよう」という意欲を高めながら、時間をかけて丁寧に指導することが大切になる。

2. 無答率の高かった漢字一覧

ア. 無答率が高い漢字とは、学級の半数以上の子どもが書けなかった漢字である

今回の習得調査では、書くことについて正答率・無答率・誤答率（その主な例）を出した。無答については、各学級での習得調査はゆとりをもって実施したので、時間がなくて書けなかったわけではない。子どもたちにとって全然歯が立たなかった漢字である。

誤答の場合は、何として自分がもっている既知の漢字力を発揮し、正しい漢字に近づけたいという意欲や努力がある。無答の場合には、そうした努力にも関わらず、子どもたちが手を出せなかった書くことに強く抵抗を感じた漢字である。なかには漢字を書くことに意欲を失っている児童・生徒がいたかもしれない。しかし、多くは字形や意味が再生・理解できなくて止むを得ず無答になったと考えられる。ここでは調査した1759字のうち、無答率45%以上の漢字38字を一覧にした。なお無答率50%以上の漢字は全学年で20字であった。

◇学年別配当漢字の無答率45%以上の漢字（学年は、調査実施学年を示す）

1年	気（ケ） 4年 秋の気配 33.1%	下（しも） 3年 川下にむかう 31.4%
2年	明（ミヨウ） 4年 明朝 67.5% 直（ただ） ちに 6年 直ちに集合 58.2% 細（サイ） 5年 細心の注意 46.9% 絵（カイ） 5年 絵画のかん賞 45.6%	考（コウ） 4年 参考書 58.8% 形（かた） 5年 祖父の形見 53.1% 引（イン） 4年 地球の引力 46.5% 声（セイ） 4年 高い音声 45.4%
3年	放（はな）す 4年 手を放す 62.5% 問（とん） 6年 問屋 52.6%	都（つ） 4年 都合がよい 54.4% 苦（ク） 4年 苦心する 46.7%
4年	連（つら）なる 6年 山が連なる 58.4% 節（ふし） 6年 竹の節 53.2% 得（え）る たしかに心得た 49.2% 例（たと）える 動物に例える 45.4%	欠（か） ける 6年 茶わんが欠ける 56.9% 刷（す） る 5年 版画を刷る 50.3% 旗（キ） 5年 日本の国旗 49.0% 令（レイ） 年令をたずねる 45.4%
5年	在（あ）る 湖に在る島 58.3% 潔（ケツ） 清潔な衣服 53.1% 興（コウ） 6年 災害の復興 52.0% 設（もう） ける 委員会を設ける 48.0% 退（しりぞ） ける 願を退ける 46.2%	構（かま） える 6年 店を構える 56.4% 額（ひたい） 6年 額にあせする 52.6% 幹（カン） 新幹線に乗る 50.1% 承（ショウ） 民話の伝承 47.6%
6年	皇（コウ） 皇后陛下 53.2% 模（ボ） 規模が大きい 51.5% 供（そな） える 花を供える 48.5% 済（す） ます 仕事を済ます 48.9% 奮（フン） 思わず興奮する 46.6%	従（ジュウ） 仕事に従事する 52.7% 窓（ソウ） 車窓の風景 50.0% 奮（ふる） う 勇気を奮う 49.7% 沿（そ） う 線路に沿った道 47.7%

(1) 「明朝」「問屋」「国旗」「直ちに」「連なる」などが書けない

1年配当漢字では無答率45%以上の漢字は皆無であった。1年で最も無答率が高いのは「竹(チク)竹林を歩く」(6年の読み替え漢字)で41.2%であった。「チク林を歩く」の意味がつかめなかったと考えられる。2年配当漢字では、すべてが上学年で提出される読み替え漢字で、「ミョウ朝早く起きる」と文脈から意味が理解できるように出題したが無答率がいちばん高かった。

「直(チョク)」は89%書くことはできるが、「直ちに」は6年生でも20%しか書けず、無答は約60%。誤答も20%あった。「かた見」「かい画」「いん力」「さい心」などの熟語は、文脈を通して理解が困難であったようだ。3年配当漢字でも読み替え漢字が占めた。「問屋」という言葉は、6年生でも日常的に使っていることは少ない。「問」が(モン・とーう・とーい・とん)という読み方を知るとともに、品物が安く買える店が「とん屋」であることの意味が理解できなくては書くことはできない。4年配当漢字では「国旗」が書けず、約半数の子どもたちが無答であった。「連なる」「欠ける」「刷る」「例える」などの訓読みの漢字も書くことができない。「連続」「欠席」「印刷」「例文」など音読みの場合は書くことができるが、訓読みになると戸惑う結果になる。

(2) 読み替え漢字の訓読みや抽象的な意味をもった漢語は書けない

5年配当漢字では、「在る」と「有る」といった同音・同訓の類似の識別が難しかった。一方で、「設ける」「退く」などの訓読み漢字に対する抵抗が強い。また「潔(15画)」「興(16画)」など画数の多く、また、「承」のように書き誤りやすい漢字に対し無答が目立つ。さらに、「清潔」「復興」「伝承」といった抽象的な意味をもつ熟語にも無答が多い。6年配当漢字では、5年の場合と同様、「従事する」「供える」「奮う」「済ます」「沿う」などの訓読みの漢字、「皇后」といった子どもたちにとって日常的に使うことが少ない漢字には抵抗がある。

漢字がよく使えるためには、その読み方を知って、次に繰り返し書いて、その上に作文などでしばしば使い慣れることが大切である。新出漢字が提出された場合、その出方は音か訓かは別にして、一つの読み方である。その他の読み方は、発達段階を考慮して上学年で出す。提出された漢字の読み方の外に、すべての音訓を一度に教えることには問題があるが、子どもたちが理解できる程度の読み方を教えることが必要であると考えられる。教えた読み方、使い方をその学年ですべて習得することではなく、漢字に親しませ、興味・関心を喚起させるためである。読み替え漢字の訓読みがなかなか書けないということは、その読み方、書き方に習熟する機会が少ないからであると思われる。

(3) 漢字の意味がよく理解されないと書くことは難しい

5年生の「清潔」「復興」「新幹線」「伝承」など、6年生の「皇后」「陛下」「従事」「規模」「車窓」「興奮」などはすべて漢語であり熟語である。熟語は二つ以上の単語が複合してできた言葉であるから、それぞれの漢字の意味が理解できなくては、読むことはできても、書くことは難しい。熟語を構成する他の漢字から推測することができないと、熟語全体の理解ができず、したがって無答にならざるを得ない。

例えば、「新幹線」の「幹」は、木の太いところであり、そのことから「大事なところであり、物事を中心となる部分」という意味になる。「新かん線」という熟語を通して意味を理解して、「幹」を想起し、記憶の中の字形を再生し、書くことになる。漢字の構成や由来、特質などについての学習を重ねて、漢字一字一字の意味とその使い方を習熟する学習をしていかないと、漢字が出たところで通り一遍の学習だけでは、なかなか書く力はない。このように、無答率の高い漢字は児童・生徒にとって特に抵抗のある漢字であるから、適切な指導の方法を講じなければならない。

3. 誤答率の高かった漢字一覧

ア. 音訓の複雑さ、字形の難しさ、意味の理解の難度などが原因で誤答になる

無答率が高かった漢字には共通的な課題があった。読み替え漢字が多く、特に訓読みに抵抗があったこと、漢語の意味が理解できなかったことなどで、子どもたちにとって歯が立たない、手が出せない漢字であった。これに対し、誤答率が高い漢字は、子どもたちが既知の漢字力を駆使して何とか字形を思い出そう、類似の漢字から連想して再生しようと努力の跡があった漢字である。

調査した漢字によって、なぜ誤答率が違うのだろうか。読みと違って一度の学習で、点画を誤りなく正しく書くことは難しい。指導と評価は一体的に行われるものであるから、誤字が多いことは指導する側にも反省するところが多い。誤答が多かった理由については、音訓の複雑さ、字形の難易、意味の理解の難度などがあることについては先に考察を試みたところである。改めて誤答率の高い漢字について一覧表にしてみると、いくつかの課題が明らかになる。

◇学年別担当漢字の誤答率45%以上の漢字（学年は、調査実施の学年を示す）

1年	上(のぼ)る	3年 上り電車	61.2%	空(あ)く	4年 せきが空く	45.7%
2年	外(ほか)	5年 その外の意見	70.4%	読(トク)	5年 読本	67.8%
	交(ま)じる	4年 石と土が交じる	57.0%	池(チ)	かん電池	51.7%
	記(しる)す	6年 ペンで記す	51.0%	親(シン)	親切な人	47.6%
3年	羊(ヨウ)	4年 羊毛のセーター	52.3%	氷(こおり)	氷がとける	51.5%
	悪(わる)い	気分が悪い	46.0%	勝(か)つ	し合に勝つ	45.6%
4年	量(は)かる	6年 水のかさを量る	60.5%	梅(バイ)	6年 入梅の時期	58.9%
	祝(いわ)う	たん生日を祝う	54.2%	改(あらた)める	心を改める	52.8%
	拳(あ)げる	手を挙げる	47.8%	型(かた)	手の型をとる	47.6%
5年	険(ケン)	生命保険	54.1%	輸(ユ)	原料を輸入する	49.9%
	修(おさ)める	6年 学問を修める	47.6%	造(つく)る	6年 船を造る	47.4%
	程(テイ)	程度が高い	45.0%			
6年	善(よ)い	善い行い	64.0%	鋼(コウ)	鉄鋼の生産高	51.4%

イ. 書き誤りやすい漢字にはさまざまな理由がある

子どもの日記や作文などを読むと、学習したはずの漢字が使われていないことが多い。それどころか誤字や当て字の多いことに驚かされる。しかし、誤答率が高い漢字について、書き誤る条件に共通的な要素が考えられる。類別すると、（１）類似する同音・同訓の多い漢字である。例えば「険」「健・検・建・権」など。（２）類似する字形がある漢字である。例えば「会う」と「合う」など。（３）日常的に使われない漢字である。例えば「その外（ほか）」「皇后」など。（４）字形が複雑で、画数の多い漢字である。例えば「祝」「鋼」「善」などである。

ウ. 同音・同訓が多い漢字、類似する字形がある漢字は書き誤りが多い

「友だちに会（合）う」（2年配当漢字、41.2%）のように、前記の表では、「量る」と「図る・計る・測る」、「修める」と「収める・納める・治める」、「造る」と「作る」、「保険」と「健・検・建」、「親切」と「新切」などの同音異字や同訓異字が多い漢字は、書き誤りが多い。

また、類似する字形がある場合にはよく書き誤ることがある。前記の表では、「池」が「地」に、「氷」が「永・泳」に、「型」が「形」に、「輪」が「輪」になるなどの誤りが見られた。

漢字はその意味と結びつき、一点一画おろそかにしない約束があるが、書写の際には微細なところは許容されるという原則がある。許容されるといっても、そのために別字になるものは区別して書かなければならない。「犬・大・太」「土・土」「天・夫」「木・本」「末・未」等の例である。

漢字の習得には、学習の過程が大事であるといわれるように、例えば、「講習会」が「構習会」になっていけば点数的にはゼロではあるが、「講」と書くべきところを「構」という音と字形が理解できているのであるから、ごん篇と木偏の違いが分かれば正答に達する力をもっていると考えられる。このような書き誤りに対し、この視点で個別的に指導すれば、書き誤りを正すことができる。

エ. 日常的に余り使われない漢字、字形が複雑な漢字も書き誤りが多い

学年別配当漢字は、常用漢字のうちでも小学生にとって読み書きが必要な漢字であり、その字のもつ意味が理解でき、字形も余り複雑でない漢字を精選している。しかし、日常的に余り使われていない読みは子どもたちにも親しまれていない漢字である。前の表では、「外」を「ほか」と読み、「記す」などの読みはこうした理由で誤答が多かった。

「皇后」「車窓」「規模」「復興」などの漢語は理解が難しいことと、使用頻度が低いために書くことが難しかった。「仕事に従事する」は、「仕事をする」のように、あえて「従事する」と表現しなくてもいいのかも知れない。書くことの誤答率がいちばん高かった2年配当漢字の「外（ほか）」は、読みの正答率60%であり、書きの誤答率が「他」の書き誤ったのを含め70.4%あったことはこうした点を考慮して指導しなければならない。

画数の多い漢字や字形が複雑で特長のある漢字は、必ずしも書きにくいわけではない。特長のある漢字は、かえって記憶されやすいものもある。しかし、前記の表で挙がっている「祝・挙・勝・悪・輪・鋼・善」などは、どこか微細に書き誤るところがある。例えば、「祝う」のしめす偏がころも偏になったりする。このように、字形の認知が徹底しないと類似のために書き誤るとともに、偏や旁、脚、冠、繞、垂れなどの間違い、偏と旁を入れ替える誤り、点画の増減や長短、付き離れ、はね・はらい等に書き誤りが見られることになる。

オ. 土が石に「交じる」のか、「混じる」のか

2年配当漢字「交じる」を、4年で読み替え漢字として出題した「土が石に交じる」について、書くことの誤答率が57%もあった。「混」は5年配当漢字で未習の漢字でもあったから、「混じる」は出ないと考えたが、誤答の多くは「混じる」であった。

使い方として、「仮名が交じる」と書き、「異物が混じる」と書くが、「交」と「混」の使い分けを明確にすることは難しい。教科書に提出されている「わた毛と黄色の花の交じったたんぽぽが、点々のもようになってさいています」（物語「白いほうし」）はいかにも適切な使い方であるが、出題文ではよほど注意しなければならない。誤答率が高いという、もう一つの理由に、こうした出題文の出し方に問題があると言える。漢字の意味や使い方は文脈の中で生きるわけであるから、児童・生徒にとって学習したことが正しく評価できるように問題作成の上で配慮することが必要である。

カ. 児童・生徒が漢字を書き誤る原因

(1) 類似字形の混同による書き誤り

漢字の字形がよく似ているところから書き誤ることが多い。これは字形の不確実な記憶のためであることや書写的な不注意によるものとも関係あるが、明確に字形の混同による書き誤りである。これには音・訓ともに見られ、例えば「注」が「住」になったり、「氷」が「永」になったりする。また「官と管」「績と積」「票と標」「建・健・験」など、偏や旁などの違いや欠落を含めて確実に記憶されていない場合に多い。低学年では「人・入」「右・石」になったりするが、高学年にいくに従って偏や旁の違いによる類似の字形の漢字が増えてくるので、ますますこの書き誤りは増加する。

(2) 音・訓の類似による書き誤り

言葉の意味は文脈で決定されるが、同音・同訓の多い日本語では最も身に付けなければならない漢字力である。同音の「物」が「者」、「注」が「中」であったり、同訓の「合う」が「会う」などの例である。パソコン・ワープロの普及で同音・同訓の漢字を正しく区別できることが必要なように、漢字が表意文字であるという性質を確実に理解することによってこうした書き誤りは少なくなる。この外、「試みる」が「心みる」、「日照り」が「日出り」のように漢字のもつ意味をよく考えないで、音だけで、いわば自己流の言葉を作るような誤りも含まれる。

(3) 意味の不正確による書き誤り

漢字の表意性に対する理解が十分でない段階で書き誤る場合である。漢字の意味内容を思い出して似たような意味の漢字、反対の意味の漢字、その漢字の連想して書くものである。例えば、「耳」を「目」、「池」を「川」と書いたり「清書」を「正書」「辞典」を「事典・字典」となったりする。

反対の意味では、「行く」を「来る」としたり、「多」を「大」、「走」を「速」と書き誤るのは、似ている意味内容を想起したり連想したりして書き誤る例である。また、「著・現」「善・喜」、「勤める・努める」などの誤りは、大人の場合でもよくあることである。

(4) 字形の不確実による書き誤り

字形が正しく理解されていないために、点画が多かったり少なかったり、はねや払いなどを間違えたりするとともに、自己流の漢字を創作してしまうものであり、この書き誤りが最も多い。学年の配当漢字が増加していくのに従って、正しく習得できていない漢字が累積していくために起こる誤りである。今回の習得調査でも字形の正確な理解ができていない状態で、かつ無答にしたいくないためいろいろ創作した例が多かった。漢字を書くためには記憶した字形を再生する必要があるが、それが不完全であると、記憶の一部でしか再生できないので、偏や旁、によろ冠の脱落という状態になる。

(5) 書写の不注意による書き誤り

書写の不注意による書き誤りは、低学年に多く、高学年では画数の多い漢字にしばしばある。「常用漢字字体表」の注意書きに、字画の長短や方向、曲直、つけるはなす、止める払うなどについては活字体の通りではなくても差し支えないという「許容」の例が出ている。しかし、書写の不注意による書き誤りは「許容」外のことである。書写の不注意は、字形的に見ても正しい漢字に近づいているわけであるから、漢字習得の過程と考え、個人的な指導をまじえ、字形の正しい理解と認識を図る指導が大切である。漢字の書き誤りはこの他に様々な要素が混じり合っていることを考慮に入れる必要がある。

4. 読むことと書くことの相関関係

◇読むことの習得率が上位の漢字と書くことの習得率の比較（1）

1年	気(キ)	「元気いっぱい」	読 み	99.8%	書 き	95.0%
2年	楽(ガク)	「音楽を聞く」	読 み	99.7%	書 き	93.9%
3年	化(ば)ける	「お化けが出る」	読 み	99.1%	書 き	91.4%
4年	覚(おぼ)える	「漢字を覚える」	読 み	99.0%	書 き	93.4%
5年	賀(ガ)	「年賀状を書く」	読 み	99.5%	書 き	83.2%
6年	映(エイ)	「映画を見る」	読 み	99.8%	書 き	89.2%

ア. よく読むことができる漢字は、書くこともよくできる

日常的に使われる親近性のある漢字、自分にとって必要感のある漢字とそうではない漢字がある。

一般的に言われるように、よく読める漢字は、よく書くことができる。逆に、読むことに抵抗のある漢字は書くことにも抵抗があるに違いない。しかし、漢字には読み・書き、字形、意味などの面からそれぞれ特質をもっているものであるから、一概には言えない。よく読める漢字は、よく書ける漢字か、それとも、書けない漢字はやはり読めないかなど、漢字の読むことと書くことの相関関係について習得調査の状況から考えたい。

上記の表の漢字の読みは、いずれも習得率99%台の漢字であり、書くことにおいてもよくできている。日常的にもよく使われるこのような漢字は、読むことと書くことは正比例している。

◇読むことの習得率が上位の漢字と書くことの習得率の比較（2）

1年	日(ひ)	「日の出を見る」	読 み	92.1%	書 き	59.4%
2年	交(ま)じる	「石と土が交じる」	読 み	94.2%	書 き	37.2%
3年	農(ノウ)	「米作り農家」	読 み	92.7%	書 き	23.2%
4年	救(すく)う	「人の命を救う」	読 み	97.6%	書 き	31.4%
5年	講(コウ)	「料理の講習会」	読 み	91.2%	書 き	33.1%
6年	厳(きび)しい	「厳しい表情」	読 み	93.7%	書 き	32.3%

イ. よく読むことができる漢字でも書くことに抵抗がある漢字がある

上記の表は、90%以上読むことができる漢字であるが、書くことの習得率が読みに比べて大きく落ち込んでいる。漢字によっては読みと書きの能力に大きな開きがあることを示している。

今回の習得調査では、配当漢字1006字の音訓の約9割が読めるが、書くことは約7割であることが明らかであった。例えば、6年生では88%が読めて、書くことは62%にとどまっている。読むことは、自分への吸収・消化であり、受信である。これに対し、書くことは情報発信であり、創造的である。したがってその能力は、読むことが先にあって、書くことは後に続いていくものである。読むことができる漢字は一般的にはよく書けるが、必ずしも読める漢字は書くこともできるとは断言できない。しかし、全体的には読むことは上位に、書くことは下位であることは間違いない。次に、よく読めない漢字はやはり書けないのかについて、次の表を見ていただきたい。

◇読むことの習得率が低い漢字と書くことの習得率の比較（１）

1年	十(ジッ)	「十かいはしった」	読 み	47.8	書 き	91.1
2年	行(ゆ)く	「行く手をさえぎる」	読 み	28.0	書 き	67.2
3年	宿(やど)	「宿屋にとまる」	読 み	59.9	書 き	66.0
4年	老(お)いる	「年老いた母」	読 み	64.3	書 き	72.7
5年	仏(ほとけ)	「仏の教え」	読 み	71.6	書 き	85.7
6年	私(わたくし)	「私の本」	読 み	20.0	書 き	97.3

ウ．読むことが書くことよりも難しい漢字もある

上記の例は、読むことが間違いやすい漢字である。1年の「十」は「ジュウ」と読み誤り、2年の「行(ゆ)く」は「いく」、「私」は、「わたし」と読み誤る漢字である。しかし、このように読むことが難しい漢字の例は、全体的に見てそう多くはない。調査漢字1759字（音訓含め）のうち、全学年で96字であり、全体の約5.5%であった。読むことが書くことよりも難しい漢字について学年別に調べてみると、1年55字、2年20字、3年7字、4年3字、5年6字、6年5字であり圧倒的に、低学年に多い。

低学年に多い理由は、例えば、1年生の配当漢字に対する平均習得率は、読むこと92.4%、書くこと91.6%であるが、もともと読みと書きの習得状況は接近している。誤答は漢数字が多かったことを指摘したように、1年生は拗音や促音、長音や撥音など発音通りの読みが書けない実態が見られる。1年生は、こうした実態を通して、特に漢字の読みを強調することがきわめて大切である。

読むことが確実にできる漢字は書くことにも通じるからである。読めなければ漢字はただの記号に過ぎない。表音性ととともに、表意性が漢字の最もすぐれた価値的な要素であるから、読み方、字形、意味を総合的に押さえた、適切に使える漢字学習を心がけるべきである。

◇読むことの習得率が低い漢字と書くことの習得率の比較（２）

1年	木(こ)	「すずしい木かげ」	読 み	60.9%	書 き	59.2%
2年	細(サイ)	「細心の注意」	読 み	45.4%	書 き	12.3%
3年	息(ソク)	「しばらく休息する」	読 み	45.6%	書 き	13.7%
4年	改(あらた)める	「心を改める」	読 み	46.4%	書 き	22.0%
5年	易(イ)	「容易にできる」	読 み	37.6%	書 き	29.6%
6年	従(ジュウ)	「仕事に従事する」	読 み	21.0%	書 き	16.0%

エ．よく読むことができない漢字は、やはり書くこともできない

上記の表は、よく読めない漢字は書くことにも抵抗があることを示している。読めない原因と書けない原因が相乗的に重なっている傾向の漢字である。漢字学習では、どのような漢字がよく読めないか、書けないかについて実態調査をして、その実態に基づいた指導がなければならない。実態の上に立って、一つには教科書で出てきた漢字を文脈の中で機能的に学習する方法、二つ目には漢字を取り出して、シュミレーションとして計画的に学習する方法、さらに機能的・段階的な学習をした漢字を反復練習する方法などを適切に組み合わせ、学ぶ喜びが発見できるような漢字学習が期待される。

Ⅳ. 漢字習得調査のまとめ

1. 児童・生徒の漢字習得状況の実態

1. 学年別配当漢字の読むことの習得率は各学年92%から88%の範囲にあり、ほぼ完全習得に近い。読みにくい漢字・読み誤りやすい漢字は、低学年では漢数字が多く、中・高学年では意味がとらえにくい訓読みの漢字が多い。誤答しやすい漢字は特定できるので、対策が講じられる。
2. 書くことの平均習得率は70%台であるが、学年によって差がある。1・2年生は読むこと・書くことの習得状況は高い水準にあるが、中・高学年にいくにしたがって習得率は60%台となり、誤答も多くなる。正しく書くことができないままに未習得の漢字が累積していく結果である。
3. 漢字の読みと書きの習得率の差が目立つ。平均的には読み90%、書き70%であるが、高学年にいくほど、読むことと書くことの習得率の違いが大きくなる。
4. 読み、書きとも送り仮名のつく訓読みの場合に習得率が低くなる。また、同じ漢字でも音・訓によって習得率が違う。訓読みは意味を伴うので漢字の表意性を理解する学習が必要になる。
5. 漢字を書き誤りやすい原因を誤答例から分析すると、第一に類似する同音・同訓と混同する例、第二に字形がよく似ている漢字と混同する例、第三に字形が複雑で画数が多い漢字に対して正確さが不足する例、第四に児童・生徒が日常的に余り使わない漢字などがあり、これらが複雑にからみあって書き誤りが見られる。漢字の「音・字形・意味」からの総合的な学習が大切である。
6. 読みと書きの誤答例を詳しく分析することによって、なぜ間違えたかの原因が分かり、指導法のヒントが明らかになる。漢字指導を計画的・段階的に行うためには、児童・生徒の漢字に対する態度や知識、技能の実態を調査をして、その結果どのようなところにつまずきがあるかを分析した結果をもとに指導法を研究する必要がある。受け身ではなく成就感のある学習が必要である。
7. 学年別配当漢字には、読みやすい・書きやすい漢字と、読みにくい・書きにくい漢字とがある。日常性の強い漢字は書けるが、生活に余り親近性のない漢語や使用度の低い漢字は習得率が悪い。教科書に提出される頻度が少ないものは、やはり身に付かないままになる。
8. 子どもの漢字力、特に書く力が低下しているだけではなく、社会全般に書く能力が低下し、正しく使おうとする意欲が減ってきているのではないか。パソコンを多用する情報化時代において、情報発信力としての漢字力は今後ますます大切になる。機器においては漢字を識別し、判断する力が大切になるが、読むこと・書くこと・使えることの順序に漢字力を向上させる必要がある。
9. 実態調査から明らかなように、読む能力と書く能力は明らかに違う能力であって、漢字の書きの方が習得に時間がかかるという実態から、読むことと書くことを別にして指導する方向を考えるべきである。何年生ではどのような漢字がどこまで読めればよいか、どのような漢字がどこまで書ければよいかを具体的に決めて、目標に到達する学習が必要になる。

2. 習得状況からみた漢字指導法の改善

1. よく読むことができる漢字は、よく書くことができるという相関関係があるので、まず、漢字を正しく読む学習を強化する。そのために図書館を利用して読書の範囲を広げること、授業中に国語の辞書を今まで以上に利用する。英語の学習に比べ、国語の授業では辞書を余り活用していない。低学年には低学年用の国語辞典をもたせ、漢字や言葉に親しませるようにする。表現や理解に必要な文字や語について辞書を利用して調べる学習は、新学習指導要領では今までの4年から3年になったので、学年発達段階と個人差に応じた辞書の利用方法を身に付けさせる。
2. 低学年では、象形文字の学習などを通して漢字に親しませるとともに、字形に目を向けさせ、形を整えて点画を正確に書くことの習慣を身に付ける。低学年は、技能よりもこうした習慣や態度の確立が大事である。中・高学年では、同音・同訓異字が多くなるので、文脈上から区別して読み書きできる指導をする。訓読みは誤りが多いので、漢字がもっている構成や意味を十分理解させる。漢字はその意味と結びつけて指導するとともに字形の認知と字形を構成している部分も重視する。漢字の構成、由来や特質などの知識や理解があると漢字習得に興味をわく。
3. どの漢字が読みにくい、書くことが難しい漢字なのかは、実態調査からも分かったので、一律の指導ではなく、誤りやすい漢字を重点的に指導する。そのためには各学級では学習に入る前に漢字の診断評価が必要である。すでに理解している漢字と未習得の漢字を同列に扱わず、個に応じて、理解や使い方が十分でない漢字を中心に学習することで効果が上がる。
4. 漢字を読む力と書く力には差があることを認識して、読み書き分離学習を心がける。読み書き分離学習では教科書の新出漢字について、この漢字は読めるだけでいい、書けなくてもいいという教え方ではない。今までは教科書に出てきた漢字の読み書きを同時に指導した。つまり、読み方、字形、筆順を教える。そうすることによって漢字を基本から理解させた。それは時間の範囲内でしっかり教えたい。分離学習の書くことについては、今までやったように書き取り練習や教科書の読解指導ではない。書くことは別の機会に、教師が作成した子どもの実態に合った「漢字の本」等を効果的に使い、段階的・系統的に指導する。前学年において読む学習をした漢字であるから親しみがある。その基礎の上に立って、児童の興味・関心を喚起し、繰り返しの学習を強化する。
5. 新学習指導要領では、配当漢字は次の学年までに定着を図るという趣旨からして、この際に新しい指導法を開発しなければならない。漢字の習得は、ある程度時間をかけ、繰り返して練習することで身に付くものである。しかし、機械的・形式的に、量的な繰り返しだけでは無理がある。より効果のある漢字指導法を開発する必要がある。具体的には、次のように児童の学習の実態、漢字習得の原則などを踏まえて指導するのも一つの方法である。

(1) 「文脈」に基づく漢字指導法の工夫

漢字は、教科書の文や文章の中に提出することが原則である。例えば、「復興、仁愛、季節、治安」など漢語のまま出された漢字は文脈の着物を身につけない「はだか漢字」と言われる。国語の教科書では、漢字は「はだか漢字」として出さずに、文章の中に文脈の着物を付けて出すことが原則である。例えば「治安」は「日本は治安のよい国だと言われてきましたが、最近ではいろいろな問題が出てきまし

た。」などとして提出する。文脈を通してその言葉の意味や使い方を機能的に学習する。しかし、教科書では学年配当漢字を文脈の中で出し切れずに、「はだか漢字」として出すことが多い。それを機械的に教え込むと漢字嫌いが進む。漢字は、それぞれ基本的な文脈のなかで学習させることが基本である。また、漢字を書く場合でも、「洗、洗、洗」と書くより、「手を洗う・顔を洗う・洗い物をする」など短い語句として書く方が確実に記憶され、使う力も伸びる。

（２）「反復」に基づく漢字指導法の工夫

漢字は繰り返し読む、繰り返し書く、繰り返し見ることが大事である。また漢字の読み方とその意味を知ることが大切である。読むことができて、その意味が分からないのでは、読みはいわば記号であるから忘れることが多い。漢字を文脈の中で推読する、作文の中で書く、読書をする中で漢字を見る時に「読めた、書けた」という喜びが、漢字を繰り返し練習する根底には必要である。反復練習はどうしても形式的になりやすいので、宿題ではなく、授業時間の中で教師の適切な指導の下に練習の時間は短く、機会を多くするほうがよい。

（３）「類別・異同」に基づく漢字指導法の工夫

類別とは、漢字の共通点に着目して幾つかの種類に分けて学習することである。例えば、体の部分を表す漢字には「目・耳・口・手・足」など、自然現象を表す漢字には「雨、風、雪・雲」など同類の漢字があるが、これらはそれぞれまとめて学習する。中学年以上になると部首ごとにまとめた学習をする。と児童・生徒の興味・関心が増す。また、異同とは、字形の違いを正確に記憶させる方法である。「孝と考」「績と積」「大と天」「犬と太」「末と未」などのように、字形の正確な認知が読み書きの際の正確さにつながる。このように漢字の仲間集めや細かい異同に興味・関心を喚起させ、漢字の学習に興味あるものにする。

（４）「比較・対象」に基づく漢字指導法の工夫

教科書では、「大・小、東・西・南・北、暗い・明るい」の反対語などは、同じ文章の中に提出する工夫をしている。こうした反対語や対照する漢字が別々に学習されたときには、漢字を対比させながら学習する。また、「会費を収める、国を治める、学問を修める、勝ちを収める」など同訓異義の漢字についても比較対照して学習する方が効果的である。子どもたちにとって同訓異義の漢字の微妙な意味の違い、例えば「円い輪－丸い玉」「早く起きる－速く走る」「初めて－始めて」「土に石が交ざる－米に麦を混ぜる」など、その使い方の違いを意識して指導する。

（５）「構成」に基づく指導法の工夫

漢字は、「偏、旁、冠、垂、構、脚、繞」などの組み合わせによって、字形に一定の型ができている。この型の全体的な認知と部分的な認知によって字形を正しく記憶する方法がある。また、漢字の成立と用法に関する分類である『六書』の「象形・指事・会意・形声・転注・仮借」などの原則によって漢字の読み書きの理解を助けることができる。つまり、「木・林・森」「同・銅・胴」のように会意では意味の理解に、形声ではつくりの部分が音を示すことを理解させる。このように漢字の構成に目をつけて、そこから漢字指導法を創意・工夫することができる。学習指導要領に、「漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと」「漢字の由来、特質などについて理解すること」の指導事項があるが、漢字についての知識や理解があると漢字学習は一層興味が増すものである。

第3章 漢字習得調査結果の内容

学年別配当漢字の習得状況一覧表

- 1、この調査内容は小学校・学年別配当漢字1006字の習得調査の結果である。配当漢字1006字とその音訓読み、合計1759字について行った。平成11年6～7月中に全国の公立小・中学校の66校、788学級、児童・生徒数2万6787名を対象とした調査である。漢字1字当たり平均して約500名の児童・生徒の漢字習得状況の平均値を算出し、%で表した。
- 2、調査問題に対し解答したものを採点基準にしたがって厳正に採点し、読むことの習得状況については正答率を出し、その習得状況を把握した。書くことの習得状況については正答率の他、無答率及び誤答率を出し、誤答の中から特に多いものを三つ提示し、誤答例として示した。
- 3、一覧表における調査漢字の配列は、第1学年の配当漢字から順に、第6学年まで1006字を五十音順に示した。表の見方について、例を挙げて説明する。

第2学年(2)〔外～魚〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
外	ガイ	外国に行く	95.6	93.2	3.5	3.3	外	外	語
	そと	外で遊ぶ	98.9	95.3	1.2	3.5	外	外	空
	ほか (5)	その外の意見	59.4	11.5	18.1	70.4	他	地	也
	はず-れる (3)	くじが外れる	66.9	54.2	42.4	3.4	治	負	外
角	カク	四角なはこ	95.5	54.7	9.0	36.3	角	角	角
	かど (4)	角を曲がる	74.0	73.8	17.0	9.2	門	曲	角
	つの (4)	牛の角	92.5	78.5	16.4	5.1	解	角	用

- (1) 上記の表は、2年配当漢字の「外」と「角」の習得状況を示したものである。「外」についての読み方(ガイ、そと、ほか、はず-れる)の音訓読みが示してある。音読みはカタカナ、訓読みはひらがなで表記した。
- (2) 調査実施の学年は()の中に示しており、「ほか」は5年で、「はず-れる」は3年で提出され、それぞれ該当する5年と3年で習得調査をした。数字が記入されていないのは、配当されている2年生で実施したものである。
- (3) 漢字をどのように出題したかについては、「書きの問題」として示した。書くことの問題はどのように文の形で提出し、読むことの問題はこれより短縮して提出した。
- (4) 調査結果の正答率・無答率・誤答率は、各解答用紙を採点して、一字当たりの平均値を算出した。数字は四捨五入し、少数第一位まで出した。書くことの正答率・無答率・誤答率は%で示し、合計は100%になっている。

第1学年(1)〔一～学〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」 の正答率	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
				正答率	無答率	誤答率			
一	イチ	一ばんはやい	97.9	99.6	0.3	0.1	/		
	イツ	こねこが一ぴき	86.2	98.8	0.7	0.5	/	五	人
	イツ (6)	国家を統一する	97.6	87.7	9.7	2.6	逸	晩	致
	ひとつ	一つ	94.4	88.0	0.3	11.7	人	火	入
右	ウ (4)	車が右折する	74.8	72.2	18.4	9.4	左	打	曲
	ユウ (2)	左右を見る	80.5	83.8	5.5	10.7	忒	行	友
	みぎ	右どなりの人	93.8	94.0	0.5	5.5	左	石	石
雨	ウ (5)	雨天中止	76.0	87.8	7.8	4.4	宇	宙	空
	あめ	雨がふる	98.8	94.6	1.0	4.4	雨	雨	雪
	あま (4)	雨雲が広がる	95.8	86.2	10.8	3.0	天	綿	西
円	エン	十円をはらう	99.3	98.1	0.6	1.3	円	円	円
	まるーい (4)	円い月が出る	95.0	94.0	3.0	3.0	丸	回	円
王	オウ	はだかの王さま	97.8	94.2	0.8	5.0	玉	生	大
音	オン (2)	音楽をきく	96.5	97.6	1.7	0.7	楽	音	昔
	おと	足音がきこえる	92.8	93.6	3.2	3.2	昔	音	音
	ね (2)	ふえの音色	71.5	70.4	15.4	14.2	音	根	声
下	カ (4)	下級生	87.6	67.8	21.7	10.5	仮	低	化
	ゲ (5)	教科書の下巻	78.0	89.5	10.2	0.3	毛	手	外
	した	下を見る	98.5	97.5	0.9	1.6	上	才	下
	しも (3)	川下にむかう	47.0	61.7	31.4	6.9	霜	雲	島
	さーがる (3)	ねだんが下がる	93.2	83.3	13.1	3.6	差	才	才
	くだーる (3)	川を下る	84.6	74.6	21.1	4.3	実	学	下
	おーりる	かいだんを下りる	81.5	84.2	4.0	11.8	多	小	上
火	カ	火じになる	93.5	94.2	1.0	4.8	力	光	月
	ひ	火がもえる	98.0	94.6	0.3	5.1	日	人	火
花	カ (4)	学校の花だん	98.4	83.2	12.0	4.8	家	化	貨
	はな	なの花がさく	98.8	99.1	0.4	0.5	化	草	昆
貝	かい	うみで貝をひろう	98.8	88.2	1.2	10.6	貝	頁	回
学	ガク	小学校へいく	93.8	92.7	1.3	6.0	字	学	学
	まなーぶ (4)	英語を学ぶ	97.6	79.0	15.4	5.6	習	教	覚

第1学年(2)〔気～校〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
気	キ	げん気いっぱい	99.8	95.0	0.7	4.3	木	気	元
	ケ (4)	秋の気配を感じる	73.0	59.8	33.1	7.1	毛	感	複
九	キュウ	九このいちご	89.8	95.4	2.1	2.5	几	9	力
	ク	ごご九じにねる	93.5	89.4	5.5	5.1	七	丸	9
	ここのーつ	おはじきが九つ	80.1	85.0	2.0	13.0	心	ハ	六
休	キュウ (4)	休息をする	89.7	37.0	19.9	43.1	急	給	救
	やすーみ	なつ休みになる	97.5	94.7	1.3	4.0	体	林	村
玉	ギョク (6)	玉石がまじる	61.4	77.3	15.1	7.6	宝	露	丸
	たま	しゃぼん玉	97.8	95.6	1.7	2.7	王	主	主
金	キン	金よう日	99.8	97.4	0.7	1.9	金	余	木
	コン (3)	黄金にかがやく	85.8	83.5	11.1	5.4	全	色	言
	かね	お金をつかう	92.5	93.8	1.2	5.0	全	金	金
	かな (2)	金づちでたたく	85.9	59.0	27.7	13.3	全	金	金
空	クウ (2)	空気をすう	95.2	95.2	2.4	2.4	空	究	空
	そら	あおい空	98.3	93.8	1.6	4.6	空	空	空
	あーく (2)	せきが空く	85.6	45.0	9.3	45.7	合	間	開
	から (2)	はこが空っぽ	96.3	87.2	8.1	4.7	店	習	究
月	ゲツ	月よう日	97.7	99.1	0.5	0.4	日	月	月
	ガツ	五月の空	94.1	98.1	1.1	0.8	日	上	月
	つき	お月見のおだんご	90.4	98.2	1.1	0.7	月	丹	月
犬	ケン (5)	番犬を飼う	90.0	89.1	9.3	1.6	太	験	検
	いぬ	子犬がほえる	98.2	96.0	0.3	3.7	太	犬	伏
見	ケン (4)	社会科見学	95.5	83.2	9.4	7.4	験	観	研
	みーえる	うみが見える	99.4	94.5	2.4	3.1	見	貝	貝
五	ゴ	えんぴつが五本	97.6	97.4	0.7	1.9	子	分	語
	いつーつ	五つになる	79.9	81.7	6.9	11.4	一	五	五
口	コウ (3)	人口が多い	94.8	84.2	10.1	5.7	工	校	交
	ク (6)	やさしい口調	97.6	87.6	7.7	4.7	句	苦	区
	くち	大きな口をあける	98.9	99.4	0.3	0.3	日	大	
校	コウ	校ていであそぶ	92.9	84.9	4.6	10.5	秋	校	校

第1学年(3)〔左～出〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
左	サ (2)	左右を見る	80.8	87.8	9.6	2.6	式	左	右
	ひだり	左にまわる	91.9	95.0	1.3	3.7	右	左	左
三	サン	三さつの本	97.2	98.2	0.6	1.2	数	二	角
	み	三日月	52.2	74.0	3.1	22.9	見	耳	月
	みっ-つ	三つ目のおはなし	75.3	97.0	1.7	1.3	二	ミ	見
山	サン (4)	アルプス山脈	99.0	94.9	2.1	3.0	三	算	山
	やま	たかい山にのぼる	99.2	99.4	0.5	0.1	森	山	
子	シ (5)	子孫に伝える	94.1	66.0	25.4	8.6	祖	死	孫
	ス (3)	様子を見る	96.9	90.5	6.7	2.8	巢	予	見
	こ	子どもがあそぶ	99.9	98.8	0.6	0.6	子	子	子
四	シ	四かくいはこ	68.0	87.6	7.9	4.5	シ	七	白
	よ	四人の男の子	92.2	96.0	2.3	1.7	読	血	日
	よっ-つ	四つのたからもの	71.9	97.3	1.5	1.2	力	連	4
	よん	四ひきのねこ	95.6	97.8	0.9	1.3	4	本	四
糸	シ (6)	一糸乱れぬ行進	36.3	63.4	25.6	11.0	志	線	止
	いと	ほそい糸	98.8	90.6	1.7	7.7	糸	糸	紙
字	ジ	字を正しくかく	96.5	92.5	2.1	5.4	字	字	地
耳	みみ	ぞうの耳はおおきい	98.9	93.2	1.1	5.7	耳	見	耳
七	シチ	七五三のちとせあめ	68.2	94.3	3.3	2.4	夕	ナ	七
	なな	七つの子	95.3	94.4	1.5	4.1	中	花	七
	なの	七日になる	82.8	91.0	4.8	4.2	セ	ヒ	ヒ
車	シャ	じどう車にのる	94.2	92.5	1.9	5.6	東	車	車
	くるま	車にのる	96.9	92.6	1.3	6.1	卓	車	車
手	シュ (2)	はく手をする	73.7	87.7	9.0	3.3	毛	首	手
	て	手がみをかく	98.8	90.3	2.0	7.7	手	毛	毛
十	ジュウ	十人のともだち	87.7	98.0	1.4	0.6	字	月	九
	ジツ	十かいはしった	47.8	91.1	5.7	3.2	字	間	地
	とお	十日たつ	80.6	82.7	3.5	13.8	遠	音	速
	と (6)	十人十色	64.2	65.1	29.8	5.1	々	都	戸
出	シュツ (3)	旅行に出発する	98.5	70.6	19.9	9.5	登	発	行

第1学年(4)〔出～青〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」 の正答率	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
				正答率	無答率	誤答率			
出	でーる	出口をさがす	96.1	89.0	3.4	7.6	入	人	手
	だーす	手を出す	97.5	94.2	2.5	3.3	正	下	止
女	ジョ (4)	男女で協力する	98.3	97.6	1.7	0.7	子	助	
	おんな	女の人	98.2	99.2	0.4	0.4	父	文	
小	ショウ (3)	小学校	95.6	96.9	2.2	0.9	少	少	
	ちいーさい	小さいあり	97.2	96.5	1.4	2.1	少	小	
	こ	小とりがとんだ	86.9	54.3	1.8	43.9	子	小	
	お (3)	小川	82.1	80.3	14.0	5.7	大	春	中
上	ジョウ (3)	上手に歌う	95.2	83.2	14.0	2.8	生	場	以
	あーがる	かいだんを上がる	86.3	84.9	3.1	12.0	当	土	合
	うえ	上をむく	97.9	97.4	0.8	1.8	土	止	土
	かみ (3)	川上と川下	47.7	81.0	9.9	9.1	神	紙	止
	のぼーる (3)	上り電車	69.4	26.0	12.8	61.2	登	発	会
森	シン (5)	森林の植物	97.3	90.9	5.9	3.2	新	深	神
	もり	森の中をあるく	99.2	98.1	0.6	1.3	林	木	禁
人	ジン (3)	登場人物	93.4	91.2	5.6	3.2	入	主	自
	ひと	おとなの人	97.5	96.9	0.7	2.4	入	人	
水	スイ	水よう日	97.7	99.5	0.4	0.1	木	氷	
	みず	水をのむ	98.3	99.2	0.7	0.1	川	水	
正	ショウ	お正月のおとし玉	88.7	70.8	7.7	21.5	玉	正	正
	セイ (4)	学校の正門	85.0	43.5	31.4	25.1	生	西	清
	ただーしい	正しいしせい	94.9	85.1	1.8	13.1	止	正	下
	まさ (6)	正にその通り	79.4	54.8	31.6	13.6	真	卷	常
生	セイ	小学生になる	94.6	89.8	2.6	7.6	生	完	主
	ショウ (3)	人の一生	84.6	63.6	21.4	15.0	章	命	勝
	いーきる (2)	虫が生きている	97.6	92.7	3.0	4.3	夜	行	生
	うーまれる	子犬が生まれる	93.4	89.5	4.5	6.0	王	主	生
	はーえる (2)	草が生える	97.8	83.6	7.9	8.5	葉	植	生
	なま (5)	生野菜を食べる	98.2	90.7	8.0	1.3	名	若	今
青	セイ (5)	青少年	93.9	85.2	6.3	8.5	清	性	生

第1学年(5)〔青～中〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
青	あお	青いうみ	98.0	91.6	3.1	5.3	晴	青	青
夕	ゆう	夕ごはんのしたく	93.9	93.2	2.5	4.3	多	冬	外
石	セキ (4)	化石を見つける	97.9	81.5	12.1	6.4	岩	貴	関
	シャク (3)	じ石で遊ぶ	48.7	46.7	39.0	14.3	磁	弱	砂
	いし	まるい石をひろう	98.6	94.1	2.1	3.8	右	右	王
赤	セキ (4)	船が赤道を通る	77.4	62.5	23.1	14.4	関	石	積
	あかーい	赤いりんご	99.3	87.9	3.0	9.1	亦	赤	赤
千	セン	千円さつ	92.9	89.4	3.2	7.4	手	先	生
	ち (4)	千代紙で折る	95.8	78.7	13.2	8.1	知	千	地
川	かわ	川でおよぐ	98.5	99.4	0.5	0.1	水	川	
先	セン	先生がはなす	99.4	81.5	2.5	16.0	先	先	赤
	さき (2)	先に出る	89.4	77.3	13.0	9.7	先	元	前
早	ソウ (4)	早春の便り	55.0	39.3	37.1	23.6	初	青	草
	はやーい	あさ早くおきる	97.9	92.5	2.6	4.9	林	朝	村
草	ソウ (2)	みどりの草原	91.4	71.8	18.6	9.6	草	章	草
	くさ	草はらにねころぶ	86.0	85.6	2.4	12.0	草	黄	草
足	ソク (2)	楽しい遠足	95.7	79.2	10.3	10.5	園	走	食
	あし	かけ足でいく	89.8	84.4	2.6	13.0	足	足	足
	たーす (2)	足し算	91.1	59.6	31.1	9.3	足	算	田
村	ソン (4)	農村の生活	43.4	48.7	36.4	14.9	損	測	失
	むら	村まつりのおみこし	93.1	83.3	6.6	10.1	村	村	町
大	ダイ	大こんをあらう	84.4	79.0	3.5	17.5	台	太	太
	タイ (2)	ドッジボール大会	98.7	88.1	5.6	6.3	会	体	太
	おおーきい	大きなふね	98.3	98.3	0.1	1.6	多	王	ナ
男	ダン (5)	男女平等	99.0	94.6	3.2	2.2	易	男	男
	ナン (4)	長男が生まれる	98.4	83.4	12.8	3.8	兄	人	何
	おとこ	げん気な男の子	96.6	97.6	0.6	1.8	男	留	男
竹	チク (6)	竹林を歩く	65.8	26.6	41.2	32.2	畜	築	域
	たけ	竹とんぼをとばす	98.5	92.4	2.0	5.6	竹	竹	竹
中	チュウ (2)	水中めがね	97.6	89.5	5.6	4.9	虫	注	仲

第1学年(6)〔中～百〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」 の正答率	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
				正答率	無答率	誤答率			
中	なか	水の中	98.2	98.7	0.7	0.6	水	魚	
虫	チュウ (3)	こん虫図かん	96.2	91.3	3.6	5.1	虫	虫	虫
	むし	かぶと虫をとる	98.6	80.9	1.8	17.3	虫	虫	虫
町	チョウ (4)	町内会	91.8	74.9	14.5	10.6	丁	長	朝
	まち	町や村	97.5	88.3	4.8	6.9	田	田	町
天	テン	天気よほう	97.3	88.2	3.4	8.4	点	矢	天
	あま (5)	天の川	96.1	76.2	13.8	10.0	雨	河	甘
田	デン (6)	水田地帯	90.7	79.0	10.0	11.0	電	土	伝
	た	ひろい田んぼ	99.8	97.2	2.0	0.8	立	夕	日
土	ド	ねん土であそぶ	94.0	97.8	1.2	1.0	上	工	士
	ト (2)	広い土地	73.3	68.9	14.9	16.2	戸	図	場
	つち	くろい土	94.0	96.2	1.5	2.3	士	上	地
二	ニ	二じかん目	97.2	97.0	1.7	1.3	目	日	晴
	ふた-つ	二つのやくそく	94.7	95.2	3.4	1.4	太	立	体
日	ニチ	日ようび	95.1	98.7	0.6	0.7	目	月	
	ジツ (3)	元日の朝	71.0	67.7	23.2	9.1	実	旧	月
	ひ	日の出を見る	92.1	59.3	1.9	38.8	火	月	光
	か	三日目のよる	84.4	83.1	7.9	9.0	火	月	月
入	ニュウ	入学しき	86.0	68.2	9.4	22.4	へ	人	校
	い-る	入り口と出口	82.8	78.3	5.1	16.6	人	出	生
	はい-る	きょうしつに入る	80.2	78.1	4.3	17.6	人	出	早
年	ネン	二年生になる	97.9	82.6	2.5	14.9	年	年	年
	とし (2)	お年よりに席をゆずる	88.8	81.3	10.4	8.3	才	年	五
白	ハク (4)	白鳥が飛ぶ	96.0	72.6	15.4	12.0	羽	自	羽
	しろ-い	白いくも	98.8	96.0	1.3	2.7	百	自	百
	しら (5)	白波が立つ	89.0	88.6	9.1	2.3	潮	湖	泊
八	ハチ	八だいの車	94.6	96.1	3.1	0.8	八	八	
	やっ-つ	八つのりんご	62.1	83.9	4.3	11.8	八	七	四
百	ヒャク	百てんまんてん	91.9	81.9	2.5	15.6	百	自	白

第1学年(7)〔文～六〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
文	ブン	さく文をかく	98.4	95.8	1.7	2.5	分	大	交
	モン (3)	文字を書く	89.0	69.2	25.7	5.1	大	毛	符
木	ボク (4)	木刀をふり回す	64.8	69.9	24.7	5.4	牧	本	北
	モク	木よう日	92.9	98.0	1.2	0.8	本	大	水
	き	木のぼりがとくい	97.3	95.4	1.1	3.5	気	十	気
	こ	すずしい木かげ	60.9	59.2	3.4	37.4	小	子	校
本	ホン	本をよむ	97.7	97.0	1.1	1.9	木	本	本
	もと (5)	熊本県	99.3	84.2	12.8	3.0	未	元	木
名	メイ (3)	作文の題名	98.6	77.2	10.9	11.9	各	明	問
	ミョウ (6)	大名行列	79.6	67.5	25.2	7.3	明	脈	臣
	な	名まえをかく	99.4	97.5	1.9	0.6	名	夕	名
目	モク (3)	目てき地へ行く	94.5	67.6	23.6	8.8	木	日	的
	め	目ざましどけい	99.5	95.1	1.6	3.3	見	日	白
立	リツ (5)	会社を設立する	89.3	35.4	25.8	38.8	率	建	律
	た一つ	しっかり立つ	97.4	91.7	3.9	4.4	止	田	出
力	リョク (3)	全力で走る	93.8	77.2	17.7	5.1	料	刀	走
	リキ (6)	考えを力説する	77.2	71.8	26.9	1.3	利	筋	解
	ちから	力いっぱいはしる	97.1	96.0	1.0	3.0	刀	強	力
林	リン (5)	森林の植物	98.2	95.2	4.0	0.8	村	材	森
	はやし	林の中	92.7	94.6	2.2	3.2	森	材	村
六	ロク	六さいのいもうと	94.5	91.4	1.8	6.8	四	6	九
	むっ一つ	みかんが六つ	61.5	89.3	4.5	6.2	五	虫	七
	むい	六日かんのりよこ う	75.5	85.7	7.4	6.9	八	6	九

1 - 7

(第1学年新出漢字 終)

第2学年(1)〔引～絵〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
引	イン (4)	地球の引力	58.5	31.2	46.5	22.3	印	因	強
	ひーく	線を引く	95.5	81.8	8.7	9.5	引	己	弘
羽	は (3)	鳥の羽音	54.2	72.7	15.4	11.9	齒	習	葉
	はね	鳥の羽	97.9	94.7	3.4	1.9	毚	非	根
雲	ウン (6)	積乱雲	44.6	47.4	26.0	26.6	運	曇	雨
	くも	白い雲	96.7	82.9	5.9	11.2	雲	雲	雪
園	エン	公園であそぶ	99.1	84.3	3.1	12.6	園	園	園
遠	エン	遠足	93.3	53.1	6.2	40.7	遠	遠	退
	とおーい	遠い山	93.0	72.1	11.2	16.7	遠	遠	週
何	なに	何にしようかな	97.3	93.4	4.6	2.0	何	何	伺
	なん	何回もくりかえす	97.7	91.0	4.9	4.1	何	伺	何
科	カ	生活科のべんきょう	96.1	80.6	11.8	7.6	科	科	科
夏	カ (6)	春夏秋冬	73.1	93.0	1.2	5.8	火	科	化
	なつ	夏休み	98.5	84.3	4.2	11.5	夏	頁	复
家	カ (3)	家族で出かける	97.6	92.0	4.2	3.8	家	家	族
	ケ	王さまと家来	85.0	55.1	27.4	17.5	家	家	家
	いえ	家につく	98.7	86.0	2.0	12.0	家	家	家
	や (3)	我が家に帰る	81.6	76.0	15.6	8.4	屋	家	矢
歌	カ (4)	校歌を歌う	92.4	75.8	12.7	11.5	果	歌	課
	うた	楽しい歌	98.3	67.9	10.0	22.1	歌	歌	歌
画	ガ	えい画を見る	95.3	73.6	14.9	11.5	画	面	面
	カク	計画を立てる	86.3	66.8	13.7	19.5	角	角	面
回	カイ	五回くりかえす	97.6	84.7	4.6	10.7	階	会	貝
	まわーる	走り回る	96.0	95.6	1.9	2.5	丸	同	同
会	カイ	うんどう会	98.3	95.6	0.7	3.7	会	回	会
	あーう	友だちに会う	95.7	52.7	6.1	41.2	合	会	今
海	カイ (3)	海岸で遊ぶ	96.4	70.0	17.3	12.7	海	貝	階
	うみ	広い海	98.9	91.3	0.2	8.5	海	海	毎
絵	カイ (5)	絵画をかん賞する	53.0	37.6	45.6	16.8	会	海	貝
	エ	絵をかく	97.5	90.7	4.8	4.5	絲	絵	絵

第2学年(2)〔外～魚〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
外	ガイ	外国に行く	95.6	93.2	3.5	3.3	外	外	語
	そと	外で遊ぶ	98.9	95.3	1.2	3.5	外	外	空
	ほか (5)	その外の意見	59.4	11.5	18.1	70.4	他	地	也
	はずーれる (3)	くじが外れる	66.9	54.2	42.4	3.4	治	負	外
角	カク	四角なほこ	95.5	54.7	9.0	36.3	角	角	角
	かど (4)	角を曲がる	74.0	73.8	17.0	9.2	門	曲	角
	つの (4)	牛の角	92.5	78.5	16.4	5.1	解	角	用
楽	ガク	音楽をきく	99.7	94.0	3.6	2.4	楽	学	歌
	ラク	楽なしごと	68.7	70.1	22.6	7.3	楽	菓	楽
	たのーしい	楽しい歌	98.9	96.1	2.2	1.7	楽	源	薬
活	カツ	毎日の生活	94.7	72.2	18.8	9.0	話	香	科
間	カン	時間	99.4	96.0	1.5	2.5	間	時	門
	ケン (3)	動物と人間	96.8	82.4	10.6	7.0	形	関	問
	あいだ	いすといすの間	89.9	83.8	6.8	9.4	問	開	門
	ま	昼間	88.8	82.6	8.4	9.0	問	門	真
丸	ガン (6)	一丸となって進む	77.3	43.4	31.5	25.1	眼	眠	願
	まるーい	丸いボール	99.7	90.3	3.5	6.2	回	九	円
岩	ガン (5)	岩石の標本	93.3	76.5	18.3	5.2	炭	岸	眼
	いわ	大きな岩	95.0	82.1	5.1	12.8	岩	岩	劣
顔	ガン (6)	朝の洗顔	96.1	90.7	5.3	4.0	眼	顔	丸
	かお	顔をあらう	99.0	76.9	8.0	15.1	鰐	顔	顔
汽	キ	汽車にのる	96.1	57.5	10.9	31.6	気	汽	汽
記	キ	日記をかく	98.9	91.6	3.7	4.7	気	計	記
	しるーす (6)	ペンで記す	69.5	33.8	15.2	51.0	示	印	付
帰	キ (4)	外国から帰国する	77.5	65.4	22.1	12.5	期	帰	来
	かえーる	家に帰る	98.7	84.9	5.4	9.7	帰	帰	帰
弓	ゆみ	細い弓	75.0	73.9	4.7	21.4	己	引	弓
牛	ギユウ (4)	牛乳を飲む	95.8	88.9	7.2	3.9	午	乳	汎
	うし	大きな牛	99.1	78.7	3.6	17.7	午	午	牛
魚	ギョ (4)	金魚をかう	93.3	87.7	6.6	5.7	品	魚	漁

第2学年(3)〔魚～古〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
魚	うお (3)	魚市場	63.7	80.8	13.3	5.9	青	漁	魚
	さかな	魚やさん	98.5	90.4	2.6	7.0	兎	漁	魚
京	キョウ	東京タワー	98.0	82.4	7.5	10.1	京	泉	束
強	キョウ	べん強する	98.3	69.7	7.2	23.1	強	勉	強
	つよーい	強い力	95.7	73.7	11.2	15.1	強	強	鰻
教	キョウ	教室に入る	95.7	68.3	13.3	18.4	教	救	数
	おしーえる	道を教える	87.6	76.4	6.7	16.9	数	教	教
	おそーわる	道を教わる	81.3	51.0	33.8	15.2	数	数	教
近	キン (3)	さい近のニュース	86.7	68.3	18.9	12.8	金	辺	所
	ちかーい	学校に近い	94.6	90.8	4.1	5.1	迄	送	送
兄	キョウ	なかのよい兄弟	93.3	77.8	16.5	5.7	兄	兄	男
	あに	わたしの兄	93.9	97.3	2.0	0.7	兄	兄	兄
形	ケイ (5)	四角形	92.6	97.4	1.3	1.3	径	型	計
	ギョウ	人形	95.3	78.1	11.8	10.1	形	汗	开
	かた (5)	祖父の形見	66.3	18.1	53.1	28.8	方	片	型
	かたち	はこの形	97.4	91.0	3.4	5.6	汗	形	刑
計	ケイ	計算する	98.5	92.4	2.0	5.6	計	信	計
	はかーる (6)	時間を計る	95.7	56.8	15.0	28.2	測	量	則
元	ゲン	元気な子	96.0	94.6	2.7	2.7	元	光	元
	ガン (3)	元日の朝	75.2	77.1	17.2	5.7	完	旦	正
	もと (3)	元にもどる	94.7	75.0	20.5	4.5	本	一	六
言	ゲン (4)	方言で話す	71.2	52.8	33.0	14.2	元	現	原
	ゴン (4)	先生からの伝言	92.6	69.1	18.2	12.7	信	語	話
	いーう	先生に言う	92.0	95.2	2.8	2.0	言	言	生
	こと (3)	言葉で表す	96.7	88.9	8.4	2.7	話	事	語
原	ゲン	みどりの草原	94.9	72.1	6.1	21.8	原	原	原
	はら	野原であそぶ	98.7	73.6	9.7	16.7	原	原	原
戸	コ (6)	戸外で遊ぶ	23.6	20.4	38.3	41.3	固	個	子
	と	戸をあける	92.7	87.7	3.6	8.7	戸	間	止
古	コ (4)	古代の生物	88.1	60.8	23.8	15.4	子	小	固

第2学年(4)〔古～黄〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
古	ふるーい	古い紙	95.5	93.0	3.7	3.3	吉	舌	占
午	ゴ	午後に出かける	98.4	78.3	3.9	17.8	牛	半	前
後	ゴ	いちばんさい後	80.8	59.3	9.6	31.1	徐	後	語
	コウ (5)	後方に下がる	81.4	55.8	30.0	14.2	向	行	広
	のち (5)	晴れ後くもり	86.4	52.2	34.9	12.9	時	延	後
	うしーろ	後ろをむく	97.2	70.9	7.5	21.6	徐	牛	後
	あと	後につづく	61.5	56.8	24.3	18.9	後	徐	後
語	ゴ	国語の本	99.4	92.8	2.0	5.2	話	語	話
	かたーる	昔話を語る	74.0	57.8	24.6	17.6	話	方	読
工	ク (4)	工夫を重ねる	93.8	87.3	8.4	4.3	苦	勞	加
	コウ	図工がすき	95.7	97.0	1.0	2.0	画	交	書
公	コウ	公園で遊ぶ	99.2	84.6	7.0	8.4	会	公	遠
広	コウ (5)	広大な土地	83.6	50.1	31.9	18.0	高	広	工
	ひろーい	広い空	99.2	94.2	2.9	2.9	広	庄	広
交	コウ	交通あんぜん	98.2	67.1	8.3	24.6	校	公	交
	まじーわる	線が交わる	73.0	65.9	16.8	17.3	文	校	回
	まーじる (4)	石と土が交じる	94.1	13.3	29.7	57.0	混	混	文
光	コウ (5)	美しい光景	97.6	43.2	43.9	12.9	色	公	広
	ひかり	日の光	97.9	88.8	5.8	5.4	光	光	光
考	コウ (4)	国語の参考書	73.8	42.0	43.0	15.0	功	行	功
	かんがーえる	間だいを考える	97.4	89.5	1.4	9.1	考	考	考
行	コウ (3)	すばやい行動	79.7	69.4	23.2	7.4	運	工	公
	ギョウ	ありの行れつ	89.2	81.7	2.6	15.7	列	行	列
	いーく	学校へ行く	98.3	87.5	6.4	6.1	行	来	言
	ゆーく (3)	行く手をさえぎる	28.0	67.2	28.9	3.9	湯	由	来
	おこなーう (4)	開会式を行う	79.8	74.6	22.7	2.7	改	行	校
高	コウ (4)	高学年の児童	97.2	86.1	7.2	6.7	校	底	低
	たかーい	高い山	97.4	91.1	4.3	4.6	高	高	高
黄	オウ (3)	黄金にかがやく	90.3	60.5	18.3	21.2	王	横	大
	き	黄色のほうし	91.3	70.5	6.2	23.3	黄	黄	黄

第2学年(5)〔合～寺〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
合	ゴウ (3)	しけんに合格する	68.3	40.9	11.7	47.4	号	合	答
	カツ (4)	さるかに合戦	73.9	38.2	35.1	26.7	勝	勝	争
	ガツ (4)	合しよう曲	90.8	79.3	7.2	13.5	学	唱	楽
	あーう	声を合わせる	99.7	90.4	5.1	4.5	会	合	当
谷	たに	谷川の音	95.7	69.7	5.4	24.9	台	谷	台
国	コク	国語の本	95.7	95.5	0.8	3.7	国	国	国
	くに	南の国	94.3	91.9	4.5	3.6	国	国	島
黒	コク (3)	教室の黒板	97.2	81.4	8.9	9.7	里	黒	国
	くろ	黒い土	98.4	88.7	3.1	8.2	黒	黒	黒
今	コン	今夜は月が出ている	93.4	78.4	16.7	4.9	夜	会	明
	いま	今すぐに行く	98.3	93.0	3.0	4.0	会	合	元
才	サイ	九才の男の子	98.3	89.0	4.4	6.6	才	才	才
細	サイ (5)	細心の注意	45.4	12.3	46.9	40.8	最	再	災
	ほそーい	細い糸	89.4	91.6	2.6	5.8	糸	糸	線
	こまかーい (3)	細いすな	85.3	58.7	27.7	13.6	短	細	小
作	サク	作文をかく	98.4	84.6	5.4	10.0	作	作	作
	サ (3)	動作が早い	48.8	35.1	43.7	21.2	速	差	行
	つくーる	クッキーを作る	98.4	86.6	5.4	8.0	作	佐	作
算	サン	計算をする	97.8	92.6	3.6	3.8	算	算	算
止	シ (5)	雨天中止	97.3	82.2	11.3	6.5	市	使	上
	とーめる	車を止める	99.5	89.3	3.8	6.9	戸	上	正
市	シ (3)	大都市	79.8	68.5	19.9	11.6	四	士	市
	いち	朝市に行く	74.5	57.2	6.0	36.8	一	市	巾
矢	や	矢じるし	87.4	66.8	12.6	20.6	天	矢	知
姉	あね	わたしの姉	87.0	86.3	4.1	9.6	姉	妹	姉
思	シ (4)	不思議な話	99.0	76.5	18.4	5.1	士	心	史
	おもーう	正しいと思う	97.1	95.3	2.0	2.7	思	思	男
紙	シ	画用紙	95.2	74.9	8.7	16.4	糸	新	書
	かみ	紙をおる	97.6	81.1	9.2	9.7	新	紙	級
寺	ジ (4)	寺院を見学する	55.5	51.8	18.3	29.9	寺	自	見

第2学年(6)〔寺～食〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
寺	てら	お寺の門	96.7	92.8	2.8	4.4	寺	時	寺
自	ジ	自てん車	98.4	70.9	12.4	16.7	車	白	目
	シ (3)	大切な自ぜん	98.5	92.8	4.7	2.5	白	然	目
	みずかーら (4)	自ら考える	75.2	63.9	31.5	4.6	身	助	負
時	ジ	三時のおやつ	99.2	92.9	2.2	4.9	時	字	間
	とき	うれしい時	93.6	83.2	7.4	9.4	詩	時	時
室	シツ	教室に入る	98.0	68.9	7.0	24.1	室	宏	室
社	シャ	会社につとめる	96.5	89.0	2.4	8.6	仕	社	社
	やしろ (6)	社に参る	59.6	51.2	29.6	19.2	城	館	造
弱	ジャク (4)	音の強弱	84.1	83.7	13.9	2.4	号	弱	弱
	よわーい	さむさに弱い	96.7	85.4	6.2	8.4	弱	匹	羽
首	シュ (4)	漢字の部首	74.3	49.1	35.4	15.5	主	手	種
	くび	首かざり	96.1	80.5	10.5	9.0	道	首	百
秋	シュウ (6)	秋分の日	70.9	62.4	14.2	23.4	週	春	新
	あき	スポーツの秋	94.3	66.5	11.5	22.0	秋	沐	咲
週	シュウ	一週間	91.8	59.4	11.8	28.8	週	週	週
春	シュン (4)	春分の日	39.1	39.7	42.1	18.2	秋	新	春
	はる	春が来る	98.7	88.8	4.9	6.3	春	春	春
書	ショ (3)	読書の秋	96.7	80.6	12.4	7.0	読	本	話
	かーく	ノートに書く	99.7	93.5	2.4	4.1	書	書	書
少	ショウ	少年	94.5	83.2	3.0	13.8	小	心	心
	すこーし	もう少し	97.3	90.9	5.4	3.7	少	少	小
	すくーない (3)	人通りが少ない	98.4	86.9	10.9	2.2	小	心	少
場	ジョウ (3)	運動場で遊ぶ	91.3	75.1	17.0	7.9	上	場	運
	ば	広場で遊ぶ	96.6	77.0	10.0	13.0	場	場	場
色	ショク (6)	二色のえん筆	97.7	94.8	3.2	2.0	食	種	植
	シキ (5)	色紙にサインする	76.3	56.2	23.7	20.1	式	織	武
	いろ	色えんぴつ	98.6	96.7	1.9	1.4	色	免	色
食	ショク	楽しいきゅう食	99.4	91.3	4.5	4.2	食	良	食
	たーべる	パンを食べる	99.6	95.8	2.1	2.1	食	食	食

第2学年(7)〔心～線〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
心	シン	心ぞうがうごく	89.5	88.3	4.9	6.8	新	真	配
	こころ	やさしい心	98.1	99.0	0.5	0.5	思	所	必
新	シン (4)	新聞を読む	99.6	94.7	1.3	4.0	親	紙	聞
	あたらしい	新しいくつ	94.3	75.7	5.6	18.7	教	新	親
	あらた	新たに始める	94.5	68.6	23.6	7.8	流	改	表
親	シン	親切な人	83.6	40.4	12.0	47.6	新	心	親
	おや	やさしい母親	92.7	85.8	7.0	7.2	親	規	親
	したらしい (4)	親しい友人	57.8	53.3	22.4	24.3	新	下	親
図	ズ	図工の時間	98.3	95.0	0.5	4.5	図	図	図
	ト (3)	図書室	96.3	82.8	10.1	7.1	図	図	区
数	スウ	数字を書く	94.1	88.8	4.2	7.0	数	数	算
	かず	千までの数	98.5	94.2	1.5	4.3	教	数	数
	かぞえる (3)	プリントを数える	87.4	85.8	11.1	3.1	教	数	数
西	セイ (5)	大西洋	86.6	67.1	21.5	11.4	平	清	成
	サイ (6)	東西に広がる	79.2	85.1	10.8	4.1	済	財	座
	にし	西の風	99.8	97.2	0.9	1.9	西	西	西
声	セイ (4)	高い音声	76.4	29.7	45.4	24.9	清	成	生
	こえ	大きな声	97.6	85.6	5.0	9.4	声	声	声
星	セイ (5)	人工えい星	98.5	61.3	17.0	21.7	衛	生	製
	ほし	明るい星	99.5	83.2	7.3	9.5	星	星	星
晴	セイ (5)	晴天が続く	89.7	74.7	10.5	14.8	清	情	青
	はれる	空が晴れる	94.5	80.9	5.8	13.3	晴	青	晴
切	セツ	大切なもの	90.6	65.8	11.4	22.8	セ	切	切
	きる	木を切る	99.3	64.6	12.8	22.6	セ	セ	セ
雪	セツ (4)	新雪が積もる	57.1	41.1	35.0	23.9	切	説	親
	ゆき	雪がふる	98.1	89.7	1.6	8.7	雪	雪	雷
船	セン (4)	大きな貨物船	94.8	62.8	11.0	26.2	線	船	船
	ふね	船が出る	96.3	59.5	14.7	25.8	般	船	船
	ふな (5)	船旅をする	97.7	88.4	2.9	8.7	船	舟	舟
線	セン	線を引く	90.5	76.9	6.2	16.9	紙	線	線

第2学年(8)〔前～直〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
前	ゼン	午前中	91.8	87.8	6.0	6.2	前	収	後
	まえ	前にいる人	97.2	93.8	2.8	3.4	前	前	前
組	ソ (5)	大きな組織	79.1	37.6	25.4	37.0	祖	祖	素
	くみ	三年一組	97.0	97.6	0.7	1.7	組	生	助
走	ソウ (4)	八十メートル走	96.2	63.6	16.4	20.0	歩	徒	徒
	はしーる	校ていを走る	99.2	73.8	8.0	18.2	走	走	走
多	タ (5)	多数決できめる	97.0	84.4	10.4	5.2	増	他	夕
	おおーい	人が多い	96.0	82.1	2.4	15.5	大	多	犬
太	タイ	太ようが出る	92.7	74.3	6.7	19.0	大	犬	太
	タ	丸太でできたふね	86.2	81.9	16.7	1.4	大	田	多
	ふとーい	太い木	96.3	92.5	5.1	2.4	犬	大	丸
体	タイ	体育の時間	91.2	91.6	1.7	6.7	休	育	大
	からだ	じょうぶな体	95.1	94.1	3.1	2.8	休	体	記
台	ダイ	へいきん台	95.9	85.7	5.1	9.2	大	合	太
	タイ (5)	台風の目	99.1	87.7	8.0	4.3	大	太	体
地	チ	地球は丸い	92.9	89.4	7.5	3.1	也	地	池
	ジ	地面にあなをほる	97.4	90.9	2.8	6.3	池	也	地
池	チ (4)	かん電池	96.7	41.7	6.6	51.7	地	也	気
	いけ	大きな池	92.0	82.6	5.7	11.7	地	池	也
知	チ (5)	知識を増す	95.8	76.4	10.8	12.8	知	味	地
	しーる	知らない人	94.1	67.3	16.7	16.0	味	味	味
茶	チャ	むぎ茶をのむ	98.5	90.2	2.1	7.7	茶	余	茶
昼	チュウ (3)	昼食の時間	56.6	55.3	11.3	33.4	中	朝	給
	ひる	昼休み	96.7	70.6	9.4	20.0	昼	昼	昼
長	チョウ	校長先生	96.5	73.9	10.3	15.8	長	長	長
	ながーい	長いひも	97.8	93.0	2.9	4.1	長	長	長
鳥	チョウ (5)	鳥類と魚類	94.2	75.8	13.3	10.9	鳥	鳥	腸
	とり	鳥の声	99.0	92.7	1.1	6.2	鳥	鳥	鳥
朝	チョウ (4)	朝食をとる	87.9	83.6	11.0	5.4	昼	朝	昼
	あさ	朝ごはん	98.3	84.2	3.0	12.8	朝	朝	朝
直	チョク (4)	直線を引く	95.0	89.7	8.5	1.8	長	調	接

第2学年(9)〔直～読〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
直	ジキ (3)	正直に話す	77.6	57.4	32.9	9.7	式	下	告
	なおーす	読み直す	93.0	91.0	5.0	4.0	道	直	反
	ただーちに(6)	直ちに集合せよ	77.8	19.7	58.2	22.1	正	至	只
通	ツウ	交通あんぜん	96.3	72.3	13.1	14.6	通	通	通
	とおーる	人が通る	98.3	84.3	4.0	11.7	通	進	邇
	かよーう	学校に通う	78.9	59.2	28.0	12.8	通	邇	通
弟	ダイ	なかのよい兄弟	94.7	78.4	4.2	17.4	弟	弟	弟
	おとうと	弟のおもちゃ	95.8	74.3	6.5	19.2	弟	弟	第
店	テン (3)	商店がい	97.9	86.2	8.8	5.0	点	天	街
	みせ	おもちゃの店	97.6	85.5	8.7	5.8	店	店	点
点	テン	百点をとる	99.7	93.7	1.9	4.4	点	点	点
電	デン	電車	98.0	83.3	7.7	9.0	電	電	電
刀	トウ (4)	木刀をふる	88.6	67.8	22.6	9.6	刃	十	当
	かたな	むかしの刀	94.8	79.2	4.1	16.7	力	切	九
冬	トウ (6)	冬季オリンピック	77.0	80.2	16.8	3.0	秋	唐	冷
	ふゆ	さむい冬	98.9	78.0	7.4	14.6	冬	冬	冬
当	トウ	そうじ当番	92.8	82.7	9.7	7.6	当	当	当
	あーたる	石に当たる	99.2	78.0	7.4	14.6	当	会	当
東	トウ	東京タワー	96.3	80.4	12.2	7.4	車	東	果
	ひがし	東の空	95.0	88.5	3.6	7.9	東	東	東
答	トウ (5)	回答らんを書く	92.1	73.1	19.3	7.6	当	答	答
	こたーえる	しつもんに答える	97.9	92.4	2.8	4.8	答	答	声
頭	トウ	先頭を歩く	62.8	37.4	23.6	39.0	踵	跡	頭
	ズ (4)	頭つうがする	84.5	67.5	22.8	9.7	凶	顔	能
	あたま	頭がいたい	94.0	60.1	19.6	20.3	顔	頭	頭
同	ドウ (3)	同級生	89.4	69.0	21.2	9.8	童	重	道
	おなーじ	同じ道をとる	96.7	82.7	10.4	6.9	同	周	合
道	ドウ (3)	高速道路	96.1	89.2	6.1	4.7	通	運	道
	みち	せまい道	98.3	93.0	1.3	5.7	道	道	道
読	ドク (3)	読書の秋	89.1	70.5	19.4	10.1	凶	続	話

第2学年(10)〔読～米〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
読	トク (5)	児童向けの読本	18.9	8.6	23.6	67.8	徳	続	特
	トウ (4)	句読点	34.8	23.1	58.0	18.9	当	等	投
	よーむ	本を読む	99.8	96.1	1.3	2.6	読	訖	語
内	ナイ (3)	校内放送	94.0	87.0	10.1	2.9	中	全	何
	うち	はこの内がわ	92.6	89.0	6.7	4.3	丙	上	丙
南	ナン (4)	南極たんけん	97.2	81.2	8.5	10.3	南	南	南
	みなみ	南の国	98.6	79.0	3.9	17.1	南	南	南
肉	ニク	肉を食べる	98.7	79.3	8.7	12.0	肉	内	肉
馬	バ	けい馬	95.2	59.6	5.7	34.7	場	馬	馬
	うま	馬が走る	98.2	84.8	4.9	10.3	馬	馬	馬
売	バイ (4)	切手を発売する	83.1	60.1	28.9	11.0	買	倍	敗
	うーる	パンを売る	98.8	82.5	10.0	7.5	読	売	売
買	バイ (6)	土地の売買	83.6	73.4	13.4	13.2	々	敗	員
	かーう	本を買う	99.7	89.6	4.5	5.9	買	買	員
麦	むぎ	麦茶をのむ	84.9	47.6	25.5	26.9	麦	麦	麦
半	ハン	半ズボン	92.6	53.7	11.6	34.7	羊	羊	反
	なかーば (5)	七月半ば	52.3	33.6	15.6	50.8	中	仲	半
番	バン	当番	98.2	90.3	2.2	7.5	番	番	番
父	フ (4)	父母会	71.3	57.1	15.8	27.1	婦	夫	祖
	ちち	父親	97.8	96.7	1.5	1.8	父	父	女
風	フウ (4)	風車が回る	91.6	86.2	9.9	3.9	空	風	風
	かぜ	つよい風	99.3	78.1	3.0	18.9	風	風	風
	かざ (5)	風上に立つ	74.3	75.7	22.2	2.1	下	神	空
分	ブン	半分にする	98.1	85.7	3.3	11.0	文	分	間
	フン (4)	九時二分	96.1	92.8	1.8	5.4	分	分	粉
	ブ (4)	一わり二分	35.0	15.4	13.6	71.0	部	陪	倍
	わーかる	もんだいが分かる	96.6	84.6	11.1	4.3	合	方	来
聞	ブン (4)	新聞を読む	98.7	76.7	11.0	12.3	間	文	分
	きーく	話を聞く	98.9	92.3	3.7	4.0	開	間	気
米	ベイ (6)	日米関係	93.3	79.5	14.3	6.2	平	欧	粃

第2学年(11)〔米～友〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」 の正答率	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
				正答率	無答率	誤答率			
米	マイ (6)	白米をたく	93.3	91.7	6.0	2.3	舞	枚	光
	こめ	お米やさん	97.4	91.3	3.3	5.4	光	来	半
歩	ホ (3)	一歩ずつ進む	96.6	77.8	12.6	9.6	走	少	足
	あるーく	えきまで歩く	96.9	80.3	5.9	13.8	歩	走	歩
	あゆーみ (6)	六年間の歩み	98.4	88.3	9.0	2.7	歩	先	始
母	ボ (4)	父母会を開く	86.8	84.8	4.8	10.4	母	祖	親
	はは	やさしい母	94.7	97.3	1.0	1.7	母	母	花
方	ホウ	西の方にすすむ	90.4	89.6	9.0	1.4	西	万	方
	かた	夕方までにかえる	92.1	75.0	20.8	4.2	多	夜	万
北	ホク (3)	東北地方	86.8	66.0	20.4	13.6	北	北	方
	きた	北風がふく	98.6	88.3	4.7	7.0	北	北	北
毎	マイ	毎日つづける	96.7	76.1	6.7	17.2	毎	毎	毎
妹	いもうと	わたしの妹	84.3	71.7	7.0	21.3	妹	妹	妹
万	マン	一万円	97.8	96.1	1.1	2.8	方	分	丸
明	メイ (3)	説明文	97.6	79.2	14.7	6.1	胆	朋	名
	ミョウ (4)	明朝早く起きる	23.1	24.1	67.5	8.4	脈	妙	裨
	あーかり (3)	明かりをつける	95.8	86.9	10.3	2.8	多	光	灯
	あかーるい	明るい人	98.6	92.1	0.5	7.4	胆	赤	皓
	あきーらか (3)	明らかなまちがい	89.0	67.1	26.3	6.6	新	秋	胆
鳴	メイ (4)	悲鳴を上げる	93.9	47.9	27.1	25.0	命	鳴	名
	なーく	鳥が鳴く	98.2	87.6	2.6	9.8	鳥	鳴	鳥
毛	モウ (4)	毛布をかける	87.4	64.9	29.9	5.2	綿	羊	牛
	け	毛糸であむ	96.9	81.8	10.4	7.8	毛	手	生
門	モン	学校の門	97.8	88.9	2.2	8.9	間	開	問
夜	ヤ	今夜の月	86.3	59.4	16.6	24.0	夜	列	夜
	よ (3)	暗い夜道	93.8	64.1	20.1	15.8	夜	夜	夜
	よる	しずかな夜	98.5	76.4	4.5	19.1	教	夜	夜
野	ヤ (3)	野球のチーム	96.1	69.7	21.8	8.5	野	界	理
	の	野原	97.0	56.4	20.6	23.0	野	野	野
友	ユウ	親友と遊ぶ	94.1	80.4	8.7	10.9	友	友	名

第2学年(12)〔友～話〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主 な 誤 答 例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
友	とも	友だちとあう	99.1	90.4	4.2	5.4	方	反	友
	ヨウ	遠足の用い	97.8	82.8	10.0	7.2	田	羽	様
用	もちーいる(3)	道具を用いる	57.8	37.8	22.8	39.4	物	持	特
	ヨウ	土曜日	99.5	77.3	3.6	19.1	曜	懼	懼
来	ライ	来年は四年生	62.3	66.7	20.9	12.4	未	来	采
	くーる	人が来る	94.0	77.0	11.1	11.9	丰	来	来
里	リ (6)	郷里に帰る	83.0	82.6	11.0	6.4	帰	理	量
	さと	里いも	78.0	82.2	12.4	5.4	黒	星	思
理	リ	理科	98.9	91.1	2.7	6.2	埋	駐	里
話	ワ	楽しい会話	72.3	80.6	9.7	9.7	話	話	和
	はなし	おもしろい話	96.1	91.0	3.9	5.1	話	詩	話

2-12

〔第2学年 新出漢字 終〕

第3学年(1)〔悪～荷〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
悪	アク (5)	悪役を演じる	94.3	80.4	5.6	14.0	悪	悪	要
	わるーい	気分が悪い	94.8	40.0	14.0	46.0	悪	悪	悪
安	アン	交通安全	98.7	85.2	4.0	10.8	案	完	守
	やすーい (4)	値段が安い	96.8	94.2	4.5	1.3	売	守	客
暗	アン (6)	体育館の暗幕	85.0	57.6	24.6	17.8	安	暗	案
	くらーい	暗い夜道	96.1	71.5	16.8	11.7	暗	陪	黒
医	イ	お医者さん	98.8	66.3	10.7	23.0	医	医	区
委	イ	図書委員	91.5	59.5	27.1	13.4	委	案	委
意	イ	意見を言う	89.1	48.6	36.3	15.1	言	衣	以
育	イク	体育館	90.4	91.0	6.5	2.5	力	自	育
	そだーつ	元気に育つ	94.5	90.9	4.7	4.4	有	体	育
員	イン	飼育委員	95.3	77.9	12.4	9.7	買	具	育
院	イン	病院へ行く	94.2	37.2	44.0	18.8	完	浣	郛
飲	イン (4)	飲料水	72.8	62.5	19.8	17.7	院	入	食
	のーむ	薬を飲む	98.5	64.3	10.8	24.9	飯	飲	飪
運	ウン (4)	車を運転する	97.8	81.0	12.5	6.5	連	動	渾
	はこーぶ	荷物を運ぶ	94.5	83.6	8.2	8.2	連	転	速
泳	エイ (6)	水泳大会	99.2	84.1	3.2	12.7	永	泳	冰
	およーぐ	プールで泳ぐ	98.1	79.5	7.8	12.7	泳	永	冰
駅	エキ	駅まで歩く	98.6	77.0	12.1	10.9	厶	駢	馱
央	オウ	広場の中央	96.4	87.6	7.0	5.4	王	央	央
横	オウ (5)	横断歩道	95.4	71.7	14.6	13.7	黄	構	心
	よこ	横を向く	98.3	78.4	8.3	13.3	横	横	黄
屋	オク (4)	ビルの屋上	79.8	45.1	40.8	14.1	置	奥	屋
	や	パン屋さん	99.2	72.3	11.6	16.1	屋	屋	屋
温	オン	温度計	98.6	82.5	9.9	7.6	音	温	温
	あたーめる	ミルクを温める	79.5	52.1	34.7	13.2	焼	暑	当
化	カ (4)	文化祭	95.7	64.9	26.5	8.6	果	科	課
	ばーける	お化けが出る	99.1	91.4	5.2	3.4	北	場	所
荷	に	荷物を持つ	97.8	71.6	15.9	12.5	荷	倚	苛

第3学年(2)〔界～業〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
界	カイ	世界一高い山	99.3	72.3	7.8	19.9	界	界	畏
開	カイ (4)	試合を開始する	90.6	55.4	30.4	14.2	会	関	間
	ひらーく	本を開く	89.7	70.2	17.7	12.1	関	広	平
	あーける	まどを開ける	94.5	73.3	8.3	18.4	明	関	開
階	カイ	階だんを上る	95.4	43.7	33.3	23.0	指	皆	回
寒	カン (6)	寒暖の差が大きい	90.0	74.1	10.7	15.2	寒	寒	寒
	さむーい	今日は寒い	96.2	43.7	19.8	36.5	寒	寒	寒
感	カン	感じたこと	98.4	66.2	18.8	15.0	漢	感	感
漢	カン	漢字テスト	98.5	72.6	9.1	18.3	漢	漢	漢
館	カン	体育館	99.6	79.0	9.1	11.9	館	館	館
岸	ガン	海岸で遊ぶ	94.1	41.9	19.2	38.9	岸	岩	岸
	きし	向こう岸に着く	85.5	65.1	24.8	10.1	岸	岸	島
起	キ (6)	起しょう時間	92.2	74.9	17.5	7.6	規	期	起
	おーきる	朝早く起きる	99.1	73.7	12.6	13.7	起	起	起
期	キ	一学期	99.7	60.3	24.5	15.2	級	散	旗
客	キャク	お客さん	96.9	73.2	12.4	14.4	各	宮	官
究	キュウ	自由研究	94.9	58.7	25.3	16.0	空	究	究
急	キュウ	急行電車	91.1	65.8	24.7	9.5	救	急	流
	いそーぐ	帰りを急ぐ	92.5	68.7	20.4	10.9	急	急	急
級	キュウ	学級文庫	98.4	56.4	21.7	21.9	級	級	級
宮	キュウ (4)	広い宮でん	62.6	33.8	34.7	31.5	球	球	究
	みや	お宮まいり	79.8	51.6	10.1	38.3	官	宮	宮
球	キュウ	丸い地球	98.0	73.2	13.3	13.5	球	球	球
	たま (5)	投手の速い球	95.6	81.2	6.0	12.8	球	玉	求
去	キョ (6)	去年の思い出	94.5	69.0	12.9	18.1	昨	昨	共
	コ (5)	過去と未来	92.3	49.4	38.5	12.1	古	個	来
	さーる	時間がすぎ去る	85.1	46.9	38.6	14.5	差	云	未
橋	キョウ (6)	鉄橋をわたる	72.0	64.2	19.9	15.9	橋	境	鏡
	はし	橋をわたる	97.8	73.9	8.2	17.9	橋	橋	走
業	ギョウ	始業式	94.7	46.7	36.2	17.1	行	業	業

第3学年(3)〔曲～港〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
曲	キョク (6)	作曲家	98.8	90.9	6.2	2.9	由	演	詩
	まーがる	道を曲がる	96.9	84.0	8.1	7.9	由	曲	典
局	キョク	放送局	93.5	41.1	41.4	17.5	局	局	局
銀	ギン	銀メダル	85.3	44.0	21.5	34.5	金	録	銀
区	ク	細かく区切る	88.0	56.1	32.3	11.6	区	句	久
苦	ク (4)	苦心して仕上げる	61.4	43.1	46.7	10.2	工	区	九
	くるーしい	息が苦しい	97.3	92.4	4.9	2.7	悲	苦	菩
	にがーい	苦い薬	82.4	85.2	13.3	1.5	若	古	太
具	グ	絵の具を買う	96.5	86.0	10.2	3.8	貝	具	具
君	クン	山田君	99.8	61.8	19.8	18.4	君	君	君
	きみ (4)	君とぼく	99.3	93.3	5.5	1.2	君	君	君
係	ケイ	かん係が深い	89.0	75.9	15.8	8.3	計	係	係
	かかり	係を決める	97.1	84.0	3.9	12.1	係	係	係
軽	ケイ	軽トラックが走る	78.4	29.5	36.2	34.3	経	形	径
	かるーい	体が軽い	96.6	54.8	21.8	23.4	車	車	怪
血	ケツ (4)	けがで出血する	94.9	68.7	13.8	17.5	欠	潔	皿
	ち	血が出る	99.5	90.9	3.9	5.2	皿	血	地
決	ケツ (4)	決勝戦	94.2	73.9	18.0	8.1	決	決	結
	きーめる	係を決める	94.1	65.1	17.6	17.3	次	決	決
研	ケン	自由研究	94.8	47.9	32.2	19.9	研	研	研
県	ケン	県立の病院	87.7	57.9	28.7	13.4	建	県	具
庫	コ	学級文庫	97.6	69.3	11.5	19.2	子	章	庫
湖	コ (5)	湖底にしずむ	90.0	30.8	44.1	25.1	固	古	個
	みずうみ	美しい湖	89.4	80.1	8.1	11.8	湖	湖	湖
向	コウ	方向をかえる	91.4	58.7	25.2	16.1	向	行	校
	むーかう	山に向かう	94.6	73.6	20.3	6.1	来	追	回
幸	コウ	幸福にくらす	85.6	52.6	18.9	28.5	幸	幸	神
	しあわーせ	幸せな生活	90.2	56.0	13.3	30.7	幸	幸	幸
	さいわーい (5)	幸いなこと	55.1	56.0	26.6	17.4	幸	災	幸
港	コウ (4)	空港で働く	92.9	26.6	40.9	32.5	行	飛	陸

第3学年(4)[港～実]

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
港	みなと	港から船が出る	92.4	43.6	25.5	30.9	湖	南	港
号	ゴウ	番号をつける	99.5	86.7	5.0	8.3	号	写	号
根	コン	大根を食べる	93.6	55.5	29.4	15.1	根	根	禄
	ね	植物の根	86.9	48.8	29.3	21.9	種	芽	植
祭	サイ (6)	文化祭	96.7	61.9	11.3	26.8	際	祭	賤
	まつり	神社の祭り	96.5	57.2	20.0	22.8	祭	祭	祭
皿	さら	皿をあらう	94.7	87.4	5.2	7.4	皿	曲	典
仕	シ	仕事をする	99.1	83.9	7.5	8.6	士	社	事
	つかえる (6)	王様に仕える	65.5	31.5	25.8	42.7	任	使	供
死	しーぬ	かぶと虫が死ぬ	99.5	83.7	4.7	11.6	夜	列	死
使	シ (5)	部屋を使用する	94.7	73.2	20.0	6.8	私	試	仕
	つかう	えんぴつを使う	96.5	81.8	9.7	8.5	使	使	吏
始	シ (5)	開始時こく	88.4	73.6	20.8	5.6	試	始	始
	はじまる	夏休みが始まる	96.9	68.2	8.6	23.2	初	始	如
指	シ (5)	指定席	92.9	60.6	28.0	11.4	私	視	示
	ゆび	親指	96.6	59.2	28.9	11.9	指	階	指
	さーす	ゆびで指す	79.9	52.7	31.1	16.2	指	指	暗
歯	シ (5)	眼科と歯科	89.6	64.3	29.4	6.3	視	歯	士
	は	歯をみがく	99.2	86.0	10.9	3.1	歯	歯	歯
詩	シ	詩を読む	93.6	66.6	17.7	15.7	時	訶	計
次	ジ	次の予やく	88.8	70.6	10.4	19.0	時	次	次
	つぎ	次の時間	96.8	76.6	10.7	12.7	欠	次	次
事	ジ	食事をする	96.3	64.2	28.9	6.9	時	字	車
	こと	仕事を始める	96.3	89.2	6.6	4.2	事	事	事
持	ジ (6)	弁当を持参する	75.9	44.1	15.9	40.0	自	次	事
	もーつ (5)	荷物を持つ	97.0	73.6	9.3	17.1	待	物	特
式	シキ	始業式	98.8	75.3	8.3	16.4	式	代	式
実	ジツ (4)	事実が分かる	84.5	60.4	34.0	5.6	真	々	実
	み	木の実を拾う	98.8	83.4	8.8	7.8	身	実	美
	みのーる (5)	いねが実る	84.5	77.3	18.8	3.9	布	実	見

第3学年(5)〔写～重〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
写	シャ	写真を写す	97.8	86.6	6.8	6.6	写	号	号
	うつす	ビデオに写す	87.3	47.3	32.9	19.8	移	号	映
者	シャ	学者になる	97.6	74.7	10.5	14.8	社	者	者
	もの	元気なわか者	87.4	56.6	8.7	34.7	物	者	物
主	シュ	お話の主人公	94.9	62.2	26.0	11.8	住	発	手
	ぬし (5)	犬の飼い主	98.2	79.0	14.1	6.9	者	招	物
	おも (6)	主な意見	82.6	56.8	27.5	15.7	思	重	面
守	シュ (6)	守備につく	90.3	81.3	13.5	5.2	主	手	首
	ス (5)	留守番をする	96.3	57.8	34.1	8.1	寸	住	巢
	まもーる	やくそくを守る	96.7	92.8	4.9	2.3	寸	市	守
取	シュ (5)	作文の取材	87.7	50.0	39.1	10.9	主	手	種
	とーる	手紙を受け取る	98.0	71.7	20.1	8.2	取	助	取
酒	シュ (6)	日本酒を飲む	90.7	87.0	5.7	7.3	西	洒	配
	さけ (5)	あま酒を飲む	99.3	67.9	15.6	16.5	配	西	洒
	さか	酒屋にいく	62.4	56.8	17.8	25.4	配	坂	魚
受	ジュ (4)	金賞を受賞する	62.0	57.4	17.8	24.8	受	準	受
	うーける	ボールを受ける	96.4	22.9	52.7	24.4	受	受	受
州	シュウ	九州への旅	97.6	83.0	12.3	4.7	州	川	州
拾	ひろーう	ごみを拾う	87.2	79.3	6.7	14.0	捨	拾	拾
終	シュウ (5)	一学期の終業式	90.4	74.6	15.0	10.4	修	始	終
	おーわる	話が終わる	97.4	77.4	11.7	10.9	絡	後	系
習	シュウ	習字の時間	94.0	78.9	11.3	9.8	書	写	字
	ならーう	ピアノを習う	90.5	74.0	21.2	4.8	治	字	習
集	シュウ	集合の時間	90.4	80.3	13.8	5.9	週	進	書
	あつーまる	人が集まる	95.5	86.7	9.1	4.2	集	集	集
住	ジュウ	住所を書く	82.6	54.1	28.8	17.1	注	十	柱
	すーむ	外国に住む	93.1	63.6	17.8	18.6	進	注	住
重	ジュウ	体重をはかる	94.1	77.6	13.1	9.3	十	重	動
	チョウ (5)	貴重な体験	86.7	81.4	11.0	7.6	頂	張	量
	おもーい	重い荷物	97.4	81.7	10.3	8.0	夕	思	重

第3学年(6)〔重～真〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
重	かさ-ねる	皿を重ねる	85.1	61.6	31.1	7.3	反	量	動
宿	シュク	宿題をすませる	93.5	67.9	20.0	12.1	鬼	宿	宿
	やど (4)	宿屋にとまる	59.9	66.0	21.9	12.1	宿	宿	宿
	やど-る (4)	草につゆが宿る	61.2	61.7	29.9	8.4	宿	宿	宿
所	ショ	場所をとる	98.6	91.4	5.4	3.2	場	所	所
	ところ	みんながいる所	95.4	88.6	8.3	3.1	新	折	心
暑	ショ (6)	暑中お見まい	84.1	52.9	20.8	26.3	暑	初	夏
	あつ-い	暑い夏	95.6	71.1	15.3	13.6	暑	者	熱
助	ジョ (5)	人命救助	80.2	57.6	32.4	10.0	所	場	敗
	たす-ける	犬を助ける	90.6	53.2	26.8	20.0	助	敗	助
昭	ショウ	昭和生まれの人	92.0	56.1	22.8	21.1	昭	昭	照
消	ショウ	消ぼう自動車	92.0	81.0	14.6	4.4	清	車	小
	き-える	火が消える	97.8	91.7	6.1	2.2	清	清	消
	け-す (4)	落書きを消す	99.7	92.8	4.2	3.0	梢	消	消
商	ショウ	商店がい	93.8	62.0	15.7	22.3	商	商	商
章	ショウ	文章を書く	91.0	59.8	25.0	15.2	書	草	章
勝	ショウ (4)	勝利を喜ぶ	90.8	76.0	9.3	14.7	勝	勝	勝
	か-つ	しあいに勝つ	96.4	30.2	24.2	45.6	勝	勝	勝
乗	ジョウ (6)	バスの乗客	92.0	76.4	16.1	7.5	来	垂	来
	の-る	車に乗る	97.4	50.5	23.9	25.6	来	来	来
植	ショク	高い山の植物	97.2	72.4	14.1	13.5	食	直	生
	う-える	種を植える	78.7	52.6	28.1	19.3	根	直	産
申	もう-す	申し上げる	91.3	63.0	26.5	10.5	由	曲	甲
身	シン (5)	全身の力	97.8	71.5	13.3	15.2	体	心	進
	み	身の回り	96.2	60.6	20.0	19.4	見	身	身
神	シン (5)	健全な精神	87.4	48.3	22.8	28.9	心	身	神
	ジン (5)	神社の境内	97.4	75.6	11.6	12.8	寺	神	人
	かみ	神様にいのる	99.1	76.4	13.9	9.7	神	神	様
真	シン	写真をとる	99.3	78.0	8.8	13.2	真	直	真
	ま	円の真ん中	87.8	75.5	12.7	11.8	真	間	真

第3学年(7)〔深～代〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
深	シン (4)	深こきゅうをする	97.4	36.2	19.6	44.2	心	息	新
	ふかーい	深い海	95.6	75.7	10.2	14.1	深	還	底
進	シン (4)	前進する	83.8	48.9	28.9	22.2	身	信	新
	すすーむ	前へ進む	94.1	85.2	6.1	8.7	通	進	集
世	セ	世界一高い山	99.8	93.3	2.9	3.8	他	界	世
	セイ (4)	二十一世紀	99.6	93.3	2.9	3.8	世	世	界
	よ (4)	世の中のニュース	98.4	77.9	10.0	12.1	夜	寄	也
整	セイ	整理せいとん	96.9	58.9	18.7	22.4	整	連	整
	ととのーえる (5)	体勢を整える	79.3	64.3	24.7	11.0	整	整	備
昔	むかし	昔話を聞く	97.9	86.6	4.7	8.7	昔	昔	昔
全	ゼン	全力で走る	96.5	94.5	3.8	1.7	前	金	完
	まったーく (3)	全く知らない	85.6	57.3	32.4	10.3	最	夫	待
相	ソウ	先生に相談する	93.3	53.0	15.6	31.4	想	談	調
	あい	相手の気持ち	97.6	91.4	6.1	2.5	相	相	手
送	ソウ	校内放送	95.0	54.7	33.5	11.8	送	送	返
	おくーる	送りがな	88.1	69.8	20.4	9.8	辺	送	追
想	ソウ	読書感想文	93.7	57.8	23.2	19.0	相	思	想
息	ソク (4)	しばらく休息する	45.6	13.7	41.7	44.6	足	測	速
	いき	息つきをする	99.3	79.3	4.7	16.0	息	急	息
速	ソク (4)	速度を早める	91.0	71.4	21.7	6.9	則	測	走
	はやーい	走るのが速い	91.7	77.9	6.8	15.3	早	返	遠
族	ゾク	五人家族	93.0	49.3	26.4	24.3	族	族	放
他	タ	他人の意見	95.4	62.9	13.8	23.3	地	池	也
打	ダ (5)	打楽器	89.3	61.4	26.5	12.1	打	大	修
	うーつ	ホームランを打つ	95.2	60.7	11.6	27.7	折	村	投
対	タイ	反対の意見	96.7	65.1	19.4	15.5	対	村	校
待	タイ (5)	友人を招待する	90.2	43.8	27.9	28.3	持	体	退
	まーつ	帰りを待つ	85.6	46.6	14.8	38.6	持	特	侍
代	ダイ (4)	代金をはらう	91.8	64.6	15.3	20.1	大	題	賃
	タイ (6)	仕事を交代する	96.0	38.8	23.1	38.1	退	対	賛

第3学年(8)〔代～鉄〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
代	かーわる	友だちの代わり	92.5	62.3	15.0	22.7	変	交	伐
	よ (4)	千代紙	83.4	60.6	29.1	10.3	世	予	織
第	ダイ	第一号	98.8	81.4	5.2	13.4	大	弟	第
題	ダイ	本の題名	95.4	69.1	8.2	22.7	台	大	是
炭	タン (5)	石炭をほる	96.6	74.0	11.9	14.1	灰	垣	探
	すみ	炭火でやく	76.3	73.9	14.6	11.5	災	岸	灰
短	タン (5)	短きより走	96.5	76.4	12.8	10.8	知	咲	短
	みじかーい	短い文章	80.0	52.8	17.9	29.3	短	短	短
談	ダン	先生に相談する	84.9	57.4	24.2	18.4	想	談	談
着	チャク (5)	空港に着陸する	94.2	60.8	27.6	11.6	差	着	直
	きーる	洋服を着る	95.4	63.0	8.0	29.0	着	着	着
	つーく	学校に着く	75.1	53.0	31.2	15.8	着	着	着
注	チュウ	車に注意する	94.8	70.0	9.1	20.9	住	中	柱
	そそーぐ (5)	水を注ぐ	76.1	49.9	36.9	13.2	往	浴	油
柱	チュウ (6)	円柱の体積	96.0	87.8	4.6	7.6	中	住	宙
	はしら	大きな柱	82.5	59.7	19.9	20.4	住	栓	柱
丁	チョウ	一丁目一番地	95.3	90.1	3.2	6.7	町	丁	北
帳	チョウ	れんらく帳	98.8	64.1	18.6	17.3	長	長	帳
調	チョウ (4)	体の調子がいい	92.8	65.5	27.1	7.4	週	長	様
	しらーべる	本で調べる	99.6	91.6	3.8	4.6	詞	選	知
追	ツイ (6)	料理を追加する	83.9	49.7	40.5	9.8	増	対	付
	おーう	犬がねこを追う	95.2	67.6	21.2	11.2	起	追	送
定	テイ	学習の予定	94.3	74.6	15.5	9.9	停	定	定
	ジョウ (5)	三角定規	48.5	44.2	35.0	20.8	条	直	上
	さだーめる (6)	目標を定める	88.5	66.8	26.6	6.6	貞	改	納
庭	テイ (4)	校庭で遊ぶ	95.7	62.5	24.8	12.7	舎	底	低
	にわ	庭に花がさく	95.7	77.0	11.1	11.9	庭	庭	庭
笛	テキ (5)	汽笛を鳴らす	87.3	55.3	23.2	21.5	笛	笛	的
	ふえ	笛をふく	97.9	84.7	9.2	6.1	笛	笛	筆
鉄	テツ	鉄道が通る	95.5	41.2	20.4	38.4	鉄	銀	鉄

第3学年(9)〔転～箱〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
転	テン (4)	自転車に乗る	94.3	75.8	9.5	14.7	軽	輪	運
	ころーぶ	道で転ぶ	96.9	83.8	10.5	5.7	紘	運	軽
都	ト	東京都に住む	86.3	53.1	23.3	23.6	部	陪	階
	ツ (4)	都合がよい	69.5	27.8	54.4	17.8	付	郡	群
	みやこ (6)	京の都	89.9	83.9	9.5	6.6	宮	階	都
度	ド	何度も読む	98.8	87.6	7.7	4.7	皮	度	回
投	トウ (4)	投票箱	93.4	35.7	37.4	26.9	標	当	選
	なーげる	ボールを投げる	93.4	43.2	25.5	31.3	役	役	打
豆	トウ	豆ふを食べる	94.4	81.7	14.7	3.6	頭	登	豆
	ズ (6)	大豆を植える	98.4	93.0	5.3	1.7	乳	車	豆
	まめ	そら豆を食べる	99.4	91.7	6.3	2.0	官	豆	豆
島	トウ (5)	無人島	99.2	97.7	1.3	1.0	諸	鳥	島
	しま	たから島	99.1	86.3	5.2	8.5	鳥	島	島
湯	トウ	ねっ湯を入れる	76.3	42.2	26.9	30.9	温	豆	登
	ゆ	水とお湯	97.9	61.3	7.2	31.5	温	場	湯
登	トウ	登場人物	97.1	65.7	15.6	18.7	発	登	登
	ト (5)	富士登山	77.3	61.0	29.2	9.8	登	路	戸
	のぼーる	山に登る	96.4	74.6	6.5	18.9	発	上	登
等	トウ	一等になる	94.4	44.0	18.4	37.6	第	賞	位
	ひとーしい (5)	重さが等しい	95.9	80.5	9.5	10.0	又	久	人
動	ドウ	すばやい行動	96.4	73.9	12.3	13.8	道	運	重
	うごーく	すばやく動く	96.9	90.3	4.3	5.4	運	重	動
童	ドウ	童話の本を読む	87.3	47.1	25.3	27.6	動	道	童
農	ノウ	米作り農家	92.7	23.2	48.4	28.4	農	農	農
波	ハ (4)	テレビの電波	87.1	64.2	24.7	11.1	皮	発	話
	なみ	大波にのる	90.2	66.4	11.0	22.6	波	波	皮
配	ハイ	手紙の配達	83.6	44.5	38.1	17.4	西	送	入
	くばーる (4)	ゆう便を配る	83.5	64.1	25.6	10.3	西	便	運
倍	バイ	五の二倍	92.8	83.5	4.2	12.3	部	位	陪
箱	はこ	お菓しの箱	94.1	69.3	15.2	15.5	節	箱	箱

第3学年(10)〔畑～負〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
畑	はた (6)	田畑を耕す	86.4	93.0	3.5	3.5	畝	稻	旗
	はたけ	畑をたがやす	97.6	92.2	3.4	4.4	畝	畝	畑
発	ハツ	大声で発言する	93.4	80.0	11.7	8.3	発	発	初
反	ハン	反対の意見	97.8	83.9	7.8	8.3	返	板	半
	そーる (4)	体を反らす	66.4	52.5	39.1	8.4	空	外	返
坂	さか	坂道をのぼる	98.1	64.4	7.1	28.5	返	板	反
板	ハン (6)	鉄板で焼く	92.1	67.2	24.2	8.6	鋼	版	甲
	バン	教室の黒板	98.7	75.9	10.8	13.3	坂	反	畝
	いた (4)	板をけずる	95.3	79.2	13.6	7.2	札	枝	仮
皮	ヒ (4)	手の皮ふのしょうどく	82.9	60.4	14.9	24.7	波	皮	火
	かわ	みかんの皮	94.5	71.5	8.6	19.9	皮	川	波
悲	ヒ (4)	人の悲鳴が聞こえる	88.8	63.6	19.5	16.9	非	声	悲
	かなーしい	悲しいできごと	95.7	53.8	16.4	29.8	悲	悲	悲
美	ビ (6)	教室の美化	97.9	89.8	5.9	4.3	美	美	美
	うつくーしい	美しいバラ	84.7	45.5	32.3	22.2	美	美	実
鼻	はな	鼻が高い	98.7	75.5	7.7	16.8	鼻	鼻	花
筆	ヒツ (4)	漢字の筆順を調べる	67.1	57.2	25.3	17.5	筆	等	必
	ふで	筆で書く	90.3	65.7	22.2	12.1	筆	筆	第
氷	ヒョウ (5)	氷河時代	93.0	43.2	22.1	34.7	泳	永	冰
	こおり	氷がとける	95.5	42.1	6.4	51.5	泳	永	氷
表	ヒョウ	表紙を開く	93.8	81.5	7.2	11.3	表	表	衣
	おもて	表に出る	83.8	76.6	15.8	7.6	表	表	表
	あらわーす	うれしさを表す	87.9	77.2	13.8	9.0	注	現	表
秒	ビョウ	一分は六十秒	98.6	77.8	11.4	10.8	科	秒	紗
病	ビョウ	病気がなおる	96.1	73.8	9.9	16.3	病	病	病
	やまい (6)	病にかかる	87.9	80.2	14.4	5.4	病	山	病
品	ピン	図工の作品	96.9	85.1	12.7	2.2	等	文	画
	しな	品物を買う	88.9	89.2	9.0	1.8	荷	商	貨
負	フ (4)	けがで負しようする	16.6	13.8	43.5	42.7	不	夫	治
	まーける	ゲームで負ける	96.3	82.4	8.5	9.1	負	負	負

第3学年(11)〔負～油〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
負	おーう (6)	責任を負う	69.1	56.6	31.1	12.3	追	尾	連
部	ブ	全部できる	95.8	59.6	16.8	23.6	部	陪	部
服	フク	洋服を着る	97.0	68.5	20.0	11.5	反	服	服
福	フク	幸福にくらす	97.3	64.3	13.8	21.9	服	副	福
物	ブツ	人物画	95.2	86.0	7.5	6.5	物	分	物
	モツ	荷物を運ぶ	96.3	82.2	6.1	11.7	持	待	特
	もの	物語を読む	99.3	96.3	1.5	2.2	物	物	者
平	ヘイ	平きん台	94.1	77.0	18.9	4.1	辺	来	反
	ビョウ (5)	男女平等	90.9	74.8	18.4	6.8	秒	表	評
	たいーら	平らな場所	87.3	78.2	17.6	4.2	太	面	戸
	ひら (6)	平たい坂	92.0	95.0	3.1	1.9	来	開	広
返	ヘン (4)	返事が来る	94.1	63.3	16.6	20.1	辺	変	反
	かえーす	本を返す	95.0	84.5	8.1	7.4	帰	迷	近
勉	ベン	国語の勉強	98.3	75.9	14.0	10.1	強	弱	勉
放	ホウ	校内放送	94.7	43.7	28.3	28.0	方	族	族
	はなーす (4)	手を放す	92.6	23.1	62.5	14.4	話	旅	花
味	ミ	言葉の意味	97.8	79.5	5.5	15.0	和	未	和
	あじ	味をつける	89.1	64.3	15.1	20.6	味	和	和
命	メイ (5)	生命を守る	98.2	83.8	8.9	7.3	明	命	明
	いのち	命がけで助ける	99.1	83.0	6.6	10.4	命	命	命
面	メン	地面がぬれる	98.5	92.6	3.6	3.8	面	面	画
問	モン	問題をとく	98.2	79.4	6.7	13.9	門	間	文
	とーう (4)	問い合わせる	83.8	41.0	43.4	15.6	間	解	答
	とん (6)	問屋で安く買う	66.2	31.5	52.6	15.9	豚	質	問
役	ヤク	自分の役わり	88.1	53.4	23.0	23.6	投	役	役
薬	ヤク (4)	薬品を使う	89.1	68.6	16.1	15.3	楽	役	約
	くすり	薬をつける	97.8	85.7	3.2	11.1	菓	楽	葉
由	ユウ	休んだ理由	92.5	87.0	8.5	4.5	曲	夕	有
	ユ (6)	漢字の由来	94.6	80.1	14.3	5.6	輸	田	輪
油	ユ (5)	石油タンク	96.0	89.7	4.9	5.4	湯	由	湯

第3学年(12)〔油～和〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
油	あぶら	水と油	94.7	88.7	4.2	7.1	曲	油	由
有	ユウ	有名な人	95.4	64.8	19.7	15.5	友	由	夕
	あーる (4)	大きな力が有る	71.7	36.9	37.9	25.2	在	合	明
遊	ユウ	遊園地	98.6	69.5	16.0	14.5	遊	遊	遠
	あそぶ	みんなと遊ぶ	99.8	85.6	3.4	11.0	遊	遊	遊
予	ヨ	予定日	96.4	75.3	17.7	7.0	曜	予	予
羊	ヨウ (4)	羊毛のセーター	63.0	23.7	24.0	52.3	洋	羊	洋
	ひつじ	羊の毛	94.2	72.8	2.9	24.3	羊	羊	洋
洋	ヨウ	洋服を着る	97.1	54.0	19.1	26.9	羊	羊	洋
葉	ヨウ (6)	木が黄葉する	70.4	55.9	29.2	14.9	紅	緑	葉
	は	木の葉をひろう	99.3	92.5	5.9	1.6	芽	葉	葉
陽	ヨウ	太陽がのぼる	99.8	82.3	6.4	11.3	揚	陽	陽
様	ヨウ	場面の様子	98.0	80.0	4.0	16.0	様	様	様
	さま	神様にいのる	97.8	82.9	7.9	9.2	様	神	謙
落	ラク (4)	落語を聞く	80.5	29.8	32.3	37.9	楽	話	薬
	おーとす	お金を落とす	99.8	89.1	5.7	5.2	落	拾	下
流	リュウ	川の上流	89.1	63.6	23.4	13.0	流	流	流
	ながーれる	川が流れる	98.1	85.0	7.1	7.9	流	流	流
旅	リヨ	外国旅行に行く	97.6	61.4	25.7	12.9	放	旅	旅
	たび	旅をする	93.7	30.9	38.5	30.6	族	旅	族
両	リョウ	両手を上げる	98.0	88.3	6.9	4.8	両	量	兩
緑	リョク (4)	緑茶を飲む	51.2	42.8	43.3	13.9	力	協	略
	みどり	緑色の木の葉	98.4	59.3	14.4	26.3	緑	緑	緑
礼	レイ	お礼を言う	97.4	67.7	14.6	17.7	礼	化	祝
列	レッ	ありの行列	95.0	77.5	11.6	10.9	例	列	側
練	レン	漢字の練習	97.8	82.2	6.6	11.2	練	連	転
	ねーる (5)	粉を練る	70.2	45.3	44.6	10.1	連	連	根
路	ロ	高速道路	98.1	53.2	17.1	29.7	路	足	路
	じ (6)	長い旅路	65.2	47.3	33.5	19.2	道	事	路
和	ワ	平和な国	97.8	79.6	10.3	10.1	味	知	昭

第4学年(1)〔愛～街〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
愛	アイ	愛情が深い	99.7	74.5	9.2	16.3	受	愛	受
案	アン	道を案内する	97.3	91.0	3.6	5.4	業	案	安
以	イ	六才以上の子	99.8	87.4	4.0	8.6	似	似	以
衣	イ	衣服を整える	85.7	75.3	16.4	8.3	以	衣	似
位	イ	位置を知らせる	96.4	80.8	15.1	4.1	仕	困	意
	くらい (6)	百の位	96.3	89.8	6.5	3.7	期	暗	価
囲	イ	池の周囲	88.0	43.3	26.3	30.4	位	意	井
	かこ-む	まわりを囲む	90.8	84.5	7.2	8.3	固	回	因
胃	イ	胃腸薬	97.6	64.4	22.7	12.9	胃	胃	冒
印	イン	本を印刷する	96.1	76.0	13.8	10.2	引	印	印
	しるし	印をつける	94.5	78.5	7.9	13.6	的	印	印
英	エイ	英語で話す	98.7	71.1	12.3	16.6	英	莫	英
栄	エイ	栄養分	95.2	72.9	19.6	7.5	労	養	栄
	さか-える (5)	町が栄える	70.9	58.9	25.1	16.0	支	坂	境
塩	エン (5)	食塩水	94.0	66.6	13.3	20.1	塩	塩	塩
	しお	塩からい	99.8	64.5	5.5	30.0	塩	塩	塩
億	オク	一億円	99.8	84.1	5.1	10.8	意	鏡	億
加	カ (5)	人口が増加する	97.4	61.2	16.5	22.3	可	化	下
	くわ-える	さとうを加える	91.6	87.7	10.3	2.0	例	代	叻
果	カ (5)	原因と結果	98.7	87.4	7.3	5.3	課	勑	効
	は-たす	役わりを果たす	97.3	78.9	13.6	7.5	巢	界	単
貨	カ	貨物列車	86.6	66.1	11.1	22.8	貨	仮	化
課	カ	放課後	97.9	54.6	18.4	27.0	果	科	裸
芽	ガ (6)	種が発芽する	94.7	87.4	9.6	3.0	賀	芽	牙
	め	草木が芽を出す	92.3	81.6	5.4	13.0	目	芽	葉
改	カイ	品種の改良	79.0	54.6	30.1	15.3	品	回	攷
	あらた-める	心を改める	46.4	22.0	25.2	52.8	新	表	現
械	カイ	機械を動かす	98.7	53.3	14.9	31.8	械	械	械
害	ガイ	公害をふせぐ	83.1	42.4	28.3	29.3	外	街	害
街	ガイ (5)	商店街	99.1	64.8	18.5	16.7	街	街	外

第4学年(2)〔街～給〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
街各	まち	街角を曲がる	97.6	54.3	5.8	39.9	町	街	街
	カク	全国各地	94.3	80.9	13.3	5.8	角	他	格
覚	カク	指の感覚	69.6	44.3	43.2	12.5	角	書	確
	おほーえる	漢字を覚える	99.0	93.4	1.8	4.8	真	覚	覚
	さーめる (5)	目を覚ます	83.4	57.3	30.0	12.7	冷	眼	差
完	カン	完全にできる	95.0	81.9	13.6	4.5	成	関	間
官	カン	けい察官	96.6	59.0	15.1	25.9	管	館	菅
管	カン	太い血管	92.3	39.8	19.0	41.2	官	館	宮
	くだ (6)	ゴムの管をつなぐ	59.8	76.1	18.4	5.5	官	束	菅
関	カン	人間関係	95.9	58.9	26.7	14.4	間	開	感
	せき	関所を通る	60.0	35.5	27.1	37.4	席	責	積
観	カン	植物を観察する	95.0	68.2	19.1	12.7	観	観	観
願	ガン (6)	願望がかなう	80.7	71.5	22.7	5.8	顔	眼	望
	ねがーう	平和を願う	98.7	57.9	29.0	13.1	顔	額	希
希	キ	希望を持つ	96.3	56.1	22.6	21.3	気	希	布
季	キ (6)	季節の変わり目	95.6	78.2	11.0	10.8	委	秀	式
紀	キ	二十一世紀	99.3	53.9	15.6	30.5	記	期	界
喜	キ (6)	喜劇を見る	87.3	70.2	18.5	11.3	善	悲	喜
	よろこぶ	成功を喜ぶ	97.1	81.2	9.4	9.4	喜	喜	書
旗	キ (5)	日本の国旗	88.9	18.7	49.0	32.3	期	旗	記
	はた	旗を立てる	93.4	20.1	37.7	42.2	欺	期	旗
器	キ	楽器を運ぶ	96.4	74.3	18.1	7.6	其	機	機
機	キ	機械を動かす	99.3	76.5	7.2	16.3	綴	機	機
議	ギ	不思議な話	99.0	53.6	16.9	29.5	議	様	義
求	キュウ (6)	予算を要求する	95.0	51.8	27.7	20.5	急	救	給
	もとーめる	助けを求める	98.5	70.7	18.1	11.2	元	本	助
泣	なーく	赤ちゃんが泣く	99.8	77.0	4.8	18.2	鳴	位	悲
救	キュウ (5)	救急箱	97.6	39.2	37.8	23.0	旧	助	求
	すくーう	人を救う	92.1	31.4	30.6	38.0	求	救	助
給	キュウ	給食を食べる	97.6	88.3	3.6	8.1	絵	給	給

第4学年(3)〔拳～固〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
拳	キョ	役員の選挙	72.5	43.7	34.8	21.5	共	拳	拳
	あーげる	手を挙げる	96.6	34.9	17.3	47.8	上	拳	拳
漁	ギョ	漁船の明かり	95.5	83.8	7.8	8.4	魚	漁	海
	リョウ (6)	漁師になる	91.4	82.7	9.8	7.5	魚	漁	鮮
共	キョウ	共通語で話す	89.5	78.1	15.3	6.6	興	供	送
	とも (6)	共に生きる	94.4	63.5	11.8	24.7	友	供	元
協	キョウ	人に協力する	96.2	84.1	6.4	9.5	強	共	十
鏡	キョウ (5)	望遠鏡	95.1	39.0	23.9	37.1	境	環	競
	かがみ	鏡を見る	96.1	37.9	27.7	34.4	鏡	鏡	鏡
競	キョウ	徒競走	94.6	44.1	26.6	29.3	競	競	競
	ケイ (6)	競馬場	73.7	54.7	33.8	11.5	競	競	競
極	キョク	南極たんけん	96.9	40.1	32.3	27.6	極	極	極
訓	クン	音と訓の読み	95.7	51.7	23.1	25.2	順	訓	君
軍	グン	軍手をはめる	94.2	81.7	9.3	9.0	群	運	郡
郡	グン	県と郡	70.0	35.8	19.7	44.5	群	軍	都
径	ケイ	円の直径	85.3	47.0	17.3	35.7	形	経	軽
型	ケイ (6)	模型を作る	93.3	45.9	25.6	28.5	形	型	系
	かた	手の型をとる	79.8	13.5	38.9	47.6	形	片	方
景	ケイ	風景画	92.3	59.6	24.8	15.6	計	景	量
芸	ゲイ	芸じゅつ家	86.9	66.5	21.8	11.7	芸	云	伝
欠	ケツ	欠席する	85.3	62.8	16.2	21.0	次	次	決
	かーける (6)	茶わんが欠ける	78.1	27.7	56.9	15.4	欠	片	破
結	ケツ (5)	テストの結果	99.0	76.9	16.1	7.0	決	経	裸
	むすーぶ	ひもで結ぶ	97.8	79.8	12.5	7.7	結	結	詰
建	ケン (6)	ビルを建設する	93.9	50.2	15.2	34.6	健	建	建
	たーてる	家を建てる	98.3	50.2	15.2	34.6	健	立	建
健	ケン	健康しんだん	98.4	71.9	10.3	17.8	健	建	健
験	ケン	試験を受ける	97.3	64.5	18.3	17.2	検	除	駅
固	コ (6)	くぎで固定する	98.3	70.1	10.6	19.3	個	古	否
	かたーめる	土で固める	97.9	91.9	3.0	5.1	固	回	固

第4学年(4)〔功～散〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
功	コウ	成功する	94.2	39.8	36.4	23.8	工刀	工	公
好	コウ (5)	大好物	97.8	84.4	10.3	5.3	食	鉦	効
	すーく	好きなスポーツ	99.7	81.9	15.1	3.0	姤	始	孜
	このーむ (5)	野菜を好む	94.2	83.1	15.6	1.3	如	始	実
候	コウ	温かい気候	92.6	58.9	21.8	19.3	候	候	候
航	コウ	太平洋を航海する	89.7	36.2	25.6	38.2	船	般	校
康	コウ	健康に気をつける	97.5	58.0	23.5	18.5	庠	康	康
告	コク	広告を出す	77.9	53.2	31.8	15.0	報	国	紙
	つーげる (6)	選手交代を告げる	95.9	79.7	15.1	5.2	伝	台	浩
差	サ (5)	交差点	97.4	52.3	36.2	11.5	支	左	査
	さーす	手を差し出す	97.7	42.1	27.4	30.5	指	差	着
菜	サイ (5)	野菜を食べる	99.2	71.2	19.5	9.3	采	采	葉
	な	一面菜の花	97.0	77.1	12.6	10.3	采	菜	葉
最	サイ	最後の問題	98.2	96.1	1.5	2.4	賁	最	最
	もっとーも	最も高い山	90.5	74.2	18.7	7.1	最	全	高
材	ザイ	材料をそろえる	97.4	58.8	25.7	15.5	村	打	料
昨	サク	去年のできごと	77.0	56.0	21.7	22.3	作	去	昨
札	サツ	一万円札	98.1	53.1	30.3	16.6	札	冊	刷
	ふだ	立て札	94.8	73.5	13.8	12.7	札	札	札
刷	サツ	本の印刷	85.0	19.3	47.9	32.8	札	察	札
	すーる (5)	版画を刷る	59.4	33.7	50.3	16.0	版	映	刷
殺	サツ (5)	殺虫ざい	92.6	65.0	23.5	11.5	雑	殺	投
	ころーす	息を殺す	95.0	47.9	27.9	24.2	投	殺	雑
察	サツ	虫の観察	97.8	55.8	26.9	17.3	察	察	測
参	サン (5)	大会に参加する	98.0	70.4	16.7	12.9	賛	参	参
	まいーる	お宮参り	94.3	56.4	29.3	14.3	守	参	祭
産	サン	みかんの産地	92.9	84.7	9.0	6.3	三	各	賛
	うーむ	たまごを産む	99.5	84.2	6.7	9.1	生	産	産
散	サン	公園を散歩する	95.0	46.7	34.1	19.2	敷	三	散
	ちーる	さくらが散る	94.4	36.7	41.6	21.7	敷	敷	散

第4学年(5)〔残～松〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
残	ザン	残念に思う	96.6	60.9	24.7	14.4	浅	残	棧
	のこーる	においが残る	96.4	74.1	16.1	9.8	浅	残	残
士	シ	うちゅう飛行士	96.2	43.2	27.8	29.0	氏	仕	師
氏	シ	セ氏三十度	91.3	66.0	24.2	9.8	氏	紙	死
史	シ	日本の歴史	98.1	71.5	15.4	13.1	史	使	吏
司	シ	会議の司会	94.2	78.1	10.5	11.4	市	仕	可
試	シ	サッカーの試合	98.0	60.9	18.2	20.9	誠	式	始
	こころーみる(5)	何度も試みる	64.7	27.9	37.5	34.6	心	志	快
児	ジ	児童会	93.0	70.3	13.3	16.4	児	自	見
治	ジ (6)	国の政治	97.5	94.7	4.7	0.6	事	自	字
	チ	けがの治りよう	76.7	54.0	35.8	10.2	治	知	地
	おさーめる(6)	国を治める	81.3	46.2	31.2	22.6	納	修	収
	なおーる	けがが治る	96.6	74.3	9.2	16.5	道	治	浴
辞	ジ	国語辞典	98.6	44.4	21.9	33.7	舌	辞	話
失	シツ	二度と失敗しない	91.9	66.5	19.3	14.2	負	配	貶
	うしなーう	気を失う	91.2	78.6	10.1	11.3	矢	知	欠
借	シヤク	借金を返す	64.6	54.2	32.7	13.1	借	貸	借
	かーりる	本を借りる	99.2	82.3	8.4	9.3	借	倍	借
種	シュ	犬の種類	97.8	58.4	27.8	13.8	類	類	種
	たね	種をまく	98.4	76.7	12.3	11.0	種	動	植
周	シュウ	池の周辺	92.8	56.8	18.1	25.1	週	田	修
	まわーり	池の周り	97.4	53.8	10.2	36.0	回	辺	週
祝	シュク (6)	国民の祝日	90.6	52.9	14.5	32.6	祝	祝	祝
	いわーう	たん生日を祝う	86.6	30.8	15.0	54.2	祝	祝	祝
順	ジュン	順番にならぶ	97.6	79.0	13.9	7.1	貞	準	訓
初	ショ	最初のせりふ	96.1	66.7	15.1	18.2	初	所	始
	はじーめ	年の初め	99.3	49.6	7.2	43.2	始	初	始
	はつ	初もうで	95.2	73.0	11.1	15.9	初	発	始
松	ショウ (6)	松竹梅	91.1	79.9	13.2	6.9	桜	小	林
	まつ	松なみ木が続く	98.7	80.7	10.0	9.3	末	松	松

第4学年(6)〔笑～説〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
笑	わらーう	大声で笑う	97.8	75.8	10.1	14.1	笑	笑	笑
唱	ショウ (5)	合唱コンクール	93.5	48.5	28.6	22.9	唱	晶	奏
	となーえる	じゅ文を唱える	90.1	82.3	10.2	7.5	唱	晶	晶
焼	やーく	もちを焼く	99.2	63.8	12.7	23.5	焼	熱	焼
象	ショウ	気象が変化する	78.7	55.1	27.8	17.1	候	像	候
	ゾウ	象の鼻は長い	96.8	78.3	13.0	8.7	像	象	象
照	ショウ (5)	照明が明るい	87.4	50.8	33.1	16.1	昭	証	招
	てーる	日が照る	91.3	81.8	10.4	7.8	照	照	昭
賞	ショウ	絵が入賞する	95.1	56.3	18.5	25.2	賞	覚	勝
臣	シン (6)	徳川家の家臣	39.8	67.5	24.4	8.1	巨	人	任
	ジン	そう理大臣	87.1	68.9	12.0	19.1	巨	人	臣
信	シン	信号が赤になる	97.4	81.8	9.7	8.5	新	真	計
成	セイ	意見にさん成する	97.6	92.2	4.5	3.3	成	咸	成
	なーる	漢字の成り立ち	96.0	78.1	16.3	5.6	泣	名	成
省	セイ (5)	夏休みの反省	94.0	58.5	20.1	21.4	省	成	賛
	ショウ	話を省りやくする	81.5	33.4	34.8	31.8	少	省	小
	はぶーく	説明を省く	85.6	61.3	21.9	16.8	略	欺	運
清	セイ	作文を清書する	92.4	56.9	19.2	23.9	正	成	情
	きよーい (5)	清い心	74.9	74.0	15.8	10.2	情	晴	快
静	セイ (6)	温泉で静養する	73.7	45.9	32.6	21.5	清	精	成
	しずーか	静かな森	97.9	62.6	22.9	14.5	精	散	諍
席	セキ	運転席	93.2	60.8	25.9	13.3	度	帯	席
積	セキ	正方形の面積	98.8	68.2	14.2	17.6	積	責	積
	つーむ	荷物を積む	95.6	49.9	24.0	26.1	積	種	責
折	セツ	車が右折する	81.3	40.1	31.3	28.6	説	析	左
	おーる	折り紙	98.7	46.2	19.2	34.6	織	識	析
節	セツ	季節が変わる	94.6	51.0	33.1	15.9	箱	籐	節
	ふし (6)	竹の節	39.9	34.4	53.2	12.4	節	符	筋
説	セツ	説明書を読む	96.2	82.7	7.7	9.6	設	証	脱

第4学年(7)〔説～置〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
説	とーく (6)	命の尊さを説く	68.7	57.3	17.7	25.0	解	得	問
浅	あさーい	浅い川をわたる	94.3	69.2	13.1	17.7	浅	残	深
戦	セン	戦争が終わる	98.4	73.0	13.1	13.9	戦	戦	戦
	たたかーう	全力で戦う	91.8	65.9	13.9	20.2	戦	戦	戦
選	セン	役員を選挙する	93.8	65.1	26.8	8.1	選	戦	先
	えらーぶ	本を選ぶ	92.4	74.3	22.5	3.2	選	選	選
然	ゼン	自然を守る	99.5	70.8	19.8	9.4	然	然	然
	ネン (6)	天然資源	98.0	83.8	5.8	10.4	然	然	然
争	ソウ	戦争をやめる	98.7	92.5	5.4	2.1	争	争	争
	あらそーう (5)	言い争う	95.4	78.3	13.3	8.4	争	表	勢
倉	ソウ (6)	倉庫にしまう	96.9	53.5	34.0	12.5	蔵	倉	装
	くら	倉の戸を開ける	92.6	48.4	26.3	25.3	倉	倉	暗
巢	す	鳥の巣箱	94.3	58.4	17.9	23.7	果	巢	巢
束	ソク	約束を守る	98.4	76.5	18.0	5.5	速	則	測
	たば (6)	花束をおくる	93.3	83.2	11.3	5.5	束	策	札
側	ソク (6)	立体の側面	94.8	75.4	10.1	14.5	測	則	側
	かわ	右側通行	97.9	57.2	10.5	32.3	測	側	側
続	ゾク (5)	連続ドラマを見る	95.3	80.3	13.8	5.9	緋	結	続
	つづーく	晴天が続く	98.4	80.8	8.7	10.5	読	次	終
卒	ソツ	卒業式	94.4	63.9	26.5	9.6	率	未	卒
孫	ソン (5)	わたしたちの子孫	79.3	43.6	24.1	32.3	祖	係	孫
	まご	孫が生まれる	92.3	45.8	32.3	21.9	孫	係	係
帯	タイ	包帯をまく	94.3	52.6	29.6	17.8	隊	体	帯
	おーびる (6)	山が赤みを帯びる	77.3	52.9	32.8	14.3	帯	浴	識
	おび (6)	帯をしめる	88.6	59.2	28.1	12.7	帯	革	革
隊	タイ	おもちゃの兵隊	98.6	66.6	14.9	18.5	体	隊	帯
達	タツ	速達で送る	85.4	42.4	35.0	22.6	達	立	建
単	タン	長さの単位	94.9	47.7	29.9	22.4	巢	短	果
置	チ	位置を知らせる	95.0	74.8	10.8	14.4	地	置	直
	おーく	荷物を置く	96.3	77.0	17.9	5.1	置	落	直

第4学年(8)〔仲～敗〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
仲	なか	親しい仲間	97.7	94.1	2.3	3.6	中	使	支
貯	チヨ	貯金箱	96.1	33.9	39.6	26.5	貯	貯	頂
兆	チヨウ	一兆円	97.4	79.8	6.0	14.2	非	非	非
腸	チヨウ	胃腸薬	88.4	35.6	39.2	25.2	陽	腸	脈
低	テイ	低学年の子ども	96.2	61.6	13.0	25.4	底	低	氏
	ひくーい	低いいす	97.8	62.3	11.8	25.9	底	低	氏
底	テイ	海底にもぐる	95.7	68.2	8.3	23.5	低	庭	底
	そこ	海の底	97.5	84.2	3.9	11.9	低	底	底
停	テイ	バス停まで歩く	99.5	35.7	30.4	33.9	停	停	亭
的	テキ	具体的に話す	95.5	67.1	20.1	12.8	適	敵	的
	まと (5)	議論の的になる	88.3	70.0	22.0	8.0	窓	忠	的
典	テン	百科辞典	99.5	78.7	9.0	12.3	典	奠	典
伝	デン	先生からの伝言	97.6	71.1	14.7	14.2	電	信	伝
	つたーえる	気持ちを伝える	94.4	77.5	11.7	10.8	伝	云	伝
徒	ト	全校生徒	83.1	41.5	39.5	19.0	徒	人	性
努	ド	努力を続ける	92.9	59.0	18.8	22.2	努	土	努
	つとーめる (5)	早起きに努める	79.6	29.3	47.1	23.6	勢	努	予
灯	トウ	みさきの灯台	95.9	66.1	22.6	11.3	打	東	冶
堂	ドウ	食堂で食べる	97.3	69.8	15.3	14.9	常	道	堂
働	ドウ (6)	労働時間が長い	97.6	55.4	8.7	35.9	重	読	同
	はたらーく	人のために働く	89.5	81.3	6.8	11.9	重	働	働
特	トク	特別な料理	95.0	33.4	24.9	41.7	待	持	得
得	トク (5)	得意な料理	97.4	47.0	20.3	32.7	徳	得	得
	えーる	たしかに心得た	61.6	34.5	49.2	16.3	得	得	絵
毒	ドク	毒へび	98.4	76.9	14.1	9.0	独	麦	徳
熱	ネツ	熱病にかかる	79.3	72.7	16.8	10.5	熱	熱	焼
	あつーい	熱い湯	98.1	55.1	21.4	23.5	燐	熱	暑
念	ネン	記念写真をとる	96.8	64.6	16.4	19.0	年	念	令
敗	ハイ	一点差で敗北する	76.9	53.1	36.4	10.5	則	頌	敗
	やぶーれる (5)	試合に敗れる	88.3	50.4	22.8	26.8	破	負	則

第4学年(9)〔梅～変〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
梅	バイ (6)	入梅の時期になる	62.0	16.2	24.9	58.9	培	倍	敗
	うめ	梅の花がさく	99.2	74.0	18.5	7.5	海	毎	桜
博	ハク	博物館	94.3	43.2	34.0	22.8	博	博	博
飯	ハン	ご飯を食べる	99.5	77.0	10.6	12.4	飲	飯	板
	めし	にぎり飯	98.7	72.5	12.1	15.4	飲	飯	飲
飛	ヒ	飛行機に乗る	99.5	91.2	4.8	4.0	飛	飛	飛
	とーぶ	空を飛ぶ	100	90.2	6.0	3.8	飛	飛	飛
費	ヒ	旅行の費用	90.0	65.4	22.8	11.8	費	曰	非
必	ヒツ	必要な道具	94.3	81.8	13.3	4.9	心	筆	必
	かならず	必ずできる	95.8	80.1	15.7	4.2	心	非	必
票	ヒョウ	投票箱	93.6	35.9	25.2	38.9	標	表	投
標	ヒョウ	今週の目標	94.3	62.0	9.0	29.0	票	表	要
不	フ	不思議な話	99.7	88.4	5.8	5.8	不	衣	下
夫	フ (6)	キューリー夫人の伝記	97.9	79.7	15.0	5.3	婦	妻	不
	フウ	仲のよい夫ふ	83.3	81.7	14.9	3.4	婦	父	風
	おっと	夫とつま	90.1	88.5	6.2	5.3	父	親	矢
付	フ	駅の付近	84.8	62.2	18.9	18.9	府	付	符
	つーく	小見出しを付ける	97.1	59.0	30.6	10.4	積	精	着
府	フ	都道府県	83.7	49.5	30.6	19.9	付	府	符
副	フク	副会長	98.7	66.1	8.7	25.2	福	福	複
粉	フン (5)	花粉が飛ぶ	99.0	75.1	18.3	6.6	分	料	紛
	こ (5)	小麦粉	98.6	72.7	21.7	5.6	子	砂	料
	こな	粉ミルク	96.6	84.4	9.3	6.3	粉	紛	粉
兵	ヘイ	おもちゃの兵隊	96.4	70.9	22.5	6.6	平	共	浜
別	ベツ	区別して使う	95.0	67.0	25.2	7.8	別	別	別
	わかーれる	友達と別れる	95.1	66.0	28.5	5.5	分	敗	別
辺	ヘン (5)	池の周辺	97.6	86.5	9.6	3.9	辺	編	週
	べ (5)	水辺の生物	79.8	78.6	15.4	6.0	岸	地	部
	あたーり	この辺りの地名	95.1	72.4	14.3	13.3	当	近	囲
変	ヘン	変化がはげしい	96.6	85.6	12.6	1.8	変	辺	恋

第4学年(10)〔変～陸〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
変	かーわる	形が変わる	98.3	84.3	11.2	4.5	変	代	化
便	ベン	便利な道具	95.7	60.6	19.8	19.6	使	使	別
	ビン	ゆう便局	98.7	67.9	15.3	16.8	使	使	便
	たよーり (5)	便りを待つ	49.5	46.1	38.8	15.1	使	招	使
包	ハウ	包帯をまく	95.0	57.5	31.5	11.0	放	争	方
	つつーむ	プレゼントを包む	97.1	71.7	21.1	7.2	包	困	積
法	ハウ	よい方法	96.4	73.5	11.5	15.0	去	マ	方
望	ボウ	希望を持つ	93.2	54.0	33.6	12.4	壁	望	望
	のぞーみ	大きな望み	89.5	48.7	34.8	16.5	望	希	望
牧	ボク	馬を牧場に放す	97.0	43.0	30.1	26.9	放	枚	枚
末	マツ	月末の予定	90.7	50.7	14.9	34.4	未	松	沁
	すえ	三人兄弟の末っ子	79.2	53.0	21.3	25.7	未	夫	下
満	マン	満足そうな顔	95.0	33.8	39.9	26.3	万	溝	満
	みーたす (5)	水そうに水を満たす	81.3	53.4	37.3	9.3	増	満	満
未	ミ	未来をゆめ見る	98.4	82.6	9.3	8.1	未	夫	味
脈	ミヤク	アルプス山脈	94.8	71.6	15.5	12.9	脈	脈	岷
民	ミン	民話を聞く	87.8	61.4	25.6	13.0	厩	厩	民
無	ム	無理をしない	97.0	84.2	6.6	9.2	無	無	無
	ブ	全員無事に帰る	76.9	56.0	30.3	13.7	無	不	分
	なーい	お金が無くなる	96.5	53.7	33.9	12.4	泣	無	亡
約	ヤク	約束を果たす	98.7	78.2	14.4	7.4	練	的	役
勇	ユウ	勇気がわく	98.3	77.5	14.6	7.9	勇	友	男
	いさーましい	勇ましい音楽	82.2	77.5	10.8	11.7	勇	勇	角
要	ヨウ	重要書類	86.1	37.6	38.0	24.4	用	容	養
養	ヨウ	休養する	83.3	20.8	36.4	42.8	用	要	曜
	やしなーう (6)	家族を養う	66.5	51.5	33.2	15.3	志	失	補
浴	ヨク (6)	ゆっくり入浴する	99.8	60.1	16.2	23.7	浴	欲	治
	あーびる	日光を浴びる	99.0	53.6	32.0	14.4	浴	浴	浴
利	リ	図書館を利用する	94.7	71.3	15.1	13.6	理	利	科
陸	リク	アメリカ大陸	95.4	83.8	7.8	8.4	陸	邨	陸

第4学年(11)〔良～録〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
良	リョウ	土地の改良	79.9	61.5	26.7	11.8	量	料	身
	よーい	仲が良い	96.6	76.3	10.2	13.5	仲	良	良
料	リョウ	料金をはらう	92.3	54.2	25.1	20.7	量	科	両
量	リョウ	大量生産をする	97.3	64.9	16.6	18.5	料	漁	量
	はかーる (6)	水のかさを量る	88.5	32.5	7.0	60.5	計	測	図
輪	リン	車輪を取り付ける	97.1	65.6	6.3	28.1	輪	輪	輻
	わ (5)	土星の輪	94.7	49.2	28.0	22.8	諭	輪	輻
類	ルイ	動物の種類	98.3	67.8	16.2	16.0	類	類	類
令	レイ	年令をたずねる	87.6	16.7	45.4	37.9	礼	例	才
冷	レイ (5)	冷害に苦しむ	95.6	56.9	19.2	23.9	例	令	列
	つめーたい	冷たい水	99.8	78.4	7.2	14.4	冷	令	氷
	ひーえる	氷で冷やす	99.7	85.7	13.9	0.4	冷	冷	氷
	さーめる (6)	湯が冷める	88.1	59.4	34.6	6.0	永	鎖	冷
例	レイ	例を挙げる	90.2	56.4	18.2	25.4	列	礼	礼
	たとーえる	動物に例える	79.9	37.8	47.5	14.7	列	伝	例
歴	レキ	歴史の本	96.6	70.3	12.9	16.8	昔	歴	歴
連	レン	連続ホームラン	97.8	50.0	15.9	34.1	練	速	習
	つーれる	犬を連れていく	96.8	73.2	17.6	9.2	運	速	練
	つらーなる (6)	山々が連なる	55.0	31.3	58.4	10.3	脈	辛	面
老	ロウ	老人に席をゆずる	95.6	60.8	23.3	15.9	老	孝	考
	おーいる (6)	年老いた母	64.3	72.7	21.3	6.0	考	老	孝
労	ロウ	苦労を重ねる	94.1	59.7	27.6	12.7	老	芳	労
録	ロク	ノートに記録する	93.9	59.6	19.9	20.5	緑	録	銀

第5学年(1)〔圧～快〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
圧	アツ	水の圧力	85.3	56.8	11.6	31.6	厚	熱	勢
移	イ	場所を移動する	96.9	77.7	14.4	7.9	行	移	以
	うつーる	季節の移り変わり	87.8	65.8	19.9	14.3	映	写	利
因	イン	原因と結果	95.5	77.8	10.1	12.1	困	院	因
永	エイ	永遠に続く	98.0	81.0	10.2	8.8	泳	衛	氷
	ながーい (6)	永い眠りにつく	77.0	58.0	4.0	38.0	長	泳	遠
営	エイ (6)	市営の競技場	83.0	58.2	27.3	14.5	栄	常	衛
	いとなーむ	生命の営み	68.5	42.2	42.4	15.4	営	官	栄
衛	エイ	人工衛星	90.3	39.0	43.0	18.0	衛	街	衛
易	エキ	外国との貿易	95.1	68.9	10.8	20.3	易	液	湯
	イ	容易にできる	37.6	29.6	43.8	26.6	意	易	因
	やさーしい (6)	易しい問題	70.6	35.8	21.9	42.3	優	憂	易
益	エキ	利益を上げる	82.2	50.6	29.5	19.9	液	益	易
液	エキ	気体と液体	99.3	83.2	6.5	10.3	液	夜	液
演	エン	見事な演技	93.3	63.0	29.2	7.8	演	寅	園
応	オウ	応えん団長	96.9	63.8	26.9	9.3	横	断	団
往	オウ	往復の切ふ	91.2	70.5	12.8	16.7	住	主	応
桜	さくら	桜の花がさく	99.7	87.8	5.0	7.2	桜	採	枚
恩	オン	命の恩人	96.6	82.0	10.0	8.0	恩	興	恩
可	カ	成功の可能性	98.4	70.7	19.5	9.8	化	加	果
仮	カ	仮面をつける	97.0	77.5	13.6	8.9	化	仮	仆
	かり	仮の名前	80.7	72.7	16.9	10.4	借	反	貸
価	カ	品物の価値	88.9	56.0	26.4	17.6	値	下	化
河	カ	銀河鉄道	87.1	58.3	32.2	9.5	可	星	賀
	かわ (6)	大海のような河	88.9	52.8	3.0	44.2	川	皮	帯
過	カ	車が通過する	77.4	51.0	33.4	15.6	加	可	化
	すーぎる	楽しく過ごす	97.7	78.7	14.7	6.6	住	巢	暮
賀	ガ	年賀状	99.5	83.2	10.5	6.3	加	貸	貸
快	カイ	快晴の空	86.6	50.4	26.8	22.8	決	快	映

第5学年(2)[快～境]

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
快	こころよーい	快いそよ風	65.2	61.2	19.3	19.5	志	心	決
解	カイ	理解を深める	98.8	62.2	26.3	11.5	解	会	解
	とーく	問題を解く	92.2	54.0	21.3	24.7	問	解	解
格	カク	明るい性格	98.8	66.9	19.0	14.1	恪	各	確
確	カク	正確な時こく	91.9	52.3	29.7	18.0	角	格	確
	たしーかめる	中身を確かめる	99.7	70.5	12.9	16.6	確	確	確
額	ガク	金額を確かめる	93.1	58.9	26.4	14.7	額	鎮	銘
	ひたい (6)	額にあせする	76.1	29.9	52.6	17.5	賁	付	頭
刊	カン	朝刊を読む	96.6	63.0	12.2	24.8	間	于	刊
幹	カン	新幹線	97.7	29.6	50.1	20.3	卓	幹	刊
	みき	木の幹	88.8	54.6	18.7	26.7	棹	榦	幹
慣	カン (6)	よい習慣をつける	84.3	57.6	20.6	21.8	貫	環	間
	なーれる	見慣れた顔	95.8	67.2	22.8	10.0	貫	慣	慣
眼	ガン	眼科に通う	91.7	70.3	12.2	17.5	目	眼	眠
基	キ	学習の基本	96.3	48.5	35.4	16.1	期	其	墓
寄	キ (6)	体内に寄生する	80.5	14.3	43.8	41.9	奇	期	気
	よーる	右側に寄る	93.7	46.0	41.4	12.6	奇	寄	夜
規	キ	規則正しい生活	90.3	48.6	27.1	24.3	規	基	期
技	ギ	技術の発展	95.6	64.7	15.0	20.3	枝	伎	義
義	ギ	正義の味方	96.6	63.5	19.9	16.6	議	儀	技
逆	ギャク	逆転勝ち	95.7	86.9	7.0	6.1	逆	逆	送
	さかーらう (6)	意見に逆らう	94.5	62.8	26.5	10.7	反	返	送
久	キュウ	永久に続く	89.2	55.1	21.9	23.0	求	球	遠
	ひさーしい	久しぶりに会う	96.5	82.9	10.2	6.9	久	々	日
旧	キュウ	旧式の機械	81.6	47.6	33.3	19.1	球	急	旦
居	キヨ	たてあな式住居	66.6	47.7	41.4	10.9	所	境	屋
	いーる	家に居る	82.1	50.2	26.8	23.0	在	存	至
許	キヨ (6)	通行を許可する	94.2	50.0	29.3	20.7	去	許	訶
	ゆるーす	あやまちを許す	91.9	40.0	39.2	20.8	許	評	謝
境	キョウ	境界線	87.3	57.0	27.6	15.4	鏡	郷	京

第5学年(3)〔境～構〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
境	さかい	道路と家の境目	51.0	42.1	36.1	21.8	坂	堺	境
均	キン	平均点	97.7	58.7	7.0	34.3	均	的	約
禁	キン	立入を禁止する	97.7	52.2	13.3	34.5	禁	危	歴
句	ク	語句の意味	92.6	81.3	15.3	3.4	句	九	詢
群	ゲン	鳥の大群	94.9	50.8	8.1	41.1	軍	郡	群
	むーれ	ハトの群れ	95.8	59.4	16.6	24.0	郡	群	群
	むらーがる	アリが群がる	87.7	49.6	33.3	17.1	村	郡	群
経	ケイ	豊かな経験	91.6	38.2	43.0	18.8	径	験	検
潔	ケツ	清潔な衣服	86.5	33.6	53.1	13.3	潔	決	結
件	ケン	事件が解決する	99.6	80.7	10.0	9.3	件	検	件
券	ケン	遊園地の入場券	99.0	45.6	14.7	39.7	券	券	卷
険	ケン	生命保険	99.4	37.0	8.9	54.1	健	検	建
	けわーしい	険しい山道	92.2	49.6	31.1	19.3	検	剣	防
検	ケン	南極たん検	99.4	69.4	9.3	21.3	険	験	検
限	ゲン	入場を制限する	89.2	56.8	29.8	13.4	原	現	源
	かぎーる	本日限り	90.0	63.5	25.3	11.2	根	眼	退
現	ゲン	文章の表現	96.0	77.2	18.3	4.5	原	言	元
	あらわーす	すがたを現す	92.7	51.5	13.2	35.3	表	俵	姿
減	ゲン (6)	人口が減少する	94.5	71.1	11.5	17.4	減	域	減
	へーる	害虫が減る	95.7	55.5	23.6	20.9	減	減	辺
故	コ	交通事故	98.6	84.1	11.0	4.9	個	古	亡
個	コ	個性的な人	98.8	76.2	12.8	11.0	固	固	子
護	ゴ	野鳥を保護する	98.1	54.0	26.7	19.3	護	護	穫
効	コウ	薬の効果	98.8	62.2	22.6	15.2	効	功	対
	きーく	薬の効き目	94.1	49.6	37.9	12.5	効	気	危
厚	あつーい	分厚い本	98.4	61.1	19.9	19.0	暑	原	厚
耕	コウ	耕作地を増やす	82.6	62.4	18.6	19.0	工	構	耕
	たがやーす	畑を耕す	86.4	67.2	21.3	11.5	耕	棟	耕
鉦	コウ	鉄鉦石	94.0	34.5	43.6	21.9	銅	広	鉄
構	コウ	文章を構成する	94.6	46.6	31.2	22.2	講	工	効

第5学年(4)〔構～志〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
構	かまーえる(6)	店を構える	66.5	21.9	56.4	21.7	備	構	構
興	キョウ	興味を持つ	89.8	74.2	22.2	3.6	興	興	興
	コウ(6)	災害からの復興	50.9	10.9	52.0	37.1	行	工	交
講	コウ	料理の講習会	91.2	33.1	40.5	26.4	構	公	校
混	コン	道路が混雑する	93.9	49.4	39.0	11.6	困	昆	根
	まーじる	色が混じる	88.9	39.1	37.3	23.6	交	染	昆
査	サ	交通量の調査	97.8	79.0	14.7	6.3	査	査	差
再	サイ	友達と再会する	94.5	76.5	14.8	8.7	再	最	再
	サ	再来年	96.9	29.0	43.1	27.9	去	昨	再
	ふたたび	再び始まる	95.0	67.9	16.9	15.2	再	甫	車
災	サイ	自然の災害	94.1	54.5	36.7	8.8	災	損	際
妻	サイ(6)	キュリー夫妻	58.3	45.8	31.1	23.1	妻	妻	才
	つま	夫と妻	97.9	52.5	18.9	28.6	妻	毒	婦
採	サイ(6)	植物を採集する	87.7	58.9	21.3	19.8	彩	菜	採
	とーる	山菜採り	77.3	43.6	18.9	37.5	取	採	将
際	サイ	国際試合	96.9	37.7	39.9	22.4	祭	再	最
在	ザイ	現在と未来	97.0	70.9	16.1	13.0	存	材	在
	あーる	湖に在る島	71.0	14.0	58.3	27.7	有	存	余
財	ザイ	国の文化財	92.8	40.1	31.0	28.9	材	則	祭
罪	ザイ	無罪になる	91.9	65.4	24.5	10.1	材	財	罪
	つみ	罪をつぐなう	90.5	78.7	12.9	8.4	罪	積	非
雑	ザッ	雑草をとる	94.2	66.7	16.0	17.3	雑	雑	韓
	ゾウ	雑木林	87.8	59.7	19.5	20.8	権	草	造
酸	サン	酸素をすう	99.3	85.6	6.8	7.6	酉	酸	賛
賛	サン	賛成と反対	94.9	67.3	22.8	9.9	賛	参	貢
支	シ(6)	銀行の支店	96.8	55.6	28.1	16.3	市	私	指
	ささーえる	一家を支える	90.7	85.2	9.9	4.9	栄	枝	志
志	シ	意思の強い人	92.2	58.1	32.4	9.5	事	導	余
	こころざし	志を立てる	64.3	76.9	13.1	10.0	快	志	試

第5学年(5)[志～常]

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
志	こころざ-す	医者を志す	64.5	64.3	28.9	6.8	忠	快	心
枝	えだ	木の枝	94.3	89.8	5.7	4.5	技	枚	植
師	シ	教師と児童	98.4	53.9	28.4	17.7	師	帥	子
資	シ	歴史の資料	97.4	53.0	34.2	12.8	史	質	賃
飼	シ (6)	動物を飼育する	95.1	64.8	20.5	14.7	食	詞	館
	か-う	犬の飼い主	99.0	64.2	18.1	17.7	詞	買	飼
示	ジ	指示にしたがう	92.2	58.1	32.4	9.5	事	導	余
	しめ-す	指し示す	89.6	70.1	24.7	5.2	余	指	印
似	に-る	顔が似ている	94.7	67.8	7.4	24.8	以	似	似
識	シキ	豊かな知識	92.3	47.1	35.7	17.2	織	式	試
質	シツ	先生に質問する	97.7	66.4	30.5	3.1	質	室	員
舎	シャ	新しい校舎	95.6	78.6	14.1	7.3	告	車	社
謝	シャ	感謝の気持ち	93.1	49.5	37.5	13.0	識	射	諷
授	ジュ	国語の授業	95.5	72.0	13.3	14.7	授	受	授
修	シュウ	車の修理	83.8	46.1	28.6	25.3	処	修	修
	おさ-める (6)	学問を修める	69.1	27.8	24.6	47.6	収	治	納
述	ジュツ (6)	主語と述語	75.5	43.5	17.8	38.7	熬	術	迷
	の-べる	意見を述べる	92.3	69.9	13.3	16.8	迷	述	伸
術	ジュツ	芸術の秋	97.7	80.9	15.2	3.9	術	技	術
準	ジュン	旅行の準備	97.7	50.4	27.4	22.2	順	集	準
序	ジョ	順序立てて話す	93.2	46.7	36.3	17.0	予	所	序
招	ショウ	人を招待する	95.5	57.8	34.0	8.2	持	昭	指
	まね-く	人を招く	90.0	70.1	22.3	7.6	除	関	招
承	ショウ	民話を伝承する	74.6	33.6	47.6	18.8	賞	章	承
証	ショウ	証明書	87.4	65.8	25.3	8.9	正	昭	招
条	ジョウ	か条書き	95.3	70.9	21.0	8.1	上	状	定
状	ジョウ	年賀状を出す	99.2	76.7	15.9	7.4	状	扶	賞
常	ジョウ	日常生活	97.2	68.0	19.7	12.3	常	上	営
	つね (6)	常に夢を持つ	84.2	53.1	36.8	10.1	常	常	京

第5学年(6)〔情～像〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
情	ジョウ	豊かな心情	81.7	55.3	34.0	10.7	上	常	城
	なさーけ	情け深い人	92.1	60.8	26.0	13.2	清	績	性
織	シキ	会社の組織	82.6	31.7	32.6	35.7	式	識	武
	おーる	布を織る	93.5	62.0	17.9	20.1	折	識	織
職	シヨク	職員室に入る	99.0	60.7	24.5	14.8	識	織	食
制	セイ	中学校の制服	94.9	30.2	40.2	29.6	製	生	整
性	セイ	明るい性格	98.9	87.2	7.4	5.4	生	正	性
政	セイ	政治家になる	94.9	68.1	22.2	9.7	正	生	正
勢	セイ	体勢を整える	90.3	46.1	34.5	19.4	整	製	制
	いきおー(6)	勢いがある	78.9	54.2	36.8	9.0	熱	姿	勢
精	セイ	ボランティア精神	96.3	68.1	13.5	18.4	情	清	性
製	セイ	金属製の食器	96.4	35.6	24.4	40.0	制	性	製
税	ゼイ	税金をおさめる	93.7	57.6	24.7	17.7	祝	説	預
責	セキ	責任感が強い	95.9	64.2	23.6	12.2	績	績	席
	せーめる (6)	過ちを責める	73.1	59.3	25.6	15.1	績	政	攻
績	セキ	成績が上がる	95.7	40.8	18.6	40.6	績	責	績
接	セツ	直接話す	93.7	69.0	24.5	6.5	設	説	投
設	セツ	設計図をかく	95.7	60.8	26.6	12.6	説	接	投
	も うーける	委員会を設ける	64.5	38.9	48.0	13.1	役	申	投
舌	した	ペロリと舌を出す	97.7	91.4	5.0	3.6	下	告	舌
絶	ゼツ	絶対反対	98.3	74.3	16.9	8.8	全	対	純
	たーえる	人通りが絶える	79.9	50.1	32.3	17.6	肥	絶	増
銭	セン	金銭感覚	76.0	49.2	36.1	14.7	線	残	千
祖	ソ	祖先をうやまう	94.3	65.1	14.4	20.5	祖	視	組
素	ソ	酸素を出す	98.6	95.5	2.9	1.6	酸	表	夫
総	ソウ	総合的な学習	94.4	52.2	29.5	18.3	複	総	給
造	ゾウ	車を改造する	93.3	60.4	23.3	16.3	告	増	臓
	つくーる (6)	大型船を造る	90.7	49.7	2.9	47.4	作	創	造
像	ゾウ	場面を想像する	99.7	73.7	9.8	16.5	象	像	傷

第5学年(7)〔増～徳〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
増	ゾウ	人口が増加する	91.2	74.7	9.9	15.4	造	像	増
	まーす (6)	交通事故が増す	63.4	78.2	12.2	9.6	遭	増	増
	ふーえる	数が増える	95.4	68.2	21.0	10.8	増	増	増
則	ソク	規則を守る	94.1	62.9	15.4	21.7	損	側	測
測	ソク	星の観測	89.1	57.2	16.5	26.3	則	側	速
	はかーる	長さを測る	86.7	46.2	19.7	34.1	計	側	量
属	ゾク	金属製	68.7	50.7	31.5	17.8	族	属	属
率	リツ	確率が高い	92.6	55.1	23.4	21.5	率	卒	率
	ひきーいる	大群を率いる	84.7	48.7	26.0	25.3	率	卒	率
損	ソン	損害を受ける	90.3	49.1	37.0	13.9	存	捐	損
退	タイ	退院する	78.8	61.6	12.4	26.0	退	限	退
	しりぞーく	願いを退ける	66.5	42.0	46.2	11.8	限	良	逆
貸	かーす	本を貸す	94.7	36.0	22.6	41.4	貸	借	返
態	タイ	明るい態度	93.7	60.1	12.3	27.6	能	態	体
団	ダン	集団下校	98.5	80.5	10.0	9.5	断	段	因
断	ダン	横断歩道	98.2	71.2	15.5	13.3	段	団	迷
	ことわーる	申し出を断る	78.2	53.6	40.1	6.3	断	因	困
築	チク (6)	校舎を建築する	83.0	39.0	42.4	18.6	策	築	築
	きずーく	城を築く	86.3	58.8	33.4	7.8	傷	築	築
張	チョウ (6)	海外へ出張する	92.8	64.6	16.5	18.9	帳	長	調
	はーる	見張りをつける	97.0	67.1	25.8	7.1	慣	張	張
提	テイ	議題を提案する	97.1	47.7	19.3	33.0	定	提	程
程	テイ	程度が高い	92.8	30.3	24.7	45.0	程	定	捏
適	テキ	適切な判断	92.8	46.8	18.2	35.0	適	適	適
敵	テキ	敵と味方	99.2	57.2	11.3	31.5	適	敵	敵
統	トウ	アメリカ大統領	97.1	30.1	28.4	41.5	頭	統	充
銅	ドウ	銅像を建てる	98.4	71.2	17.3	11.5	重	銅	銅
導	ドウ	指導を受ける	96.5	63.9	18.7	17.4	導	道	動
	みちびーく	仲間を導く	87.5	75.3	15.0	9.7	道	導	導
徳	トク	道徳の副読本	98.0	75.1	10.6	14.3	徳	徳	待

第5学年(8)〔独～富〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
独	ドク	独立心を養う	87.7	66.9	19.3	13.8	拙	独	独
	ひとーり	独り言をいう	95.6	79.3	5.2	15.5	一	人	拙
任	ニン	責任を持つ	96.7	78.8	8.4	12.8	仕	迄	人
	まかーせる(6)	仕事を任せる	93.2	50.0	44.3	5.7	仕	責	坦
燃	ネン	飛行機の燃料	92.8	55.1	24.5	20.4	然	燃	熱
	もーえる	火が燃える	99.7	69.6	10.6	19.8	燃	燃	焼
能	ノウ	知能が発達する	95.7	67.5	7.3	25.2	能	態	脳
破	ハ	建物を破かいする	86.7	37.7	44.7	17.6	波	砂	披
	やぶーる	紙を破る	83.6	57.9	28.1	14.0	破	確	破
犯	ハン	犯人をつかまえる	98.5	49.3	19.1	31.6	犯	犯	罪
判	ハン	判断力がある	96.0	52.4	28.9	18.7	反	班	半
	バン	裁判所	99.4	64.6	22.7	12.7	裁	伴	番
版	ハン	版画をほる	88.0	28.3	31.3	40.4	版	版	板
比	ヒ	重さを比かくする	94.4	71.1	22.5	6.4	北	費	火
	くらーべる	長さを比べる	95.7	74.4	17.2	8.4	調	北	位
肥	ヒ	肥料をまく	98.9	59.8	25.0	15.2	紀	杞	絶
	こーやす	土地を肥やす	43.5	32.4	35.0	32.6	子	耕	増
非	ヒ	非常口を開ける	98.5	85.6	6.9	7.5	俳	日	火
備	ビ	準備ができる	96.9	70.4	14.4	15.2	備	備	備
	そなーえる(6)	台風に備える	83.4	50.3	35.3	14.4	補	備	供
俵	ヒョウ	土俵を清める	94.2	52.2	19.1	28.7	評	平	表
	たわら	米俵をかつぐ	81.7	70.6	16.5	12.9	表	俵	麦
評	ヒョウ	評判がよい	92.2	49.5	29.6	20.9	平	表	票
貧	ビン(6)	貧ほうに負けない	93.9	61.4	31.7	6.9	貧	貧	便
	まずーしい	貧しい人々	94.5	71.8	17.8	10.4	負	貧	易
布	フ	広く分布する	84.8	59.0	27.4	13.6	布	部	市
	ぬの	やわらかい布地	85.4	89.0	7.1	3.9	市	絹	布
婦	フ	婦人服	94.7	46.3	25.5	28.2	夫	妻	不
富	フ	豊富な食べ物	85.4	40.1	41.5	18.4	富	富	夫
	とーむ(6)	話題に富む	38.7	26.3	53.3	20.4	問	留	解

第5学年(9)〔富～輪〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
富	とみ (6)	大きな富を築く	89.4	73.8	15.1	11.1	豊	福	畠
武	ブ	武士の刀	97.0	79.8	3.9	16.3	武	式	式
	ム	武者修行	57.9	58.3	16.3	25.4	武	式	武
復	フク	往復の道のり	97.9	77.1	8.4	14.5	複	復	傷
複	フク	複雑な話を聞く	97.9	50.2	17.3	32.5	復	福	複
仏	ブツ	奈良の大仏	99.4	94.5	4.0	1.5	仏	私	化
	ほとけ (6)	仏の教え	71.6	85.7	10.5	3.8	伝	私	保
編	ヘン	本の編集	96.1	47.0	30.2	22.8	編	編	変
	あーむ	毛糸で編む	87.2	37.0	39.8	23.2	綸	織	編
弁	ベン	弁当を食べる	98.6	80.8	10.6	8.6	弁	晩	井
保	ホ	保健室	98.5	91.4	6.1	2.5	呆	保	課
	たもーつ (6)	健康を保つ	92.4	75.7	21.0	3.3	求	捕	保
墓	ボ (6)	墓地のそうじをする	89.4	67.8	17.5	14.7	基	暮	墓
	はか	お墓参り	98.8	78.0	5.3	16.7	墓	基	暮
報	ホウ	報告書を書く	97.4	59.6	24.7	15.7	法	放	報
豊	ホウ	豊作を祝う	42.1	32.3	33.0	34.7	富	耕	方
	ゆたーか	豊かな知識	93.9	74.2	12.7	13.1	豊	豊	豊
防	ボウ	災害を防止する	97.7	72.2	16.3	11.5	放	昶	方
	ふせーぐ	寒さを防ぐ	95.3	75.8	18.3	5.9	佈	仿	院
貿	ボウ	外国との貿易	94.5	57.3	28.7	14.0	留	質	七
暴	ボウ	暴風雨	94.1	43.8	29.3	26.9	暴	暴	防
	あばーれる (6)	馬が暴れる	97.0	53.9	29.6	16.5	暴	暴	暴
務	ム (6)	会社の事務所	96.5	50.0	31.4	18.6	孜	矛	預
	つとーめる	リーダーを務める	79.6	29.6	23.3	47.1	孜	努	努
夢	ム	遊びに夢中になる	93.6	60.8	14.2	25.0	夢	夢	無
	ゆめ	夢の国	99.8	83.0	9.4	7.6	夢	夢	愛
迷	まよーう	道に迷う	96.0	78.0	7.3	14.7	迷	迷	迷
綿	メン (6)	綿花をさいばいする	74.4	38.8	30.6	30.6	絹	線	面
	わた	綿あめを買う	83.2	37.9	35.6	26.5	線	線	布
輪	ユ	原料を輸入する	95.6	33.1	17.6	49.3	輪	輪	輪

第5学年(10)[余～領]

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」 の正答率	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
				正答率	無答率	誤答率			
余	ヨ	余計な心配をする	91.9	58.8	19.3	21.9	予	余	除
	あまーる (6)	時間が余る	90.3	56.0	22.4	21.6	誤	余	除
預	ヨ	銀行に預金する	50.1	57.4	17.6	25.0	余	預	予
	あずーける (6)	荷物を預ける	90.0	31.9	36.4	31.7	預	頂	損
容	ヨウ	本の内容	99.2	83.7	7.1	9.2	要	用	溶
略	リャク	話を省略する	91.1	74.3	15.5	10.2	备	廻	略
留	リュウ (6)	海外へ留学する	94.1	63.7	25.5	10.8	流	流	隆
	ル	留守番をする	94.5	57.5	31.0	11.5	留	留	留
	とーめる	紙に書き留める	90.8	63.5	20.0	16.5	留	止	留
領	リョウ	広大な領土	86.4	43.2	37.2	19.6	料	統	量

5 - 10

(第5学年 新出漢字 終)

第6学年(1)〔異～疑〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
異	イ	異国の様子	88.4	49.5	33.7	16.8	異	違	移
	こと-なる	異なる意見	92.7	72.1	17.6	10.3	事	異	言
遺	イ	文化遺産	94.6	44.2	40.5	15.3	貴	違	遣
域	イキ	地域社会	97.5	75.1	6.8	18.1	域	域	域
宇	ウ	宇宙旅行	100.0	86.5	5.0	8.5	宇	守	宁
映	エイ	映画を見る	99.8	89.2	5.0	5.8	映	絵	英
	うつ-る	水面に映る	99.1	73.2	5.9	20.9	写	映	移
延	エン	試合を延期する	85.1	61.3	15.0	23.7	延	延	延
	の-びる	時間が延びる	98.9	47.1	13.2	39.7	伸	延	延
沿	エン	日本海沿岸	80.3	59.7	19.6	20.7	遠	沿	円
	そ-う	線路に沿った道	53.0	37.6	47.7	14.7	沿	反	沿
我	われ	我に返る	86.4	62.9	29.6	7.5	裁	我	若
灰	はい	灰色の空	98.5	75.0	18.2	6.8	又	炭	肺
拡	カク	図を拡大する	97.3	83.9	9.2	6.9	確	絡	改
革	カク	社会を改革する	77.5	34.7	36.8	28.5	革	閣	角
閣	カク	内閣総理大臣	97.9	46.2	28.8	25.0	各	関	格
割	わ-る	割り算をする	90.5	57.6	24.5	17.9	和	除	分
株	カブ	株式会社	97.1	67.4	19.1	13.5	珠	株	棘
干	カン	干満の差がある	48.9	27.1	44.4	28.5	間	完	感
	ほ-す	洗たく物を干す	98.0	87.6	8.2	4.2	汗	干	保
巻	カン	教科書の上巻	74.6	66.2	15.0	18.8	巻	間	巻
	ま-く	糸を巻く	98.4	62.2	24.6	13.2	巻	巻	舞
看	カン	店の看板	96.6	47.2	27.5	25.3	看	木	看
簡	カン	簡単な問題	99.2	79.7	10.0	10.3	間	簡	簡
危	キ	危険を防ぐ	99.8	59.8	17.3	22.9	危	危	危
	あぶ-ない	危ない場所	99.7	61.9	17.6	20.5	危	危	危
机	つくえ	机の上	99.0	88.9	2.5	8.6	机	机	机
揮	キ	実力を発揮する	85.9	39.8	30.1	30.1	期	輝	輝
貴	キ	貴重品	96.5	73.8	17.2	9.0	気	器	遺
疑	ギ	疑問に思う	97.9	56.1	20.1	23.8	疑	擬	疑

第6学年(2)〔疑～呼〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
疑	うたがーう	疑いを持つ	83.1	45.3	42.0	12.7	疑	疑	疑
吸	キュウ	呼吸を整える	98.7	90.8	5.4	3.8	吸	収	明
	すーう	息を深く吸う	97.9	85.1	6.3	8.6	呼	吹	息
供	キョウ	情報を提供する	82.7	40.9	38.4	20.7	協	共	洪
	そな－える	花を供える	63.1	25.4	48.5	26.1	備	共	束
	とも	子供の声	99.8	91.0	4.5	4.5	共	洪	供
胸	キョウ	胸囲を測る	74.4	64.4	22.4	13.2	胞	胞	胸
	むね	胸の内を聞く	98.8	77.5	6.8	15.7	胸	胞	胞
郷	キョウ	故郷に帰る	94.3	57.7	20.7	21.6	郷	郷	郷
勤	キン	会社に勤務する	87.4	52.7	24.6	22.7	重	莫	難
	つと－める	勤め先をやめる	95.4	43.2	24.2	32.6	務	勤	莫
筋	キン	筋肉をきたえる	100.0	60.6	12.4	27.0	節	節	節
	すじ	あら筋を書く	90.4	38.8	29.9	31.3	節	節	節
系	ケイ	銀河系	97.5	81.0	8.5	10.5	型	係	経
敬	ケイ	父を尊敬する	97.3	60.8	29.3	9.9	計	係	経
	うやま－う	目上の人を敬う	60.8	48.8	37.6	13.6	尊	誤	敬
警	ケイ	警備員	96.2	38.7	45.2	16.1	敬	警	警
劇	ゲキ	演劇クラブ	97.8	48.7	24.6	26.7	劇	劇	劇
激	ゲキ	物語に感激する	97.1	56.5	20.8	22.7	激	激	劇
	はげ－しい	激しい川の流れ	88.3	68.2	20.5	11.3	激	激	激
穴	あな	大きな穴があく	99.2	96.7	2.4	0.9	谷	孔	泡
絹	きぬ	絹織物	87.9	53.5	21.8	24.7	絹	綿	布
権	ケン	権利を主張する	95.3	55.7	25.6	18.7	観	権	創
憲	ケン	日本国憲法	98.4	59.1	26.4	14.5	権	建	建
源	ゲン	資源が不足する	96.1	78.4	10.3	11.3	原	源	源
	みなもと	力の源	91.1	79.6	5.9	14.5	原	源	源
厳	ゲン	厳重に注意する	76.5	37.3	40.2	22.5	産	嚴	嚴
	きび－しい	厳しい表情	93.7	32.4	32.6	35.0	嚴	嚴	嚴
己	コ	自己主張をする	97.3	82.3	8.3	9.4	故	個	固
呼	コ	深く呼吸する	98.3	90.6	5.5	3.9	収	吸	子

第6学年(3)〔呼～蚕〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
呼	よーぶ	名前を呼ぶ	99.0	87.5	7.8	4.7	並	叫	呼
誤	ゴ	人から誤解される	96.2	59.5	27.1	13.4	誤	語	護
	あやまーる	誤りを正す	80.1	48.0	25.9	26.1	過	謝	誤
后	コウ	皇后陛下	84.5	32.0	53.2	14.8	后	合	豪
孝	コウ	親孝行をする	96.5	60.4	15.6	24.0	考	老	交
皇	コウ	皇后陛下	87.9	73.0	21.2	5.8	公	校	剛
	オウ	天皇陛下	98.5	82.0	15.9	2.1	皇	皇	脳
紅	コウ	紅茶を飲む	96.0	80.8	15.2	4.0	紀	攻	赤
	べに	口紅をつける	96.7	86.6	9.2	4.2	紅	紬	紅
降	コウ	降水量	90.6	56.7	26.1	17.2	絳	高	降
	おーりる	バスから降りる	99.0	65.9	17.9	16.2	下	絳	除
	ふーる	雨が降る	72.9	75.5	19.5	5.0	降	降	降
鋼	コウ	鉄鋼の生産高	80.0	28.4	20.2	51.4	鉦	銅	鋼
刻	コク	時刻を知らせる	97.0	61.1	20.5	18.4	刻	刻	刻
	きざーむ	心に刻む	89.1	50.4	34.5	15.1	刻	刻	刻
穀	コク	穀物を作る	83.8	37.6	38.0	24.4	穀	穀	穀
骨	コツ	足を骨折する	96.6	84.1	11.5	4.4	骨	折	子
	ほね	じょうぶな骨組み	97.7	91.0	4.8	4.2	骨	育	骨
困	コン	困難な作業	96.5	57.5	16.3	26.2	混	困	固
	こまーる	暮らしに困る	99.5	80.7	7.3	12.0	困	固	団
砂	サ	広い砂ばく	97.9	88.5	7.0	4.5	石	裁	浜
	すな	砂場で遊ぶ	91.6	95.3	3.9	0.8	砂	砂	妙
座	ザ	冬の星座	97.6	86.3	9.6	4.1	座	座	座
済	サイ	経済の本を読む	95.5	69.6	20.2	10.2	財	済	材
	すーます	仕事を済ます	78.0	42.1	47.9	10.0	注	終	住
裁	サイ	最高裁判所	98.3	57.1	20.5	22.4	裁	裁	越
	さばーく	罪を裁く	86.8	54.9	26.6	18.5	裁	砂	裁
策	サク	対策を考える	93.4	62.8	19.1	18.1	策	作	築
冊	サツ	本を五冊買う	97.6	81.8	12.7	5.5	札	冊	冊
蚕	サン	養蚕農家	21.6	33.3	27.3	39.4	産	酸	三

第6学年(4)[蚕～熟]

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
蚕	かいこ	蚕を飼う	85.3	59.8	27.9	12.3	蚕	絹	養
至	シ	品物を至急送る	86.2	46.1	40.1	13.8	志	致	支
	いたーる	現在に至る	83.6	61.1	28.3	10.6	到	致	居
私	シ	公私の区別	84.6	19.2	37.9	42.9	市	子	資
	わたくし	私の本	20.0	97.3	1.5	1.2	私	私	私
姿	シ	姿勢を正す	96.8	59.4	24.9	15.7	背	指	資
	すがた	姿を現す	98.5	81.7	12.9	5.4	姿	安	現
視	シ	視力検査	97.5	49.0	17.9	33.1	視	眼	祖
詞	シ	校歌を作詞する	97.4	73.1	8.4	18.5	詩	歌	詢
誌	シ	週刊誌を読む	99.1	62.4	16.3	21.3	紙	詩	志
磁	ジ	磁石でくっつく	98.5	55.4	14.1	30.5	磁	磯	磁
射	シャ	ロケットの発射	94.5	71.1	13.8	15.1	射	射	謝
	いーる	弓で矢を射る	62.2	40.5	39.9	19.6	引	至	射
捨	シャ	四捨五入をする	99.4	72.0	8.8	19.2	拾	者	捨
	すーてる	ごみを捨てる	99.1	69.9	8.9	21.2	拾	除	処
尺	シャク	千分の一の縮尺	78.1	47.3	40.4	12.3	訳	沢	短
若	わかーい	若者が集まる	99.4	95.5	2.6	1.9	苦	著	者
樹	ジュ	樹木の世話をする	92.3	70.2	22.0	7.8	樹	樹	街
収	シュウ	収入を得る	95.9	85.9	10.3	3.8	周	収	收
	おさーまる	気持ちが収まる	70.0	32.2	36.1	31.7	治	納	修
宗	シュウ	宗教を広める	92.1	61.5	26.7	11.8	宗	修	衆
就	シュウ	会社に就職する	94.4	42.8	42.7	14.5	就	就	耽
衆	シュウ	公衆電話	99.3	57.6	24.3	18.1	衆	集	修
従	ジュウ	仕事に従事する	21.0	16.0	52.7	31.3	重	充	十
	したがーう	きまりに従う	81.8	59.7	25.1	15.2	従	示	迷
縦	ジュウ	飛行機の操縦	88.3	37.7	37.8	24.5	従	重	動
	たて	縦書きにする	91.6	54.8	20.5	24.7	従	従	縦
縮	シュク	縮図を書く	91.2	79.8	10.1	10.1	脩	宿	縮
	ちぢーむ	ゴムが縮む	90.7	73.4	19.0	7.6	縮	脩	短
熟	ジュク	熟語を作る	91.2	54.4	20.8	24.8	熱	述	熟

第6学年(5)〔純～染〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
純	ジュン	単純な計算	96.3	48.4	23.1	28.5	紃	紃	紃
処	ショ	ごみを処分する	92.4	52.8	31.3	15.9	処	処	捨
署	ショ	消防署	87.9	51.2	18.1	30.7	所	署	著
諸	ショ	諸国を旅する	94.2	48.5	27.3	24.2	署	初	緒
除	ジョ	道路の除雪	93.0	70.8	18.8	10.4	余	除	徐
	のぞく	雑草を除く	96.4	72.5	20.6	6.9	途	除	余
将	ショウ	将来の夢をえがく	97.5	60.9	16.9	22.2	将	将	状
傷	ショウ	転んで負傷する	89.4	54.2	16.9	28.9	傷	傷	勝
	きず	かすり傷を負う	98.6	63.1	14.1	22.8	傷	傷	腸
障	ショウ	車が故障する	98.1	38.9	39.7	21.4	胡	章	傷
城	ジョウ	城下町	98.0	80.4	4.1	15.5	城	城	域
	しろ	城あとを訪ねる	95.4	81.6	9.7	8.7	成	地	域
蒸	ジョウ	水が蒸発する	98.4	79.3	8.7	12.0	蒸	蒸	菜
針	シン	委員会の方針	92.4	74.4	19.8	5.8	進	信	法
	はり	時計の針	98.8	93.6	2.3	4.1	計	針	捨
仁	ジン	仁愛の心	92.9	70.7	9.8	19.5	人	任	伝
垂	スイ	垂直に交わる	90.2	52.4	31.2	16.4	維	水	椎
	たーれる	水が垂れる	82.1	62.7	22.8	14.5	垂	垂	乗
推	スイ	推理小説	90.2	52.4	31.2	16.4	維	水	椎
寸	スン	洋服の寸法	93.4	74.2	19.9	5.9	推	進	討
盛	もーる	集会が盛り上がる	97.8	75.2	12.5	12.3	盛	盛	盆
聖	セイ	聖火ランナー	96.4	73.6	14.0	12.4	聖	望	政
誠	セイ	誠実な人	73.2	44.4	14.9	40.7	聖	試	政
宣	セン	番組の宣伝	96.3	56.3	23.7	20.0	宣	宣	専
専	セン	専門家に聞く	95.3	81.0	12.9	6.1	尊	宣	先
泉	セン	温泉に入る	96.3	60.9	24.8	14.3	湯	線	浅
	いずみ	泉のほとり	95.7	90.3	3.2	6.5	湖	泉	泉
洗	セン	洗濯物を干す	100	87.8	2.9	9.3	干	先	選
	あらう	手を洗う	98.0	91.5	4.7	3.8	流	先	浴
染	セン	伝染病を防ぐ	96.5	44.8	36.0	19.2	線	干	宣

第6学年(6)〔染～著〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率	主な誤答例		
染	そーめる	布を赤く染める	96.0	60.0	29.3	10.7	潔	染	染
善	ゼン	善悪を考える	67.2	36.0	26.1	37.9	善	善	善
	よーい	善い行いをほめる	83.1	34.2	1.8	64.0	善	善	善
奏	ソウ	ピアノの演奏会	97.4	65.6	18.3	16.1	奉	渾	総
窓	ソウ	車窓の風景	53.6	23.0	50.0	27.0	倉	走	層
	まど	窓の外を見る	99.1	79.7	10.5	9.8	窓	窓	窓
創	ソウ	物語を創作する	88.7	43.2	30.4	26.4	操	想	造
装	ソウ	服装を整える	98.2	42.3	35.8	21.9	操	装	製
層	ソウ	地層を調べる	94.5	59.3	26.6	14.1	層	層	草
操	ソウ	飛行機の操縦	96.0	59.5	26.7	13.8	操	操	操
蔵	ゾウ	冷蔵庫	98.1	47.0	31.9	21.1	蔵	減	蔵
臓	ゾウ	心臓の検査	99.9	56.3	16.7	27.0	臓	臓	蔵
存	ソン	存在する生物	95.6	79.8	16.3	3.9	尊	在	佐
	ゾン	保存食品	94.7	61.5	21.6	16.9	蔵	在	存
尊	ソン	父を尊敬する	95.9	58.5	29.5	12.0	尊	尊	損
	とうとーい	尊い命	78.9	62.9	26.8	10.3	尊	尊	導
宅	タク	住宅が建つ	98.3	60.9	27.9	11.2	居	宇	拓
担	タン	担任の先生	96.8	73.6	15.5	10.9	但	伯	拍
探	タン	南極探検	93.7	56.6	25.1	18.3	深	際	探
	さがーす	落とし物を探す	97.6	73.5	13.1	13.4	深	増	際
誕	タン	誕生日を祝う	99.7	61.4	15.6	23.0	誕	誕	誕
段	ダン	階段を上がる	98.6	68.5	17.3	14.2	印	段	段
暖	ダン	温暖な気候	93.9	66.2	20.7	13.1	暖	暖	段
	あたたーかい	暖かい春	97.7	55.2	21.5	23.3	暖	暖	暖
値	チ	価値のある本	92.4	73.8	14.4	11.8	土	置	直
	ね	値段が上がる	94.7	77.2	9.6	13.2	植	価	植
宙	チュウ	宇宙への旅	99.5	89.8	2.0	8.2	宙	由	宙
忠	チュウ	友達に忠告する	94.8	64.1	13.5	22.4	注	仲	忠
著	チョ	本の著者	53.1	47.7	28.3	24.0	署	著	長

第6学年(7)〔庁～晩〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
庁	チョウ	気象庁	94.7	42.0	34.5	23.5	長	頂	張
頂	チョウ	山の頂上	92.1	74.4	13.5	12.1	庁	項	訂
	いただーく	感謝状を頂く	82.4	41.1	42.1	16.8	届	致	到
潮	チョウ	満潮の時間	72.8	40.2	30.7	29.1	長	朝	湖
	しお	潮風に当たる	94.0	78.9	7.1	14.0	湖	塩	瀬
賃	チン	賃金をはらう	73.6	35.8	36.0	28.2	貸	質	賃
痛	ツウ	頭痛が治る	97.1	62.7	18.7	18.6	痛	病	痛
	いたーい	足が痛い	97.9	66.9	17.3	15.8	痛	病	痛
展	テン	展覧会	98.7	46.6	24.6	28.8	展	展	天
討	トウ	討論会を開く	83.0	54.3	33.0	12.7	職	寸	党
党	トウ	新しい政党を作る	87.6	53.0	25.4	21.6	完	堂	堂
糖	トウ	砂糖を入れる	98.6	62.1	17.3	20.6	礮	唐	塘
届	とどーく	手紙が届く	97.3	81.4	12.0	6.6	居	由	留
難	ナン	困難な問題	93.4	68.7	19.4	11.9	難	藁	藁
	むずかーしい	難しい問題	87.9	79.2	12.7	8.1	藁	藁	藁
乳	ニユウ	牛乳を飲む	99.1	84.1	9.7	6.2	乳	乳	牛
	ちち	お乳を飲む	92.4	86.1	7.5	6.4	乳	乳	乳
認	みとーめる	実力を認める	94.5	63.7	23.4	12.9	認	詔	誠
納	ノウ	会費を納入する	47.9	48.0	28.6	23.4	能	脳	濃
	おさーめる	税金を納める	84.8	45.8	21.3	32.9	修	政	藁
脳	ノウ	脳の働き	97.1	50.1	17.5	32.4	能	納	態
派	ハ	海外特派員	86.6	44.9	41.2	13.9	脈	波	破
拝	ハイ	手紙を拝見する	88.0	43.1	32.5	24.4	俳	排	拝
	おがーむ	初日を拝む	72.3	39.1	39.1	21.8	洋	拜	俳
背	ハイ	ぶ台の背景	91.8	72.7	19.0	8.3	賃	肯	灰
	せ	背中をのばす	99.3	91.9	4.0	4.1	賃	賃	背
肺	ハイ	肺呼吸をする	96.3	67.7	22.1	10.2	肺	胃	背
俳	ハイ	俳句を作る	98.4	71.6	16.3	12.1	俳	非	排
班	ハン	班長を決める	99.6	94.0	2.8	3.2	球	班	斑
晩	バン	晩ご飯を食べる	97.5	50.3	29.8	19.9	勉	夜	免

第6学年(8)〔否～模〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
			の正答率	正答率	無答率	誤答率			
否	ヒ	考えを否定する	95.	67.7	12.4	19.9	比	不	批
批	ヒ	作品を批評する	86.2	19.2	36.1	44.7	否	比	非
秘	ヒ	秘密を守る	98.9	76.3	10.0	13.7	必	秘	秘
腹	フク	腹痛がする	97.4	63.7	15.1	21.2	福	複	復
	はら	腹が立つ	97.3	75.9	12.9	11.2	復	腸	復
奮	フン	思わず興奮する	94.2	38.9	46.6	14.5	奮	奮	奮
	ふるーう	勇気を奮う	36.0	38.5	49.7	11.8	奮	興	奮
並	なみ	並木道を歩く	87.4	71.4	14.9	13.7	並	波	並
	ならーぶ	一列に並ぶ	93.1	85.9	7.2	6.9	並	並	立
陞	ヘイ	天皇陛下	93.9	35.4	32.5	32.1	陸	階	平
閉	ヘイ	閉店時間になる	90.3	87.2	6.3	6.5	開	平	関
	とーじる	本を閉じる	99.4	92.1	5.7	2.2	閉	閉	開
	しーめる	窓を閉める	98.0	85.6	6.8	7.6	開	締	止
片	かた	道路の片側	97.4	82.5	10.1	7.4	方	逆	則
補	ホ	チームを補強する	91.2	47.3	30.8	21.9	補	保	補
	おぎなーう	考えを補う	84.3	69.1	17.5	13.4	補	補	養
暮	くーらす	豊かな暮らし	99.3	75.1	12.0	12.9	墓	住	幕
宝	ホウ	美しい宝石	98.4	85.7	10.3	4.0	玉	室	法
	たから	宝物を探す	98.9	97.7	1.0	1.3	宝	室	ウ
訪	ホウ	外国を訪問する	93.9	65.3	16.4	18.3	放	法	方
	たずーねる	友達を訪ねる	92.6	66.1	27.0	6.9	許	訪	故
亡	ボウ	事故で死亡する	97.7	89.5	8.4	2.1	望	忘	荒
忘	わすーれる	宿題を忘れる	98.8	89.1	7.9	3.0	流	忘	荒
棒	ボウ	鉄棒にぶら下がる	97.5	52.4	21.5	26.1	奉	棒	胞
枚	マイ	用紙を三枚配る	99.7	92.5	4.4	3.1	枚	冊	数
幕	マク	ぶ台の幕を引く	91.8	52.8	33.1	14.1	舞	幕	常
	バク	江戸幕府	97.4	65.5	18.9	15.6	幕	暮	暴
密	ミツ	人口密度が高い	91.1	52.1	38.9	9.0	満	三	密
盟	メイ	同盟関係を結ぶ	95.4	57.2	19.4	23.4	明	名	盟
模	モ	模型を作る	95.3	69.4	21.7	8.9	摸	模	様

第6学年(9)〔模～論〕

漢字	読み方(学年)	「書き」の問題	「読み」 の正答率	「書き」の調査結果			「書き」の調査の 主な誤答例		
				正答率	無答率	誤答率			
模	ボ	規模が大きい	69.1	34.6	51.5	13.9	漠	摸	模
訳	ヤク	日本語に訳す	83.6	69.6	15.1	15.3	約	説	役
	わけ	言い訳をする	96.6	82.6	10.3	7.1	沢	努	分
郵	ユウ	郵便局	99.3	45.8	28.8	25.4	郵	敷	郵
優	ユウ	大会で優勝する	99.2	75.9	13.8	10.3	優	優	優
幼	ヨウ	幼稚園に入る	99.8	67.1	19.2	13.7	幼	幼	幼
	おさな-い	幼い子供	96.0	84.1	11.1	4.8	幼	幼	幼
欲	ヨク	食欲の秋	97.0	71.0	17.4	11.6	欲	欲	浴
翌	ヨク	翌日の予定	98.2	55.2	19.9	24.9	習	翌	昨
乱	ラン	頭が混乱する	97.1	72.8	23.4	3.8	活	困	惑
	みだ-れる	列が乱れる	85.9	68.7	27.2	4.1	活	孔	刮
卵	たまご	にわとりの卵	99.6	85.5	2.4	12.1	卵	卵	卵
覧	ラン	展覧会	95.7	48.6	31.4	20.0	覧	覧	覧
裏	うら	家の裏口	98.6	59.8	15.0	25.2	裏	裏	裏
律	リツ	法律を学ぶ	97.3	47.8	17.0	35.2	立	津	律
臨	リン	臨時列車	94.8	49.3	34.4	16.3	臨	輪	臨
朗	ロウ	詩を朗読する	98.4	57.2	12.6	30.2	郎	郎	腹
論	ロン	理論的に話す	93.6	59.1	23.7	17.2	輪	輸	論

索引(学年別漢字配当表)

* 数字は習得調査結果の掲載ページです。

	あ	い	う	え	お	か				き			く
1 年 80字		一44	右44 雨44	円44	王44 音44	下44 学44	火44	花44	貝44	気45 玉45	九45 金45	休45	空45
2 年 160字		引51	羽51 雲51	園51 遠51		何51 歌51 海51 楽52 岩52	科51 画51 絵51 活52 顔52	夏51 回51 外52 間52	家51 会51 角52 丸52	汽52 弓52 京53 近53	記52 牛52 強53 兄53	帰52 魚52 教53	
3 年 200字	悪63 安63 暗63	医63 委63 意63 育63 員63 院63 飲63	運63	泳63 駅63	央63 横63 屋63 温63	化63 階64 館64	荷63 寒64 岸64	界64 感64	開64 漠64	起64 究64 宮64 橋64 局65	期64 急64 球64 業64 銀65	客64 級64 去64 曲65	区65 苦65 具65 君65
4 年 200字	愛75 案75	以75 衣75 位75 囲75 胃75 印75		英75 栄75 塩75	億75	加75 芽75 街75 官76 願76	果75 改75 各76 管76	貨75 械75 覚76 関76	課75 害75 完76 観76	希76 喜76 機76 泣76 拳77 協77 極77	季76 旗76 議76 救76 漁77 鏡77	紀76 器76 求76 給76 共77 競77	訓77 軍77 群77
5 年 185字	圧86	移86 因86		永86 営86 衛86 易86 益86 液86 演86	応86 往86 桜86 恩86	可86 過86 格87 幹87	仮86 賀86 確87 慣87	価86 快86 額87 眼87	河86 解87 刊87	基87 技87 久87 許87 禁88	寄87 義87 旧87 境87	規87 逆87 居87 均88	匂88 群88
6 年 181字		異96 遺96 域96	宇96	映96 延96 沿96	皇98	我96 閣96 巻96	灰96 割96 看96	拡96 株96 簡96	革96 干96	危96 貴96 供97 勤97	机96 疑96 胸97 筋97	揮96 吸97 郷97	

け	こ	さ	し	
月45 犬45 見45	五45 口45 校45	左46 三46 山46	子46 四46 糸46 字46 耳46 七46 車46 手46 十46 出46 女47 小47 上47 森47 人47	1 年
計53 形53 言53 元53 原53	戸53 古53 午54 後54 語54 工54 公54 広54 交54 光54 考54 行54 高54 黄54 合55 谷55 国55 黒55 今55	才55 細55 作55 算55	止55 市55 矢55 姉55 思55 紙55 寺55 自56 時56 室56 社56 弱56 首56 秋56 週56 春56 書56 少56 場56 色56 食56 心57 新57 親57	2 年
係65 軽65 血65 決65 研65 県65	庫65 湖65 向65 幸65 港65 号66 根66	祭66 皿66	仕66 死66 使66 始66 指66 菌66 詩66 次66 事66 持66 式66 実66 写67 者67 主67 守67 取67 酒67 受67 州67 拾67 終67 習67 集67 住67 重67 宿68 所68 暑68 助68 昭68 消68 商68 章68 勝68 乗68 植68 申68 身68 神68 真68 深69 進69	3 年
径77 型77 景77 芸77 欠77 結77 建77 健77 験77	固77 功78 好78 候78 航78 康78 告78	差78 業78 最78 材78 昨78 札78 刷78 殺78 察78 参78 産78 散78 残79	士79 氏79 史79 司79 試79 児79 治79 辞79 失79 借79 種79 周79 祝79 順79 初79 松79 笑80 唱80 焼80 象80 照80 賞80 臣80 信80	4 年
経88 潔88 件88 券88 険88 検88 限88 現88 減88	故88 個88 護88 効88 厚88 耕88 鉦88 構88 興89 講89 混89	査89 再89 災89 妻89 採89 際89 在89 財89 罪89 雑89 酸89 賛89	支89 志89 枝90 師90 資90 飼90 示90 似90 識90 質90 舎90 謝90 授90 修90 述90 術90 準90 序90 招90 承90 証90 条90 状90 常90 情91 織91 職91	5 年
系97 敬97 警97 劇97 激97 穴97 絹97 権97 憲97 源97 厳97	己97 呼97 誤98 后98 孝98 皇98 紅98 降98 鋼98 刻98 穀98 骨98 困98	砂98 座98 濟98 裁98 策98 冊98 蚕98	至99 私99 姿99 視99 詞99 誌99 磁99 射99 捨99 尺99 若99 樹99 収99 宗99 就99 衆99 従99 縦99 縮99 熟99 純100 処100 署100 諸100 除100 将100 傷100 障100 城100 蒸100 針100 仁100	6 年

	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
1 年	水47	正47 生47 青47 夕48 石48 赤48 千48 川48 先48	早48 草48 足48 村48	大48 男48	竹48 中48 虫49 町49		天49 土49 田49	
2 年	図57 数57	西57 声57 星57 晴57 切57 雪57 船57 線57 前58	組58 走58	多58 太58 体58 台58	地58 池58 知58 茶58 昼58 長58 鳥58 朝58 直58	通59	弟59 店59 点59 電59	刀59 冬59 当59 東59 答59 頭59 同59 道59 読59
3 年		世69 整69 昔69 全69	相69 送69 想69 息69 速69 族69	他69 打69 対69 待69 代69 第70 題70 炭70 短70 談70	着70 注70 柱70 丁70 帳70 調70	追70	定70 庭70 笛70 鉄70 転71	都71 度71 投71 豆71 島71 湯71 登71 等71 動71 童71
4 年		成80 省80 清80 静80 席80 積80 折80 節80 説80 浅81 戦81 選81 然81	争81 倉81 巢81 束81 側81 続81 卒81 孫81	帯81 隊81 達81 単81	置81 仲82 貯82 兆82 腸82		低82 徒82 努82 底82 灯82 堂82 停82 働82 特82 的82 得82 毒82 典82 伝82	
5 年		制91 性91 政91 勢91 精91 製91 税91 責91 績91 接91 設91 舌91 絶91 銭91	祖91 素91 総91 造91 像91 増92 則92 測92 属92 率92 損92	退92 貸92 態92 団92 断92	築92 帳92		堤92 程92 適92 敵92	統92 銅92 導92 徳92 独93
6 年	垂100 推100 寸100	盛100 聖100 誠100 宣100 専100 泉100 洗100 染100 善101	奏101 窓101 創101 装101 層101 操101 蔵101 臓101 存101 尊101	宅101 担101 探101 誕101 段101 暖101	値101 宙101 忠101 著101 庁102 頂102 潮102 賃102	痛102	展102	討102 党102 糖102 届102

な	に	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	
	二49 日49 入49	年49		白49 八49	百49	文50		木50 本50		1 年
内60 南60	肉60			馬60 売60 買60 麦60 半60 番60		父60 風60 分60 聞60	米60	歩61 母61 方61 北61	毎61 妹61 万61	2 年
			農71	波71 配71 倍71 箱71 畑72 発72 反72 坂72 板72	皮72 悲72 美72 鼻72 筆72 氷72 表72 秒72 病72 品72	負72 部73 服73 福73 物73	平73 返73 勉73	放73		3 年
		熱82 念82		敗82 梅83 博83 飯83	飛83 費83 必83 票83 標83	不83 夫83 付83 府83 副83 粉83	兵83 別83 辺83 変83 便84	包84 法84 望84 牧84	末84 満84	4 年
	任93	燃93	能93	破93 犯93 判93 版93	比93 肥93 非93 備93 俵93 評93 貧93	布93 婦93 富93 武94 復94 複94 仏94	編94 弁94	保94 墓94 報94 防94 貿94 暴94		5 年
難102	乳102 認102		納102 脳102	派102 拝102 背102 肺102 俳102 班102 晩102	否103 批103 秘103	腹103 奮103	並103 陞103 閉103 片103	補103 暮103 宝103 訪103 亡103 忘103 棒103	枚103 幕103	6 年

	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ
1 年			名50	目50					立50 力50 林50			六50	
2 年			明61 鳴61	毛61 門61	夜61 野61	友61	用62 曜62	来62 楽52	里62 理62			話62	
3 年	味73		命73 面73	問73	役73 薬73	由73 油73 有74 遊74	予74 羊74 洋74 葉74 陽74 様74	落74	流74 旅74 両74 緑74		礼74 列74 練74	路74	和74
4 年	未84 脈84 民84	無84			約84	勇84	要84 養84 浴84		利84 陸84 良85 料85 量85 輪85	類85	令85 冷85 例85 歴85 連85	老85 労85 録85	
5 年		務94 夢94	迷94 綿94			輪94	余95 預95 容95		略95 留95 領95				
6 年	密103		盟103	模103	訳104	郵104 優104	幼104 欲104 翌104	乱104 卵104 覧104	裏104 律104 臨104			朗104 論104	

第4章 生きる力が育つ漢字指導法

子どもたちが日常生活で「漢字が読める、書ける、意味が分かる、使いこなせる」ような学習を進めたい。それには、個々の児童・生徒がどの程度漢字を習得しているかを知って、児童・生徒の実態から指導の在り方を創意・工夫することである。

単なる練習や書き取りから転換し、子どもたちが自ら主体的に漢字を学習する方法を実践を通して提案したのが、この学習指導例である。習得調査の結果をさらに検討し、習得過程の研究と授業実践を総合化した新漢字指導法を共に開拓していきたい。

I. 第1・2学年の学習指導例

- | | |
|------|----------------------------|
| 第1学年 | 漢字に興味・関心をもち、字形を正しく覚える |
| 第2学年 | 漢字の意味や字形を意識し、漢字を正しく書く力を高める |

II. 第3・4学年の学習指導例

- | | |
|------|-----------------------------|
| 第3学年 | 漢字の組み立てに注目し、自分で覚える力をつける |
| 第3学年 | 部首と意味の関わりを知り、漢字に対する興味・関心を増す |
| 第4学年 | 辞書を利用して調べる方法を理解し、その定着を図る |

III. 第5・6学年の学習指導例

- | | |
|------|---------------------------|
| 第5学年 | 同音・同訓の漢字、送り仮名の変化について理解する |
| 第6学年 | 文脈の中で言葉の意味を考え、同訓異字を正しく使う |
| 第6学年 | 熟語の成り立ちを理解し、漢字への興味・関心を深める |

1. 漢字に興味・関心をもち、字形を正しく覚える

(低学年——1年)



1年生の配当漢字80字について、必ず読むことができることと次の学年までに漸次書くことができることを目標にすることが新学習指導要領で示されている。

ひらがなを学び、文字に興味を持ちはじめた漢字の入門期の学習では、漢字を読むこと、書くことを楽しむ気持ちを育てていくことを大切にしたい。1年生に出てくる漢字は、「木、気、日、火、目」など一字一音節が多く、そのため、「お火さま」「木がついた」など、意味を考えずに漢字を間違えて書いていることがある。しかし、このことは覚えた漢字に対する関心が高く、漢字を使おうとする意欲の表れでもある。

基本的な漢字の学習を楽しみながら、漢字を目にする機会を生活の中に多く、特に読みの場を作り、「読めたぞ、漢字って楽しいな」などと漢字に親しみ、自信を持たせるようにしたい。

1年生では「白、百、川」などのように基本的な字形を間違えることがよくある。また、線(とめ、はね、はらい)の向きなどを正しく意識しないで、漢字を丸のみの覚え方をしている間違いが見られる。線一本、線の向きで、違う字になるという漢字の見方や捉え方、いわゆる基本的な漢字の学び方を入門期に身に付けさせることが大切である。

そこで、漢字に親しみながら、漢字の基本的な学習を次のように考えた。

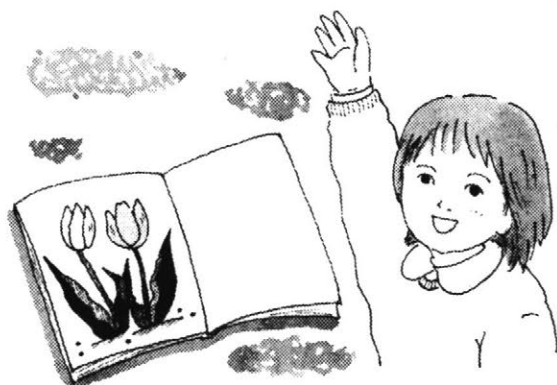
〔指導計画〕

- (1) 身のまわりにある漢字に関心をもち、漢字に親しむ。
- (2) 漢字に対する興味・関心を高め、基本的な字形を正しく覚える。

〔指導の実際〕

指導のねらい

学校や近所などの身のまわりから、進んで漢字を見つけたり、読んだりして漢字に親しむことができる。



① 学級の友だち同士で名刺交換をする。

T. 自分の名刺(漢字で書いたもの)と友だちの名刺を交換しましょう。散歩して出会った友だちとジャンケンをして勝ったら名刺をもらえます。たくさん名刺を集めた人が勝ちですよ。

(音楽に合わせて散歩をさせる。音楽が止まったらジャンケンをし、負けた人が名前を紹介して名刺を手渡す。家族の名前も入れるなど実態に合わせて漢字を増やす。)

- C. 名刺を6枚も集めた。
C. ぼくは4枚集まった。
C. りなちゃん、まゆみちゃんの名刺だよ。
T. 集めた名刺を紹介しましょう。

(繰り返しゲームをしながら、友だちの名前を読めるようになったら大いにほめ、漢字に興味をもたせるようにする。)

C. 私は、川田理菜さん、山村里子さん、平野洋子さん、鈴木孝子さん、鈴木先生と同じだから「スズキ」と読むんだということが分かりました。

T. 難しい友だちの名前が上手に紹介できましたね。違う読み方なら親切に教えてあげましょう。集めた名刺を並べてみましょう。

C. 里は、サト・リとも読むんだな。

(日直の名前の表示をし、日常生活の中でも目に触れるようにする。)

②

廊下や教室など学校の中や通学路の途中で見つけた漢字を紹介する。

T. 漢字を見つけた場所も入れて紹介しましょう。

C. 電信柱に「本町」「栄町」と書いてありました。「ほんちょう」、「さかえちょう」と読みます。(黒板に漢字を掲示する。)

C. 「ほんまち、さかえまち」と言うんじゃないかな。おばあちゃんの家はそう言うから。

T. 町によって読み方が違います。同じ字でもいろいろな読み方があるんですね。

C. 本がたくさんある教室だから、「図書室」は「としょしつ」だと思います。

C. 「図工室」は「ずこうしつ」。「図」は「と」と「ず」と読むことが分かりました。

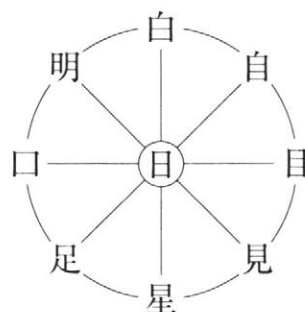


指導のねらい

字形に注意して正しく書くことができる。

T. 「日」の漢字に線一本足すと「目」、引くと「口」の字になりますね。このように「日」の字を中心にして漢字を見つけましょう。

お「日」さまから発進



C. 先生!! 漢字は、線一本で違う字になることに気が付きました。



T. 「日」の字に線を一本だけ足すと違う漢字ができます。さあ、どんな漢字を知っていますか。

C. 「目」(メ)の漢字を見つけました。

C. 「白」(シロ)という漢字もあります。

T. この2つの字を比べてみましょう。「目・白」も、口の字に線一本がふえただけですが、読み方も違うし、表すことも違うものです。足した線の書き方も違うようです。

C. 「目」は、線を真っ直ぐの一と書く。「白」は、片仮名のノのように書きます。

T. 線の向きも大切なんですね。この調子で、線を何本か足したり、知っている漢字を足したりして漢字をふやしましょう。

C. 早-見-自-耳

C. 星-青-明

T. いろいろな漢字が書けましたね。

2. 漢字の意味や字形を意識し、漢字を正しく書く力を高める

(低学年ー2年)



新学習指導要領では「第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年で学習した漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年の漢字を漸次書くようにすること」と示されている。

2年生の配当漢字は160字と1年の2倍に増えている。そのため、子どもが、興味や関心を高め、進んで漢字を学ぼうとする学習意欲を育てることが大切である。

2年生の漢字では、一字一字の読みから、意味のある熟語として「音読み」の漢字が増え、また、送りがなの必要な「訓読み」の漢字も多くなっている。そこで、文や文章に位置づけた読みや送りがなの用法とともに読み替え漢字の学習が大切である。

1年生で出てきた漢字を使えるようにするには、子どもの生活や行事、季節、遊びなどを有効に活用するようにしたい。また、日記や手紙、作文などの表現活動に書く活動を意図的に取り上げていくことは、漢字の定着につながる。漢字を使えたことを正しく評価し、大いに認め励ます。漢字学習に意欲をもち、楽しく学べるようにすることが、2年生の漢字学習の前提になる。

〔指導計画〕

- (1) 漢字の組み立てや画数に着目し、既習の文字と比べたり、似ている部分や違うところを見つめたりして、基本的な漢字を正確に見る力を身に付ける。
- (2) 漢字の意味を意識しながら、正しく使えるようにする。また、言葉作りやお話の中に漢字を探しながら正しく使えることができるようにする。

〔指導の実際〕

指導のねらい

画数を意識させながら、漢字の字形を正しく理解・認識することができる。

漢字の画数を比べながら、字形を正確に見る力や態度を身に付けさせる。

(1) 「画数ジャンケン」ゲームをする。

2人組になり、同時にカードを出し、漢字の画数を比べ、画数の多い人がカードをもらえる。多く集めた人が勝ち。1回戦は10枚のうち何枚集めたかとし、表にメモし、5回戦までのゲームとする。手持ちのカードの漢字

の字形を覚えるようにする。相手を替え、次の相手とゲームをし、漢字に多く接しながら学べるようにする。

T. 漢字の画数ジャンケンをしましょう。

C. ジャンケンポン。(リカのり理の11画)

C. ぼくは、(ヨウの曜で18画)でぼくの勝ち。

ハイ、カード1枚いただきます。



- C. ジャンケンポン。(ハシル走る7画)
C. 社会の社(シャ7画)で同じ画数だね。

(画数が同じ場合はカードの交換はなしでゲームを続ける。集めた漢字を読み、画数の確認を2人組です。)

- (2)「漢字画数集め」の学習をする。

学習した漢字の中から、画数ごとに漢字を見つけ、漢字表にまとめる学習をする。

- T. 漢字の画数集めをしましょう。5字ずつ見つけて、表に書きましょう。

(15分間と時間を決め、教科書などを参考にする。)

3画	才・上・万・工・大・弓……
4画	止・公・心・戸・父・毛・内……
5画	台・広・兄・矢・外・半・市……
6画	合・休・同・色・肉・西……

- T. グループで画数ごとに集めた漢字の紹介をし合いましょう。友だちの発表を参考にして、自分の表に新たに漢字を書き加えましょう。

- C. そうだ、「小」は3画だね。
C. 「母」は、5画だよ。4画ではないよ。
C. 「レ」をノと1画に数えて間違った。

(次は、7、8、9画の漢字集めをし、画数が多くなった漢字集めの時間を実態に合わせ、制限時間をふやす。また、教室に「漢字コーナー」を設け、常に漢字が目に触れるように学べる教室環境を作る。)

指導のねらい

漢字の読みや意味を考え、文や文章の中で正しく漢字を使うことができる。

- (1) 同じ読みの漢字集めをする。同音の漢字で一文を作り、○×ゲームをしながら、漢字の使い方を学習する。

- T. 同じ読みの漢字を探し、カードに書いた漢字が合っているか○×ゲームをして確かめましょう。

気	●みんな元木です
木	●大きな木のはっぱ

- T. これは、どうでしょう。

- C. 「元気」の「き」が違っています。

- C. 木は土に生えている木の意味だから違う。

- T. 読み替えの漢字も入れて、同じ読みの漢字を探し、合図があったら隣の友だちと○×ゲームをして確かめましょう。

- C. 「小学1年生」「男の子少年」のショウ。

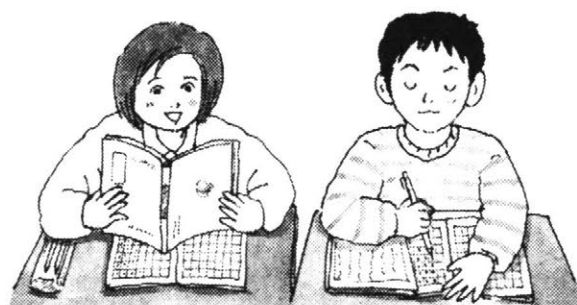
- C. 「教室でべん強します」のキョウ。

- C. キョウなら「今日は天気がいいです」の文も考えました。どうですか。

- C. 私は、「東京に行く」の文を考えました。

- C. 「ぼくの兄弟」はどうですか。

(カードを見て、同音の漢字の部分を確認するようにする。)



- (2) 文章中に正しく漢字を使う。パネルシアターにし、次々に登場人物を話の中に加えて楽しい話の展開にする。(パネルシアターを見終わってから、漢字を使っていないプリントされた話を読み、漢字に直す学習をする。)

①あかいふくをきて かわださんは、がっ こうへでかけます。	②いつも、いくとき にともこちゃんのい えでこえをかけます。
③みちで、ちいさな いぬをつれたひとに あいました。	④きょうしつにはい るとせんせいがいま した。ひかったきい ろのペンダントをし ています。

3. 漢字の組み立てに注目し、自分で覚える力をつける

(中学年－3年)



中学年になると、漢字を書く力は急激に落ち込む。原因としては、新出漢字の急増、身近ではない語の出現、指導時数の不足などが考えられる。

指導時数の不足は解消のしようがなく、また、学年が上がるにつれ、このことはより深刻になる。したがって漢字の取り立て指導を増やすことはできず、子ども本人が授業時間以外の場で漢字を自ら習得していくことが必要になる。そのため、中学年の子どもは、自分で効率よく覚える方法を身に付けていくようにすることが重要で、そのために教師の指導も創意工夫が必要になってくる。

1つ1つの漢字も画数が多かったり子どもの普段の生活に関わりが少ない語だったりして、覚えにくいことが多くなる。そこで、漢字を分解し、へん、つくりなどの部分として意識させることが必要になる。初めて覚える漢字であっても、部分的には既習の漢字で覚えている場合が多く、「あ、ここは○という漢字でも使った」といった意識や気づきが、子どもの抵抗感を薄れさせるのに役立つ。

〔指導計画〕

- (1) 漢字の部首について考え、既習の漢字を部首別に整理する。

部首別に既習の漢字集めゲームをし、部首を意識して漢字を見る。

- (2) 新出漢字をへんやつくりなどに分解し、各部分が既習漢字にあるかどうか確認する。

新出漢字を部首とそれ以外の部分に分け、既習の漢字の部分があることを知る。

- (3) 新出漢字について自分なりの覚え方を考える。

新出漢字を既習の部分に分け、自分なりの覚え方を工夫することで漢字に興味・関心を持つ。

- (4) 家庭学習で新出漢字をへんやつくりなどに分解し、自分なりの覚え方を考える。

自分なりの覚え方で優れたものを、随時教室で紹介する。

〔指導の実際〕

指導のねらい

新出漢字「談」を字形に注目して分解するとともに、ワークシートを効果的に使い、漢字を自学習する力をつけることができる。

3年配当漢字「談」の書き方を学習する。

T. 新出漢字「談」の書き方を覚えましょう。

「二人は相談して、いちばんの近道に行くことにした」と出ていましたね。

C. (Tの板書に合わせて、空中に指で「談」を書く。)

T. 部首はなんでしょう。

C. ごんべんです。

T. そうですね。ごんべんは、話に関係ある字につきます。この「談」も「相談する」と使いましたが、他に「対談する」などと使います。

「談」の組み立てに注目し、既習の漢字がかくれていることに気付く。

- T. 「談」という漢字は、覚えられそうですか。
 C. (「はい」「無理」と反応が分かれる。)
 T. 難しそうに見えますが、ごんべんと、あと何でできているか考えると、意外と知っている字が隠れているのですよ。

言	炎
---	---

- C. 「炎だ。」「火だ。」

「談」の漢字について、自分なりの覚え方を工夫する。

- T. この「談」という漢字、どんなふうに覚えたらよく覚えられるでしょう。いい覚え方を考えてください。
 C. ごんべんにほのお。
 C. ごんべんに火が2つ。
 C. ごんべんにヒヒだ。
 T. ヒヒとは面白いですね。皆さんが思いついたように自分の覚え方を考えて書きましょう。

漢字のワークシートの効果的な使い方を知って主体的に学習する。

- T. プリントの①の部分に、漢字を書きましよう。
 ②の部分には、部首を書きます。ごんべんだから、「言」ですね。
 さて、その下は、あと何を足すと「談」の字になるか、自分で考えて書きましよう。
 ③の部分には、覚え方を言葉にして書いてください。
 C. (Tの板書による指示に従って、ワークシートに書き込んでいく。)
 T. どんな覚え方を書いたか、発表してもらいます。
 C. ごんべんにほのおです。
 C. ごんべんにひが2つでだん。
 T. 「～でだん。」というふうに、読み方が入

っているのがいいね。

④の部分には「ごんべん」と、部首名を入れてください。その下に、ごんべんのつく他の漢字を探して入れてください。

⑤の部分には、ていねいに書く練習をしましょう。

⑥の部分には、「談」を使った文を作ります。使い方が分かりましたか。



〈漢字のワークシートの例〉

⑥	⑤	ごんべん	③	①
友だちに相談して決める。	言	ごんべん	ごんべんにひが二つでだん	言
	談	④		
	談	話		言
	談	訓		+
	談			火
	談			+
	談			火

4. 部首と意味の関わりを知り、漢字に対する興味・関心を増す

(中学年－3年)



漢字テストで漢字が正しく書くことができても、ノートを取ったり作文を書いたりするときには仮名ばかりという実状がどの学級にもある。文章の中で漢字を適切に使えるようにならないければ、本当に漢字が習得されたとは言えない。しかし、漢字には同音・同訓異字が多いため、漢字の使い方で間違いが多くある。

中学年は、まだ比較的漢字学習への関心・意欲が高い時期である。そこで、漢字には一字一字決まった意味があることを意識させ、漢字使用のよさや必要感をもたせたい。子どもたちは、低学年のうちから、漢字はいくつかの部分に分かれることに気付いている。それを整理し、漢字の大部分が部首の意味と深い関係があることを理解させたい。さらに、表意文字や部首の組み合わせ、同音などの漢字の特性を関連的に理解させること、未習漢字でも部首に気付き、部首から予測し、辞書を使って確認していく自己学習の態度を身に付けさせたい。

〔指導計画〕

- (1) 漢字を二つの部分に分け、部首名のつく漢字を集める。

漢字使用によって文の区切りや意味がはっきりすることを知り、漢字使用の意味や必要感をもたせる。さらに、既習の漢字の中から、いろいろな分け方のできるものを拾い出し、部首を意識して漢字を類別する力をつける。

- (2) 漢字には意味と音を表す部分があることに気付き、音が同じ漢字を集める。

「注」と「柱」のように、字形が似ていて読み方が同じであることを知り、音読みを類推できるようにするとともに、意味の違いをはっきりさせる。

- (3) 漢字の部首集めゲームをして、漢字の特性に興味・関心を高める。

「へん、つくり、かんむり、あし、たれ、によう」などの部首一覧表を見ながら、グループ対抗で同じ部首の漢字を集める。どのチームが多く集められたかによって勝敗を決めるとともに、それぞれ挙げた漢字の読み方や意味などを互いに発表する。

〔指導の実際〕

指導のねらい

漢字の部首と意味を関連的に理解し、漢字に対する興味・関心を高めることができる。

部首とその意味とのかかわり方を知る。

T. 木のつく漢字を集めてみましょう。

C. 村、林、橋、校、板、柱、根、植・・・

T. たくさん集められました。これらの漢字はどんな意味を表す字だと思いますか。

C. みんな、木に関係があるよ。

C. 松、梅、杉という漢字もあるよ。みんな木の名前だ。

T. その通りですね。これらの漢字は「木へん」の字といいます。では、へんがそれぞれ違っていても右にある字が同じ漢字を集めてみましょう。

C. 柱、住、注などがあります。

T. 右側にある「主」という字は、燭台の上に
じっと立って燃える明かりを描いた象形文字
ですね。ですから、「柱」は、じっと立つ木
を意味しています。

主 主 柱 柱

C. 「住」は、じっと人が止まるんだね。

C. 「注」は、水ばしらがじっと立つように流
し込むから、「そそぐ」というのかな。

C. 「勉強に全力を注ぐ」という言い方もある
よ。これはどんな意味かな。

「柱」は、屋根を支える
ために、じっとひととこ
ろに立つ木材という意味
なんだね。

漢字の足し算
なら電十柱で
電柱だ！



板、坂、返も、
へんは違うけど、
右にある字が同じ
だよ。

部首と音との関わりを知る。

T. 双子の漢字を集めましょう。グループごと
に、読み方の同じ漢字を、知っているだけ集
めましょう。

*音読み、訓読みの区別をせず、ゲームを楽し
ませる。

*国語辞典に慣れさせるため、積極的に辞典を
活用させる。

*単文作りをさせることで、意味の違いをつか
ませる。

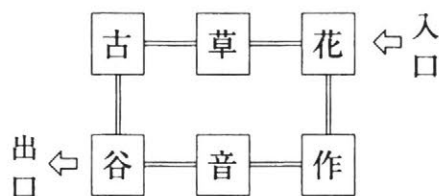


手を清潔にしてから
清流と清書した

ゲームを通して、主な部首を覚える。

*部首一覧表を見ながら、グループ対抗で、同
じ部首の漢字を集める。

*となりどおしの漢字の共通な部首を探しながら
入口から出口へ向かう『しりとり迷路』もよい。



*少し高度だが、漢字の部首しりとりゲームも
興味を持って取り組む。

答-算-相-村-対-文-衣-初-切-辺-
運-車-輪-今

たけかんむり→め→きへん→
すん→ぶん→なべぶた→ころ
もへん→かたな→かたな→し
んによ→くるま→くるまへ
ん→ひとがしら となっています。

5. 辞書を利用して調べる方法を理解し、その定着を図る

(中学年—4年)



新しい学習指導要領の〔第3学年及び第4学年〕の指導内容では、漢字の指導について、「学年別漢字配当表の当該学年に配当されている漢字を読み、漸次書くようにすること」となっており、さらに、「漢字のへん、つくりなどの構成について知識をもつこと」（文字に関する事項）、「表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解すること」（語句に関する事項）となっている。

辞書の利用・活用については、これまで4年生からの指導要項になっていたのが、2学年括りの新学習指導要領では、3年からと早めている。これは、漢字に親しみ、国語辞典をそばにおいて言葉の学習をする上に適切なことであると考えます。

英語の学習の場合、私たちはいつも英和辞典を側において学習した。それに比べて母国語とはいえ国語辞典の利用、活用は家庭学習が主で、教室でいつも使うということはいままで少なかったように思う。これを機会に、低学年のうちからもそれに相応しい辞典を利用することが必要だと考える。

そこで、3・4年段階で、辞書を利用して調べる方法を身に付け、子どもたちが必要に応じ、いつでも自由に活用できるように、「国語辞典の引き方」及び「漢和辞典の引き方」の順にプログラムを構成した。ここでは、国語辞典の引き方を学習した上で、漢和辞典についての学習を計画した。

〔指導計画〕

(1) 部首さく引で調べるやり方を指導する。

読み方は分かっているが、部首がはっきりしないときは、音訓さく引を利用して調べさせる。

(2) 総画さく引で調べるやり方を指導する。

読み方は分からないが、部首が分かっているときに部首さく引を利用して調べさせる。

(3) 音訓さく引で調べるやり方を指導する。

漢字の読み方も部首もわからないときは、総画さく引を利用して調べさせる。

(4) 子どもたち一人一人に漢和辞典の引き方の定着を図る。

〔指導の実際〕

指導のねらい

部首さく引を使って熟語を調べることができるとともに、漢和辞典を利用して調べる方法を理解することができる。

部首さく引で、漢字を調べる。

T. 「位」の漢字を辞書で調べましょう。「位」の部首は何で、何画ですか。

C. 「にんべん」で2画です。

* 部首さく引のところを開いて、2画の「イ(にんべん)」の出ているページを確認する。

* 部首以外のつくりの部分「立」の画数を数え、

4画であることを確かめ、4画のページを開く。同じ4画の漢字の中から「位」を見つける。

総画さく引で漢字を調べる。

T. 4年の新出漢字ですが、「必」はどう読みますか。

C. わかりません。

T. 部首は何ですか。

C. わかりません。

T. こういうときは、どうやって調べたらいいのかな。

*「必」の総画数を数え、5画であることを確かめる。

*総画さく引の5画のところから「必」をさがし、そのページを開く。

*子どもたちに体験を通して学ばせ、全員が分かるまで、あるいは、個別に指導する。

音訓さく引で漢字を調べる。

T. 「失」は、訓読みで何と読みますか。

C. 「うしな—う」と読みます。

T. それでは、音訓さく引で「うしな—う」は何ページに出ていますか。

*「失」の音読み、訓読みがのっているところを探し、そのページを開いて確かめる。

T. つぎの漢字の部首名を総画数を例にならって書いてみましょう。

- | | |
|---------------|-------|
| (例) 辺 (しんにょう) | [5画] |
| ①察 (うかんむり) | [14画] |
| ②固 (くにがまえ) | [8画] |
| ③祝 (しめすへん) | [9画] |
| ④浴 (さんずい) | [10画] |
| ⑤然 (れんが) | [12画] |

T. 「会社」がさか立ちすると「社会」になりますね。このように、さか立ちすると別のことばになる熟語を集めてみましょう。

材木—木材 上陸—陸上 女王—王女
本日—日本 花火—火花 火口—口火
名人—人名 金賞—賞金 置物—物置

T. 3人の子ども達が「敗」という漢字を調べようとしています。それぞれどの方法を使ったらいいでしょうか。

①たけし君…読み方は知っているが、部首がわからない。

(答 音訓さく引)

②ともこさん…部首も読み方もわからない。

(答 総画さく引)

③みのる君…部首の「つくり(のぶん)」はわかっているが、読み方がわからない。

(答 部首さく引)

部首さく引 音訓さく引 総画さく引



T. つぎの漢字の3つの調べ方を、例にならって()の中書きなさい。

- | 〈部首さく引〉 | 〈音訓さく引〉 |
|---------------|------------|
| (例) 紙 (糸 の 部) | (シ・かみ) |
| ①種 (禾 の 部) | (シュ・たね) |
| ②別 (リ の 部) | (ベツ・わか—れる) |
| ③初 (ネ の 部) | (ショ・はじ—め) |
| ④照 (... の 部) | (ショウ・て—る) |
| ⑤建 (廴 の 部) | (ケン・た—てる) |

●まとめ

漢和辞典がどれだけ引けるようになったか、一人一人確認するとともに、漢和辞典を活用する意欲が高まったかを評価する。

6. 同音・同訓の漢字、送り仮名の変化について 理解する

(高学年—5年)



低学年では、正しく漢字を書くために、筆順を覚え、画数を知り、「とめ、はね」に注目し、字形を整えることが最重点で、繰り返し書くことが学習活動の中心になりがちであった。

こうした現実から考えると、どうしても学習は受け身なものになって、その結果、漢字は生きた知識として、必ずしも子どもの一人一人の中に定着してこなかった。

これからの漢字学習は、一つ一つの漢字を読める読めない、あるいは書ける書けない、といった従来の学力観から脱却し、これからはまさに、「使える漢字」を習得させることが何よりも大切である。

仮名で示された読みがあって、そこに機械的に漢字を書き込むようなテストで満点をとることと、日常生活の中で、漢字を使えることとの間には大きな隔たりがある。今後は、どの新出漢字も同じように取り扱い学習させるのではなく、注目の度合いなどに軽重を付けるなどの工夫を凝らしていくと同時に、単調な繰り返しから子ども一人一人の個性的な学び方を生かした、主体的な学習のあり方を最大限に尊重していく必要がある。

具体的にいえば、本来漢字自身が持つ柔軟な可能性に着目させ、その利便性を十分知らせることであると考ええる。

◆多く見られた誤答では次のようなものがある。

- (A) 意味を考えず、ただ音をあてはめただけの誤り ・細心→最心・交代→交対
- (B) 同訓異字の誤り ・キノコを採る→キノコを取る ・重さを量る→重さを計る
- (C) 同音異字の誤り ・支持→指示 ・講演→公園
- (D) 音の類似による誤り ・覚める→定める ・春分→新聞

配当漢字指導の柔軟性をもう一度考え直す必要性もあるかも知れないが、子ども自ら漢字個々の性質に関心を持ち、それが文や文脈のなかでどのように変化し活用されていくのか、主体的・意欲的に捉えようとする学習を進め、それぞれ個性的なあり方で自らの中に漢字の系統を構成しようとする取り組みを支援していくことが大切であると考ええる。

〔指導計画〕

(1) 同音・同訓の漢字への着目

意味を考えて正しい漢字を使うことを意識させる。特に同音・同訓の漢字が多いものを例として取り上げ、今までの学習を想起させるとともに、他にもあることを知らせ、実際に挙げさせる。

(2) 送りがなの変化への着目

実際の文の中で、送りがながどのようにつけられるのか知り、またその一般的な規則についても考えさせる。さらに特別な場合についても注目し整理する。

〔指導の実際〕

指導のねらい

①同音・同訓の漢字への着目

T. 次の文の中で、漢字が正しく使われているのはどれでしょう。

- | | |
|---------|---------|
| ・きのこを取る | ・きのこを撮る |
| ・きのこを採る | ・きのこを捕る |
| ・きのこを執る | ・きのこを摂る |

C. きのこを「取る」でいい。

C. 習っていない漢字がある。

C. 「採る」だと思います。

C. 「カメラでとる」という意味だったら「撮る」でもいいと思います。

T. そうですね。同じ「とる」でも実際の文の中で、どのような意味で使われているのかをよく考えて、正しい漢字を使っていかなければなりませんね。その他に、同じ訓読みで意味の違う漢字を挙げてみましょう。

C. 「丸い」と「円い」

C. 「優しい」と「易しい」

C. 「良い」と「善い」

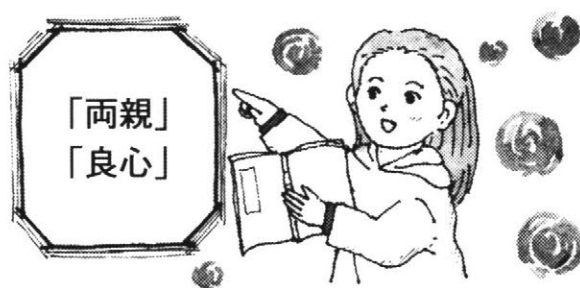
T. それでは同じように、同音で意味の違う漢字を挙げてみましょう。

C. 「両親」と「良心」

C. 「意志」と「医師」

C. 「期間」と「機関」と「器官」

T. そうですね。このように同音・同訓のことが数多くあるのも、日本語の特徴のひとつです。でも漢字はきちんとそれを分けてくれる便利な文字なんですね。



さて、このことを利用してクイズ作りをして、正しい使い方を覚えましょう。

●正しいのはどれでしょう。

1. 100メートル走のタイムを計る。
2. 100メートル走のタイムを測る。
3. 100メートル走のタイムを量る。

●正しいのはどれでしょう。

1. 昨日はすばらしい公園を聞いた。
2. 昨日はすばらしい講演を聞いた。
3. 昨日はすばらしい高遠を聞いた。

(作成したクイズの発表会や、グループごとのクイズ合戦を行う。)

指導のねらい

②送りがなの変化への着目

T. 送りがなに気を付けて「書く」という漢字を使って、次の文を書き換えなさい。

かけ、と言われれば、かきますが、かかないこともあるわけで、かくきもちになればかけるので、やっぱりかこうかな。

C.

書け、と言われれば、書きますが、書かないこともあるわけで、書くきもちになれば書けるので、やっぱり書こうかな。

T. 動詞や形容詞は、形が変わる部分から送りがなをつけるきまりだったね。同じように「短い」を使って、書き換えの問題を作ってみましょう。(略)

T. 送りがなの間違いやすい漢字を集めて、書き換えの問題を作ってみましょう。

うしろには、つめたいつらがたれさがっているから、とてもあぶない。

後ろには、冷たいつらが垂れ下がっているから、とても危ない。

7. 文脈の中で言葉の意味を考え、同訓異字を正しく使う

(高学年—6年)



新学習指導要領においては、第6学年では、その修了時まで、学年別漢字配当表に示されている1006字の漢字を読むとともに、第5学年までに配当されている825字の漢字を確実に書けるようにすることとなっている。

ところが、子どもたちの漢字とのかかわり方を見ると、例えば、同訓異字が多いことに気付かず、その違い(由来・意味等)を理解していないこと、また、使われている語句の文脈上の意味を理解していないことから、いわゆる「当て字」を使って書く傾向や、漢字よりもひらがなの方が速く書ける、漢字は面倒であるという意識から、漢字を使おうとしない傾向が見られる。

そこで、使用頻度の高い同訓異字の意味やその漢字の由来や使い方などに対する関心を高めることが大切であると考え、以下のような指導を試みた。

〔指導計画〕

- (1) ニュース原稿を聞き、意味や文脈を考えながら漢字仮名交じり文で書き表す。
- (2) 日常生活の中から同訓異字を集め、その漢字の意味や由来・成り立ち等を調べる。
- (3) 自ら漢字クイズやゲームを作ることで、同訓異字に対する理解を深める。

〔指導の実際〕

指導のねらい

文脈の中で、言葉の意味を考え、同訓異字などを正しく使うことができるようにする。

- (1) ニュース原稿を聞き、意味や文脈を考えながら漢字仮名交じり文で書き表す。
- T. これから、短いニュースを読んでもらいます。まず、それを聞き取ってみましょう。

例1 アルアツイナツノヒ、メヲサマスト、ヨガアケテイタノデ、マドヲアケマシタ。ハハカラ、「カッテイルイヌヲソトニツレテイッテイイ」トイウキョカガオリテイタノデ、ワタシノオトモヲサセマシタ。

T. 次に、その意味を考えながら、漢字と仮名交じり文で別紙に書いてみましょう。

例2 マルイイケノマワリヲアルイテイルト、トモニアイマシタ。ソノコハ、イケニウツテイルヤマヲナガメテイマシタ。シバラクアルキ、トモトワカレタワカレミチデハ、コトリガナキ、コリスガキニノボッテイマシタ。ジカンヲハカルトホンノ15フンノデキゴトデシタ。ハルノハジメノコトデシタ。

(教師が作成し、定期的、継続的に習熟を図る)

例2 円い池の周りを歩いていると、友に会いました。その子は、池に映っている山をながめていました。しばらく歩き、友と別れた分かれ道では、小鳥が鳴き、子リスが木に登っていました。時間を計ると、ほんの15分の出来事でした。春の初めのことでした。

T. 文中の言葉に他の漢字を使ってはいけない言葉があります。それはどれでしょうか。

C. マルイ、マワリ、ウツル、ハカルなどです。

T. このような言葉を同訓異字といいます。それを集めてみましょう。

(2) 同訓異字を集め、その漢字の意味や由来・成り立ちなどを調べる。

T. 例1、例2にある同訓異字を整理してみましょう。

あつ	い	{ 厚い 暑い 熱い	あ	け	る	{ 明ける 開ける 空ける
----	---	------------------	---	---	---	---------------------

さ	ま	す	{ 冷ます 覚ます	か	う	{ 買う 飼う
---	---	---	--------------	---	---	------------

う	つ	す	{ 移す 映す 写す	と	も	{ 友 供 共
---	---	---	------------------	---	---	---------------

お	り	る	{ 下りる 降りる	ま	る	い	{ 丸い 円い
---	---	---	--------------	---	---	---	------------

ま	わ	り	{ 回り 周り	あ	う	{ 合う 会う
---	---	---	------------	---	---	------------

わ	か	れ	る	{ 分かれる 別れる	は	か	る	{ 図る 計る 測る 量る
な	く	{ 泣く 鳴く						

T. では、これらの漢字の意味や由来を考えてみましょう。（「はかる」を例に）（国語辞典をひとり1冊用意する。）



T. 意味を知らないで使うと正しい使い方にならないことが多いね。そこに気を付けなが

ら、友だちにクイズを出したり、ゲームを作ってみたりしよう。

(3) 自ら漢字クイズやゲームを作ること、同訓異字に対する理解を深める。

C. 下の絵を見て、読み方が共通している同訓異字を書きましょう。



C. つぎの言葉を、漢字を使って書きましょう。

- ①きのねのねだんをきいてねをあげる。
- ②きしゃがついたら、どろもついた。
- ③しゃしんをうつすために、つくえをうつす。

C. 同訓異字カルタ大会（グループ内で）



* (2)で、日常生活の中で見つけられる言葉（未習の漢字を含め）、辞典の巻末などから一覧表を渡す。全員で集めたものをカードにしてまとめるなど工夫しておく。

〔まとめ〕

日常的に、例えばモジュール学習を設定し、短時間でも継続的な学習が、この種の基礎的学習には欠かせない。小学校レベルでの語句は極端に多くはないので、子どもたちの関心を常に喚起できる環境づくりが大切である。

また、同訓異字だけでなく、同音異字、類義語、多義語、対義語などまで、関連的・総合的に指導し、気象用語、政治用語、歴史関係の用語など、意味の上からも似た意味を持つ言葉を理解できるようにしていくことも配慮したい。

8. 熟語の成り立ちを理解し、漢字への興味・関心を深める

(高学年—6年)



6年生の漢字学習の目標は、新学習指導要領では小学校で学習する漢字すべて読むことであり、5年生までの漢字を書けることである。さらに、漢字を文や文章の中で十分に使えることである。そのためには、既習の漢字をいかに生活の中に取り込んでいくかであり、語彙を拡充するかである。

そこで、子どもたちが興味をもち、意欲的に漢字学習に取り組めるために、熟語の学習を取り上げることとした。熟語は、その成り立ちが生活と密接に結びついているため、子どもたちにとっても、親しみやすいものであり、生活の中に取り込みながらの学習が工夫されと考えられる。

〔指導計画〕

(1) 熟語の構成（三字熟語）

三字熟語の構成と意味を考えさせる。三字熟語の構成には、「三字が対等に並んでいる」「上の二字が下の一字を修飾している」「上の一字が下の二字を修飾している」「二字熟語を二つ重ねるところを共通の字を省略する」「下の一字が上の熟語に意味をそえる」の六つがある。そこで、それぞれの熟語をこの六つの項目に分類させる。

(2) 熟語の構成（四字熟語）

三字熟語で学習したことを参考にして、四字熟語を分類する。さらに、四字熟語を調べ、語彙を広げる。

(3) 熟語の音と訓

音読みの熟語・訓読みの熟語・音読みが結びついている熟語があることを理解し、分類する。また、熟字訓についても理解し、短文を作る。

〔指導の実際〕

指導のねらい

三字熟語の構成を理解し分類することで、漢字に対する関心を高めることができる。

三字熟語を探し、読み方を確認する。

T. テレビや新聞記事、また、お家の人から聞いた三字熟語を発表しましょう。

C. 運動会・上中下・食器棚・文化財・科学的・新聞社・不器用・輸出入・名選手など

*探してきた三字熟語を板書し、読みとその意味を確認させる。漢和辞典や国語辞典を活用する。

三字熟語の構成を考える。

T. 「宇宙人」と「上中下」の意味を考えよう。

T. 「宇宙人」は、「地球以外の星の人」で、「上中下」は、「うえ、なか、した」のことです。

T. 「宇宙人」と「上中下」を意味の切れ目で、分けてみましょう。

宇宙	人	
上	中	下

C. 「宇宙人」と「上中下」では、切れる場所が違うんだね。どうしてだろう。

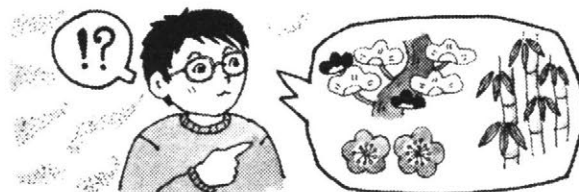
T. 「宇宙人」や「上中下」だけでなく、他の三字熟語も、意味を考えて、分けてみましょう。



三字熟語の構成を6つ提示し、分類する。

- ①三字が対等に並んでいる。
(上中下・松竹梅)
- ②上の二字が下の一字を修飾する。
(批評家・座席表)
- ③上の字が下の二字を修飾する。
(終電車・名選手)
- ④上の一字が下の熟語を打ち消す。
(不平等・非常識)
- ⑤二字熟語を二つ重ねるところを、共通の字を省略する。(動植物・輸出入)
- ⑥下の一字が上の熟語に意味をそえる。
(科学者・映画化)

三字熟語を集め、①～⑥に分類する。



T. バラバラの漢字を集めて、三字熟語を作りましょう。

落 半 雪 的 庫 革 樹
新 身 葉 車 蔵 上 冷



答え 落葉樹 冷蔵庫 上半身

T. 作った三字熟語を6つに分類しましょう。

(分類しながら、書くことの練習をする。)

- *一つ一つの漢字を分けずに、三字熟語としての書きの練習ができるようにする。
- *意味や使われ方などを考えながら、書きの練習をする。

三字熟語を入れて、短文作りをする。

- *単なる短文作りにならないように配慮する。
例えば、次のように案内状の作成などが考えられる。

学芸会の案内

日時…11月12日(金) 9時から

場所…体育館

私たちが、創り上げた学芸会です。みんな精一杯がんばりました。名演技とすてきな雰囲気劇になると思います。ぜひいらしてください。

皆様の座席表も同封します。

- *三字熟語をどれだけ使えたか確認させる。

付録 漢字習得調査問題

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 一 いち （ ） びき
- ② 右 みぎ （ ） どなり
- ③ 下 した （ ） りる
- ④ げん げん （ ） 気 き
- ⑤ 金 かね （ ） よう日 ひ
- ⑥ 三 さん （ ） 日 か 月 げき
- ⑦ 火 ひ （ ） じ
- ⑧ 子 こ （ ） ども
- ⑨ 七 しち （ ） つ
- ⑩ 車 くるま （ ） にのる
- ⑪ 森 もり （ ） の中 なか
- ⑫ 水 みづ （ ） をのむ
- ⑬ タ た （ ） ごはん
- ⑭ 早 はや （ ） い
- ⑮ 出 で （ ） 口 ぐち
- ⑯ 田 でん （ ） んぼ
- ⑰ ニ に （ ） つ
- ⑱ 中 なか （ ） に入 い （ ） る
- ⑲ さく さく （ ） 文 ぶん （ ）
- ⑳ 目 め （ ） ざましどけい

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① こねこが □ いっ びき
- ② □ みぎ どなりの人 ひと
- ③ かいだんを □ お りる
- ④ げん □ き いっぱい
- ⑤ □ きん よう日 ひ
- ⑥ □ み 日 か 月 げき
- ⑦ □ か じになる
- ⑧ □ こ どもが あそぶ
- ⑨ □ なな つの子 こ
- ⑩ □ くるま にのる
- ⑪ □ もり の中 なか あるく
- ⑫ □ みず をのむ
- ⑬ □ ゆう ごはんのしたく
- ⑭ あさ □ はや くおきる
- ⑮ □ で 口 ぐち をさがす
- ⑯ ひろい □ た んぼ
- ⑰ □ ふた つの やくそく
- ⑱ きょうしつに □ はい る
- ⑲ さく □ ぶん をかく
- ⑳ □ め ざましどけい

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ⑩ 手| ()
がみ
- ⑨ 七| ()
日| ()
- ⑧ ほそい ()
系| ()
- ⑦ 三| ()
つ
- ⑥ 見| ()
える
- ⑤ 五| ()
月| ()
- ④ 九| ()
じ
- ③ 子| ()
犬| ()
- ② 雨| ()
- ① 一| ()
つ

- ⑩ 立| ()
つ
- ⑨ 木| ()
のぼり
- ⑧ ハ| ()
だい
- ⑦ 入| ()
学| ()
しき
- ⑥ くろい ()
土| ()
- ⑤ 竹| ()
とんぼ
- ④ 草| ()
はら
- ③ まるい ()
石| ()
- ② 正| ()
しい
- ① 上| ()
をむく

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ⑩ □ て
がみを
かく
- ⑨ □ な
日| ()
になる
- ⑧ ほそい ()
□ いと
- ⑦ □ み
つ目| ()
のおはなし
- ⑥ うみが ()
□ み
える
- ⑤ 五| ()
□ が
の空| ()
- ④ □ ()
□ く
じに
ねる
- ③ 子| ()
□ いぬ
が
ほえる
- ② □ あめ
が
ふる
- ① □ ひと
つ

- ⑩ しっかり
□ た
つ
- ⑨ □ き
のぼりが
とくい
- ⑧ □ はち
だいの
車| ()
- ⑦ □ にゅう
学| ()
しき
- ⑥ くろい ()
□ つち
- ⑤ □ たけ
とんぼを
とばす
- ④ □ くさ
はらに
ねころぶ
- ③ まるい ()
□ いし
を
ひろう
- ② □ ただ
しい
しせい
- ① □ うえ
を
むく

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 一 ばん
② 十 円
③ 火 がもえる
④ 九 こ
⑤ 青 い 空
⑥ 大 き な 口
⑦ 四 か く
⑧ 字 を か く
⑨ 三 さ つ
⑩ 男 の 子
- ⑪ 上 が る
⑫ 二 年 生
⑬ 赤 い
⑭ 日 よう び
⑮ 水 の 中
⑯ ねん 土
⑰ 出 す
⑱ ハ つ
⑲ 木 か げ
⑳ カ い っ ぱ い

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① ば ん は や い
② 十 を は ら う
③ が も え る
④ こ の い ち ご
⑤ あ お い
⑥ 大 き な を あ け る
⑦ か く い は こ
⑧ を 正 し く か く
⑨ さ つ の 本
⑩ 元 気 な の 子
- ⑪ か い だ ん を
⑫ 二 生 に な る
⑬ い り ん ご
⑭ よう び
⑮ 水 の な か
⑯ ねん ど で あ そ ぶ
⑰ 手 を だ す
⑱ つ の り ん ご
⑲ す ず し い か げ
⑳ い っ ぱ い は し る

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 王 （ ） さま
 ② な （ ） の 花 （ ）
 ③ 九 （ ） つ
 ④ お （ ） 金 （ ）
 ⑤ 五 （ ） 本 ほん
 ⑥ 校 （ ） て い
 ⑦ 四 （ ） つ
 ⑧ ぞう （ ） の 耳 （ ）
 ⑨ 十 （ ） 日 か
 ⑩ 大 （ ） き い

- ⑪ 小 （ ） どり
 ⑫ 小 しょうがく 学 （ ） 生 （ ）
 ⑬ 千 （ ） 円 えん さ つ
 ⑭ 村 （ ） ま つ り
 ⑮ か （ ） ぶ と 虫 （ ）
 ⑯ かけ （ ） 足 （ ）
 ⑰ お （ ） 正 がっ 月 （ ）
 ⑱ 木 （ ） よう （ ） 日 び
 ⑲ 林 （ ） の 中 なか
 ⑳ 六 （ ） さい

二ねん	なまえ
くみ	

1YD

◆つぎの□——にかんじをかきなさい。

- ① は （ ） だ （ ） か の （ ） さま （ ）
 ② な （ ） の （ ） が （ ） さ く
 ③ お （ ） は （ ） じ （ ） き が （ ） つ
 ④ お （ ） （ ） を （ ） つ か う
 ⑤ え （ ） ん （ ） び （ ） つ が （ ） 本 ほん
 ⑥ （ ） て （ ） い で （ ） あ （ ） そ （ ） ぶ
 ⑦ （ ） つ の （ ） た （ ） か （ ） ら （ ） も の
 ⑧ ぞう （ ） の （ ） は （ ） お （ ） お （ ） き い
 ⑨ （ ） 日 か た つ
 ⑩ （ ） き な ふ ね

- ⑪ （ ） と （ ） り が （ ） と （ ） ん だ
 ⑫ 小 しょうがく 学 （ ） に （ ） な る
 ⑬ 円 えん さ つ
 ⑭ ま （ ） つ り の お （ ） み こ し
 ⑮ か （ ） ぶ と （ ） を （ ） と る
 ⑯ かけ （ ） で （ ） い く
 ⑰ お （ ） 月 がっ の お （ ） と し だま 玉
 ⑱ （ ） よう （ ） 日 び
 ⑲ （ ） の 中 なか
 ⑳ （ ） さい の い （ ） も う と

二ねん	なまえ
くみ	

1KD

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 足^{あし}音^{おと} ()
 ② 貝^{かい} ()
 ③ なつ 休^{やす}み ()
 ④ お 月^{つき} 見^み ()
 ⑤ 五^{いつ} っ ()
 ⑥ 左^{ひだり} が わ ()
 ⑦ 四^よ 人^{ひと} ()
 ⑧ 七^{しち} 五^ご三^{さん}のちとせあめ ()
 ⑨ 十^{じゅう} かい ()
 ⑩ 水^{すい} ()
 よう 日^び ()
 ⑪ おと^{おと}なの 人^{ひと} ()
 ⑫ 生^{せい} まれる ()
 ⑬ 小^{ちひ}さい 川^{かわ} ()
 ⑭ 大^{だい} こん ()
 ⑮ 町^{まち} や 村^{むら} ()
 ⑯ 日^ひ の 出^で ()
 ⑰ 白^{しろ} い ()
 ⑱ 本^{ほん} を よむ ()
 ⑲ 六^む 日^か ()

◆つぎの□——にかんじをかきなさい。

- ① 足^{あし} () おと
 が きこえる
 ② うみで () かい
 を ひろう
 ③ なつ () やす
 みに なる
 ④ お () つき
 見^みのおだんご
 ⑤ () いつ
 つに なる
 ⑥ () ひだり
 に まわる
 ⑦ () よ
 人^{ひと}の男^{おとこ}の子^こ
 ⑧ () しち
 五^ご三^{さん}のちとせあめ
 ⑨ () じゅう
 かい は した
 ⑩ () すい
 よう 日^び
 ⑪ おと^{おと}なの () ひと
 ⑫ 子^こ犬^{いぬ}が () う
 まれる
 ⑬ () かわ
 で およぐ
 ⑭ () だい
 こんを あらう
 ⑮ () まち
 や 村^{むら}
 ⑯ () ひ
 の 出^でを 見^みる
 ⑰ () しろ
 い くも
 ⑱ () ほん
 を よむ
 ⑲ () むい
 日^かかんの りよう

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 下 した を み 見る ()
- ② 小 しょう 学 がく 校 ()
- ③ し し や や ぼ ぼ ん ん 玉 たま ()
- ④ 月 げつ よ よう う う 日 にち ()
- ⑤ 十 じゅう 人 にん ()
- ⑥ た た か か い い 山 さん ()
- ⑦ 四 し ひ ひ き き ()
- ⑧ じ じ だ だ う う 車 くるま ()
- ⑨ 小 せう さ さ い い ()
- ⑩ 女 おんな の の 人 ひと ()
- ⑪ 青 あお い ()
- ⑫ 先 せん 生 せい ()
- ⑬ 入 いり り り 口 くち ()
- ⑭ 天 てん 気 き ()
- ⑮ ニ に じ じ かん かん 目 め ()
- ⑯ 三 さん 日 にち ()
- ⑰ 百 ひゃく て て ん ん ()
- ⑱ 名 な ま ま え え ()
- ⑲ 六 むっ つ ()

2ねん	なまえ
くみ	
	1YF

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① □ した を み 見る ()
- ② 小 しょう □ がく 校 がく へ へ い い く ()
- ③ し し や や ぼ ぼ ん ん □ たま ()
- ④ □ げつ よ よう う う び ()
- ⑤ □ じゅう の の と と も も だ だ ち ()
- ⑥ た た か か い い □ やま に に の の ぼ ぼ る ()
- ⑦ □ よん ひ ひ き き の の ね ね こ ()
- ⑧ じ じ だ だ う う □ しゃ に に の の る ()
- ⑨ □ ちい さ さい い い あ あ り ()
- ⑩ □ おんな の の 人 ひと ()
- ⑪ □ あお い い う う み ()
- ⑫ □ せん 生 せい が が は は な な す ()
- ⑬ □ い り り 口 くち と と 出 で 口 くち ()
- ⑭ □ てん 気 き よ よ ぼ ぼ う ()
- ⑮ □ に じ じ かん かん 目 め の の べ べ ん ん き き よ よ う ()
- ⑯ □ さん 目 め の の よ よ る ()
- ⑰ □ ひゃく て て ん ん ま ま ん ん て て ん ()
- ⑱ □ な ま ま え え を を か か く ()
- ⑲ み み か か ん ん が ()
- むっ つ ()

2ねん	なまえ
くみ	
	1KF

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 雪 ゆき が ふ る ()
 ② 鳥 とり が な く ()
 ③ 白 しろ い くも 雲 ()
 ④ 公 こう 園 えん ()
 ⑤ き ゆう う 食 しょく ()
 ⑥ 教 おし える ()
 ⑦ い ち ば ん さい 後 ご ()
 ⑧ 黄 おう 色 いろ ()
 ⑨ は こ の 形 かたち ()
 ⑩ 走 はし り 回 まわ る ()
 ⑪ 大 おお き な 牛 うし ()
 ⑫ 図 ず エ こう ()
 ⑬ 弱 よわ い ()
 ⑭ 数 かず 字 じ ()
 ⑮ わ た し の 妹 いもうと ()
 ⑯ 毛 け 糸 いと ()
 ⑰ 一 いち 万 まん 円 えん ()
 ⑱ し ず かな 夜 よる ()
 ⑲ 夏 なつ 休 やす み ()
 ⑳ 線 せん を 引 ひ く ()

三 ね ん	な ま え
く み	
2YA	

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① □ ゆき が ふ る
 ② □ とり の こゑ 声
 ③ 白 しろ い □ くも
 ④ 公 こう □ えん で あそ ぶ
 ⑤ 楽 たの し い き ゆう □ しょく
 ⑥ 道 みち を □ おし える
 ⑦ い ち ば ん さい □ ご
 ⑧ □ き 色 いろ の ぼ う し
 ⑨ は こ の □ かたち
 ⑩ 走 はし り □ まわ る
 ⑪ 大 おお き な □ うし
 ⑫ □ ず エ こう の 時 じ 間 かん
 ⑬ さ む さ に □ よわ
 ⑭ □ すう 字 じ を 書 か く
 ⑮ わ た し の □ いもうと
 ⑯ □ け 糸 いと で あ む
 ⑰ 一 いち □ まん 円 えん
 ⑱ し ず かな □ よる
 ⑲ □ なつ 休 やす み
 ⑳ 線 せん を □ ひ く

三 ね ん	な ま え
く み	
2KA	

◇つぎの―せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

三 ねん	な ま え
く み	

2YB

- ⑪ 計 算 ()
- ⑩ 広 い 海 ()
- ⑨ 千 ま での 数 ()
- ⑧ 学 校 に 近 い ()
- ⑦ 本 を 読 む ()
- ⑥ む か し の 刀 ()
- ⑤ 太 よ う ()
- ④ べ ん 強 ()
- ③ 父 親 ()
- ② 戸 を あ け る ()
- ① 九 才 ()
- ⑫ お 米 や さん ()
- ⑬ 水 中 め が ね ()
- ⑭ 草 が 生 え る ()
- ⑮ 首 か ざ り ()
- ⑯ 遠 足 の 用 い ()
- ⑰ や さ し い 心 ()
- ⑱ は く 手 を す る ()
- ⑲ 家 に 帰 る ()
- ⑳ 交 通 あ ん ぜん ()
- ㉑ へ い き ん 台 ()

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

三 ねん	な ま え
く み	

2KB

- ⑪ 算 する
- ⑩ 広 い う み
- ⑨ 千 ま での か ず
- ⑧ 学 校 に ち か い
- ⑦ 本 を よ む
- ⑥ む か し の か た な
- ⑤ た い よ う が 出 る
- ④ べ ん き よ う す る
- ③ ち ち 親
- ② と を あ け る
- ① 九 さ い の 男 の 子
- ⑫ お こめ や さん
- ⑬ 水 ち ゅ う め が ね
- ⑭ 草 が は え る
- ⑮ く び か ざ り
- ⑯ 遠 足 の よ う い
- ⑰ や さ し い こ ろ を す る
- ⑱ は く し ゅ
- ⑲ 家 に か え る
- ⑳ 交 通 つ う あ ん ぜん
- ㉑ へ い き ん だ い

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① みどりの草^{そう}原^{げん} ()
 ② 鳥^{とり}が鳴^なく ()
 ③ 行^いれつ ()
 ④ 新^{あたら}しくつ ()
 ⑤ 少^{せう}年^{ねん} ()
 ⑥ むぎ茶^{ちや} ()
 ⑦ 考^{かん}え^がる ()
 ⑧ いすといすの間^{あいだ} ()
 ⑨ 空^{そら}が晴^はれる ()
 ⑩ 弟^{おとうと}のおもちや ()
 ⑪ お寺^{てら} ()
- ⑫ 外^{がい}国^{こく} ()
 ⑬ 馬^{うま}が走^{はし}る ()
 ⑭ 空^{くう}気^き ()
 ⑮ 魚^{さかな}やさん ()
 ⑯ 細^{ほそ}い糸^{いと} ()
 ⑰ 東^{とう}京^{きやう}タワ- ()
 ⑱ 矢^やじ^きるし ()
 ⑲ 外^{そと}で遊^{あそ}ぶ ()
 ⑳ パンを食^たべる ()

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① みどりの草^{そう} ()
 ② 鳥^{とり}が ()
 ③ ありの ()
 ④ ()
 ⑤ ()
 ⑥ むぎ ()
 ⑦ 問^{もん}だ^だい^いを ()
 ⑧ いすといすの ()
 ⑨ 空^{そら}が ()
 ⑩ ()
 ⑪ お ()
- ⑫ ()
 ⑬ ()
 ⑭ 空^{くう} ()
 ⑮ ()
 ⑯ ()
 ⑰ 東^{とう} ()
 ⑱ ()
 ⑲ ()
 ⑳ パンを ()

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 明^ある^ろい^ろ色^{いろ} ()
- ② わたしの姉^{あね} ()
- ③ スポーツの秋^{あき} ()
- ④ ノートに書^かく ()
- ⑤ 半^{はん}分^{ぶん} ()
- ⑥ 土^ど曜^{よう}日^び ()
- ⑦ 石^{いし}に当^あた^る ()
- ⑧ 南^{みなみ}の国^{くに} ()
- ⑨ せきが空^あく ()
- ⑩ 校^{こう}長^{せんせい}先生^{せんせい} ()
- ⑪ 左^さ右^{みぎ} ()
を^を見^みる
- ⑫ 本^{ほん}を^を買^かう ()
- ⑬ 西^{にし}の風^{かぜ} ()
- ⑭ 会^{かい}社^{しゃ}に^につと^とめ^める ()
- ⑮ 合^あか^かく^くす^する ()
- ⑯ 遠^{えん}足^{そく} ()
- ⑰ さむい冬^{ふゆ} ()
- ⑱ 自^じて^てん^ん車^{しゃ} ()
- ⑲ 強^{ちから}い^い力^{りき} ()
- ⑳ 色^{いろ}え^えん^んび^びつ ()
- ㉑ 車^{くるま}を^を止^とめ^める ()

三 ね ん
く み
な ま え
2YD

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① ^あか^かる^ろい^ろ人^{ひと}
- ② わたしの ^あね
- ③ スポーツの ^あき
- ④ ノートに ^かく
- ⑤ 半^{はん} ^ぶん^んに^にす^する
- ⑥ 土^ど ^よう^う日^び
- ⑦ 石^{いし}に ^あた^る
- ⑧ 南^{みなみ}の ^くに
- ⑨ せきが ^あく
- ⑩ 校^{こう} ^ちよう^う先生^{せんせい}
- ⑪ ^さみ^み右^{みぎ} ^を見^みる
- ⑫ 本^{ほん}を ^かう
- ⑬ ^にし^しの風^{かぜ}
- ⑭ 会^{かい} ^しや^やに^につと^とめ^める
- ⑮ し^しけ^けん^んに ^かく^くす^する
- ⑯ 楽^{たの}しい遠^{えん} ^そく^く
- ⑰ さむい ^ふゆ
- ⑱ て^てん^ん車^{しゃ} ^じ
- ⑲ ^つよ^よい^い力^{ちから}
- ㉑ 車^{くるま}を ^とめ^める
- ㉒ ^いろ^ろえ^えん^んび^びつ

三 ね ん
く み
な ま え
2KD

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① せまい 道 ()
 ② 空 () 気
 ③ 広い () 土地
 ④ 人が () 来 () る
 ⑤ けい 馬 ()
 ⑥ 理 () 科
 ⑦ 線 () が 交 () わる
 ⑧ 高い () 山
 ⑨ もんだいが () 分 () かる
 ⑩ 心 () ぞう
- ⑪ 先 () 頭 () を 歩 () く
 ⑫ 大きな () 池
 ⑬ 谷 () 川 () の 音
 ⑭ 三 () 年 () 生
 ⑮ 大 () 切 () な もの
 ⑯ 南 () の 国
 ⑰ 午 () 前 () 中
 ⑱ 何 () 回 ()
 ⑲ ひろ 場 ()

◆つぎの□—にかんじをかきなさい。

- ① せまい () みち
 ② () 空 () 気をすう
 ③ 広い () 地
 ④ 人が () 来 () る
 ⑤ けい () 馬
 ⑥ () 理 () 科
 ⑦ 線 () が 交 () わる
 ⑧ () 高い () 山
 ⑨ もんだいが () 分 () かる
 ⑩ () 心 () ぞう
- ⑪ 先 () 頭 () を 歩 () く
 ⑫ 大きな () 池
 ⑬ () 谷 () 川 () の 音
 ⑭ 三 () 年 () 生
 ⑮ 大 () 切 () な もの
 ⑯ () 南 () の 国
 ⑰ () 午 () 前 () 中
 ⑱ () 何 () 回 ()
 ⑲ ひろ 場 ()

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① つよい 風 ()
② 学校に 通 () う
③ はが 空 () っぽ
④ 毎 () 日 ()
⑤ 後 () につづく
⑥ 朝 () ごはん
⑦ こん () 夜 ()
⑧ 野 () 原 ()
⑨ 人 () 形 ()
⑩ 学校へ 行 () く
⑪ 木 () を 切 () る
- ⑫ 太 () い 木 ()
⑬ 兄 () 弟 ()
⑭ 大 () き な 岩 ()
⑮ 友 () だ ち に 会 () う
⑯ 道 () を 教 () わる
⑰ 頭 () が いた い
⑱ もう () 少 () し
⑲ 人 () が 多 () い
⑳ 東 () 京 () タ () ワー

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① つよい () かぜ
② 学校に () かよ う
③ はが () から っぽ
④ () まい 日 () に につづける
⑤ () あと につづく
⑥ () あさ ごはん
⑦ () や の 月 ()
⑧ () の 原 ()
⑨ () りん ぎよう
⑩ 学校へ () い
⑪ 木 () を () き る
- ⑫ () ふと い 木 ()
⑬ な () か の よい () きよう 弟 ()
⑭ 大 () おお き な () いわ
⑮ 友 () だ ち に () あ う
⑯ 道 () みち を () おそ わる
⑰ () あたま が いた い
⑱ () すこ もう () し
⑲ 人 () ひと が () おお い
⑳ () どう 京 () きよう タ () ワー

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

三 ね ん	な ま え
く み	

2YH

- ⑪ 元げん気きな子こ ()
- ⑩ 昼ひる間ま ()
- ⑨ うれしい時とき ()
- ⑧ 先さきに出でる ()
- ⑦ 家いえにつく ()
- ⑥ やさしい母はは ()
- ⑤ 虫むしが生いきている ()
- ④ 大おおきな声こえ ()
- ③ 古ふるい紙かみ ()
- ② 何なにをしようかな ()
- ① 細ほそい弓ゆみ ()
- ⑫ 図ず工こうがすき ()
- ⑬ わたしの兄あに ()
- ⑭ 作さく文ぶんをかく ()
- ⑮ 公こう園えんであそぶ ()
- ⑯ 肉にくを食たべる ()
- ⑰ 楽たのしい会かい話わ ()
- ⑱ 音おん楽がくをきく ()
- ⑲ 正ただしいと思おもう ()

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ⑪ げん気きな子こ
- ⑩ ひる間ま
- ⑨ とき
- ⑧ さきに出でる
- ⑦ いえにつく
- ⑥ はは
- ⑤ むしが いきている
- ④ おおきな こえ
- ③ ふるい かみ
- ② なにをしようかな
- ① ほそい ゆみ
- ⑫ ず工こうがすき
- ⑬ あに
- ⑭ さく文ぶんをかく
- ⑮ こう園えんであそぶ
- ⑯ にくを食たべる
- ⑰ たのしい会かい話わ
- ⑱ おん楽がくをきく
- ⑲ おも
- ⑲ 正ただしいと思おもう

三 ね ん	な ま え
く み	

2KH

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

① 当^{とう}番^{ばん} ()

② 東^{とう}の空^{そら} ()

③ 百^{ひゃく}点^{てん}をとる ()

④ 午^ご後^ご ()

⑤ おもしろい話^わ ()

⑥ 五^ご回^{かい}くりかえす ()

⑦ 春^{はる}が来^くる ()

⑧ 鳥^{とり}の羽^{はね} ()

⑨ 音^{おん}楽^{がく} ()

⑩ クッキーを作^{つく}る ()

⑪ パンを売^うる ()

⑫ 明^{あか}るい星^{ほし} ()

⑬ 顔^{かお}をあらう ()

⑭ 三^{さん}時^じのおやつ ()

⑮ 交^{こう}通^{つう}あんぜん ()

⑯ 汽^き車^{しゃ}にのる ()

⑰ 日^ひの光^{ひかり} ()

⑱ 紙^{かみ}をおる ()

⑲ 校^{こう}ていを走^{はし}る ()

⑳ おもちやの店^{みせ} ()

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

① 当^{とう}番^{ばん} □

② □の空^{そら}

③ 百^{ひゃく}点^{てん} □をとる

④ □後^ごに出^でかける

⑤ おもしろい話^わ □

⑥ 五^ご回^{かい}くりかえす □

⑦ □が来^くる

⑧ 鳥^{とり}の羽^{はね} □

⑨ 音^{おん}楽^{がく} □をきく

⑩ クッキーを作^{つく}る □

⑪ パンを売^うる □

⑫ 明^{あか}るい星^{ほし} □

⑬ □をあらう

⑭ 三^{さん}時^じ □のおやつ

⑮ □通^{つう}あんぜん

⑯ □車^{しゃ}にのる

⑰ 日^ひの光^{ひかり} □

⑱ □をおる

⑲ 校^{こう}ていを走^{はし}る □

⑳ □おもちやの店^{みせ}

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

三ねん くみ	なまえ	
-----------	-----	--

2Y1

① ふえの音色

② 地 | ()
きゅう

③ 広 | ()
い 空 そら

④ えい画 | ()
を見る_み

⑤ 力ちからをあ合わせる

⑥
計
画

⑦ 麦茶 ちや

⑧ 計 算 ()

⑨ 朝あさ市いちにい行く

⑩ 楽しい歌 うた

⑪ 親 | ()
せつな人 ひと

⑫ 長いひも

⑬
一いち
組

⑭
黒
い
土つち

⑮ 左 | 右を見る
ゆうみ

⑬ この内()がわ

⑬ 学校の門

⑬
一週間

⑬
昼
休み

②② 体 | ()
いくの時間 じかん

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

① ふえの
 ね
色いろ

②



球きゅうは丸まるい

③

ひろ

い
空 そら

④ えい

 か

を見る_み

⑤

ちから

を^あ合わせる

⑥ 計 けい



をたてる かく

⑦



むぎ

茶ちやをのむ

⑧ 計 けい

を さんする

⑨ 朝 あさ
 いち
 に行く い

⑩

たの
しい
歌うた

⑪
しん
せつな人
ひと

⑫

な
か

い
ひ
も

⑬
さんねんいち
三年一
くみ

⑭

くろ

い
土ち

⑮

さ

右^{ゆう}を^み見る

⑬
は
こ
の

が
わ

⑪ 学校の

⑮
一 い
し
ゆ
う
間 かん

⑪

ひる

休み

20

たい

いくの時間

三 ねん くみ	な ま え	2KI
---------------	-------------	-----

◇つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ⑪ 国語 ()
⑩ 話を聞く ()
⑨ 北風 ()
⑧ 後ろ ()
⑦ 親友と遊ぶ ()
⑥ 生活科 ()
⑤ 今すぐに行く ()
④ 日記をかく ()
③ 時間 ()
② 人が通る ()
① 読み直す ()
⑫ うんどう会 ()
⑬ 教室 ()
⑭ 遠い山 ()
⑮ 画用紙 ()
⑯ 丸いボール ()
⑰ 四角 ()
⑱ 電車 ()
⑲ 楽しい歌 ()
⑳ やさしい母親 ()

◆つぎの□にかんじをかきなさい。

- ⑪ 国の本 ()
⑩ 話を ()
⑨ 風がふく ()
⑧ ろをむく ()
⑦ 親友と遊ぶ ()
⑥ 生かつのべんきよう ()
⑤ すぐに ()
④ 日 ()
③ 時 ()
② 人が ()
① 読み ()
⑫ うんどう ()
⑬ 教 ()
⑭ 遠い山 ()
⑮ 画用 ()
⑯ 丸いボール ()
⑰ 四角 ()
⑱ 楽しい歌 ()
⑲ やさしい母親 ()

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 予 定 ()
② 表 示 ()
③ 都 市 ()
④ 神 様 ()
⑤ 役 わり ()
⑥ 旅 を する ()
⑦ 農 家 ()
⑧ 追 い かける ()
⑨ 緑 色 ()
⑩ 明 かり ()
⑪ 行 列 ()
- ⑫ 大 き な 柱 ()
⑬ 小 学 校 ()
⑭ 全 部 ()
⑮ 感 想 ()
⑯ 病 院 ()
⑰ 歯 を み が く ()
⑱ 夜 道 ()
⑲ 乗 る ()
⑳ 全 力 ()
㉑ 暑 い ()
㉒ パン 屋 さ ん ()
- ㉓ ピアノを 習 う ()
㉔ 海 岸 ()
㉕ 研 究 ()
㉖ 植 物 の 根 ()
㉗ 申 し 上 げ る ()
㉘ 写 真 ()
㉙ 放 送 局 ()
㉚ 次 の 時 間 ()
㉛ 意 見 ()
㉜ 意 見 ()

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

- ① 定 日 ()
② う れ し さ を ()
③ 大 都 ()
④ 神 () に い る ()
⑤ 自 分 の () わ り ()
⑥ () を する ()
⑦ 米 作 り () 家 ()
⑧ ね こ を () い かける ()
⑨ () 色 の 木 の 葉 ()
⑩ () か り を つ ける ()
⑪ ア リ の 行 ()
- ⑫ 大 き な ()
⑬ () 学 校 ()
⑭ 全 () で き る ()
⑮ 読 書 感 () 文 ()
⑯ 病 () へ 行 く ()
⑰ () を み が く ()
⑱ 暗 い () 道 ()
⑲ 車 に () の ()
⑳ 全 () で 走 る ()
㉑ () い 夏 ()
㉒ パン () さ ん ()
- ㉓ ピアノを () う ()
㉔ 岸 で 遊 ぶ ()
㉕ 自 由 () 究 ()
㉖ 植 物 の ()
㉗ () し 上 げ る ()
㉘ () 真 を う つ す ()
㉙ 放 送 ()
㉚ () の 時 間 ()
㉛ () 見 を 言 う ()
㉜ () 見 を 言 う ()

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 鉄道 ()
② 投げる ()
③ 小川 ()
④ 味をつける ()
⑤ 家族 ()
⑥ 速い ()
⑦ 人間 ()
⑧ 理由 ()
⑨ 送り ()
⑩ 上流 ()
⑪ 一歩 ()
⑫ 配 ()
⑬ 氷 ()
⑭ 昔話 ()
⑮ 洋服 ()
⑯ 急ぐ ()
⑰ 大根 ()
⑱ 運動場 ()
⑲ 若者 ()
⑳ 銀メダル ()
㉑ 川を下る ()
㉒ 詩を読む ()
㉓ 研究 ()
㉔ 習字 ()
㉕ 東北地方 ()
㉖ 植える ()
㉗ 細かい ()
㉘ 通行 ()
㉙ 助ける ()
㉚ 漢字 ()
㉛ 温める ()

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

- ① 道 ()
② ボールを ()
③ 春の川 ()
④ () をつける ()
⑤ 五人家 ()
⑥ 走るのが ()
⑦ 動物と人 ()
⑧ 休んだ理 ()
⑨ () りがな ()
⑩ 川の上 ()
⑪ 一 () ずつ進む ()
⑫ 手紙の ()
⑬ () がとける ()
⑭ () 話を聞く ()
⑮ 洋服 () を着る ()
⑯ 帰りを ()
⑰ 大 () を食べる ()
⑱ 元気な若 ()
⑲ 運動 () で遊ぶ ()
⑳ 銀メダル ()
㉑ 川を ()
㉒ () を読む ()
㉓ 自由研 ()
㉔ () 字のじかん ()
㉕ 東 () 地方 ()
㉖ 種 () を () える ()
㉗ () かいすな ()
㉘ () 行人が多い ()
㉙ 犬 () を () ける ()
㉚ () 字テスト ()
㉛ ミルクを () めス ()

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 放 送 (ほう 送) ()
- ② 相 手 (あ い 手) ()
- ③ 人 口 (じん 口) ()
- ④ 転 ぶ (て ん ぶ) ()
- ⑤ 着 く (き ぐ) ()
- ⑥ 問 題 (もん だい) ()
- ⑦ 六 十 秒 (ろくじゅう びょう) ()
- ⑧ 表 に 出 る (おもて で 出 る) ()
- ⑨ こん 虫 図 かん (こん ちゅう ず かん) ()
- ⑩ れんらく 帳 (れんらく ちょう) ()
- ⑪ 真 ん 中 (ま なか) ()
- ⑫ 短 い (みじか い) ()
- ⑬ 畑 を た が や す (はたけ を た が や す) ()
- ⑭ 童 話 (どう わ) ()
- ⑮ お 礼 を 言 う (お れ い を 言 う) ()
- ⑯ 学 級 文 庫 (がく ぐう ぶん こ) ()
- ⑰ 祭 り (まつ り) ()
- ⑱ 植 物 (うゑ ぶつ) ()
- ⑲ 身 の 回 り (み の まわ り) ()
- ⑳ 区 切 る (く ぎ 切 る) ()
- ㉑ 司 会 者 (しか い しゃ) ()
- ㉒ わ が 家 (わ が け) ()
- ㉓ 急 行 (きゅう ぎょう) ()
- ㉔ じ 石 (じ せき) ()
- ㉕ 昭 和 (しょう わ) ()
- ㉖ 体 育 館 (たい いく かん) ()
- ㉗ 温 度 (おん ど) ()
- ㉘ 泳 ぐ (およ ぐ) ()
- ㉙ 集 ま る (あつ ま る) ()
- ㉚ 下 が る (した が る) ()
- ㉛ 感 じ る (かん じ る) ()

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

- ① 校 内 放 送 (こう ない ほう 送) ()
- ② 手 の 気 持 ち (て の き も ち) ()
- ③ 人 が 多 い (じん が おお い) ()
- ④ 道 で 転 ぶ (みち で て ん ぶ) ()
- ⑤ 学 校 に 着 く (がっこう に き ぐ) ()
- ⑥ 問 題 を と く (もん だい を と く) ()
- ⑦ 一 分 は 六 十 秒 (いっ ぶん は ろくじゅう びょう) ()
- ⑧ 表 に 出 る (おもて で 出 る) ()
- ⑨ こん 虫 図 かん (こん ちゅう ず かん) ()
- ⑩ れんらく 帳 (れんらく ちょう) ()
- ⑪ 円 の 真 ん 中 (えん の ま なか) ()
- ⑫ い 文 章 (い ぶん しょう) ()
- ⑬ を た が や す (を た が や す) ()
- ⑭ 話 を 読 む (わ を よ む) ()
- ⑮ お 礼 を 言 う (お れ い を 言 う) ()
- ⑯ 学 級 文 庫 (がく ぐう ぶん こ) ()
- ⑰ 神 社 の お 祭 り (じん じゃ の お まつ り) ()
- ⑱ 高 い 山 の 植 物 (たか やま の しょく ぶつ) ()
- ⑲ の 回 り (の まわ り) ()
- ⑳ 細 かく 切 る (こま かく ぎ 切 る) ()
- ㉑ 司 会 者 にな る (しか い しゃ に な る) ()
- ㉒ わ が 家 に 帰 る (わ が け に かえ る) ()
- ㉓ 行 電 車 (ぎょう でん しゃ) ()
- ㉔ じ で 遊 ぶ (じ で あそ ぶ) ()
- ㉕ 和 生 ま れ (わ しょう ま れ) ()
- ㉖ 体 育 館 (たい いく かん) ()
- ㉗ 温 度 計 (おん ど けい) ()
- ㉘ プール で 泳 ぐ (プール で およ ぐ) ()
- ㉙ 人 が 集 ま る (ひと が あつ ま る) ()
- ㉚ ね だ ん が 下 が る (ね だ ん が し た が る) ()
- ㉛ じ た こ と (じ た こ と) ()

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 息 () つぎ
② 第 () 一 () 号 ()
③ 反 () 対 ()
④ 遊 () 園 () 地 ()
⑤ 登 () る
⑥ 人 () 物 ()
⑦ た () から () 島 ()
⑧ 勉 () 強 ()
⑨ 豆 () ふ
⑩ 黄 () 金 ()
⑪ 数 () える
⑫ 筆 () ペン
⑬ 写 () 真 ()
⑭ 代 () わり
⑮ 同 () 級 () 生 ()
⑯ 委 () 員 ()
⑰ 始 () 業 () 式 ()
⑱ 題 () 名 ()
⑲ 中 () 央 ()
⑳ 読 () 書 ()
㉑ 血 () が () 出 () る
㉒ 行 () く () 手 () を () さ () え () ぎ () る
㉓ 九 () 州 ()
㉔ 様 () 子 ()
㉕ 階 () だ () ん
㉖ 木 () の () 実 ()
㉗ 県 () 立 () の () 病 () 院 ()
㉘ 一 () 学 () 期 ()
㉙ 人 () が () い () る () 所 ()
㉚ 親 () 指 ()
㉛ 上 () 手 ()

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

- ① 息 () つ () ぎ () を () す () る
② 第 () 一 () 号 ()
③ 反 () 対 () の () 意 () 見 ()
④ 遊 () 園 () 地 ()
⑤ 山 () に ()
⑥ 人 () 画 ()
⑦ た () から ()
⑧ 国 () 語 () の () 強 ()
⑨ ふ () を () 食 () べ () る
⑩ 金 () に () か () が () や () く
⑪ プ () リ () ン () ト () を () 出 () せ () る
⑫ 書 () く
⑬ 写 () し () 真 () を () と () る
⑭ 友 () 達 () の () わ () り
⑮ 同 () 級 () 生 ()
⑯ 図 () 書 () 員 ()
⑰ 始 () め () 式 ()
⑱ 作 () 文 () の () 題 ()
⑲ 広 () 場 () の () 中 ()
⑳ 書 () の () 秋 ()
㉑ が () 出 () る
㉒ く () 手 () を () さ () え () ぎ () る
㉓ 九 () の () 旅 ()
㉔ 様 () を () 見 () る
㉕ だ () ん () を () の () ぼ () る
㉖ 木 () の () を () 拾 () う
㉗ 立 () の () 病 () 院 ()
㉘ 一 () 学 () 期 ()
㉙ み () ん () な () が () い () る () 所 ()
㉚ 親 ()
㉛ 手 () な () 歌 ()

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

① 水と油

⑪ 物語

⑲ 学級文庫

② 二倍

⑫ 有名

⑳ 人の一生

③ 坂道

⑬ 流れる

㉓ 苦しい

④ 平和

⑭ 他人

㉔ 行動

⑤ お金を落とす

⑮ 最近

㉕ 皿を洗う

⑥ 親しい

⑯ お化け

㉖ 育つ

⑦ 幸福

⑰ 消える

㉗ 主人公

⑧ 羊の毛

⑱ 川下

㉘ 美しい湖

⑨ 東京都

⑲ 向こう岸

㉙ 集合する

⑩ 昼食

㉚ 校内放送

㉚ 上り電車

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

① 水と

⑪ 語を読む

㉑ 学級文

② 五の二は十だ

⑫ 有名な人

㉒ 人の一

③ 道をのぼる

⑬ 川が流れる

㉓ 息が

④ 平な国

⑭ 人の意見

㉔ すばやい行

⑤ お金をとす

⑮ 最新のニュース

㉕ を洗う

⑥ しい友

⑯ おけが出る

㉖ 元気に

⑦ 幸にくらす

⑰ 火がえる

㉗ お話の

⑧ の毛

⑱ 川にむかう

㉘ 美しい

⑨ 東京に住む

⑲ 向こうに着く

㉙ 合の合図

⑩ 食の時間

㉚ 校放送

㉚ り電車

◇つぎの — せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

① 遊 () ぶ

② 何 () 度

③ 道 () 路

④ 黄 () 金

⑤ 品 () 物

⑥ 平 () きん台

⑦ 笛 () をふく

⑧ 商 () 店が

⑨ 予 () 定

⑩ 返 () す

⑪ 発 () 言

⑫ お湯 () と水

⑬ 反 () 対

⑭ 木 () の葉

⑮ 寒 () い

⑯ 委 () 員

⑰ 拾 () う

⑱ 場 () 所

⑲ 読 () 書

⑳ 横 () を向く

㉑ 曲 () がる

㉒ 語 () る

㉓ 決 () める

㉔ 始 () 業式

㉕ 港 () に行く、

㉖ 指 () す

㉗ 行 () 動

㉘ 人 () 物

㉙ お客 () さん

㉚ 番 () 号

◇つぎの □ にかんじをかきなさい。

① みんなと □ ぶ

② 何 □ も読む

③ 高 () 速道

④ 黄 □ にかがやく

⑤ □ 物を買う

⑥ □ きん台

⑦ □ をふく

⑧ 商 □ がい

⑨ 学 () 習予 □

⑩ 本 () を □ す

⑪ 大 () 声で □ 言する

⑫ お □ と水

⑬ 反 □ の意見

⑭ 木 () の □ をひろう

⑮ 今日 () は □ い

⑯ 飼 () 育委 □

⑰ ごみ () を □ う

⑱ 場 () をとる

⑲ 読 () の秋

⑳ □ を向く

㉑ 道 () を □ がる

㉒ 昔 () 話を □ る

㉓ 係 () を □ める

㉔ 始 () 業 □

㉕ □ から船 () がでる

㉖ ゆび () で □ す

㉗ すば () やい □ 動

㉘ 登 () 場 □ 物

㉙ お □ さん

㉚ 番 () をつける

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

四ねん
くみ
なまえ
3YG

- ① 出 発 ()
- ② 調 べる ()
- ③ 熱 湯 ()
- ④ 題 名 ()
- ⑤ 鼻 血 ()
- ⑥ 放 送 ()
- ⑦ 深 い ()
- ⑧ 太 陽 ()
- ⑨ 正 直 ()
- ⑩ 命 が け ()
- ⑪ 黒 板 ()
- ⑫ 世 界 ()
- ⑬ みかんの皮 ()
- ⑭ 次 回 ()
- ⑮ 起 きる ()
- ⑯ 本 を 開 く ()
- ⑰ 方 向 ()
- ⑱ 仕 事 ()
- ⑲ 絵 の 具 ()
- ⑳ 重 ねる ()
- ㉑ 受 け 取 る ()
- ㉒ 地 球 ()
- ㉓ 死 ぬ ()
- ㉔ 神 様 ()
- ㉕ 動 作 ()
- ㉖ 商 店 ()
- ㉗ 運 ぶ ()
- ㉘ 元 日 ()
- ㉙ 安 全 ()
- ㉚ 明 らか ()
- ㉛ 言 葉 ()

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

四ねん
くみ
なまえ
3KG

- ① 発 する ()
- ② 本 で べる ()
- ③ 熱 を 入 れる ()
- ④ 本 の 名 ()
- ⑤ が 高 い ()
- ⑥ 校 内 送 ()
- ⑦ い 海 ()
- ⑧ 太 が の ぼる ()
- ⑨ 正 に 話 す ()
- ⑩ が け で 助 け る ()
- ⑪ 教 室 の 黒 ()
- ⑫ 界 一 高 い 山 ()
- ⑬ みかんの ()
- ⑭ 回 の 予 告 ()
- ⑮ 朝 早 く ()
- ⑯ 本 を ()
- ⑰ 方 を か へ る ()
- ⑱ 力 事 を す る ()
- ⑲ 絵 の () を 買 う ()
- ⑳ 皿 を ねる ()
- ㉑ 手 紙 を 受 け () る ()
- ㉒ 丸 い 地 ()
- ㉓ かぶと虫が () ぬ ()
- ㉔ 様 に い る ()
- ㉕ 動 が 早 い ()
- ㉖ 店 が い ()
- ㉗ 荷 物 を () ぶ ()
- ㉘ 日 の 朝 ()
- ㉙ 交 通 全 ()
- ㉚ らかなまちがい ()
- ㉛ 葉 で 表 す ()

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

① 表紙し

② 動く

③ 意味い

④ 様子す

⑤ 待つ

⑥ 整理り

⑦ 炭火び

⑧ 電池でん

⑨ 洋服ふく

⑩ 相談だん

⑪ 集合しゅう

⑫ 悲しい

⑬ 登場人物じょうじんぶつ

⑭ 庭のすみ

⑮ 軽い

⑯ 医者しゃ

⑰ 橋をわたる

⑱ 終わる

⑲ 世界せ

⑳ 始まる

㉑ 駅まで歩くある

㉒ 受け取ると

㉓ 元にもどる

㉔ 目的地てきち

㉕ 幸福ふく

㉖ 重い

㉗ 文字じ

㉘ 係を決めるき

㉙ 勝つ

㉚ 羽音おと

㉛ 用いる

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

① 紙を開くひら

② すばやく

③ 言葉の意い

④ 場面の様子よう

⑤ 帰りを待つま

⑥ 理せいとん

⑦ 火でやく

⑧ かん電でん

⑨ 服を着るき

⑩ 先生にせんせい 談だんする

⑪ 公園に集しゅうする

⑫ しい歌声うたこえ

⑬ 登場人物じょうじんぶつ

⑭ に花がさく

⑮ 体がからだ かるい

⑯ お者さんしゃ

⑰ をわたる

⑱ 話がはなし かる

⑲ 世せ 一高い山いちたかやま

⑳ 夏休みがなつやす まる

㉑ まで歩くある

㉒ 手紙をてがみ け取ると

㉓ にもどる

㉔ 的地につくてきち

㉕ 福にくらすふく

㉖ い荷物にもつ

㉗ 字を書くじ

㉘ を決めるき

㉙ し合にあい つか

㉚ 鳥の音とりおと

㉛ 道具をどうぐ いる

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ⑩ 打 () つ
- ⑨ 全 () 力 ()
- ⑧ 地 () 面 ()
- ⑦ 負 () ける
- ⑥ 進 () む
- ⑤ 金 () 魚 ()
- ④ 道 () 路 ()
- ③ 着 () せる
- ② 病 () 気 ()
- ① 練 () 習 ()
- ⑩ 荷 () 物 ()
- ⑨ 自 () 然 ()
- ⑧ 向 () かう
- ⑦ 飲 () む
- ⑥ 消 () ぼう自動車 ()
- ⑤ お () 宮 ()
- ④ 黒 () 板 ()
- ③ 大 () 波 ()
- ② 注 () 意 ()
- ① 一 () 等 ()
- ⑩ 家 () 族 ()
- ⑨ 川 () 上 ()
- ⑧ 体 () 重 ()
- ⑦ 本 () を持 () つ
- ⑥ 海 () 岸 ()
- ⑤ 住 () 所 ()
- ④ 守 () る
- ③ 仕 () 事 ()
- ② 苦 () い薬 ()
- ① 悪 () い

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

- ⑩ ホームランを () つ
- ⑨ () ぜん 力 () で走る
- ⑧ 地 () がぬれる
- ⑦ ゲームで () ける
- ⑥ 前 () に () む
- ⑤ 金 () をかう
- ④ 高 () 速 () 路 ()
- ③ 洋 () 服 () を () せる
- ② () びよう 気 () がなおる
- ① 漢 () 字 () の () 習 ()
- ⑩ () に 物 () をもつ
- ⑨ 大 () 切 () な () し 然 ()
- ⑧ 山 () に () かう
- ⑦ 薬 () を () の む
- ⑥ () しょう ぼう自動車 ()
- ⑤ お () まいり
- ④ 教 () 室 () の () 板 ()
- ③ 大 () にのる
- ② 車 () に () 意 () する
- ① 一 () になる
- ⑩ () か 族 () で出 () かける
- ⑨ 川 () と川 () 下 ()
- ⑧ 体 () をはかる
- ⑦ にもつを手 () で () つ
- ⑥ 海 () で遊ぶ
- ⑤ () しょ 所 () を書く
- ④ やくそくを () る
- ③ 仕 () をする
- ② () なが い薬 ()
- ① 気 () 分 () が () い

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

① 美 () しい

② 図 () 書室

③ 一 () 丁目

④ 薬 () をつける

⑤ 荷 () 物

⑥ 豆 () つぶ

⑦ 相 () 談

⑧ 魚 () 市場

⑨ おかし () の箱

⑩ 両 () 手

⑪ 作 () 品

⑫ 平 () らな場所

⑬ 野 () 球

⑭ 暗 () い

⑮ 住 () む

⑯ 文 () 章

⑰ 元 () 日

⑱ 少 () ない

⑲ 外 () れる

⑳ 食 () 事

㉑ 宿 () 題

㉒ すぎ () 去る

㉓ 酒 () 屋

㉔ 関 () 係

㉕ 体 () 育館

㉖ 説 () 明文

㉗ 山 () 田君

㉘ 幸 () せ

㉙ 開 () ける

㉚ 使 () う

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

① () しいバラ

② () 書室

③ 一 () 丁目

④ () をつける

⑤ 荷 () を運ぶ

⑥ () を食べる

⑦ 先生 () に相 () する

⑧ () 市場

⑨ おかし () の ()

⑩ () 手を上げる

⑪ 図 () の作 ()

⑫ 平 () らな場所

⑬ () 球のチーム

⑭ () い夜の道

⑮ 外 () 国に () む

⑯ 文 () を書く

⑰ 元 () の朝 ()

⑱ 人 () 通りが () ない

⑲ くじ () が () れる

⑳ 食 () をする

㉑ () 題をすませる

㉒ 時 () 間がすぎ () る

㉓ () 屋に行く

㉔ 関 () が深い

㉕ 体 () 育 ()

㉖ 説 () 文 ()

㉗ 山 () 田 ()

㉘ () せな一生

㉙ まど () を () ける

㉚ えん () ぴつを () う

- ⑬ 気象 ()
- ⑫ 池の周 ()
- ⑪ 一兆円 ()
- ⑩ 散歩 ()
- ⑨ 材料 ()
- ⑧ けがが治 ()
- ⑦ 直径 ()
- ⑥ 手を挙 ()
- ⑤ 喜ぶ ()
- ④ 完全 ()
- ③ 放課後 ()
- ② 印をつける ()
- ① 愛情 ()
- ⑫ 水を浴 ()
- ⑪ 山脈 ()
- ⑩ 包帯 ()
- ⑨ 副会長 ()
- ⑧ 費用 ()
- ⑦ 熱病 ()
- ⑥ 伝言 ()
- ⑤ 右折 ()
- ④ 貯金 ()
- ③ 続く ()
- ② 戦争 ()
- ① 清書 ()
- ⑫ 氷で冷 ()
- ⑩ 手を放 ()
- ⑨ 明朝 ()
- ⑧ 開始 ()
- ⑦ 苦心 ()
- ⑥ 空港 ()
- ⑤ 部首 ()
- ④ 音声 ()
- ③ 体を反 ()
- ② 毛布 ()
- ① 緑茶 ()

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4YA

- ⑬ 気 ()
の 変化
- ⑫ 池の ()
り
- ⑪ 一 ()
円
- ⑩ 公園を ()
歩する
- ⑨ ()
料をそろえる
- ⑧ けがが ()
る
- ⑦ 円の直 ()
けい
- ⑥ 手を ()
げる
- ⑤ 成功を ()
ぶ
- ④ ()
全にできる
- ③ 放 ()
後
- ② ()
をつける
- ① ()
情が深い
- ⑫ 氷で ()
やす
- ⑩ 光を ()
びる
- ⑨ アルプス山 ()
みやく
- ⑧ 帯をまく ()
- ⑦ 会長 ()
- ⑥ 旅行の ()
用
- ⑤ 先生からの ()
言
- ④ 車が ()
折する
- ③ 晴れの日 ()
く
- ② 争が終わる ()
- ① 作文の ()
書
- ⑫ 手を ()
す
- ⑩ 朝早くおきる ()
- ⑨ 試合を ()
始する
- ⑧ ()
心して仕上げる
- ⑦ 空 ()
で働く
- ⑥ かん字の部 ()
しゅ
- ⑤ 高い音 ()
せい
- ④ 体を ()
らす
- ③ 布をかける ()
- ② ()
茶を飲む

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4KA

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 案内する
② 英語を話す
③ 草木の芽
④ けいさつ官
⑤ 旗を立てる
⑥ 漁船の明かり
⑦ 手の型をとる
⑧ 好きなスポーツ
⑨ 昨年のこと
⑩ 桜が散る
⑪ 成功する
⑫ もちを焼く
⑬ 象の鼻
- ⑭ 静かな森
⑮ 戦う
⑯ 卒業
⑰ 治りよう
⑱ 休息
⑲ 伝える
⑳ 熱い湯
㉑ 必ず行く
㉒ 粉ミルク
㉓ 紙で包む
㉔ 民話
㉕ 利用
㉖ 記録
- ㉗ 雨雲
㉘ 花だん
㉙ 牛乳
㉚ 古代の生物
㉛ 強弱をつける
㉜ 二十世紀
㉝ 速度
㉞ 悲鳴をあげる
㉟ 木刀
㊱ 白鳥

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① 道を案内する
② □を話す
③ 草木が□を出す
④ けいさつ官
⑤ □を立てる
⑥ □の明かり
⑦ 手の□をとる
⑧ □なスポーツ
⑨ □年のできごと
⑩ 桜が□る
⑪ 成□する
⑫ もちを□く
⑬ □の鼻は長い
- ⑭ □かな森
⑮ 全力で□う
⑯ □業式
⑰ □のりよう
⑱ □息する
⑲ 気持ちを□える
⑳ □い湯
㉑ □ずできる
㉒ □ミルク
㉓ □プレゼントを□つむ
㉔ □話を聞く
㉕ □図書館の□り
㉖ □ノートに記□する
- ㉗ □雲が広がる
㉘ 学校の□だん
㉙ □乳を飲む
㉚ □代の生物
㉛ □音の強
㉜ □二十一世紀
㉝ □度をはやめる
㉞ □悲鳴をあげる
㉟ □木をふる
㊱ □鳥が飛ぶ

◇ つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 Y C

- ① 以上 (じょう) — ()
 ② 栄養 (えいよう) — ()
 ③ 改良 (りやう) — ()
 ④ 血管 (けっ) — ()
 ⑤ 二十一世紀 (せい) — ()
 ⑥ 共通語 (きょうつうご) — ()
 ⑦ 風景 (ふうけい) — ()
 ⑧ 手を差し出す (てをさしだす) — ()
 ⑨ 立て札 (たてはし) — ()
 ⑩ 辞典 (しでん) — ()
 ⑪ 祝う (いわ) — ()
 ⑫ 日が照る (ひがしる) — ()
 ⑬ 運転席 (うんてんせき) — ()
 ⑭ 選挙 (せんきょ) — ()
 ⑮ 孫が生まれる (まごがうまれる) — ()
 ⑯ 胃腸 (いちょう) — ()
 ⑰ 生徒 (せいと) — ()
 ⑱ 連れていく (つれていく) — ()
 ⑲ 記念 (きねん) — ()
 ⑳ 必要 (ひつよう) — ()
 ㉑ おもちやの兵隊 (おもちゃのへいたい) — ()
 ㉒ 方法 (はうほう) — ()
 ㉓ 無理 (むり) — ()
 ㉔ 大陸 (たいりく) — ()
 ㉕ 例をあげる (れいをあげる) — ()
 ㉖ 新たに始める (あらたにはじめる) — ()
 ㉗ 文化 (ぶんか) — ()
 ㉘ 赤道 (せきだう) — ()
 ㉙ 工夫 (くふう) — ()
 ㉚ 参考 (さんこう) — ()
 ㉛ 受賞 (じゆうじやう) — ()
 ㉜ 正門 (せいもん) — ()
 ㉝ 代金 (だいきん) — ()
 ㉞ 薬品 (やくひん) — ()
 ㉟ 校庭 (こうてい) — ()
 ㊱ 自転車 (じてんしゃ) — ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 K C

- ① 六才 (ろくさい) □ 上の子 (じょうのこ) — ()
 ② □ 養分 (ようぶん) — ()
 ③ 品種 (ひんしゅ) の □ 良 (りやう) — ()
 ④ 太い血 (ふとけっ) □ かん — ()
 ⑤ 二十一世紀 (にじゅういちせい) □ き — ()
 ⑥ □ 通語 (つうご) で話す (はな)す — ()
 ⑦ 風 (ふう) □ 画 (が) — ()
 ⑧ 手 (て) を □ さ し出す (だ)す — ()
 ⑨ 立て (たて) □ ふだ — ()
 ⑩ 国語 (こくご) □ じ 典 (てん) — ()
 ⑪ たん生日 (じやうひ) を □ いわ う — ()
 ⑫ 日 (ひ) が □ て る — ()
 ⑬ 運転 (うんてん) □ せき — ()
 ⑭ 役員 (やくいん) の □ せん 挙 (きょ) — ()
 ⑮ □ まご が生まれる (うまれる) — ()
 ⑯ 胃 (い) □ ちよう 薬 (やく) — ()
 ⑰ 全校 (ぜんこう) 生 (せい) □ と — ()
 ⑱ 犬 (いぬ) を □ つ れていく — ()
 ⑲ 記 (き) □ ねん 写真 (しやしん) — ()
 ⑳ 要 (よう) な道具 (どうぐ) □ ひつ — ()
 ㉑ おもちやの □ へい 隊 (たい) — ()
 ㉒ よい方 (ほう) □ ほう — ()
 ㉓ □ む 理 (り) をしない — ()
 ㉔ アメリカ大 (たい) □ りく — ()
 ㉕ □ れい をあげる — ()
 ㉖ □ あら たに始める (はじめる) — ()
 ㉗ 文 (ぶん) □ か 祭 (さい) — ()
 ㉘ 船 (ふね) が □ せき 道 (みち) を通る (とお)る — ()
 ㉙ □ く 夫 (う) を重ねる (かさ)ねる — ()
 ㉚ 国語 (こくご) の参 (さん) □ こう 書 (しょ) — ()
 ㉛ 金賞 (きんじやう) を □ じゆ 賞 (じやう) する — ()
 ㉜ 学校 (がっこう) の □ せい 門 (もん) — ()
 ㉝ □ だい 金 (きん) をはらう — ()
 ㉞ □ やく 品 (ひん) を使う (つか)う — ()
 ㉟ □ てい で遊ぶ (あそ)ぶ — ()
 ㊱ 自 (じ) □ てん 車 (しゃ) — ()

◇ つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 Y D

- ① 衣服 ()
② 木刀 ()
③ 心を改める ()
④ 楽器 ()
⑤ 助けを求める ()
⑥ 協力 ()
⑦ 芸術 ()
⑧ 気候 ()
⑨ 一万円札 ()
⑩ あとに残る ()
⑪ 失敗 ()
⑫ 順番 ()
⑬ 大臣 ()
⑭ 面積 ()
⑮ 本を選ぶ ()
⑯ 包帯 ()
⑰ 低学年 ()
⑱ 夫婦 ()
⑲ 努力 ()
⑳ 敗北 ()
㉑ 投票 ()
㉒ 区別 ()
㉓ 希望 ()
㉔ 無事 ()
㉕ 種類 ()
㉖ 本が有る ()
㉗ 祭りを行う ()
㉘ 校歌 ()
㉙ 宮でん ()
㉚ 方言 ()
㉛ 事実 ()
㉜ 前進 ()
㉝ 八十メートル走 ()
㉞ 落語 ()
㉟ 発売 ()
㊱ 自ら考える ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 K D

- ① □ 服をととのえる
② □ 刀をふり回す
③ □ 心をあらためる
④ □ 楽を演そうする
⑤ □ 助けを求める
⑥ □ 人にきよう力する
⑦ □ じゅつ家
⑧ □ あたたかい気
⑨ □ 一万円
⑩ □ においがのこる
⑪ □ 二度と敗しない
⑫ □ 番にならぶ
⑬ □ そうり大
⑭ □ 正方形の面
⑮ □ 本をえらぶ
⑯ □ 包をまく
⑰ □ 学年の子ども
⑱ □ 仲のいい婦
⑲ □ 力をする
⑳ □ 一点差で北した
㉑ □ 投票箱
㉒ □ 区べつ
㉓ □ 希ぼうを持つ
㉔ □ 全員ぶ事に帰る
㉕ □ 動物の種
㉖ □ 才能があ
㉗ □ 開会式を
㉘ □ 校をうたう
㉙ □ 広いでん
㉚ □ 方で話す
㉛ □ 事が分る
㉜ □ 前する
㉝ □ 八十メートル
㉞ □ 語を聞く
㉟ □ 切手の発
㊱ □ みずから考える

- ◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。
- ① 位置 (ち) ()
 ② 年令 (ねん) ()
 ③ 機械 (き) ()
 ④ 関係 (けい) ()
 ⑤ 不思議 (ふしぎ) ()
 ⑥ 鏡を見る (かがみ) ()
 ⑦ 欠席 (けき) ()
 ⑧ 航海 (かい) ()
 ⑨ 印刷 (いん) ()
 ⑩ 児童 (じど) ()
 ⑪ 種をまく (たね) ()
 ⑫ 最初 (さいしょ) ()
 ⑬ 信号 (しんごう) ()
- ⑭ 浅い川 (あさいがは) ()
 ⑮ 右側 (みぎがわ) ()
 ⑯ 仲間 (なか) ()
 ⑰ 早春 (そうしゅん) ()
 ⑱ 南極 (なんきょく) ()
 ⑲ 灯台 (とうだい) ()
 ⑳ にぎり飯 (にぎりめし) ()
 ㉑ 目標 (もくひょう) ()
 ㉒ 変化 (へんか) ()
 ㉓ 月末 (げつまつ) ()
 ㉔ 約束 (やくそく) ()
 ㉕ 改良 (かいりょう) ()
 ㉖ 老人 (らうじん) ()
- ㉗ 板をけずる (いたをけずる) ()
 ㉘ 合戦 (がっせん) ()
 ㉙ 紙を配る (かみをくばる) ()
 ㉚ 高学年 (こうがくねん) ()
 ㉛ 頭つう (かぶつう) ()
 ㉜ 朝食 (しやくしょく) ()
 ㉝ 化石 (かかし) ()
 ㉞ 屋上 (えじょう) ()
 ㉟ 新聞 (しんぶん) ()
 ㊱ 長男 (ちやうなん) ()

五ねん

くみ

なまえ

4 Y E

- ◇ つぎの□にかんじをかきなさい。
- ① □ (い) 置を知らせる (おきをしらせる)
 ② 年 (ねん) □ (れい) をたずねる (をたずねる)
 ③ 機 (き) □ (かい) を動かす (をうごかす)
 ④ 人間 (にんげん) □ (かん) 係 (けい)
 ⑤ 不思議 (ふしぎ) □ (ぎ) な話 (はなし)
 ⑥ □ (かがみ) を見る (をみる)
 ⑦ □ (けつ) 席する (せきする)
 ⑧ 太平洋 (たいへいよう) を □ (こう) 海する (かいする)
 ⑨ 本の印 (ほんのいん) □ (さつ)
 ⑩ □ (じ) 童会 (どうかい)
 ⑪ □ (たね) をまく (をまく)
 ⑫ 最 (さい) □ (しよ) のせりふ (のせりふ)
 ⑬ □ (しん) 号が青になる (ごうがあおになる)
- ⑭ □ (あさ) い川をわたる (いがわをわたる)
 ⑮ 右 (みぎ) □ (がわ) 通行 (つうこう)
 ⑯ 親 (おや) □ (なか) しい (なかい)
 ⑰ □ (そう) 春のたより (はるのたより)
 ⑱ □ (なん) 極探検 (きょくたんけん)
 ⑲ みさきの □ (とう) 台 (だい)
 ⑳ にぎり □ (めし)
 ㉑ 今週 (こんしゅう) の目 (め) □ (ひよう)
 ㉒ □ (へん) 化 (か) がはげしい (がはげしい)
 ㉓ 月 (げつ) □ (まつ) の予定 (よそい)
 ㉔ □ (やく) 束 (く) をはたす (をはたす)
 ㉕ 土地 (どち) の改 (かい) □ (りよう)
 ㉖ □ (ろう) 人に席をゆずる (にんにせきをゆずる)
- ㉗ □ (いた) をけずる (をけずる)
 ㉘ さるかに □ (かつ) 戦 (せん)
 ㉙ 郵便 (ゆうびん) を □ (くば) する (をくばる)
 ㉚ □ (こう) 学年 (がくねん) の児童 (じど)
 ㉛ □ (ず) つうがする (つうがする)
 ㉜ □ (ちよう) 食 (しょく) をとる (をとり)
 ㉝ 化 (か) □ (せき) を見つめる (をみつめる)
 ㉞ ビルの □ (おく) 上 (じよう)
 ㉟ 新 (しん) □ (ぶん) をくぼる (をくぼる)
 ㊱ 長 (ちやう) □ (なん) が生まれる (がうまれる)

五ねん

くみ

なまえ

4 K E

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 Y F

- ① 父^{はは}母^{はは} ()
② 塩^{しお}から^{から}い ()
③ 公^{こう}害^{がい} ()
④ 関^{かん}所^{しょ} ()
⑤ 機^き械^{かい} ()
⑥ 徒^と競^{きやう}走^{そう} ()
⑦ ひもを^{むす}結^{むす}ぶ ()
⑧ 健^{けん}康^{かう} ()
⑨ たまごを^む産^むむ ()
⑩ 試^し合^あ ()
⑪ 気^きを^を失^うう ()
⑫ 初^{はじ}め ()
⑬ 入^{にゅう}賞^{しょう} ()
⑭ 荷^{にもの}物^{もの}を^を積^むむ ()
⑮ 自^し然^{ぜん} ()
⑯ 兵^{へい}隊^{たい} ()
⑰ 残^{ねん}念^{ねん} ()
⑱ 低^ひい山^{やま} ()
⑲ 食^{しょく}堂^{どう} ()
⑳ 空^{そら}を^を飛^とぶ ()
㉑ 夫^そとつ^{とつ}ま ()
㉒ 別^{わか}れる ()
㉓ 望^{のぞ}み^みを^を持^もつ ()
㉔ 勇^{ゆう}気^き ()
㉕ 冷^{ひやう}たい水^{すい} ()
㉖ 苦^く勞^{らう} ()
㉗ 引^ひ力^{りき} ()
㉘ 君^{きみ}と^とぼく ()
㉙ 輕^{けい}ト^とラ^らッ^くク ()
㉚ 伝^{でん}言^{ごん} ()
㉛ 男^{だんな}女^{にょ} ()
㉜ 羊^{やう}毛^{もう} ()
㉝ 休^{きゅう}息^{そく} ()
㉞ 句^く読^{とく}点^{てん} ()
㉟ 問^{もん}い^い合^あわ^わせ^せる ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 K F

- ① □^{はは}母^{はは}会^{かい} ()
② □^{しお}から^{から}い ()
③ 公^{こう} □^{がい} ()
④ □^{せき}所^{しょ}を^を通^{とお}る ()
⑤ □^き機^{かい}を^を動^{うご}かす ()
⑥ 徒^と □^{きやう}走^{そう} ()
⑦ ひもを^{むす} □^{むす} ()
⑧ 健^{けん} □^{こう} ()
⑨ たまごを^む □^む ()
⑩ サ^さツ^つカ^かー^の □^し ()
⑪ 気^きを^を □^{うしな} ()
⑫ 年^{とし}の □^{はじ}め ()
⑬ 絵^えが^が入^いる □^{しょう} ()
⑭ 荷^{にもの}物^{もの}を^を □^つ ()
⑮ 自^し □^{せん} ()
⑯ お^{おも}ち^ちゃ^やの^の兵^{へい} □^{たい} ()
⑰ 念^{ねん}に^に思^{おも}う □^{ざん} ()
⑱ 票^{ひやう}箱^{はう} □^{どう} ()
⑲ □^{ひく}椅^い子^し ()
⑳ 食^{しょく} □^{どう} ()
㉑ 空^{そら}を^を □^と ()
㉒ □^{おつと}とつ^{とつ}ま ()
㉓ 友^{とも}達^{だち}と □^{わか} ()
㉔ 大^{おお}き^きな □^{のぞ}み ()
㉕ □^{ゆう}気^きが^がわ^わく ()
㉖ □^{つめ}たい水^{すい} ()
㉗ 苦^く □^{らう} ()
㉘ 地^ち球^{きゅう}の □^{いん} ()
㉙ □^{きみ}と^とぼく ()
㉚ □^{けい}ト^とラ^らッ^くが^が走^はる ()
㉛ 先^{せん}生^{せい}か^から^らの^の伝^{でん}言^{ごん} □^{ごん} ()
㉜ 男^{だんな} □^{じよ} ()
㉝ □^{よう}毛^{もう}の^のセ^せー^のタ^たー ()
㉞ □^{どう}句^く読^{とく}点^{てん} ()
㉟ □^と問^{もん}い^い合^あわ^わせ^せる ()

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 周囲 (しゅうい) ()
 ② 一億円 (いちいれん) ()
 ③ 街かど (まちかど) ()
 ④ 観察 (くわんさつ) ()
 ⑤ 人が泣く (ひとがな) ()
 ⑥ 南極 (なんきょく) ()
 ⑦ 家を建てる (いえをたてる) ()
 ⑧ 広告 (こうこく) ()
 ⑨ 最も高い山 (たかきやま) ()
 ⑩ 息を殺す (いきをころす) ()
 ⑪ 歴史 (れきし) ()
 ⑫ 借金 (しゃい金) ()
 ⑬ 初もうで (はつもうで) ()
- ⑭ 省りやく (しやうりやく) ()
 ⑮ 右折 (うせつ) ()
 ⑯ 倉の戸 (くらのと) ()
 ⑰ 町内会 (ちやうないかい) ()
 ⑱ 風車 (ふうしゃ) ()
 ⑲ 速達 (すみたく) ()
 ⑳ 海底 (かいぞ) ()
 ㉑ ご飯 (ごはん) ()
 ㉒ 付ける (つける) ()
 ㉓ 便利 (べんり) ()
 ㉔ 満足 (まんぞく) ()
 ㉕ 重要 (じゅうよう) ()
 ㉖ 料金 (りやうきん) ()
- ㉗ 花に例える (はなにながら) ()
 ㉘ 文章を写す (ぶんしやうをうつす) ()
 ㉙ 特別 (とくべつ) ()
 ㉚ 決勝戦 (けつしょうせん) ()
 ㉛ 不思議 (ふしぎ) ()
 ㉜ 深きゆう (ふかきゆう) ()
 ㉝ 新雪 (しんせつ) ()
 ㉞ 調子 (てうし) ()
 ㉟ 父母 (ふぼ) ()
 ㊱ 電波 (でんぱ) ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① 池の周 (いけのしゅう) □ (い)
 ② 一円 (いちえん) □ (おく)
 ③ □ (まち) かどを曲がる
 ④ 植物 (しょくぶつ) を □ (かん) 察する
 ⑤ 赤ちゃん (あかちゃん) が □ (な) く
 ⑥ 南 (なん) □ (きよく) 探検
 ⑦ 家 (いえ) を □ (た) てる
 ⑧ 広 (ひろ) □ (こく) を出す
 ⑨ □ (もつと) も高い山
 ⑩ 息 (いき) を □ (ころ) す
 ⑪ 日本 (にほん) の歴 (れき) □ (し)
 ⑫ □ (しゃつ) 金をかえす
 ⑬ □ (はつ) もうで
- ⑭ 話 (わ) を □ (しやう) りやくする
 ⑮ 車 (くるま) が右 (みぎ) □ (せつ) する
 ⑯ □ (くら) の戸 (と) を開ける
 ⑰ □ (ちやう) 内会 (ないかい)
 ⑱ □ (ふう) 車が回る
 ⑲ □ (たつ) で送る
 ⑳ □ (てい) にもぐる
 ㉑ □ (はん) を食べる
 ㉒ 小見出し (こみだし) を □ (つ) ける
 ㉓ □ (べん) 利 (り) な道具 (どうぐ)
 ㉔ □ (まん) 足 (あし) そうな顔 (かお)
 ㉕ □ (じゅう) 重 (じゅう) 書類 (しやうい)
 ㉖ □ (りやう) 金 (きん) を払う
- ㉗ 動物 (どうぶつ) に □ (た) える
 ㉘ ビデオ (ビデオ) に □ (うつ) す
 ㉙ □ (とく) 別 (べつ) な料理 (りやうり)
 ㉚ □ (けつ) 勝戦 (しょうせん)
 ㉛ □ (ふ) 不 (ふ) 思議 (ぎ) な話 (わ)
 ㉜ □ (しん) 深 (ふか) きゆう (きゆう) をする
 ㉝ □ (せつ) 新 (しん) が積 (た) むる
 ㉞ □ (ちやう) 体 (からだ) の子 (こ)
 ㉟ □ (ふ) 父 (ふ) の会 (かい)
 ㊱ □ (でん) テレビ (てれび) の電 (でん) □ (は)

五ねん くみなまえ

4 YH

五ねん
くみなまえ

4 K H

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ① 胃の薬 (い の ぐすり) —
 ② 果たす (は たら する) —
 ③ 各地 (あち ち) —
 ④ 願う (ねが う) —
 ⑤ 選挙 (せん ぎょ) —
 ⑥ 音と訓の読み (おと と くん の よみ) —
 ⑦ 健康 (けん けう) —
 ⑧ 菜の花 (な の はな) —
 ⑨ 観察 (くわん さん) —
 ⑩ そうじゅう士 (そう じゅう し) —
 ⑪ 種類 (しゅ ぐい) —
 ⑫ 松並木 (まつ なみ き) —
 ⑬ 説明 (せつ めい) —
 ⑭ 折り紙 (おり ぎ) —
 ⑮ 約束 (やく ぎ) —
 ⑯ 単位 (たん 位) —
 ⑰ 世の中 (よ の なか) —
 ⑱ バス停 (ば す てい) —
 ⑲ 一割一分 (いち ぎり いち ぶん) —
 ⑳ 働く (はたら く) —
 ㉑ 梅の花 (うめ の はな) —
 ㉒ 不思議 (ふ しぎ) —
 ㉓ 辺り一面 (あたり いちめん) —
 ㉔ 牧場 (ぼく じょう) —
 ㉕ 無くなる (な くなる) —
 ㉖ 休養 (きゅう ぎょう) —
 ㉗ 大量 (たい りょう) —
 ㉘ 連続 (れん ぞく) —
 ㉙ 下級生 (か ぎゅう せい) —
 ㉚ 牛の角 (う の かく) —
 ㉛ 出血 (しゅっ けつ) —
 ㉜ 春分の日 (はる ぶん の ひ) —
 ㉝ 都合 (ごう ぐ) —
 ㉞ 旅行 (りょ こう) —
 ㉟ 学ぶ (まな ぶ) —
 ㊱ 石と土が交じる (いし と つち が まじ る) —
 ㊲ 腸胃 (ちよう ぎ) —

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

- ① □ (い) 腸胃 (ちよう ぎ) —
 ② 役わりを □ (は) たす —
 ③ 全国 (ぜんこく) □ (かく) 地 (ち) —
 ④ 平和を □ (ねが) う —
 ⑤ 役員の選 (やくいん の せん) □ (きよ) —
 ⑥ 音と □ (くん) の読み (よみ) —
 ⑦ □ (けん) 康診断 (こうしん だん) —
 ⑧ 一面 (いちめん) □ (な) の花 (はな) —
 ⑨ 虫の観 (むし の かん) □ (さつ) —
 ⑩ うちゅう飛行 (うちゅう へいこう) □ (し) —
 ⑪ 犬 (いぬ) の □ (しゆ) 類 (るい) —
 ⑫ □ (まつ) 並木 (なみ き) が続 (つづ) く —
 ⑬ □ (せつ) 明書 (めいしよ) を読 (よ) む —
 ⑭ □ (お) り紙 (がみ) —
 ⑮ 約 (やく) □ (そく) を守 (まも) る —
 ⑯ 長 (なが) さの □ (たん) 位 (い) —
 ⑰ □ (よ) の中 (なか) のニョース —
 ⑱ 一割一 (いち ぎり いち) □ (ぶ) —
 ⑲ バス □ (てい) まで歩 (ある) く —
 ⑳ 人 (ひと) のために □ (はたら) く —
 ㉑ □ (うめ) の花 (はな) がさく —
 ㉒ □ (ふ) 思議 (しぎ) な話 (わはし) —
 ㉓ この □ (あた) りの地名 (ちめい) —
 ㉔ 馬 (うま) を □ (ばく) 場 (じやう) に放 (はな) す —
 ㉕ お金 (かね) が □ (な) くなる —
 ㉖ 休 (きゅう) □ (よう) する —
 ㉗ 大 (たい) □ (りょう) 生産 (せいさん) —
 ㉘ □ (れん) 続 (ぞく) ホームラン —
 ㉙ □ (か) 級 (きゅう) 生 (せい) —
 ㉚ 牛 (う) の □ (つ) の —
 ㉛ 出 (しゅっ) □ (けつ) する —
 ㉜ □ (しゆん) 分 (ぶん) の日 (ひ) —
 ㉝ □ (つ) 合 (ごう) がよい —
 ㉞ 外国 (がいこく) □ (りよ) 行 (こう) —
 ㉟ 英語 (えいご) を □ (まな) ぶ —
 ㊱ 石 (いし) と土 (つち) が □ (ま) じる —

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 Y J

- ① 印刷 ()
② 貨物 ()
③ 字を覚える ()
④ 季節 ()
⑤ 給食 ()
⑥ 軍手 ()
⑦ 土を固める ()
⑧ 最後 ()
⑨ 産地 ()
⑩ 司会 ()
⑪ 本を借りる ()
⑫ ねん仏を唱える ()
⑬ むだを省く ()
⑭ 賛成 ()
⑮ 戦争 ()
⑯ 位置 ()
⑰ 千代紙 ()
⑱ 九時二分 ()
⑲ 百科事典 ()
⑳ 毒ヘビ ()
㉑ 飛行機 ()
㉒ 付近 ()
㉓ ゆう便局 ()
㉔ 未来の世界 ()
㉕ 勇ましい人 ()
㉖ 良い行い ()
㉗ 車輪 ()
㉘ 歴史 ()
㉙ 飲料水 ()
㉚ 合しよう曲 ()
㉛ 火を消す ()
㉜ 山脈 ()
㉝ 寺院 ()
㉞ 勝利 ()
㉟ 円い月 ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

五ねん
くみ
なまえ

4 K J

- ① 印刷する ()
② 物列車 ()
③ かん字を ()
④ 節の変わり目 ()
⑤ 食を食べる ()
⑥ 手をはめる ()
⑦ 土を ()
⑧ 後の問題 ()
⑨ みかんの ()
⑩ 会議の ()
⑪ 本を ()
⑫ じゆ文を ()
⑬ 説明を ()
⑭ 意見に賛 ()
⑮ 戦 ()
⑯ 位 ()
⑰ 代紙で折る ()
⑱ 九時二 ()
⑲ 百科事 ()
⑳ 毒ヘビ ()
㉑ 行機に乗る ()
㉒ 駅の ()
㉓ ゆう ()
㉔ 来を夢見る ()
㉕ ましい音楽 ()
㉖ 仲が ()
㉗ 車 ()
㉘ 史の本 ()
㉙ 料水をのむ ()
㉚ しょう曲 ()
㉛ 落書きを ()
㉜ アルプス ()
㉝ 院を見学する ()
㉞ 利を喜ぶ ()
㉟ い月 ()
㊱ 車を取り付ける ()
㊲ 史の本 ()
㊳ 料水をのむ ()
㊴ しょう曲 ()
㊵ 落書きを ()
㊶ アルプス ()
㊷ 院を見学する ()
㊸ 利を喜ぶ ()
㊹ い月 ()

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 Y A

- ⑬ 校舎 ()
- ⑫ 色紙 ()
- ⑪ 混雑 ()
- ⑩ 仮の名前 ()
- ⑨ 直接 ()
- ⑧ 好む ()
- ⑦ 組織 ()
- ⑥ 衛星 ()
- ⑤ 断る ()
- ④ 快い ()
- ③ 経けん ()
- ② 大群 ()
- ① 編む ()
- ⑭ 理解 ()
- ⑮ 舌を出す ()
- ⑯ 現在 ()
- ⑰ 感謝 ()
- ⑱ 文化財 ()
- ⑲ 授業 ()
- ⑳ 実験 ()
- ㉑ 住居 ()
- ㉒ 下巻 ()
- ㉓ 容易 ()
- ㉔ 築く ()
- ㉕ 四角形 ()
- ㉖ 正確 ()
- ㉗ 修理 ()
- ㉘ 取材 ()
- ㉙ 無罪 ()
- ㉚ 国旗 ()
- ㉛ 示す ()
- ㉜ 知識 ()
- ㉝ 往復 ()
- ㉞ 質問 ()
- ㉟ 交差点 ()
- ㊱ 試みる ()
- ㊲ 演技 ()
- ㊳ 志す ()
- ㊴ 清潔 ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 K A

- ⑬ 新しい校舎 ()
- ⑫ □にサインする
- ⑪ 道路が混雑する
- ⑩ □のなまえ
- ⑨ 直話 ()
- ⑧ 野菜をこのむ
- ⑦ 会社の組織 ()
- ⑥ 人工星 ()
- ⑤ 申し出る ()
- ④ □いそ風
- ③ 豊かなけん
- ② 鳥の大ぐん
- ① 毛糸であむ
- ⑭ 理解 ()
- ⑮ ペロリと出す
- ⑯ 現 ()
- ⑰ 感 ()
- ⑱ 国の文化 ()
- ⑲ 国語の授業 ()
- ⑳ 実 ()
- ㉑ たて穴式住 ()
- ㉒ 教科書の ()
- ㉓ 容 ()
- ㉔ 城を ()
- ㉕ 四角 ()
- ㉖ 正 ()
- ㉗ 車の修理 ()
- ㉘ 作文の ()
- ㉙ 無 ()
- ㉚ 日本の国 ()
- ㉛ 指し ()
- ㉜ 豊かな知 ()
- ㉝ □の復の切符
- ㉞ □問する
- ㉟ 交 ()
- ㊱ 何度も ()
- ㊲ 見事な ()
- ㊳ 医者を ()
- ㊴ □な衣服

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

六ねん くみ なまえ

5 Y B

- ⑬ 基 本 ()
⑫ 終 業 式 ()
⑪ 成 績 ()
⑩ 歯 科 ()
⑨ 性 格 ()
⑧ 番 犬 ()
⑦ 入 場 券 ()
⑥ 効 目 ()
⑤ 再 来 年 ()
④ 永 遠 ()
③ 調 査 ()
② 結 果 ()
① 事 件 ()
- ⑭ 芸 術 ()
⑮ 救 助 ()
⑯ 順 序 ()
⑰ 細 心 ()
⑱ 国 際 試 合 ()
⑲ 伝 承 ()
⑳ 銀 河 ()
㉑ 天 の 川 ()
㉒ 旧 式 ()
㉓ 興 味 ()
㉔ 在 在 ()
㉕ 険 しい 山 ()
㉖ 使 用 ()
- ㉗ 税 金 ()
㉘ 木 の 枝 ()
㉙ 責 任 ()
㉚ 形 見 ()
㉛ 探 検 ()
㉜ 災 害 ()
㉝ 準 備 ()
㉞ 絵 画 ()
㉟ 子 孫 ()
㊱ 指 示 ()
㊲ 野 菜 ()
㊳ 合 唱 ()
㊴ 招 待 ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

六ねん くみ なまえ

5 K B

- ⑬ 学 習 の □ ()
⑫ 一 学 期 の □ ()
⑪ 成 □ ()
⑩ 眼 科 と □ ()
⑨ 明 る い 性 □ ()
⑧ 番 □ ()
⑦ 遊 園 地 の 入 場 □ ()
⑥ 業 の □ ()
⑤ □ ()
④ □ ()
③ 交 通 量 の 調 □ ()
② テ ス ト の □ ()
① 事 □ ()
- ⑭ 芸 □ ()
⑮ 人 命 救 □ ()
⑯ 順 □ ()
⑰ □ ()
⑱ サ ッ カ ー の 国 □ ()
⑲ 民 話 の 伝 □ ()
⑳ 銀 □ ()
㉑ □ ()
㉒ □ ()
㉓ □ ()
㉔ □ ()
㉕ □ ()
㉖ □ ()
- ㉗ □ ()
㉘ □ ()
㉙ □ ()
㉚ □ ()
㉛ □ ()
㉜ □ ()
㉝ □ ()
㉞ □ ()
㉟ □ ()
㊱ □ ()
㊲ □ ()
㊳ □ ()
㊴ □ ()
㊵ □ ()

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

六ねん くみなまえ

5 Y C

- ⑬ 証 明 書 ()
- ⑫ 開 始 ()
- ⑪ 個 性 ()
- ⑩ 上 着 ()
- ⑨ 照 明 ()
- ⑧ 過 去 ()
- ⑦ 青 少 年 ()
- ⑥ 利 益 ()
- ⑤ 金 属 製 ()
- ④ 制 限 ()
- ③ 原 因 ()
- ② 意 志 ()
- ① 保 險 ()
- ⑭ 神 社 ()
- ⑮ 事 故 ()
- ⑯ 教 師 ()
- ⑰ 日 常 ()
- ⑱ 救 急 箱 ()
- ⑲ 心 情 ()
- ⑳ 可 能 性 ()
- ㉑ 厚 い 本 ()
- ㉒ 貸 す ()
- ㉓ 望 遠 鏡 ()
- ㉔ 現 す ()
- ㉕ 湖 底 ()
- ㉖ 再 会 する ()
- ㉗ 居 る ()
- ㉘ 指 定 席 ()
- ㉙ 岩 石 ()
- ㉚ 大 西 洋 ()
- ㉛ 移 る ()
- ㉜ か 条 書 き ()
- ㉝ 正 義 ()
- ㉞ 資 料 ()
- ㉟ 小 麦 粉 ()
- ㊱ 快 晴 ()
- ㊲ 年 賀 状 ()
- ㊳ 織 る ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

六ねん くみなまえ

5 K C

- ⑬ □ 明 書 ()
- ⑫ □ 開 始 ()
- ⑪ □ 性 的 な 人 ()
- ⑩ □ 上 着 ()
- ⑨ □ 明 る い 明 ()
- ⑧ □ 過 去 ()
- ⑦ □ 青 少 年 ()
- ⑥ □ 利 益 ()
- ⑤ □ 金 属 製 ()
- ④ □ 入 場 を 制 限 ()
- ③ □ 原 因 ()
- ② □ 意 志 ()
- ① □ 保 險 ()
- ⑭ □ 神 社 ()
- ⑮ □ 事 故 ()
- ⑯ □ 教 師 ()
- ⑰ □ 日 常 ()
- ⑱ □ 救 急 箱 ()
- ⑲ □ 心 情 ()
- ⑳ □ 可 能 性 ()
- ㉑ □ 厚 い 本 ()
- ㉒ □ 貸 す ()
- ㉓ □ 望 遠 鏡 ()
- ㉔ □ 現 す ()
- ㉕ □ 湖 底 ()
- ㉖ □ 再 会 する ()
- ㉗ □ 居 る ()
- ㉘ □ 指 定 席 ()
- ㉙ □ 岩 石 ()
- ㉚ □ 大 西 洋 ()
- ㉛ □ 移 る ()
- ㉜ □ か 条 書 き ()
- ㉝ □ 正 義 ()
- ㉞ □ 資 料 ()
- ㉟ □ 小 麦 粉 ()
- ㊱ □ 快 晴 ()
- ㊲ □ 年 賀 状 ()
- ㊳ □ 織 る ()
- ㊴ □ 友 達 と 会 する ()
- ㊵ □ 底 に し ず む ()
- ㊶ □ すが た を ()
- ㊷ □ 望 遠 鏡 ()
- ㊸ □ 本 を ()
- ㊹ □ 成 功 の ()
- ㊺ □ 豊 かな 心 ()
- ㊻ □ 金 属 製 ()
- ㊼ □ 入 場 を 制 限 ()
- ㊽ □ 原 因 ()
- ㊾ □ 意 志 ()
- ㊿ □ 保 險 ()
- ㊽ □ 生 命 保 險 ()
- ㊾ □ 社 の 境 内 ()
- ㊿ □ 家 に ()
- ㊽ □ 布 を ()
- ㊾ □ 石 の 標 本 ()
- ㊿ □ 定 席 ()
- ㊽ □ 季 節 の ()
- ㊾ □ 大 西 洋 ()
- ㊿ □ 正 義 ()
- ㊽ □ 歴 史 の ()
- ㊾ □ 小 麦 ()
- ㊿ □ 快 晴 ()
- ㊽ □ 友 達 と 会 する ()
- ㊾ □ 底 に し ず む ()
- ㊿ □ すが た を ()
- ㊽ □ 望 遠 鏡 ()
- ㊾ □ 本 を ()
- ㊿ □ 成 功 の ()
- ㊽ □ 豊 かな 心 ()
- ㊾ □ 金 属 製 ()
- ㊿ □ 入 場 を 制 限 ()
- ㊽ □ 原 因 ()
- ㊾ □ 意 志 ()
- ㊿ □ 保 險 ()
- ㊽ □ 生 命 保 險 ()
- ㊾ □ 社 の 境 内 ()
- ㊿ □ 家 に ()
- ㊽ □ 布 を ()
- ㊾ □ 石 の 標 本 ()
- ㊿ □ 定 席 ()
- ㊽ □ 季 節 の ()
- ㊾ □ 大 西 洋 ()
- ㊿ □ 正 義 ()
- ㊽ □ 歴 史 の ()
- ㊾ □ 小 麦 ()
- ㊿ □ 快 晴 ()

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- 13 晴 () 天 ()
 12 飼 () 主 ()
 11 職 () 員 () 室 ()
 10 衛 () 星 ()
 9 覚 () ます ()
 8 眼 () 科 ()
 7 政 () 治 ()
 6 支 () える ()
 5 境 () 界 () 線 ()
 4 耕 () 作 () 地 ()
 3 雨 () 天 ()
 2 永 () 久 ()
 1 圧 () 力 ()
- 26 参 () 加 ()
 25 講 () 習 () 会 ()
 24 営 () む ()
 23 あま酒 ()
 22 風 () 上 ()
 21 構 () 成 ()
 20 年 () 賀 () 状 ()
 19 退 () ける ()
 18 広 () 大 ()
 17 白 () 波 ()
 16 光 () 景 ()
 15 酸 () 素 ()
 14 好 () 物 ()
- 38 争 () う ()
 37 効 () 果 ()
 36 全 () 身 ()
 35 技 () 術 ()
 34 限 () る ()
 33 賛 () 成 ()
 32 混 () 雑 ()
 31 横 () 断 ()
 30 森 () 林 ()
 29 保 () 護 ()
 28 精 () 神 ()
 27 液 () 体 ()

六ねん くみなまえ

5 Y D

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

- 13 □ () 天 () が 続 () く ()
 12 犬 () の □ () か □ () い 主 ()
 11 □ () し ょ く 員 () 室 ()
 10 人 () 工 () え い □ () せ い
 9 目 () を □ () さ □ () ま す
 8 □ () が ん □ () せ い 科 () に 通 () う ()
 7 □ () せ い 治 () 家 ()
 6 □ () い っ か 一 () 家 () を □ () さ ゃ へ る ()
 5 □ () き ょ う 界 () 線 ()
 4 □ () こ う 作 () 地 () を 増 () や す
 3 □ () う 天 () 中 () 止 ()
 2 永 () え い □ () き ょ う 永 () に 続 () く ()
 1 □ () あ つ 水 () の □ () 力 ()
- 26 □ () さ ん 加 () す ()
 25 料 () り の □ () こ う 理 () の □ () 習 () 会 ()
 24 生 () め い の □ () い と な 命 () の □ () み
 23 あま □ () さ け 飲 () む ()
 22 □ () か ぎ 上 () に 立 () つ ()
 21 文 () 章 () の □ () こ う 文 () 章 () の □ () 成 ()
 20 年 () ね ん □ () が 状 ()
 19 願 () が い □ () し り そ 願 () い を □ () け る ()
 18 □ () こ う 大 () な 土 () 地 ()
 17 □ () し ら 波 () が 立 () つ ()
 16 □ () こ う 美 () し い □ () こ う 景 ()
 15 □ () さ ん 素 ()
 14 □ () こ う 大 () な □ () 物 ()
- 38 □ () あ ら そ 言 () い □ () う
 37 薬 () の □ () こ う 果 ()
 36 全 () ら ん □ () し ん 全 () の □ () 力 ()
 35 □ () き 術 () の 発 () 展 ()
 34 本 () 日 () の □ () か ぎ □ () り
 33 □ () さ ん 成 () と 反 () 対 ()
 32 道 () 路 () が □ () こ ん 道 () 路 () が □ () 雑 () す ()
 31 □ () お う 断 () 歩 () 道 ()
 30 □ () し ん 林 () の 植 () 物 ()
 29 □ () ほ 環 () 境 () の □ () 護 ()
 28 □ () せ い ボ () ラ () ン テ ィ ア □ ()
 27 □ () え き 気 () 体 () と □ () た い 体 ()

六ねん くみなまえ

5 K H

⑬ 商店街

⑫ 留守

⑪ 絶対

⑩ 精神

⑨ 週刊誌

⑧ 酸素

⑦ 設計図

⑥ 貿易

⑤ 志を立てる

④ 鉄鉞石

③ 規則

② 平均

① 悪役

つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

⑫⑥ 逆転

⑫⑤ 後方

⑫④ 移動

⑫③ 禁止

⑫② 清い

⑫① 殺虫剤

⑫⑦ 通過

⑫⑥ 反省

⑫⑤ 栄える

⑫④ 刷る

⑫③ 金額

⑫② 祖先

⑫① 判断力

⑬③ 定価

⑬② 表現

⑬① 比べる

⑬⑥ 性格

⑬⑤ 新幹線

⑬④ 体勢

⑬③ 幸い

⑬② 応援

⑬① 制服

⑬⑦ 語句

⑬⑥ 金銭

⑬⑤ 食塩水

⑬④ 桜の花

六ねん

くみ

なまえ

5 Y E

⑬ 商店

⑫ 留番

⑪ 対反対

⑩ 健全な精神

⑨ 週刊誌

⑧ 酸素

⑦ 設計図

⑥ 外国との貿易

⑤ 志を立てる

④ 鉄鉞石

③ 規則的な生活

② 平均点

① 悪役を演じる

つぎの□にかんじをかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

⑫⑥ 転勝

⑫⑤ 方に下がる

⑫④ 場所を動かす

⑫③ 立ち入り止

⑫② い心

⑫① 虫ざい

⑫⑦ 車が通

⑫⑥ 夏休みの反

⑫⑤ 町が

⑫④ 版画を

⑫③ 金を確かめる

⑫② 先をうやまう

⑫① 断力

⑬③ 品物の定

⑬② 文章の表

⑬① 高さを

⑬⑥ 明るい格

⑬⑤ 新線

⑬④ 体を整える

⑬③ いなこと

⑬② 援団長

⑬① 中学校の服

⑬⑦ 語の意味

⑬⑥ 金感覚

⑬⑤ 食水

⑬④ の花

六ねん

くみ

なまえ

5 K E

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 Y F

- ⑬ 銅像 ()
⑫ 無人島 ()
⑪ 敵 ()
⑩ 妻になる ()
⑨ 貴重 ()
⑧ 横断 ()
⑦ 米の俵 ()
⑥ 耕す ()
⑤ 態度 ()
④ 損害 ()
③ 金属製 ()
② 増加 ()
① 組織 ()
- ⑭ 解く ()
⑮ 過ごす ()
⑯ 見慣れる ()
⑰ 布地 ()
⑱ 晴れ後 ()
⑲ 測る ()
⑳ 山菜採り ()
㉑ 準備 ()
㉒ 独り言 ()
㉓ 平等 ()
㉔ 不器用 ()
㉕ 複雑 ()
㉖ 船旅 ()
- ⑳ 編集 ()
㉑ 報告 ()
㉒ 防止 ()
㉓ 議論的 ()
㉔ 導く ()
㉕ 群がる ()
㉖ 設ける ()
㉗ 敗れる ()
㉘ 夢の国 ()
㉙ 内容 ()
㉚ 省略 ()
㉛ 冷害 ()
㉜ 恩人 ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 K F

- ⑬ □ ()
⑫ 無人 ()
⑪ □ ()
⑩ 夫と ()
⑨ 貴 ()
⑧ 横断 ()
⑦ 米の ()
⑥ 畑を ()
⑤ 明るい ()
④ □ ()
③ 金 ()
② 人口の ()
① 大きな ()
- ⑭ □ ()
⑮ 楽しく ()
⑯ 見 ()
⑰ やわらかい ()
⑱ 晴れ ()
⑲ 長さを ()
⑳ 山菜 ()
㉑ 準備 ()
㉒ □ ()
㉓ 貴 ()
㉔ 夫と ()
㉕ 無人 ()
㉖ □ ()
- ㉗ 命 ()
㉘ □ ()
㉙ 話 ()
㉚ 本の内 ()
㉛ □ ()
㉜ 試合 ()
㉝ 委員会 ()
㉞ ハチ ()
㉟ 仲間 ()
㊱ 議論 ()
㊲ 災害 ()
㊳ □ ()
㊴ 本の ()

◇ つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 Y G

- ⑬ 得^え意^い ()
- ⑫ 解^{かい}答^た ()
- ⑪ 汽^き笛^{ふえ} ()
- ⑩ 罪^{つみ}をつぐなう
- ⑨ 鳥^{とり}類^{るい} ()
- ⑧ 男^{おとこ}女^{めい} ()
- ⑦ 石^{いし}炭^{たん} ()
- ⑥ 確^{たしか}かめる ()
- ⑤ 退^{ひき}院^{いん} ()
- ④ 多^{おほく}数^{すう}決^{けつ} ()
- ③ 連^{れん}続^{ぞく} ()
- ② 改^{かい}造^{ぞう} ()
- ① 総^{そう}合^{ごう} ()
- ⑭ 独^{どく}立^り ()
- ⑮ 半^{はん}ば ()
- ⑯ 似^にる ()
- ⑰ 練^{れん}る ()
- ⑱ 述^じべる ()
- ⑲ 見^み張^{ちやう}る ()
- ⑳ 比^ひかく ()
- ㉑ 率^{りつ}いる ()
- ㉒ 土^ど依^い ()
- ㉓ 婦^ふ人^{にん} ()
- ㉔ 武^ぶ士^し ()
- ㉕ 防^{ぼう}ぐ ()
- ㉖ 花^か粉^{こな} ()
- ㉗ 周^{しゅう}辺^{へん} ()
- ㉘ 豊^{とよ}作^{さく} ()
- ㉙ その外^{ほか}の意見^{いけん} ()
- ㉚ 招^{まね}く ()
- ㉛ 実^{じつ}る ()
- ㉜ 群^{ぐん}れ ()
- ㉝ 燃^もえ上がる ()
- ㉞ 石^{いし}油^{あぶら} ()
- ㉟ 許^{もとめ}す ()
- ㊱ 寄^よる ()
- ㊲ 領^{りやう}土^ど ()
- ㊳ 土^ど星^{せい}の輪^{りん} ()
- ㊴ 仮^{かり}面^{めん} ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 K G

- ⑬ □^{とく}意^いな料理^{りやうり}
- ⑫ 解^{かい}らん^{らん}に書^かく
- ⑪ 汽^きを鳴^ならす
- ⑩ □^{つみ}をつぐなう
- ⑨ □^{ちやう}類^{るい}と魚^{ぎょ}類^{るい}
- ⑧ □^{だん}女^{じよ}平^{へい}等^{とう}
- ⑦ 石^{いし}をほる
- ⑥ 中^{なか}身^みを□^{たし}かめる
- ⑤ □^{たい}院^{いん}する
- ④ □^た数^{すう}決^{けつ}
- ③ 連^{れん}続^{ぞく}ドラマ
- ② 車^{くるま}を改^{かい}する
- ① □^{そう}合^{ごう}的^{てき}
- ⑭ □^{どく}立^{りつ}心^{しん}を養^{やしな}う
- ⑮ 七^{しち}月^{がつ}□^{なか}ば
- ⑯ 顔^{かお}が□^にてい
- ⑰ 粉^{こな}を□^ねる
- ⑱ 意^い見^{けん}を□^のべる
- ⑲ 見^みは□^はりをつける
- ⑳ 高^{たか}さ□^ひかくする
- ㉑ 大^{おほ}勢^{せい}を□^{ひき}いる
- ㉒ 土^どを□^{ひやう}清^{きよ}める
- ㉓ □^ふ人^{じん}服^{ふく}
- ㉔ □^ぶ士^しの刀^{かたな}
- ㉕ 寒^{さむ}さを□^{ふせ}ぐ
- ㉖ 花^かが□^{ふん}飛^とぶ
- ㉗ 池^{いけ}の周^{しゅう}□^{へん}
- ㉘ □^{ほう}作^{さく}を祝^{いわ}う
- ㉙ □^{ほか}の意^い見^{けん}
- ㉚ □^{まね}人^{ひと}を□^く
- ㉛ □^のいねが□^{みの}る
- ㉜ □^もハトの□^むれ
- ㉝ □^も火^ひが□^{える}
- ㉞ □^ゆ石^{いし}タンク
- ㉟ □^{ゆる}あやまちを□^す
- ㊱ □^よ右^{みぎ}に□^る
- ㊲ □^{りやう}広^{こう}大^{だい}な□^{土^ど}
- ㊳ □^わ土^ど星^{せい}の□^か
- ㊴ □^{かん}面^{めん}をつける

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 Y H

- ⑬ 道徳 ()
- ⑫ 大統領 ()
- ⑪ 適切 ()
- ⑩ 提案 ()
- ⑨ 努める ()
- ⑧ 知識 ()
- ⑦ 短距離走 ()
- ⑥ 速い球を投げる ()
- ⑤ 台風 ()
- ④ 打楽器 ()
- ③ 注ぐ ()
- ② 規則 ()
- ① 雑木林 ()
- ⑭ 整える ()
- ⑮ 情け深い ()
- ⑯ 責任 ()
- ⑰ 燃料 ()
- ⑱ 破かい ()
- ⑲ 版画 ()
- ⑳ 肥料 ()
- ㉑ 豊富 ()
- ㉒ 氷河 ()
- ㉓ 久しぶり ()
- ㉔ 増える ()
- ㉕ 再び ()
- ㉖ 水辺 ()
- ㉗ 弁当 ()
- ㉘ 暴風雨 ()
- ㉙ 混じる ()
- ㉚ 迷う ()
- ㉛ 武者修行 ()
- ㉜ 綿あめ ()
- ㉝ 熊本県 ()
- ㉞ 輸入 ()
- ㉟ 余計 ()
- ㊱ 確率 ()
- ㊲ 留守番 ()
- ㊳ 定規 ()
- ㊴ 中止 ()

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

六ねん
くみ
なまえ

5 K D

- ⑬ 道の副読本 ()
- ⑫ アメリカ大統領 ()
- ⑪ 切な判断 ()
- ⑩ 議題を案する ()
- ⑨ 早起きに ()
- ⑧ 識をふやす ()
- ⑦ 速い球を投げる ()
- ⑥ ビッチャーの速い ()
- ⑤ 風目 ()
- ④ 打楽器 ()
- ③ 水を ()
- ② 規則を守る ()
- ① 雑木林 ()
- ⑭ 体勢を ()
- ⑮ け深い人 ()
- ⑯ 責を ()
- ⑰ 飛行機の ()
- ⑱ 建物 ()
- ⑲ 画を ()
- ⑳ 料を ()
- ㉑ 豊富な食べ物 ()
- ㉒ 河時代 ()
- ㉓ 久しぶりに ()
- ㉔ 数が ()
- ㉕ 再び ()
- ㉖ 水の生物 ()
- ㉗ 当を ()
- ㉘ 風雨 ()
- ㉙ 色が ()
- ㉚ 道に ()
- ㉛ 者修行 ()
- ㉜ わた ()
- ㉝ 熊本県 ()
- ㉞ 原料を ()
- ㉟ 計画 ()
- ㊱ 確 ()
- ㊲ 留守番 ()
- ㊳ 三角 ()
- ㊴ 雨天中 ()

◇ つぎの—せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ⑬ 読^よ本^{ほん} ()
- ⑫ 指^し導^ど ()
- ⑪ 登^{のぼ}山^{さん} ()
- ⑩ 程^{ほど}度^ど ()
- ⑨ 務^{つと}め^る ()
- ⑧ 着^き陸^{りく} ()
- ⑦ 集^{しゅう}団^{だん} ()
- ⑥ 便^{べん}り ()
- ⑤ 絶^{ぜつ}え^る ()
- ④ 招^{しょう}待^{たい} ()
- ③ 子^し孫^{そん} ()
- ② 観^{かん}測^{そく} ()
- ① 想^{さう}像^{ぞう} ()
- ⑭ 非^ひ常^{じょう} ()
- ⑮ 生^{せい}野^や菜^{さい} ()
- ⑯ 飼^{かい}主^{しゅ} ()
- ⑰ 知^ち能^{のう} ()
- ⑱ お墓^{はか} ()
- ⑲ 犯^{はん}人^{にん} ()
- ⑳ 書^かき留^{りゅう}め^る ()
- ㉑ 等^{とう}しい ()
- ㉒ 評^{へい}判^{はん} ()
- ㉓ 分^{ぶん}布^ぷ ()
- ㉔ 往^{おう}復^{ふく} ()
- ㉕ 大^{だい}仏^{ぶつ} ()
- ㉖ 減^{げん}る ()
- ㉗ 保^ほ健^{けん}室^{しつ} ()
- ㉘ 貿^{まう}易^い ()
- ㉙ 貧^{ひん}しい ()
- ㉚ 木^きの幹^{かん} ()
- ㉛ 夢^む中^{ちゅう} ()
- ㉜ 生^{せい}命^{めい} ()
- ㉝ 破^はる ()
- ㉞ 豊^{とよ}か ()
- ㉟ 預^よ金^{きん} ()
- ㊱ 設^{せつ}立^{りつ} ()
- ㊲ 森^{しん}林^{りん} ()
- ㊳ 増^{ぞう}加^か ()
- ㊴ 境^{かい}目^め ()

六ねん
くみ
なまえ

5 Y I

◇ つぎの□にかんじをかきなさい。

- ⑬ 児^じ童^{どう}向^むけ^の □^{とく}本^{ほん}
- ⑫ 指^し □^{どう}を^を受^うけ^る
- ⑪ 富^ふ士^し □^と山^{さん}
- ⑩ □^{てい}度^どが^{たか}高^{かい}
- ⑨ リーダ^{りーだ}ー^を □^{つと}め^る
- ⑧ 空^{くう}港^{こう}に □^{ちやく}陸^{りく}す^る
- ⑦ 集^{しゅう} □^{だん}下^げ校^{こう}
- ⑥ □^{たよ}り^を待^{まち}つ
- ⑤ 人^{ひと}通^{とお}り^が □^たえ^る
- ④ 友^{ゆう}人^{じん}を^を招^{しょう} □^{たい}す^る
- ③ 私^{わたし}た^ちの^の子^こ □^{そん}
- ② 星^{せい}の^の観^{かん} □^{そく}
- ① 場^ば面^{めん}を^を想^{そう} □^{ぞう}す^る
- ⑭ □^ひ常^{じょう}口^{こう}
- ⑮ □^{なま}野^や菜^{さい}
- ⑯ 犬^{いぬ}の^の飼^{かい} □^{めし}
- ⑰ 知^ち □^{のう}の^の発^{はつ}達^{たつ}
- ⑱ お □^{はか}参^{まい}り
- ⑲ □^{はん}人^{にん}が^がつ^つか^かま^{まる}る
- ⑳ 紙^{かみ}に^に書^かき □^とめ^る
- ㉑ 重^{おも}さ^が □^{ひと}しい
- ㉒ □^{ひやう}判^{はん}が^がよ^{よい}
- ㉓ 広^{ひろ}く^{ぶん}分^{ぶん} □^ぶす^る
- ㉔ 往^{おう} □^{ふく}の^の道^{みち}の^のり
- ㉕ 奈^{なら}良^らの^の大^{だい} □^{ぶつ}
- ㉖ 害^{がい}虫^{ちゅう}が □^へる
- ㉗ □^ほ健^{けん}室^{しつ}
- ㉘ □^{ぼう}易^い
- ㉙ □^{ます}しい^{しい}人^{ひと}々^々
- ㉚ 木^きの □^{みき}
- ㉛ 遊^{あそ}び^に □^む中^{ちゅう}に^にな^{なる}る
- ㉜ 生^{せい} □^{めい}を^を守^{まも}る
- ㉝ 紙^{かみ}を^を □^{やぶ}る
- ㉞ □^{ゆた}かな^{かな}知^ち識^{しき}
- ㉟ 銀^{ぎん}行^{こう}に □^よ金^{きん}す^る
- ㊱ 会^{かい}社^{しゃ}を^を設^{せつ} □^{りつ}す^る
- ㊲ 森^{しん} □^{りん}を^を守^{まも}る
- ㊳ 人^{じん}口^{こう}の^の増^{ぞう} □^か
- ㊴ 道^{どう}路^ろと^と家^{いえ}の □^{さかい}目^め

六ねん
くみ
なまえ

5 K I

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

くみ
なまえ

6YA

⑮ 理^リ論^{ロン} ⑭ 規^キ模^モ ⑬ 閉^ヘめる ⑫ 拝^{ハイ}む ⑪ 頭^ズ痛^{ツウ} ⑩ 住^{ジュウ}宅^{タク} ⑨ 泉^{セン}のほとり ⑧ 将^{ショウ}来^{ライ} ⑦ 収^{シュウ}まる ⑥ 養^{ヨウ}蚕^{サン} ⑤ 鉄^{テツ}鋼^{コウ} ④ 力^{チカラ}の源^{ゲン} ③ 胸^{ムネ}の中^{ナカ} ② 干^{カン}す ① 異^イ国^{コク}

③① 垂^{シュイ}れる ②⑨ 縮^{シュク}む ②⑧ 週^{シュウ}刊^{カン}誌^シ ②⑦ 砂^サ場^バ ②⑥ 皇^{コウ}后^{コウ} ②⑤ 敬^{ケイ}う ②④ 発^{ハツ}揮^ヒ ②③ 浴^{ヨク}う ②② 易^イしい ②① 田^タ畑^{ヘツ} ②① 造^{ゾウ}る ①⑨ 二^ニ色^{シキ} ①⑧ 採^{サイ}集^{シユウ} ①⑦ 起^キ床^{シヨウ} ①⑥ 老^{ロウ}いる

④③ 白^{ハク}米^{メイ} ④② 富^フむ ④① 直^{チキ}ち ④① 旅^{タビ}路^ロ ③⑨ 競^{ケイ}馬^バ場^{ジョウ} ③⑧ 欠^{ケツ}ける ③⑦ 預^ヨける ③⑥ 翌^ヨ日^{ジツ} ③⑤ 訪^{ホウ}ねる ③④ 秘^ヒ密^{ミツ} ③③ 牛^{ギウ}乳^{リウ} ③② 宇^ウ宙^{チュウ} ③① 服^{フク}装^{ソウ}

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

くみ
なまえ

6KA

⑮ 理^リ的^{テキ}に話^ワす ⑭ 規^キが大きい ⑬ 窓^{マド}をめる ⑫ 初^{ハツ}日^{ジツ}をむ ⑪ 頭^ズが治^{ナオ}る ⑩ 住^{ジュウ}が建^タつ ⑨ のほとり ⑧ 来^{ライ}の夢^{ユメ} ⑦ 気^キ持^チがまる ⑥ 養^{ヨウ}農^{ノウ}家^カ ⑤ 鉄^{テツ}の生^{セイ}産^{サン} ④ 力^{チカラ}の中^{ナカ} ③ 洗^{セン}た^タく物^{モノ}をす ② 国^{コク}の様^{ヨウ}子^ス ①

③① 年^{とし}いた母^{はは} ②⑨ ゴムがむ ②⑧ 週^{シュウ}刊^{カン}をよむ ②⑦ 皇^{コウ}后^{コウ} ②⑥ 目^め上^{うえ}の人^{ひと}をう ②⑤ 実^{じつ}力^{りき}を発^{はつ}する ②④ 線^{せん}路^ろに ②③ 欠^{ケツ}ける ②② 預^ヨける ②① 翌^ヨ日^{ジツ} ②① 造^{ゾウ}る ①⑨ 二^ニ色^{シキ} ①⑧ 採^{サイ}集^{シユウ} ①⑦ 起^キ床^{シヨウ} ①⑥ 老^{ロウ}いる

④③ 白^{ハク}米^{メイ}をたく ④② 話^わ題^{だい}にむ ④① 直^{チキ}ち ④① 旅^{タビ}路^ロ ③⑨ 競^{ケイ}馬^バ場^{ジョウ} ③⑧ 欠^{ケツ}ける ③⑦ 預^ヨける ③⑥ 翌^ヨ日^{ジツ} ③⑤ 訪^{ホウ}ねる ③④ 秘^ヒ密^{ミツ} ③③ 牛^{ギウ}乳^{リウ} ③② 宇^ウ宙^{チュウ} ③① 服^{フク}装^{ソウ}

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

くみ
なまえ

6YB

⑭ 模(けい)型(けい) ⑬ 片(がわ)側(がわ) ⑫ 背(けい)景(けい) ⑪ 痛(いた)む ⑩ 担(にん)任(にん) ⑨ 洗(う)う ⑧ かすり(きず)傷(きず) ⑦ 収(にゅう)入(にゅう) ⑥ 至(いた)る ⑤ 時(じ)刻(こく) ④ 資(し)源(げん) ③ 胸(むね)囲(い) ② 干(まん)満(まん) ① 異(い)なる

⑳ 磁(じ)石(せき) ㉑ 星(せい)座(ざ) ㉒ 親(おや)孝(こう)行(こう) ㉓ 警(けい)備(び) ㉔ 貴(き)重(じゅう)品(ひん) ㉕ 沿(がん)岸(がん) ㉖ 漁(りょ)師(し) ㉗ 墓(ぼ)地(ち) ㉘ 共(いっ)に ㉙ 花(はな)束(たば) ㉚ 守(しゅ)備(び) ㉛ 建(けん)設(せつ) ㉜ 構(こう)える ㉝ 暴(ぼう)れる

㉞ 鉄(てつ)板(ばん) ㉟ 常(じょう)に ㊱ ペンで記(き)す ㊲ 文(ぶん)化(か)祭(さい) ㊳ 要(よう)求(きゅう) ㊴ 負(ふ)う ㊵ 混(こん)乱(らん) ㊶ 死(し)亡(ぼう) ㊷ 腹(はら)が立(た)つ ㊸ 乳(ちゅう)を飲(の)む ㊹ 忠(ちゅう)告(こく) ㊺ 地(ち)層(そう) ㊻ 推(おし)理(り) ㊼ 縮(しゆく)小(しょう)

◇つぎの□——にかんじをかきなさい。

くみ
なまえ

6KB

⑭ □(も) ⑬ 道(みち)の□(かた)側(がわ) ⑫ 舞(ふ)台(たい)の□(はい)景(けい) ⑪ 足(あし)が□(いた)む ⑩ □(たん)任(にん)の先(せん)生(せい) ⑨ 手(て)を□(あら)う ⑧ かすり(きず)□(きず) ⑦ □(しゅう)入(にゅう)を得(え)る ⑥ 現(げん)在(ざい)に□(いた)る ⑤ 時(じ)□(こく)を知(し)らせる ④ 資(し)源(げん)の不(ふ)足(そく) ③ □(きょう)囲(い)を測(はか)る ② □(かん)満(まん)の差(さ) ① □(こと)なる意(い)見(けん)

㉞ □(じ)石(せき) ㉟ 冬(ふゆ)の星(せい)□(ぎ) ㊱ 親(おや)行(こう) ㊲ □(けい)備(び)員(いん) ㊳ □(き)重(じゅう)品(ひん) ㊴ □(りょう)師(し)にな(な)る ㊵ □(ぼ)地(ち)のそ(そ)うじ ㊶ □(とも)に生(い)きる ㊷ 花(はな)□(たば)をを(を)おくる ㊸ □(しゅ)備(び)につく ㊹ ビル(ビル)の□(けん)設(せつ) ㊺ 店(みせ)を□(かま)える ㊻ 馬(うま)が□(あは)れる

㊼ 鉄(てつ)□(ばん)で焼(や)く ㊽ □(つね)に夢(ゆめ)をもつ ㊾ ペンで□(しる)す ㊿ 文(ぶん)化(か)□(さい) ㉟ 予(よ)算(さん)を要(よう)する ㉠ 責(せき)任(にん)を□(お)う ㉡ 頭(あたま)が混(こん)乱(らん)する ㉢ 事(じ)故(こ)で死(し)す ㉣ □(はら)が立(た)つ ㉤ □(ちち)を飲(の)む ㉥ 友(とも)達(だち)に□(ちゅう)告(こく)する ㉦ 地(ち)□(そう)を調(しら)べる ㉧ □(すい)理(り)小(しょう)説(せつ) ㉨ 地(ち)図(ず)を□(しゆく)小(しょう)する

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ⑭ 訳す ⑬ 補強 ⑫ 背中 ⑪ 展覧会 ⑩ 探検 ⑨ 染める ⑧ 負傷 ⑦ 宗教 ⑥ 至急 ⑤ 刻む ④ 厳しい ③ 故郷 ② 巻く ① 遺産
- ⑳ 射る ㉔ 経済 ㉔ 天皇陛下 ㉔ 劇場 ㉔ 疑い ㉔ 我に返る ㉔ 仏の教え ㉔ 問屋 ㉔ 保つ ㉔ 日本酒 ㉔ 模倣 ㉔ 去年 ㉔ 広い河 ㉔ 余る
- ㉔ 社に参る ㉔ 美化 ㉔ 連なる ㉔ 大臣 ㉔ 東西 ㉔ 治める ㉔ 乱れる ㉔ 忘れる ㉔ 興奮 ㉔ 認める ㉔ 著者 ㉔ 操縦 ㉔ 寸法 ㉔ 熟語

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

- ⑭ 日本語に ⑬ チームを ⑫ 中をのぼす ⑪ 観覧会 ⑩ 南極 ⑨ 布を赤く ⑧ 転んで負 ⑦ 教を広める ⑥ 品物を ⑤ 心に ④ しい表情 ③ 故郷に帰る ② 糸を ① 文化産
- ㉔ 弓で矢を ㉔ 経済の本を読む ㉔ 天陛下 ㉔ 演劇クラブ ㉔ うたが いをもつ ㉔ われに返る ㉔ ほとけの教え ㉔ 健康を ㉔ 日本を飲む ㉔ 模倣を作る ㉔ 年の思い出 ㉔ 大海のような ㉔ 時間が ㉔ 時間
- ㉔ 教室の ㉔ 山が ㉔ 文部大 ㉔ 東に広がる ㉔ 国を ㉔ 列が ㉔ 宿題を ㉔ 思わず興 ㉔ 実力を ㉔ 本の者 ㉔ 飛行機の ㉔ 洋服の法 ㉔ 語をつくる

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

① 地 域 (ち いく) ② 上 巻 (じょう まき) ③ 勤 め 先 (きん さき) ④ 厳 重 (げん じゅう) ⑤ 穀 物 (こく もつ) ⑥ 公 私 (こう し) ⑦ 就 職 (しゅう しやく) ⑧ 故 障 (こ しょう) ⑨ 善 悪 (ぜん あく) ⑩ 探 査 (たん さ) ⑪ 討 論 会 (たう んかい) ⑫ 肺 (はい) ⑬ 補 う (ほ う) ⑭ 言 い 訳 (い げ)

⑮ 歩 み (あゆ み) ⑯ 寒 暖 (かん だん) ⑰ 減 少 (げん しょう) ⑱ 秋 分 の 日 (あき ぶん の ひ) ⑲ 建 設 (けん せつ) ⑳ 永 い (えい い) ㉑ 任 せる (にん せる) ㉒ 灰 色 (はい いろ) ㉓ 疑 問 (ぎ もん) ㉔ 激 しい (げき しい) ㉕ 皇 后 陛 下 (こう へいか) ㉖ 濟 む (さい む) ㉗ 発 射 (はつ しゃ) ㉘ 単 純 (たん じゆん)

㉙ 盛 り 上 が る (もろ ぎ あが る) ㊱ 冷 蔵 庫 (れい ぞう こ) ㊲ 気 象 庁 (き しょう ちやう) ㊳ 納 入 (なう にゅう) ㊴ 奮 闘 (ふん とう) ㊵ 鉄 棒 (てつ ぼう) ㊶ に わ と り の 卵 (にわとり の たまご) ㊷ 修 め る (しゆ める) ㊸ 許 可 (きょ か) ㊹ 逆 らう (さか らう) ㊺ 大 豆 (だい とう) ㊻ 水 田 (みづ だ) ㊼ 額 に 汗 する (がく に あせ) ㊽ 病 にかかると (びょう にかかると)

くみ
なまえ

6YD

◇つぎの——に かんじをかきなさい。

① 地 球 社会 (ち いく しやかい) ② 教科 書 の 上 (きょう かく の じやう かん) ③ つと め 先 (つと さき) ④ 重 に 注 意 する (じゅう ちゅうい) ⑤ 物 を 作 る (もの を つく) ⑥ 公 共 の 区 別 (こう ぐ の く べつ) ⑦ 会 社 に 職 する (かい しゃ に しやく) ⑧ 車 が 故 する (くる ま が こ しやう) ⑨ 善 悪 を 考 へ る (ぜん あく を かん) ⑩ 落 と し 物 を する (お と し もの を さが) ⑪ 討 論 会 (たう んかい) ⑫ で 呼 吸 する (こきゅう) ⑬ 考 え を う (かん が おぎな) ⑭ 言 い 訳 を する (い げ を わけ)

⑮ 六 年 間 の み (ろく ねん かん の み) ⑯ 暖 の 差 (だん の さ) ⑰ 人 口 の 少 (じん こう の げん しょう) ⑱ 分 の 日 (ぶん の ひ) ⑲ ビル を 建 てる (ビル を けん せつ) ⑳ い 眠 り に つく (い ねむ) ㉑ 仕 事 を する (しごと を まか) ㉒ 色 の 空 (いろ の そら) ㉓ 問 に 思 う (もん に おも) ㉔ しい 川 の 流 れ (しい かわ の なが) ㉕ 皇 后 陛 下 (こう へいか) ㉖ 仕 事 を ます (しごと を す) ㉗ ロケ ッ ト の 発 射 (はつ しゃ) ㉘ 単 純 な 計 算 (たん じゆん な けい さん)

㉙ 集 会 が り 上 が る (しゅう かい が り あが る) ㊱ 冷 蔵 庫 (れい ぞう こ) ㊲ 気 象 庁 (き しょう ちやう) ㊳ 会 費 の 入 (かい ひ の にゅう) ㊴ 勇 気 を う (ゆう き を ふる) ㊵ 鉄 道 に ぶ ら 下 が る (てつ だう に ぶら さが) ㊶ に わ と り の たまご (にわとり の たまご) ㊷ 学 問 を おさ め る (がく もん を おさ) ㊸ 通 行 を きよ か 可 する (つう こう を きよ) ㊹ 意 見 に さか らう (い けん に さか) ㊺ 大 木 を 植 える (だい ぎ を う) ㊻ 水 地 帯 (みづ ちたい) ㊼ 額 に 汗 する (がく に あせ) ㊽ 病 にかかると (びょう にかかると)

くみ
なまえ

6KD

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

くみ
なまえ

6YE

- ⑭ 郵便 ⑬ 暮らし ⑫ 班長 ⑪ 政党 ⑩ 誕生日 ⑨ 善い行い ⑧ 城下町 ⑦ 公衆電話 ⑥ 私の本 ⑤ 骨組み ④ 自己 ③ 勤務 ② 看板 ① 宇宙
- ⑳ 処分 ㉔ 四捨五入 ㉒ 裁判 ㉑ 口紅 ㉐ 感激 ㉏ 呼吸 ㉎ 拡大 ㉍ 正にその通り ㉌ 天然 ㉋ 竹林 ㉊ 縮図 ㉉ 固定 ㉈ 習慣 ㉇ 暗幕
- ㉒ 由来 ㉑ 平たい ㉐ 十人十色 ㉏ 過ち ㉎ 冷める ㉍ 鉄橋 ㉌ 着物の帯 ㉋ 展覽会 ㉊ 三枚 ㉉ 並木道 ㉈ 納める ㉇ 頂上 ㉆ 心臓 ㉅ 聖火

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

くみ
なまえ

6KE

- ⑭ 郵便局 ⑬ 豊かな ⑫ 長を決める ⑪ 新しい政 ⑩ 誕生日 ⑨ い行いをほめる ⑧ 下町 ⑦ 公衆電話 ⑥ の本 ⑤ 丈夫な ④ 自己主張 ③ 会社 ② 店の板 ① 宙旅行
- ㉒ ごみを分 ㉑ 四捨五入 ㉐ 判断所 ㉏ 口をにつける ㉎ 物語に感 ㉍ 呼を整える ㉌ 図を大する ㉋ 天資源 ㉊ 林を歩く ㉉ 図を書く ㉈ くぎで定する ㉇ よい習をにつける ㉆ 体育館の幕 ㉅ 心 ㉄ 山の ㉃ 税金を ㉂ 用紙を三配る ㉁ 展覧会 ㉐ 着物の ㉏ 鉄を渡る ㉎ 湯が ㉍ じゅう人 ㉌ 漢字の ㉋ たい板 ㉊ ちを許す ㉉ 色

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

- ⑭ 優勝 (ゆうしょう)
 ⑬ 養う (やう)
 ⑫ 晩ご飯 (ばんごはん)
 ⑪ 砂糖 (さとう)
 ⑩ 階段 (かいたい)
 ⑨ 演奏 (えんそう)
 ⑧ 城あと (じょうあと)
 ⑦ 従う (じゅう)
 ⑥ 姿を現す (すがたをあらわす)
 ⑤ 骨折 (こつせつ)
 ④ 誤り (ご)
 ③ あら筋 (あらすじ)
 ② 簡単 (かんたん)
 ① 映す (えいす)

- ⑳ 消防署 (しょうぼうしよ)
 ㉑ 捨てる (すてる)
 ㉒ 裁く (さいく)
 ㉓ 紅茶 (こうちゃ)
 ㉔ 大きな穴 (おほいしなあな)
 ㉕ 吸う (すう)
 ㉖ 改革 (かいかく)
 ㉗ 増す (ぞうす)
 ㉘ 入梅 (にゅうばい)
 ㉙ 円柱 (えんちゅう)
 ㉚ 述語 (じよご)
 ㉛ 戸外 (こがい)
 ㉜ 一丸 (いちがん)
 ㉝ 勢い (せい)

- ㉞ 黄葉 (こうはつ)
 ㉟ 貧乏 (ひんぱう)
 ㊱ 冬季 (とうき)
 ㊲ 倉庫 (そうこ)
 ㊳ 定める (さだめる)
 ㊴ 作曲 (さくしよ)
 ㊵ 帯びる (おびる)
 ㊶ 裏口 (うらぐち)
 ㊷ 幕府 (まくふ)
 ㊸ 並ぶ (ならぶ)
 ㊹ 大脳 (だいのう)
 ㊺ 頂く (ちやうく)
 ㊻ 尊敬 (そんけい)
 ㊼ 誠実 (じやうじつ)

くみ
なまえ

6YF

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

- ⑭ 大会で (たいかいで) 勝つ (しょう)
 ⑬ 家族を (かぞくを) 養う (やしなう)
 ⑫ 晩ご飯 (ばんごはん) を入れる (いれる)
 ⑪ 階段 (かいたい) を上 (あ) がる (だん)
 ⑩ ピアノの演 (えん) 奏 (そう) 会 (かい)
 ⑨ きまりに (しまりに) 従 (したが) う (う)
 ⑧ 姿を (すがたを) 現 (あらわ) す (す)
 ⑦ 足を (あしを) 折 (こつ) する (せつ)
 ⑥ 文字 (もじ) の (あやま) り (り)
 ⑤ あら (あら) 筋 (すじ) を (か) 書く (く)
 ④ 水面 (すいめん) に (う) 浮 (う) ぶ (ぶ)
 ③ 単 (たん) な (もんだい) 問題 (だい)
 ② い (い) が (が) ある (ある)
 ① 大きな (おほいしな) 穴 (あな)

- ㉞ 消防 (しょうぼう) 署 (しよ)
 ㉟ ごみ (ごみ) を (す) 捨 (す) てる (てる)
 ㊱ 罪 (つみ) を (さば) く (く)
 ㊲ 大きな (おほいしな) 茶 (ちゃ) を (の) 飲む (のむ)
 ㊳ 息 (いき) を (ふか) 深く (かく) 吸 (す) う (う)
 ㊴ 社会 (しゃかい) を (かい) 改 (かく) する (する)
 ㊵ 交通 (こうつう) 事 (じ) 故 (こ) が (ま) 起 (お) ける (ける)
 ㊶ 入 (にゅう) 浴 (よく) の (じき) 時 (とき) 期 (き)
 ㊷ 円 (えん) の (たいせき) 体 (たい) 積 (せき)
 ㊸ 主 (しゅ) 語 (ご) と (じゆつ) 語 (ご)
 ㊹ 外 (がい) で (あそ) 遊 (あそ) ぶ (ぶ)
 ㊺ 一 (いち) 丸 (がん)
 ㊻ 父 (ちち) を (そん) 敬 (けい) する (する)
 ㊼ 実 (じつ) な (ひと) な (な)

- ㊽ 木 (き) が (こう) 黄 (こう) する (する)
 ㊾ ぼう (ぼう) う (う) に (ま) 負 (ま) けない (けない)
 ㊿ 季 (き) オ (お) リン (りん) ピ (ぴ) ック (く)
 ㊱ 庫 (こ) に (そう) しま (ま) う (う)
 ㊲ 目 (め) 標 (ひょう) を (さだ) め (め) る (る)
 ㊳ 作 (さく) 家 (か)
 ㊴ 山 (やま) が (あか) 赤 (あか) み (み) を (お) び (び) る (る)
 ㊵ 家 (いえ) の (ぐち) 口 (くち)
 ㊶ 江 (え) 戸 (ど) 府 (ふ)
 ㊷ 一 (いち) 列 (れつ) に (なら) ぶ (ぶ)
 ㊸ 大 (だい) の (のう) は (は) たら (たら) き (き)
 ㊹ 感 (かん) 謝 (しゃ) 状 (じやう) を (いた) だ (だ) く (く)
 ㊺ 父 (ちち) を (そん) 敬 (けい) する (する)
 ㊻ 実 (じつ) な (ひと) な (な)

くみ
なまえ

6KF

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

くみ

なまえ

6YG

⑭ 幼 稚 園 ⑬ 宝 石 ⑫ 否 定 ⑪ 届 く ⑩ 温 暖 ⑨ 車 窓 ⑧ 蒸 発 ⑦ 従 事 ⑥ 姿 勢 ⑤ 困 る ④ 呼 ぶ ③ 筋 肉 ② 危 険 ① 映 画

⑳ 諸 国 ㉑ 縮 尺 ㉒ 対 策 ㉓ 降 りる ㉔ 絹 織 物 ㉕ 子 供 ㉖ 内 閣 ㉗ 京 の 都 ㉘ 売 買 ㉙ 出 張 ㉚ 暑 中 見 舞 い ㉛ 復 興 ㉜ 洗 顔 ㉝ 統 一

㉞ 入 浴 ㉟ キ ユ リ ー 夫 人 ㊱ 労 働 ㊲ 側 面 ㊳ 支 店 ㊴ 口 調 ㊵ 主 な 意 見 ㊶ 法 律 ㊷ 幕 を 引 く ㊸ 天 皇 陛 下 ㊹ 特 派 員 ㊺ 満 潮 ㊻ 尊 い ㊼ 宣 伝

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

くみ

なまえ

6KG

⑭ 稚 園 ⑬ 美 しい 石 ⑫ 考 えを 定 る ⑪ 手 紙 が ⑩ 温 暖 な 気 候 ⑨ 車 の 風 景 ⑧ 水 が 発 する ⑦ 仕 事 に 事 する ⑥ 勢 を 正 す ⑤ 暮 ら しに ④ 名 前 を ぶ ③ 肉 を き た え る ② 陰 を 防 ぐ ① 画 を 見 る

⑳ 国 を 旅 する ㉑ 縮 を 調 べる ㉒ 対 を 考 える ㉓ バ ス か ら りる ㉔ 織 物 ㉕ 子 の 声 ㉖ 内 総 理 大 臣 ㉗ 京 の ㉘ 土 地 の 売 ㉙ 海 外 へ の 出 ㉚ 災 害 か ら の 復 ㉛ 朝 の 洗 ㉜ 国 家 を 統 する ㉝ 番 組 の 伝

㉞ ゆ っ く り 入 する ㉟ キ ユ リ ー 人 の 伝 記 ㊱ 労 働 時 間 ㊲ 立 体 の 面 ㊳ 銀 行 の 店 ㊴ や さ し い 調 ㊵ な 意 見 ㊶ 法 を 学 ぶ ㊷ 舞 台 の を 引 く ㊸ 天 皇 下 ㊹ 海 外 特 員 ㊺ 満 の 時 間 ㊻ い 生 命 ㊼ 番 組 の 伝

◇つぎの——せんのかんじのよみを、ひらがなでかきなさい。

くみ

なまえ

6YH

⑭ 宝^{もの} ⑬ 批^{ひょう} ⑫ 俳^く ⑪ 潮^{かせ} ⑩ 価^か ⑨ 窓^の ⑧ 仁^{あい} ⑦ 縦^が ⑥ 視^{りょく} ⑤ 困^{こん} ④ 呼^{きゅう} ③ 銀^{ぎん} ② 危^{けい} ① 延^{びる}

⑳ 五^ご ㉔ 降^ふ ㉒ 権^{けん} ㉑ 供^く ㉐ 割^{わり} ㉏ 大^{だい} ㉍ 計^{けい} ㉌ 追^お ㉋ 松^{しょう} ㉊ 肥^ひ ㉉ 喜^き ㉈ 四^し ㉇ 積^{せき} ㉆ 乱^{らん} ㉅ 雲^{うん} ㉄ 幼^{よう} ㉃ 幼^い

㉑ 力^{りき} ㉐ 竹^{たけ} ㉏ 説^{せつ} ㉍ 備^び ㉌ 飼^{かい} ㉋ ゴム ㉊ 臨^{りん} ㉉ 密^{みつ} ㉈ 閉^{へい} ㉇ 存^{ぞん} ㉆ 専^{せん} ㉅ 取^と ㉄ 若^わ ㉃ 者^{もの}

◇つぎの——にかんじをかきなさい。

くみ

なまえ

6KH

⑭ 物^{もの} ⑬ 作^{さく} ⑫ 句^く ⑪ 風^{かせ} ⑩ 価^か ⑨ の ⑧ 愛^{あい} ⑦ 書^が ⑥ 力^{りき} ⑤ 困^{こん} ④ 深^{ふか} ③ 銀^{ぎん} ② 危^{けい} ① 時^じ 間^{かん} が びる

⑳ 本^{ほん} ㉔ 雨^{あめ} ㉒ 花^{はな} ㉑ 大^{だい} ㉐ 時^じ 間^{かん} を ㉏ 料^{りょう} ㉍ 理^り の ㉌ 竹^{ちく} ㉋ 地^ち ㉊ 土^ど ㉉ 劇^{げき} ㉈ 日^に ㉇ 本^{ほん} ㉆ 積^{せき} ㉅ 乱^{らん} ㉄ い ㉃ 子^こ ㉂ 供^{ども}

㉑ 考^{かん} ㉐ 竹^{たけ} ㉏ 命^{いのち} ㉍ 台^{たい} ㉌ 風^{ふう} ㉋ ゴム ㉊ 動^{どう} ㉉ 物^{ぶつ} の ㉈ 育^{いく} ㉇ 人^{じん} ㉆ 口^{こう} ㉅ 時^じ ㉄ 列^{れつ} ㉃ 車^{しゃ} ㉂ 度^ど ㉁ 地^ち ㉐ 球^{きゅう} に ㉏ 在^{ざい} ㉍ 生^{せい} ㉌ 物^{ぶつ}

(42) 海外 学
 (41) 日 関係
 (40) 大きな を築く
 (39) 仕事を交 する
 (38) 弁当を 参する
 (37) 百の
 (36) たねが発 する
 (35) 詩の 読
 (34) 同 関係を結ぶ
 (33) 本を じる
 (32) 手紙を 見する
 (31) 金をはらう
 (30) 保 食品
 (29) 温 に入る